



Satera

MF244dw / MF242dw / MF232w

ユーザーズガイド

もくじ

安全にお使いいただくために	2
設置について	3
電源について	5
取り扱いについて	7
保守／点検について	9
消耗品について	10
 基本操作	14
各部の名称とはたらき	16
本体前面	17
本体背面	19
本体内部	21
手差し給紙口	22
給紙カセット	23
操作パネル	24
ディスプレイ	31
操作パネルを使う	35
文字を入力する	37
原稿をセットする	40
用紙をセットする	44
給紙カセットにセットする	46
手差し給紙口にセットする	51
封筒・はがきをセットする	54
ロゴなどが印刷された用紙をセットする	58
用紙サイズと種類を設定する	60
非定型サイズ of 用紙を登録する（ユーザー設定用紙）	62
静音モードにする	64
スリープモードにする	66
 コピーする	69
コピーの基本操作	71
コピーを中止する	73
いろいろなコピー設定	75
拡大／縮小する	76
原稿の種類を選ぶ	77
濃度を調整する	78
鮮明にする（シャープネス）	79
両面にコピーする（MF244dw / MF242dw）	81
複数の原稿を 1 枚 of 用紙にコピーする（集約コピー）	83
[用紙節約コピー] キーを使う（MF244dw / MF242dw）	85
ID カード of 表裏を並べてコピーする	87

ページ順に仕分ける（ソート）	89
よく使うコピー設定にする（初期値の変更）	90

プリンターとして使う 92

パソコンから印刷する	93
印刷する	94
印刷を中止する	98
印刷状況を確認する	101
いろいろな印刷設定	102
拡大／縮小する	104
両面に印刷する（MF244dw / MF242dw）	106
ページ順に仕分ける（ソート）	108
複数ページを1枚の用紙に印刷する	110
ポスターを印刷する	112
小冊子を作る（製本印刷）（MF244dw / MF242dw）	114
ページの周りに枠を付ける	116
日付やページ番号を印刷する	117
「マル秘」などの透かし文字を印刷する（スタンプ印刷）	119
文書の種類に合わせて印刷する	121
トナー消費量を節約する	123
複数の文書を一度に印刷する	125
使いかたに合わせた印刷設定にする	129
よく使う印刷設定を「お気に入り」に登録する	130
よく使う印刷設定にする（初期値の変更）	132

スキャナーとして使う 135

スキャナーとして使うための準備をする	137
本体からスキャンする	138
[スキャン→PC] キーを使ってスキャンする	141
パソコンからスキャンする	145
アプリケーションでスキャンする	146
ScanGear MF でスキャン設定する	148

モバイル機器と便利に連携 150

モバイル機器と接続する	151
ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）	152
アプリを使って本機を活用する	155
AirPrint を使う	156
AirPrint で印刷する	161
AirPrint でスキャンする	164
AirPrint を使用できないときは	166
Google Cloud Print を使う	167
本機を遠隔管理する	171

ネットワーク	173
ネットワークに接続する	174
有線 LAN か無線 LAN かを選択する	176
有線 LAN に接続する	177
無線 LAN に接続する	178
WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）	180
WPS PIN コード方式で設定する	183
無線 LAN ルーターを選んで設定する	186
すべて入力して設定する	189
SSID やネットワークキーを確認する	193
IP アドレスを設定する	196
IPv4 アドレスを設定する	197
IPv6 アドレスを設定する	200
ネットワークの設定を確認する	203
ネットワークプリンターの設定をする	206
印刷プロトコルや Web サービスの設定をする	207
印刷ポートの設定をする	211
プリントサーバーを設定する	214
使用するネットワーク環境に合わせる	217
イーサネットの設定をする	218
送信パケットの最大サイズを変更する	220
ネットワーク接続時の待機時間を設定する	221
DNS の設定をする	222
SNTP の設定をする	227
SNMP で監視／制御する	229
セキュリティ	235
不正な使用を防止する	236
不正アクセス防止対策について	237
アクセス権限を設定する	239
システム管理暗証番号を設定する	240
リモート UI の暗証番号を設定する	242
ファイアーウォールで通信制限する	244
IP アドレスでファイアーウォールを設定する	245
MAC アドレスでファイアーウォールを設定する	249
ポート番号を変更する	252
プロキシを設定する	254
機能を制限する	256
HTTP 通信を無効にする	257
リモート UI を無効にする	258
強固なセキュリティ機能を導入する	259
TLS でリモート UI 通信を暗号化する	260
IEEE 802.1X 認証の設定をする	263
鍵ペアと電子証明書の設定をする	268

鍵ペアを生成する	269
認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う	276
鍵ペアと CA 証明書を検証する	279
リモート UI を使う	282
リモート UI を起動する	283
リモート UI の画面	285
待機中の文書や本機の状態を確認する	288
本機の設定を変更する	292
設定メニュー一覧	295
ダイレクト接続	296
ネットワーク設定	297
レポート出力	308
環境設定	311
タイマー設定	315
共通設定 (MF244dw / MF242dw)	319
コピー設定	321
スキャン設定	323
プリンター設定	325
調整/メンテナンス設定	327
システム管理設定	334
困ったときは	342
紙が詰まったら	344
メッセージが表示されたら	350
よくあるトラブル	359
設置／設定のトラブル	360
コピー／印刷（プリント）のトラブル	364
正しく印刷できない	367
きれいに印刷できない	369
用紙がしわになったり、カールしたりする	375
用紙が正しく送られない	377
トラブルが解決しないときは	379
メンテナンス	381
日常のお手入れ	382
本体外部	383
原稿台ガラス	384
フィーダー (MF244dw)	387
定着器	388
本体内部	389
トナーカートリッジの交換	391
トナーカートリッジを交換する前に	393

トナーカートリッジを交換する	396
本機を移動する	399
印刷ページ数を確認する	401
設定を初期化する	402
メニューを初期化する	403
ECO レポートカウンターを初期化する	405
全データ／設定を初期化する	406
保守サービスや無償保証について	407
キヤノンサービスパック（CSP）	408
キヤノン・ケア・ギャランティ（CCG）	410
無償保証について	411

付録 413

第三者のソフトウェアについて	414
節約してエコロジー	415
効率アップの使いこなし術	418
紙の文書をスッキリ電子化	420
まだあるこんな使い方	422
おもな仕様	425
本体の仕様	426
無線 LAN の仕様	428
原稿について	429
読み取り範囲	430
用紙について	431
コピーについて	433
スキャンについて	434
プリントについて	435
消耗品	436
本機に付属するマニュアル	437
ユーザーズガイドの使いかた	438
ユーザーズガイドの画面構成	439
ユーザーズガイドの読みかた	443
その他	444
Windows の基本操作	445
メニユールートマップ	453
おことわり	454

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために	2
設置について	3
電源について	5
取り扱いについて	7
保守／点検について	9
消耗品について	10

安全にお使いいただくために

14EH-000

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しています。本機をお使いになる前によくお読みいただき、正しくお使いください。また、このマニュアルに記載されていないことは行わないでください。マニュアルの記載に従わない使いかた、不適切な使いかた、弊社および弊社指定以外の第三者による修理／変更などによって生じた障害の責任は負いかねますのでご了承ください。

設置について

14EH-001

本機を安全かつ快適にお使いいただくために、次の注意事項をよくお読みいただき、適切な場所に設置してください。

警告

火災や感電の原因となる場所には設置しない

- 通気口をふさぐおそれのある場所
(壁の近く、ベッド、ソファ、毛足の長いじゅうたんの上等)
- 湿気やホコリの多い場所
- 屋外や直射日光のあたる場所
- 高温になる場所
- 火気のある場所
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近く

その他の警告

- 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- アクセサリーなどの金属や、液体の入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- オプション品を取り付けたり、取り外したりする場合は、電源を切り、電源プラグを抜き、インターフェースケーブルと電源コードを取り外してください。電源コードやインターフェースケーブルが傷つくと、火災や感電の原因になることがあります。
- 医療用機器の近くで使用しないでください。本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になることがあります。
- 万一、本機の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。

注意

次のような場所には設置しない

落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 不安定な場所
- 振動のある場所



その他の注意

- 本機を持ち運ぶときは、マニュアルの指示に従って正しく持ってください。誤った持ち方をすると、落とすなどして、けがの原因になることがあります。
- 本機を設置する場合は、床面や壁、給紙カセットとの間などに手を挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。



次のような場所には設置しない

故障の原因になることがあります。

- 急激な温度変化や湿度変化がある場所
- 磁気や電磁波を発生する機器に近い場所
- 実験室など、化学反応が生ずる場所
- 空気中に、腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
- 本機の重みによってゆがみや沈みが生じる可能性のある場所（じゅうたん／畳の上など）



風通しの悪い場所には設置しない

本機の使用中は、オゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。また、本機からの排気が人体に直接当たる場所には設置しないでください。

結露の発生する場所には設置しない

部屋を急に暖めたり、温度や湿度が低い場所から高い場所へ本機を移動させたりすると、本体内部に水滴（結露）が発生することがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などの原因になることがありますので、2時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。

無線 LAN を利用するとき

- 無線 LAN ルーターとの距離が 50 m 以内の場所に設置してください。
- できるだけ遮蔽物のない場所に設置してください。壁越しやフロア間の通信は、接続しにくくなります。
- デジタルコードレス電話機や電子レンジなどの電波を発生する機器からできるだけ離して設置してください。

海拔 3,000 m 以上の高地の場合

ハードディスクを搭載している製品は、高地（海拔 3,000 m 以上）で使用すると、正常に動作できない場合があります。

電源について

14EH-002

■ 電源条件

- AC 100 V $\pm$ 10%、15 A 以上
- 50/60 Hz $\pm$ 2 Hz

警告

- 上記以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。電源プラグがしっかりと差し込まれていないと、火災や感電の原因になることがあります。
- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因になることがあります。

アース線を接続してください

- コンセントのアース線端子に、アース線を接続してください。アース線を接続していないと、万一漏電した場合に感電の恐れがあります。コンセントにアース線専用端子がない場合は、接地工事（D 種）が行われているアース線端子に接続してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

次の場所にはアース線を絶対に接続しない

- 水道管：配管の一部がプラスチックの場合、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管には接続できます。
- ガス管：ガス爆発や火災の原因になることがあります。
- 電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。

注意

非常時にすぐ電源プラグが抜けるよう、本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグの周囲に物を置かないでください。



電源を接続するとき

- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。
- 複数の接続口を持つコンセントに本機を接続した場合、残りの接続口にはほかの機器を接続しないでください。
- パソコン本体の補助コンセントに本機の電源コードを接続しないでください。
- 屋内漏電ブレーカーを介して配線されているコンセントの使用を推奨します。

その他の注意事項

- 電氣的なノイズは、本機の誤動作、あるいはデータ消失の原因になることがあります。
- お使いの電源についてご不明な点は、電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

取り扱いについて

14EH-003

⚠ 警告

- 異音・異臭がする、発熱・発煙している、などの場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になることがあります。
- 本機を分解、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 本機の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 本機を移動させる場合は、必ず本機とパソコンの電源を切ってから、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグをコンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。



心臓ペースメーカーをご使用の方へ

本機から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機から離れ、医師にご相談ください。

⚠ 注意

- 本機の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちたりしてけがの原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 開閉部を操作するときは、手を挟まないようにしてください。けがの原因になることがあります。
- 排紙部のローラーに触らないでください。巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 使用直後は、内部や排紙口が高温になります。また、連続印刷すると用紙が熱くなることがありますので、取り扱いには注意してください。やけどの原因になることがあります。



- 原稿台ガラスに厚い本などをセットしてコピーするときは、フィーダーや原稿台ガラスカバーを強く押さないでください。ガラスが破損してけがの原因になることがあります。

注意

- 原稿台ガラスに辞書などの重いものを落とさないように十分注意してください。ガラスが破損して、けがの原因になることがあります。

レーザー光について

- 万一、レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

ご注意

移転や引っ越しなどで本機を輸送するとき

輸送中の破損や故障を避けるため、次のようにしてください。

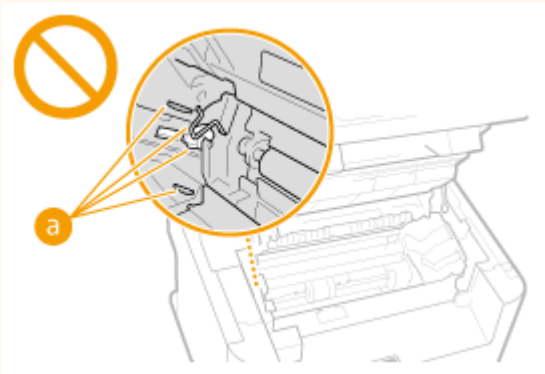
- トナーカートリッジを取り外す
- 購入時のパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包する

稼働音が気になる場合

- お客様の使用環境や動作モードにより、稼働音が気になる場合は、事務所とは別の場所に設置することをおすすめします。

その他の注意事項

- 本機に貼ってある注意ラベルの指示に従ってください。
- 本機に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 開閉部を無理に開け閉めしないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体内部の接点部（)に触れないでください。故障の原因になることがあります。



- 印刷中は電源を切らないでください。また、カバーの開閉、用紙の出し入れも行わないでください。紙づまりの原因となります。

保守／点検について

14EH-004

定期的に本機を清掃してください。ホコリなどがたまると、正しく動作しないことがあります。

お手入れをする際は、次の内容を必ずご確認ください。操作上問題が発生したときは、**困ったときは(P. 342)** を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

警告

- 清掃の前に、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。これをせずに清掃作業を行うと、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグは定期的に抜き、付着したホコリや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になることがあります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤や、ティッシュペーパー、紙タオルなどは使用しないでください。これらが内部の電気部品などに付着すると、火災や感電、静電気発生の原因になることがあります。
- 電源コードや電源プラグは定期的に点検し、発熱、錆び、曲がり、擦れ、亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になることがあります。

注意

- 本体内部には高温／高電圧部分があり、むやみに手を触れるとけがややけどの原因になることがあります。マニュアルで説明されている以外の箇所に手を触れないでください。
- 用紙を補給するときや原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切らないように、注意してください。

ご注意

紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。

消耗品について

14EH-005

⚠ 警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。また、トナーカートリッジや用紙は火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になることがあります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾などで拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

心臓ペースメーカーをご使用の方へ

トナーカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらトナーカートリッジから離れ、医師にご相談ください。

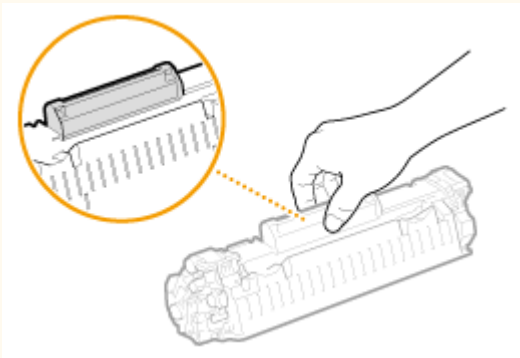
⚠ 注意

- トナーを吸い込まないように注意してください。万一、吸い込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーが目や口などに入らないように注意してください。万一、トナーが目や口などに入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナーが皮膚に付着しないように注意してください。万一、皮膚に付着した場合は、石鹸を使って水で洗い流してください。皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。万一、トナーを飲んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジを分解、改造しないでください。トナーが飛び散ることがあります。
- トナーカートリッジのシーリングテープを勢いよく引き抜いたり、引き抜いている途中で止めたりしないでください。トナーが飛び散ることがあります。

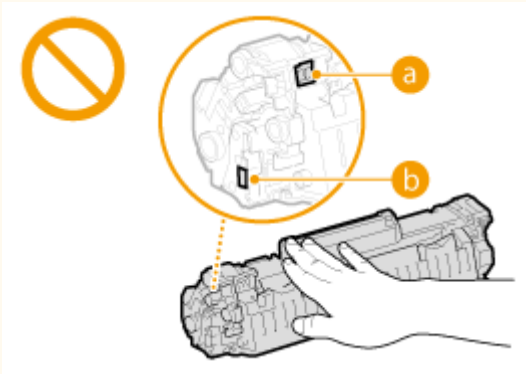
⚡ ⚠ ご注意

トナーカートリッジの取り扱いかた

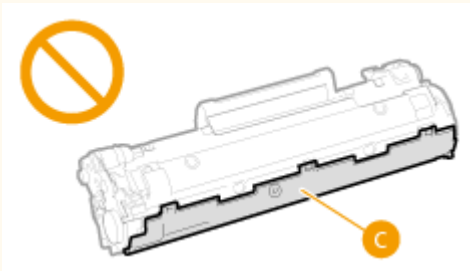
- 必ず取っ手を持ってください。



- トナーカートリッジメモリー (a) や電気接点部 (b) には触れないでください。



- ドラム表面（c）を傷つけたり、光にさらしたりしないでください。



- 必要なとき以外は、保護袋や本機からトナーカートリッジを取り出さないでください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気が影響する製品には近づけないでください。データ破損などの原因になることがあります。

トナーカートリッジの保管方法

- 安全かつ快適にご使用いただくために、以下の環境で保管してください。
保管温度範囲：0～35℃
保管湿度範囲：35～85%RH（相対湿度／結露しないこと）*
- 使用する直前まで未開封の状態でご保管してください。
- 本機からトナーカートリッジを取り外して保管する場合は、保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。
- トナーカートリッジを保管する場合は、立てたり、裏返したり、逆さにしないでください。中のトナーが固まり、振っても元に戻らなくなる恐れがあります。

*保管湿度範囲内でも、外気温との差がある場合は内部に水滴が付着することがあります（結露）。結露は印字品質に悪影響を及ぼします。

トナーカートリッジを次のような場所に保管しない

- 火気のある場所
- 直射日光や電灯の光に5分以上当たる場所
- 空気中に塩分を多く含む場所
- 腐食性ガス（エアゾールスプレーやアンモニアなど）が充満している場所
- 高温多湿の場所
- 温度変化および湿度変化が激しく、結露が生じやすい場所
- ホコリの多い場所
- 幼児の手の届く場所

トナーカートリッジの偽造品に関するご注意

トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」はキヤノン株式会社の商標権を侵害するものです。また誤って「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

canon.com/counterfeit

補修用性能部品とトナーカートリッジの保有期間

本機の補修用性能部品およびトナーカートリッジの最低保有期間は、製造打ち切り後7年間です。

トナーカートリッジの梱包材について

- 保護袋は保管しておいてください。本機を移動するときなどに必要になります。
- 梱包材は予告なく位置、形状が変更されたり、追加や削除されたりすることがあります。
- 取り外したシーリングテープは、地域の条例に従って処分してください。

使用済みトナーカートリッジを処分するとき

環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。トナーカートリッジの回収にご協力ください。廃棄する場合は、保護袋に入れて中のトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。

基本操作

基本操作	14
各部の名称とはたらき	16
本体前面	17
本体背面	19
本体内部	21
手差し給紙口	22
給紙カセット	23
操作パネル	24
ディスプレイ	31
操作パネルを使う	35
文字を入力する	37
原稿をセットする	40
用紙をセットする	44
給紙カセットにセットする	46
手差し給紙口にセットする	51
封筒・はがきをセットする	54
ロゴなどが印刷された用紙をセットする	58
用紙サイズと種類を設定する	60
非定型サイズの用紙を登録する（ユーザー設定用紙）	62
静音モードにする	64
スリープモードにする	66

基本操作

14EH-006

操作パネルの使いかたや、原稿と用紙のセット方法など、本機の各機能をお使いになるうえで共通する基本的なことがらについて説明しています。

■各部の名称とはたらき

本体の外観と内部について、各部の名前とそのはたらきをご紹介します。また、操作パネルの各キーの使いかたや、ディスプレイに表示される画面についても説明しています。▶**各部の名称とはたらき(P. 16)**



■操作パネルを使う

設定値を調整するときや設定内容を確定するときなど、操作パネルのどのキーをどう使うかについて説明しています。また、文字や数字の入力方法についても説明しています。▶**操作パネルを使う(P. 35)**



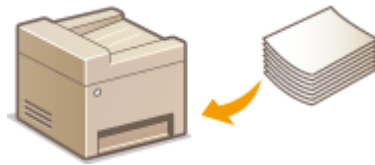
■原稿をセットする

原稿台ガラスやフィーダーに原稿をセットする方法について説明しています。▶**原稿をセットする(P. 40)**



■用紙をセットする

給紙カセットや手差し給紙口に用紙をセットする方法について説明しています。▶**用紙をセットする(P. 44)**



■ 静音モードにする

本機の動作音を静かにする方法について説明しています。▶ [静音モードにする\(P. 64\)](#)



■ スリープモードにする

スリープモード（節電状態）にする方法について説明しています。▶ [スリープモードにする\(P. 66\)](#)



各部の名称とはたらき

14EH-007

基本操作に関わる各部について本体外観、前面、背面、内部とそれぞれの部位ごとに名称とはたらきをご紹介します。また、原稿や用紙のセット、トナーカートリッジ交換など、基本操作に関わる各部について個別に取り上げているほか、操作パネルのキーやディスプレイの表示についても説明しています。円滑に操作していただく一助としてご活用ください。

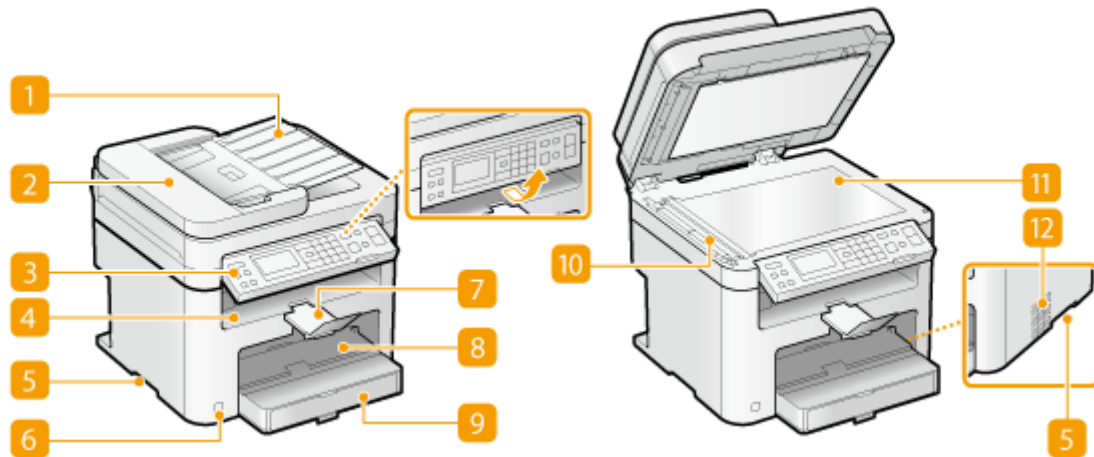


- ▶ 本体前面(P. 17)
- ▶ 本体背面(P. 19)
- ▶ 本体内部(P. 21)
- ▶ 手差し給紙口(P. 22)
- ▶ 給紙カセット(P. 23)
- ▶ 操作パネル(P. 24)

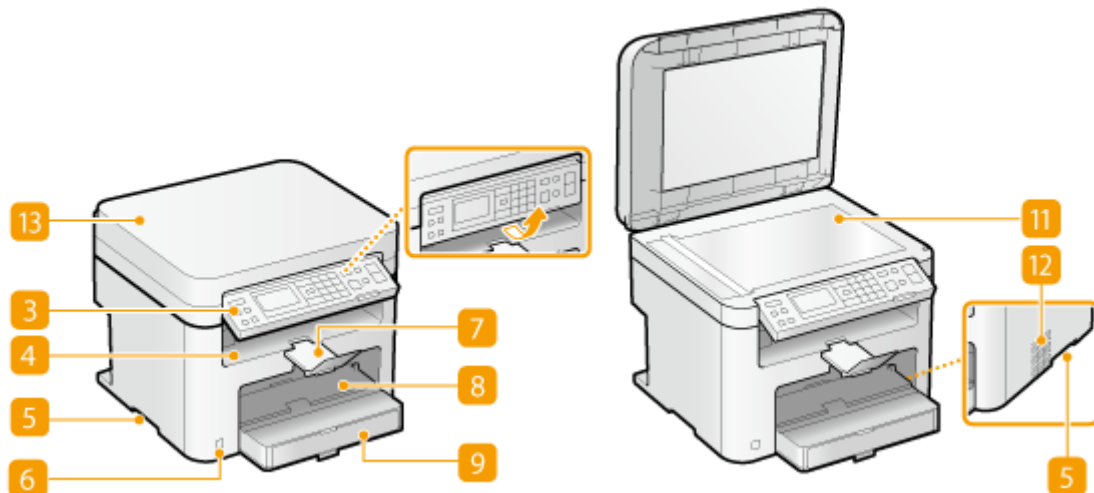
本体前面

14EH-008

MF244dw



MF242dw / MF232w



1 原稿給紙トレイ (MF244dw)

フィーダーに原稿をセットするときに開きます。▶[原稿をセットする\(P. 40\)](#)

2 フィーダー (MF244dw)

ここに原稿をセットして操作すると、原稿は自動的に読み込まれます。2枚以上の原稿を連続して読み込むこともできます。▶[原稿をセットする\(P. 40\)](#)

3 操作パネル

テンキー、[スタート] キー、各種ランプ、ディスプレイなどが配置されており、操作／設定はこの操作パネルから行います。操作しやすいように上下に動かすことができます。▶[操作パネル\(P. 24\)](#) ▶[ディスプレイ\(P. 31\)](#)

4 排紙トレイ

印刷が終わると、用紙はここに排出されます。

5 運搬用取っ手

本機を移動するときには、ここを持ちます。▶**本機を移動する(P. 399)**

6 電源スイッチ

電源を入れたり、切ったりします。本機を再起動するには、電源を切り、10 秒待って再び電源を入れます。

7 排紙ストッパー

印刷が終わって、排出された用紙が落ちるのを防ぎます。

8 手差し給紙口

給紙カセットにセットされていない用紙を一時的に使うときなどは、ここにセットします。▶**手差し給紙口にセットする(P. 51)**

9 給紙カセット

よく使う用紙は、ここにセットします。▶**給紙カセットにセットする(P. 46)**

10 フィーダー読み取りエリア (MF244dw)

フィーダーにセットした原稿は、この部分で読み込まれます。

11 原稿台ガラス

原稿をセットします。また、MF244dw では書籍のようにとじてあったり、厚みがあったりで、フィーダーにセットできない原稿をセットします。▶**原稿をセットする(P. 40)**

12 通気口 (MF244dw / MF242dw)

本体内部の換気と冷却を行います。通気口のそばに障害物を置くと換気の妨げになりますのでご注意ください。▶**設置について(P. 3)**

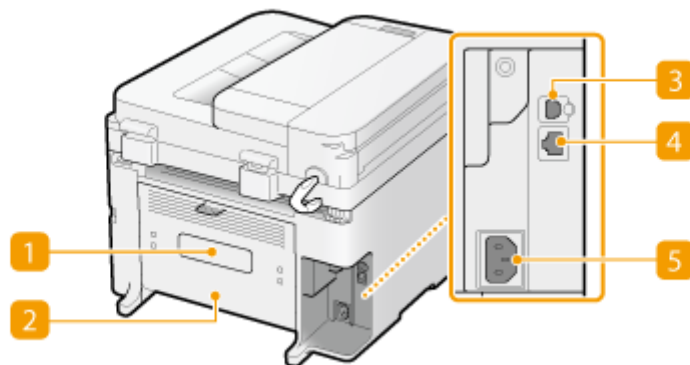
13 原稿台ガラスカバー (MF242dw / MF232w)

原稿台ガラスを保護します。▶**原稿をセットする(P. 40)**

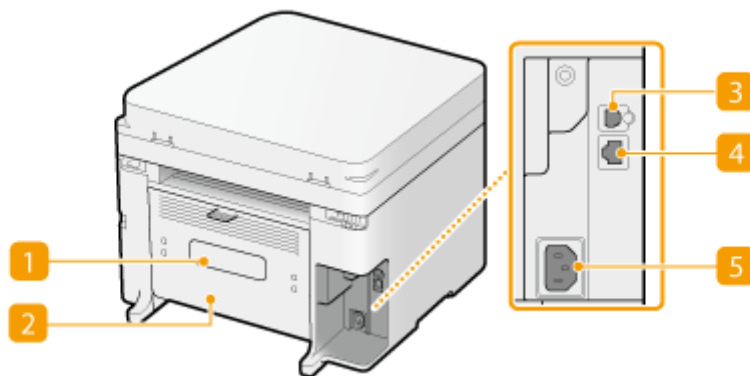
本体背面

14EH-009

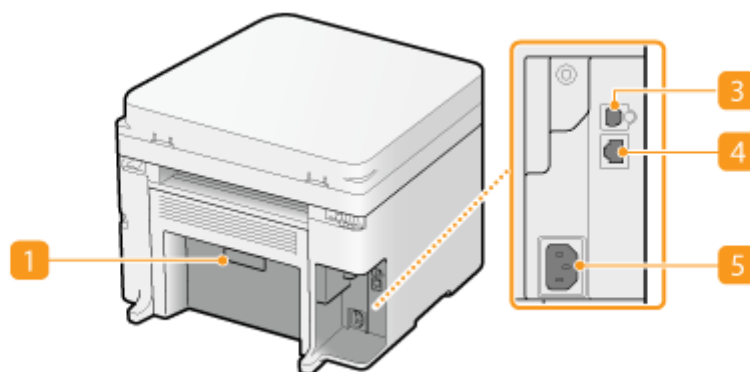
MF244dw



MF242dw



MF232w



1 定格銘板ラベル

お問い合わせの際に必要となるシリアルナンバーが記載されています。▶トラブルが解決しないときは(P. 379)

2 後ろカバー（MF244dw / MF242dw）

つまった用紙を取り除くときに開けます。▶紙がつまったら(P. 344)

3 USB ポート

市販の USB ケーブルを使ってパソコンに接続します。接続手順については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。▶本機に付属するマニュアル(P. 437)

4 LAN ポート

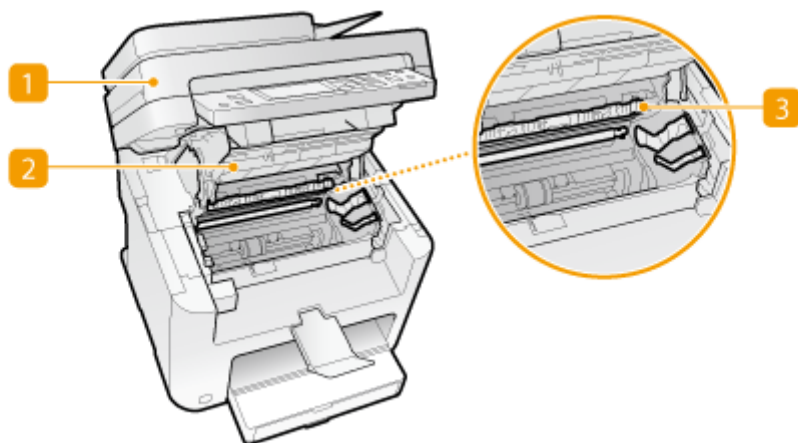
市販の LAN ケーブルを使って有線 LAN ルーターなどに接続します。接続手順については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。▶本機に付属するマニュアル(P. 437)

5 電源ソケット

電源コードを接続します。接続手順については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。▶本機に付属するマニュアル(P. 437)

本体内部

14EH-00A



1 操作パネル部

トナーカートリッジを交換したり、つまった用紙を取り除いたりするときに持ち上げます。▶トナーカートリッジを交換する(P. 396) ▶紙がつまったら(P. 344)

2 トナーカバー

トナーカートリッジを交換したり、つまった用紙を取り除いたりするときに開けます。▶トナーカートリッジを交換する(P. 396) ▶紙がつまったら(P. 344)

3 排紙ガイド

つまった用紙を取り除くときに開けます。▶紙がつまったら(P. 344)

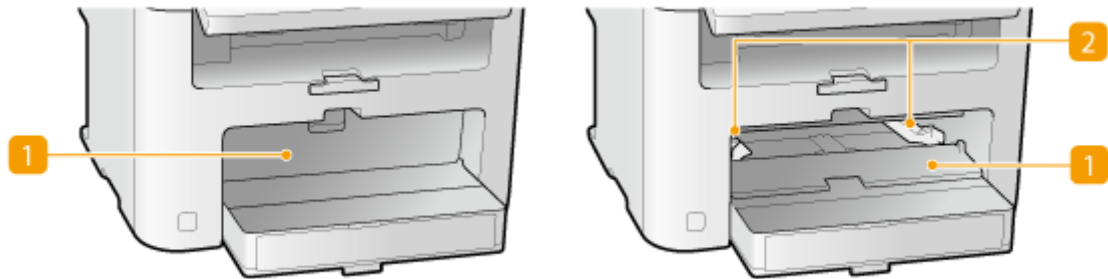


関連項目

▶トナーカートリッジの交換(P. 391)

手差し給紙口

14EH-00C



1 手差しカバー

手差し給紙口に用紙をセットするときに開けます。

2 用紙ガイド

セットした用紙がまっすぐ引き込まれるように、用紙の幅にぴったり合わせます。

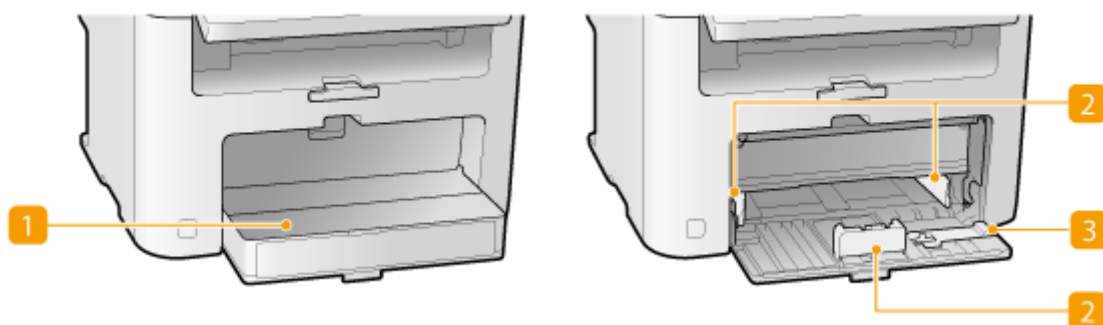


関連項目

🔗 手差し給紙口にセットする (P. 51)

給紙カセット

14EH-00E



1 用紙カバー

給紙カセットに用紙をセットするときに開けます。

2 用紙ガイド

セットした用紙がまっすぐ引き込まれるように、用紙の大きさにぴったり合わせます。

3 はがきガイド

はがきなどの小さいサイズ of 用紙をセットするとき、手前の用紙ガイドに取り付けます。



関連項目

● 給紙カセットにセットする (P. 46)

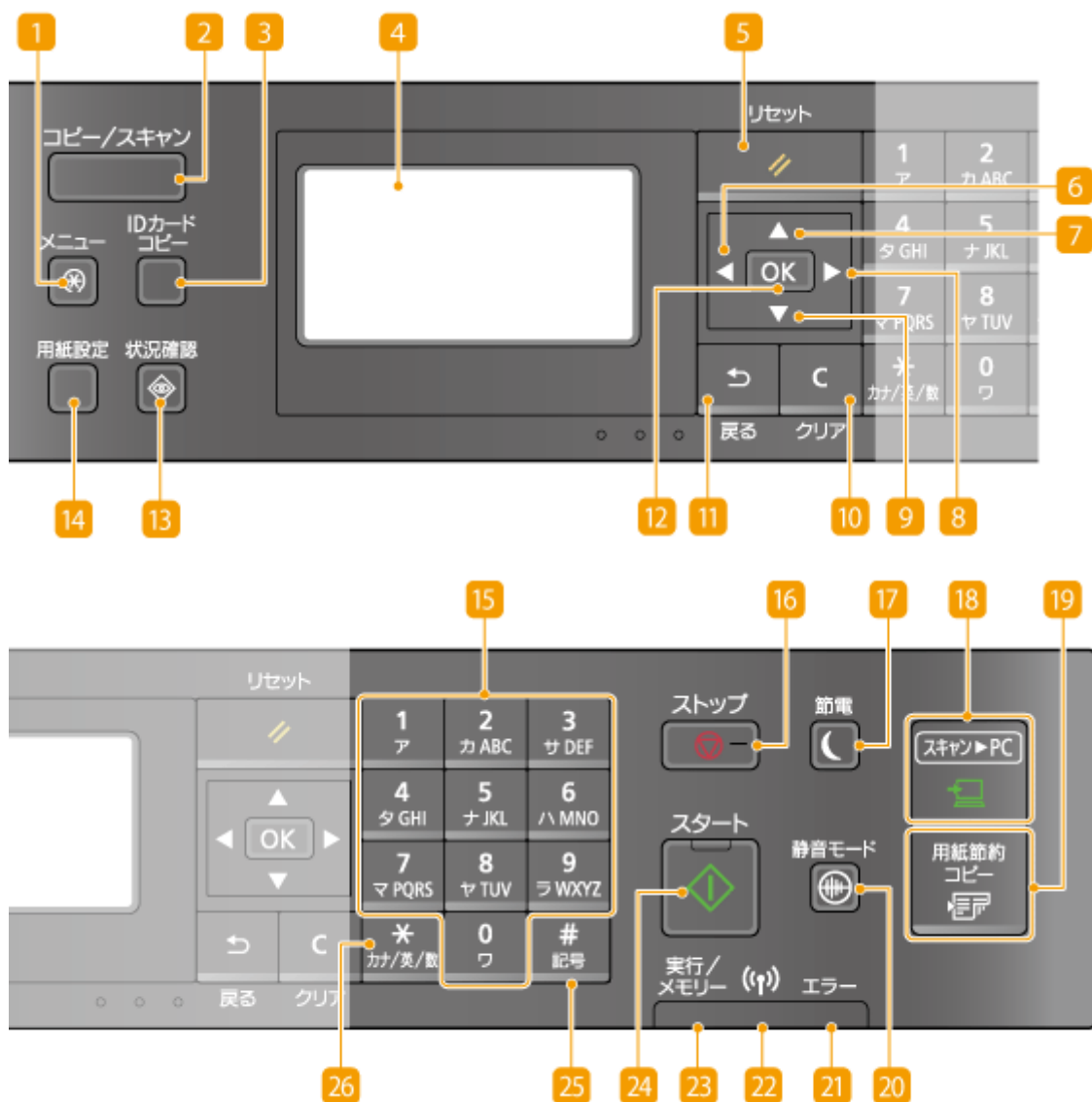
操作パネル

14EH-00F

▶MF244dw / MF242dw(P. 24)

▶MF232w(P. 27)

MF244dw / MF242dw



1 【メニュー】キー

ネットワークや環境の設定など、本機で行う設定の多くはこのキーを押してから始めます。▶**設定メニュー一覧** (P. 295)

2 【コピー/スキャン】キー

コピー機能とスキャン機能を切り替えます。

3 [ID カードコピー] キー

運転免許証や健康保険証など、ID カードの表裏を 1 枚の用紙に割り付けてコピーできます。▶ID カードの表裏を並べてコピーする(P. 87)

4 ディスプレー

コピーやスキャンなどの動作状況、エラー状況などが表示されます。また、設定を行うときもディスプレイを見ながら操作を進めます。▶ディスプレイ(P. 31) ▶操作パネルを使う(P. 35)

5 [リセット] キー

設定を取り消し、設定前の状態に戻します。

6 [◀] キー

- 設定時に押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- 文字入力時に押すと、カーソルが左に移動します。
- 濃度などの値を下げます。

7 [▲] キー

- 設定時に押すと、現在選択している項目より上の項目へ移動します。
- 設定値変更時に押すと、値が上がります。

8 [▶] キー

- 設定時に押すと、次の画面に進みます。
- 文字入力時に押すと、カーソルが右に移動します。
- 濃度などの値を上げます。

9 [▼] キー

- 設定時に押すと、現在選択している項目より下の項目へ移動します。
- 設定値変更時に押すと、値が下がります。

10 [クリア] キー

入力した文字や数字を取り消します。

11 [戻る] キー

現在表示されている画面から 1 つ前の画面に戻ります。たとえば、設定操作をしているときに押すと、設定を確定せずに 1 つ前の画面に戻ることができます。

12 [OK] キー

選択／設定した内容を確定します。

13 「状況確認」キー

印刷状況、IP アドレスなどのネットワーク設定の情報などを確認できます。また、用紙サイズやトナーカートリッジの残量確認、エラー発生状況なども確認できます。▶ディスプレイ(P. 31)

14 「用紙設定」キー

印刷する用紙を選びます。給紙カセットや手差し給紙口にセットした用紙のサイズや種類を設定するときにも押します。▶用紙サイズと種類を設定する(P. 60)

15 テンキー（[0] ～ [9]）

数字や文字を入力します。▶文字を入力する(P. 37)

16 「ストップ」キー

コピーやスキャンなどの動作を中止します。

17 「節電」キー

スリープモード（節電状態）にします。スリープモード中はキーが緑色に点灯し、キーを再度押すとスリープモードが解除されます。▶スリープモードにする(P. 66)

18 「スキャン→PC」キー

かんたんな操作で登録されたコンピューターに読み込んだデータを送信します。▶「スキャン→PC」キーを使ってスキャンする(P. 141)

19 「用紙節約コピー」キー

かんたんな操作で集約コピーと両面コピーを同時に行うことができ、用紙の節約効果が上がります。▶「用紙節約コピー」キーを使う（MF244dw / MF242dw）(P. 85)

20 「静音モード」キー

静音モードにします。静音モード中はキーが緑色に点灯し、キーを再度押すと静音モードが解除されます。▶静音モードにする(P. 64)

21 「エラー」ランプ

紙づまりなどのエラーが発生したときに点滅または点灯します。

22 Wi-Fi ランプ

無線 LAN で接続されているときに点灯します。

23 「実行/メモリー」ランプ

通信中、印刷中など、何らかの動作を行っているときに点滅します。処理待ちの文書があるときには点灯します。

24 【スタート】 キー

原稿を読み込んだり、コピーするときに押します。

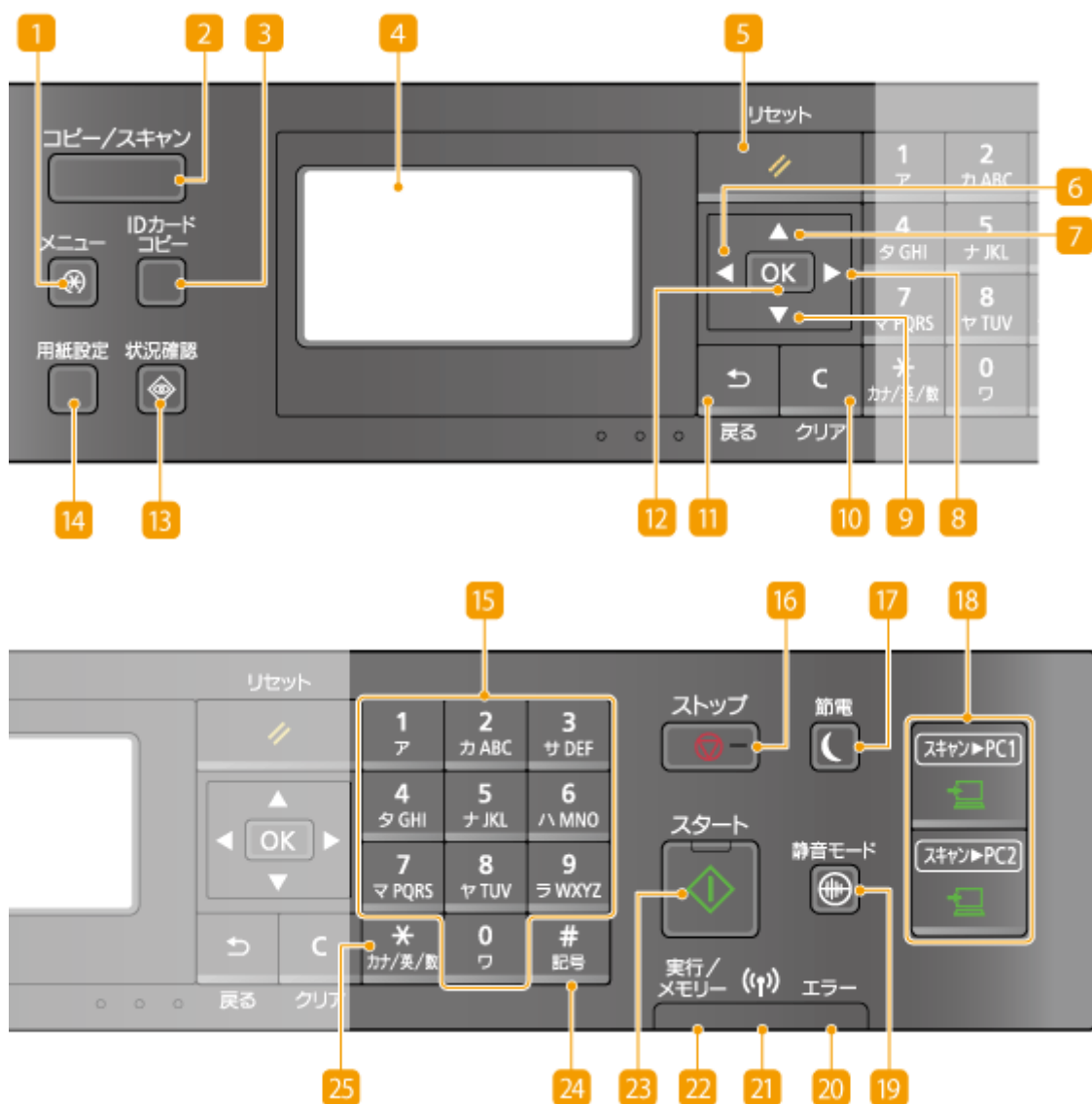
25 【#】 キー

「@」や「/」のような記号を入力するときに押します。

26 【*】 キー

文字の入力モード（数字、カナ、アルファベット）を切り替えます。

■ MF232w

**1** 【メニュー】 キー

ネットワークや環境の設定など、本機で行う設定の多くはこのキーを押してから始めます。▶**設定メニュー一覧 (P. 295)**

2 [コピー/スキャン] キー

コピー機能とスキャン機能を切り替えます。

3 [ID カードコピー] キー

運転免許証や健康保険証など、ID カードの表裏を 1 枚の用紙に割り付けてコピーできます。▶ID カードの表裏を並べてコピーする(P. 87)

4 ディスプレー

コピーやスキャンなどの動作状況、エラー状況などが表示されます。また、設定を行うときもディスプレイを見ながら操作を進めます。▶ディスプレイ(P. 31) ▶操作パネルを使う(P. 35)

5 [リセット] キー

設定を取り消し、設定前の状態に戻します。

6 [◀] キー

- 設定時に押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- 文字入力時に押すと、カーソルが左に移動します。
- 濃度などの値を下げます。

7 [▲] キー

- 設定時に押すと、現在選択している項目より上の項目へ移動します。
- 設定値変更時に押すと、値が上がります。

8 [▶] キー

- 設定時に押すと、次の画面に進みます。
- 文字入力時に押すと、カーソルが右に移動します。
- 濃度などの値を上げます。

9 [▼] キー

- 設定時に押すと、現在選択している項目より下の項目へ移動します。
- 設定値変更時に押すと、値が下がります。

10 [クリア] キー

入力した文字や数字を取り消します。

11 [戻る] キー

現在表示されている画面から 1 つ前の画面に戻ります。たとえば、設定操作をしているときに押すと、設定を確定せずに 1 つ前の画面に戻ることができます。

12 [OK] キー

選択／設定した内容を確定します。

13 [状況確認] キー

印刷状況、IP アドレスなどのネットワーク設定の情報などを確認できます。また、用紙サイズやトナーカートリッジの残量確認、エラー発生状況なども確認できます。▶ディスプレイ(P. 31)

14 [用紙設定] キー

印刷する用紙を選びます。給紙カセットや手差し給紙口にセットした用紙のサイズや種類を設定するときにも押します。▶用紙サイズと種類を設定する(P. 60)

15 テンキー ([0] ～ [9])

数字や文字を入力します。▶文字を入力する(P. 37)

16 [ストップ] キー

コピーやスキャンなどの動作を中止します。

17 [節電] キー

スリープモード（節電状態）にします。スリープモード中はキーが緑色に点灯し、キーを再度押すとスリープモードが解除されます。▶スリープモードにする(P. 66)

18 [スキャン→PC1] ／ [スキャン→PC2] キー

かんたんな操作で登録されたコンピューターに読み込んだデータを送信します。▶[スキャン→PC] キーを使ってスキャンする(P. 141)

19 [静音モード] キー

静音モードにします。静音モード中はキーが緑色に点灯し、キーを再度押すと静音モードが解除されます。▶静音モードにする(P. 64)

20 [エラー] ランプ

紙づまりなどのエラーが発生したときに点滅または点灯します。

21 Wi-Fi ランプ

無線 LAN で接続されているときに点灯します。

22 [実行/メモリー] ランプ

通信中、印刷中など、何らかの動作を行っているときに点滅します。処理待ちの文書があるときには点灯します。

23 [スタート] キー

原稿を読み込んだり、コピーするときに押します。

24 [#] キー

「@」や「/」のような記号を入力するときに押します。

25 [*] キー

文字の入力モード（数字、カナ、アルファベット）を切り替えます。



関連項目

🔗 操作パネルを使う(P. 35)

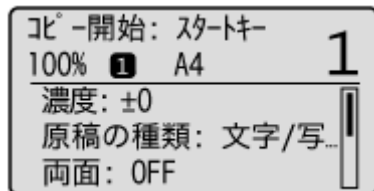
ディスプレイ

14EH-00H

ディスプレイには、コピーやスキャンなど各機能の操作画面だけでなく、設定画面も表示されます。また、エラーメッセージや通信状況などの情報もディスプレイから確認できます。

基本画面

電源を入れたときや、（コピー/スキャン）キーを押すと、コピーまたはスキャンの基本画面が表示されます。

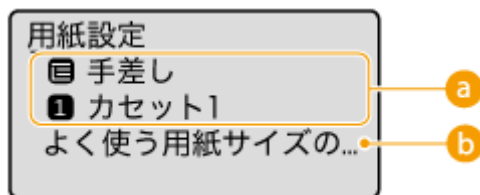


▶コピーの基本操作(P. 71)

▶スキャナーとして使う(P. 135)

<用紙設定>画面

コピーする用紙を選ぶときに （用紙設定）を押すと、<用紙設定>画面が表示されます。印刷したい用紙を選んでください。また、たとえば給紙カセットに今までと異なるサイズ of 用紙をセットしたときは、その用紙サイズも同時に設定しなければなりません、このときも （用紙設定）を押します。なお、用紙サイズは正確に設定しないと正しく動作しません。



a 給紙部ごとの用紙設定

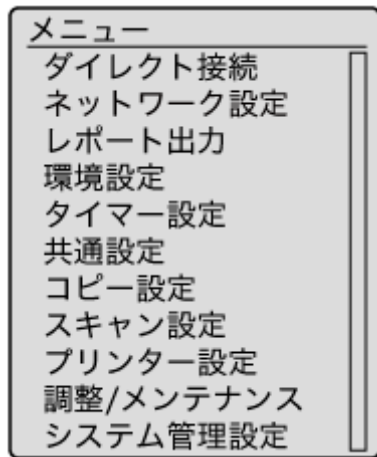
給紙部ごとに使用する用紙を設定します。▶用紙サイズと種類を設定する(P. 60)

b <よく使う用紙サイズの選択>

よく使う用紙サイズだけを表示するように設定できます。

<メニュー>画面

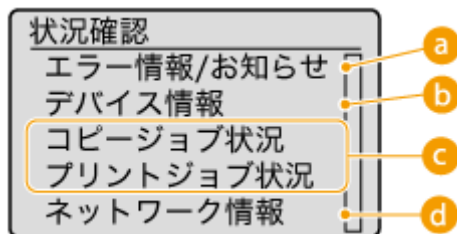
 を押すと、<メニュー>画面が表示されます。<環境設定>や<タイマー設定>などの全般的な設定から、コピーやスキャンなど各機能に関する設定まで、本機で行う設定の多くはこのキーを押してから始めます。



🔴 設定メニュー一覧(P. 295)

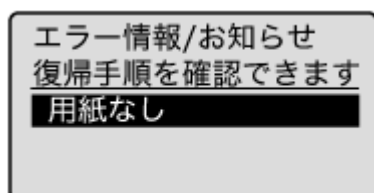
<状況確認>画面

🔍 を押すと、印刷やコピーといった文書の状況だけでなく、トナーカートリッジ残量などの本機の状況や、IP アドレスなどのネットワーク設定の情報も確認できる画面が表示されます。



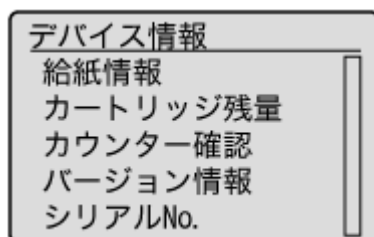
a <エラー情報/お知らせ>

本機に何らかのエラーが発生しているときに、エラーの内容が表示されます。🔴メッセージが表示されたら(P. 350)



b <デバイス情報>

用紙サイズやトナーカートリッジの残量などの本機の状況を確認できます。



<給紙情報>

給紙部ごとに設定されている用紙サイズを表示します。

<カートリッジ残量>

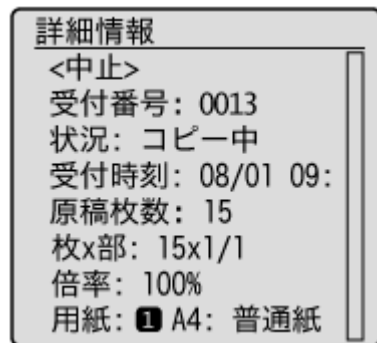
トナーカートリッジの残量を表示します。トナーがなくなる前に他の内部の部品が寿命に達する場合があります。

<カウンター確認>

これまでの総印刷枚数を表示します。●印刷ページ数を確認する(P. 401)

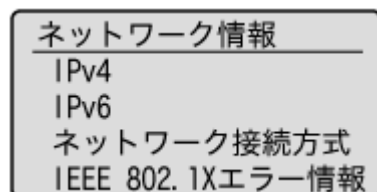
c コピー／プリントジョブの状況

選んだ項目に応じて、現在の状況を表示します。以下の画面は、<コピージョブ状況>の表示例です。



d <ネットワーク情報>

IP アドレスなどのネットワークの設定内容や、無線 LAN の通信状況が良好であるかどうかなどを確認できます。



●ネットワークの設定を確認する(P. 203)

メッセージが表示されたとき

トナーカートリッジが寿命に達したときや、カバーを閉じ忘れたときなどに、画面上部にメッセージが表示されます。メッセージは、図のように交互に切り替わります。



●メッセージが表示されたら(P. 350)

エラーが発生したとき

エラー発生時に対処方法が表示されることがあります。画面の指示に従って操作を進めてください。以下の画面は、紙づまりが発生したときの表示例です (●メッセージが表示されたら(P. 350))。





関連項目

▶ **操作パネルを使う(P. 35)**

操作パネルを使う

14EH-00J

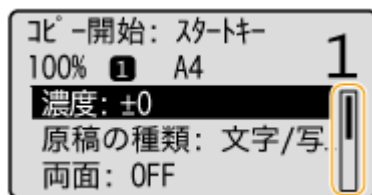
各種機能の設定や設定内容の確認には、以下のキーを操作します。



▲／▼を使う

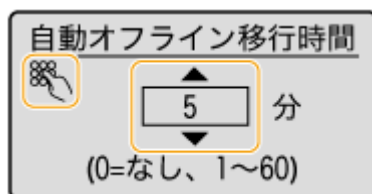
■画面をスクロールする

画面右端にスクロールバーが表示されている場合は、画面に表示しきれない情報がまだあることを示しています。この場合、▲／▼で画面をスクロールしてください。現在選択されている項目は反転して表示されます。



■数値を変更する

数値を変更するときは、▲／▼を使います。画面左上に下図のようなアイコンが表示されているときは、テンキーで直接入力することもできます。▶文字を入力する(P. 37)



入力欄の下に表示されている () 内の数値が入力範囲です。

◀／▶を使う

■次の画面に進む／前の画面に戻る

次の画面に進むときは▶を押します。前の画面に戻るときは◀を押します。

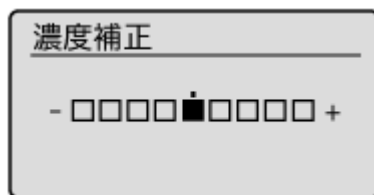


MEMO

次の画面には **OK** を押して進むこともでき、前の画面には **戻る** を押して戻ることもできます。

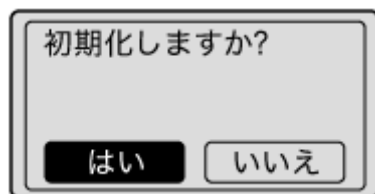
■設定値を調整する

目盛で調整する場合は ◀ / ▶ を使います。



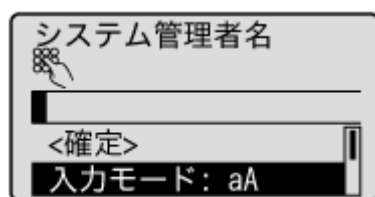
OK を使う

確定するときは **OK** を押します。



テンキーを使う

文字や数字を入力するときはテンキーを使います。🔴文字を入力する(P. 37)



💡 便利な機能

- スクロール速度の変更や表示言語の切り替えなど、画面表示に関する各種設定を変更したい 🔴表示設定(P. 311)
- 本機を一定時間操作しなかったときに自動的に表示される画面を変更したい
 - 🔴オートクリア後の機能(P. 317)

文字を入力する

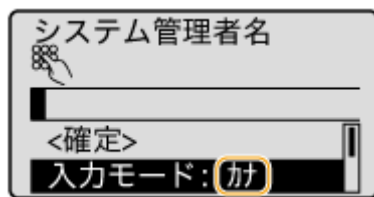
14EH-00K

文字や数字を入力するときはテンキーを使います。なお、テンキーではカタカナと英数字しか入力できません。漢字やひらがなを使いたい場合はリモート UI から入力してください。



文字の種類を切り替える

***** を押すと文字の種類が「カ→aA（英字）→12（数字）」のように切り替わります。



<入力モード>を選択して **OK** を押しても文字の種類を切り替えることができます。

入力できる文字の種類

文字はテンキーとディスプレイで入力します。次の表は、入力できる文字です。

使用するキー	aA	12	カ
1 ア	@.-_ /	1	アイウエオ
2 カ ABC	ABCabc	2	カキケコ
3 サ DEF	DEFdef	3	サシセソ

	GHlghi	4	タチツテトッ
	JKLjkl	5	ナニヌネノ
	MNOmno	6	ハヒフヘホ
	PQRSpqrs	7	マミムメモ
	TUVtuv	8	ヤユヨヤユヨ
	WXYZwxyz	9	ラリルレロ
	(入力不可)	0	ワヲン
	(スペース) -.*#!";,:^`_=/ '?\$@%&+\~()[]{}<> (入力不可)		* (濁音) ° (半濁音) - (ハイフン)



MEMO

入力モードが<aA>のときに  を押すか、<記号入力>を選択して  を押すと、入力できる記号がディスプレイに表示されます。▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーで入力したい記号を選び、 を押して入力します。入力モードが<か>のときは、濁音、半濁音、ハイフンを入力できます。

文字を削除する

 を押すごとに1文字ずつ削除されます。長押しすると、入力した文字がすべて削除されます。

カーソルを移動する（スペースを入力する）

◀ または ▶ を押します。文字の最後にカーソルを合わせて ▶ を押すと、スペースが入力されます。

文字や数字の入力例

入力例：「キャノン Canon-1」

- 1  を繰り返し押し、入力モードを<か>にする
- 2  を繰り返し押し、「キ」を入力する
- 3  を繰り返し押し、「ヤ」を入力する

- 4  を繰り返し押し、「/」を入力する
- 5  を繰り返し押し、「\」を入力する
- 6  を押す
- 7  を繰り返し押し、入力モードを< aA >にする
- 8  を繰り返し押し、「C」を入力する
- 9  を繰り返し押し、「a」を入力する
- 10  を繰り返し押し、「n」を入力する
- 11  を繰り返し押し、「o」を入力する
- 12  を繰り返し押し、「n」を入力する
- 13  を繰り返し押し、「-」を入力する
- 14  を繰り返し押し、入力モードを< 12 >にする
- 15  を押す
- 16 <確定>を選び、 を押す

原稿をセットする

原稿は原稿台ガラスまたはフィーダー（MF244dw）にセットします。原稿台ガラスは、書籍のようにとじてあったり、厚みのある原稿をセットすることができます。フィーダーは、2枚以上の原稿をまとめてセットして連続して読み込むことができます。原稿台ガラスとフィーダーにセットできる原稿の種類と読み取り範囲については、**▶原稿について(P. 429)** および **▶読み取り範囲(P. 430)** を参照してください。



- ▶原稿台ガラスにセットする(P. 41)
- ▶フィーダーにセットする（MF244dw）(P. 41)



乾いた用紙を使用する

原稿にインク、修正液、のりなどが付いているときは、完全に乾かしてからセットしてください。

紙づまりを防ぐには（MF244dw）

次のような原稿は使用しないでください。フィーダー内の紙づまりの原因となります。

- しわや折り目がある原稿
- カーボン紙やカーボンバック紙
- カールした、または巻いた紙
- コート紙
- 破れた原稿
- 薄質半透明紙や薄紙
- ホチキスの針、またはクリップが付いた紙
- 熱転写プリンターで印刷された紙
- OHP フィルム



原稿をより精密に読み込むには（MF244dw）

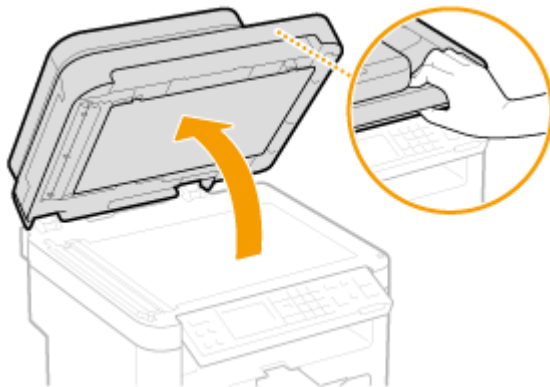
フィーダーにセットした原稿は搬送されながら読み込まれますが、原稿台ガラスにセットした場合は静止した状態で読み込みが行われます。精度の高い読み込みが必要な場合は、原稿台ガラスを使うことをおすすめします。

トレーシングペーパーや OHP フィルムなどを読み込むには（MF244dw）

トレーシングペーパーや OHP フィルムなどの透過原稿を読み込む場合は、原稿台ガラスにセットしてください。

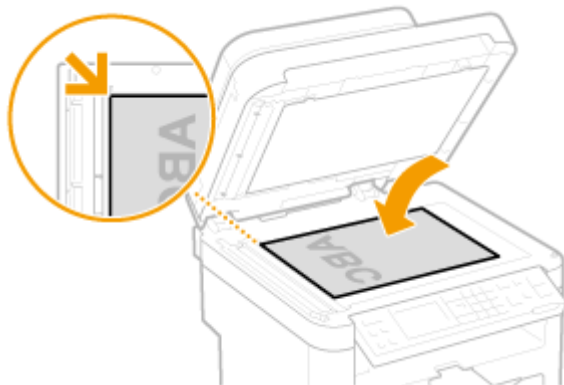
原稿台ガラスにセットする

1 フィーダーまたは原稿台ガラスカバーを開ける



2 読み込む面を下にして、原稿を原稿台ガラスの上に置く

- 原稿の角を原稿台ガラスの左上隅に合わせます。



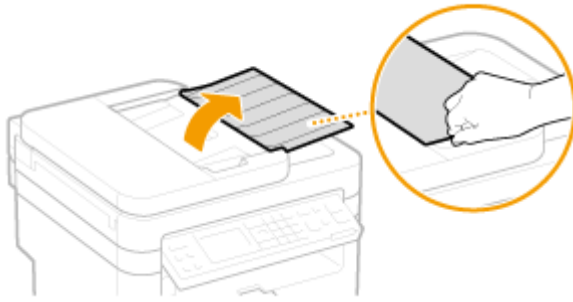
トレーシングペーパーや OHP フィルムなどの透過原稿を読み込む場合は、原稿の上に白紙を重ねて置いてください。

3 フィーダーまたは原稿台ガラスカバーをゆっくり閉じる

- 原稿を読み込む準備ができました。
- 読み込みが完了したら、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

フィーダーにセットする (MF244dw)

1 原稿給紙トレイを開ける



2 原稿ガイドを広げる

- 原稿ガイドの幅を原稿の幅より少し広めにセットします。



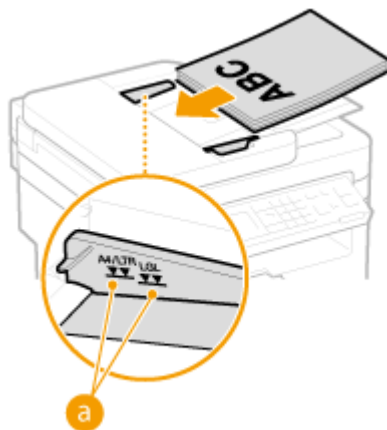
3 原稿をさばいて、端をそろえる

- 少量ずつよくさばき、平らな場所で軽く数回たたいて端をそろえます。



4 読み込む面を上にして、原稿をセットする

- 原稿は積載制限ガイド (a) を超えないようにしてください。





- 異なるサイズ of 原稿を混せてセットしないでください。
- 一度にセットできる原稿は 35 枚までです。それ以上の原稿をセットした場合、読み込まれなかったり、紙づまりの原因となったりします。

5 原稿ガイドを原稿に合わせる

- 原稿ガイドを原稿の幅にぴったり合わせます。



- 原稿を読み込む準備ができました。



原稿ガイドを原稿の幅にぴったり合わせる

- ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、原稿が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になったりします。
- 本製品のプリント結果は、お使いの環境により、紙送り方向の長さに対して最大 1.3 %ずれる（斜めになる）場合があります。プリント結果のずれは、原稿を正しくセットすることで、軽減されることがあります。

原稿を読み込んでいるとき

原稿を追加したり、抜いたりしないでください。

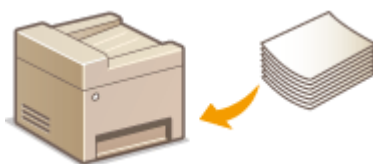
原稿を読み込み終わったら

紙づまりを防ぐために、フィーダーの下に排出された原稿を取り除いてください。

用紙をセットする

14EH-00R

用紙は給紙カセットと手差し給紙口にセットできます。給紙カセットには、普段よく使う用紙をセットしてください。まとまった枚数をセットできるので便利です。給紙カセットにセットされていない用紙を一時的に使うときは手差し給紙口にセットしてください。使用できる用紙のサイズについては、**用紙について(P. 431)** を参照してください。



用紙の種類と本機用の用紙設定

セットする用紙の種類と坪量に応じて、以下の表に従って用紙の設定をしてください。用紙設定の詳細については **用紙サイズと種類を設定する(P. 60)** を、各給紙部にセットできる用紙の枚数については **用紙について(P. 431)** を参照してください。

用紙の種類	用紙の坪量	本機での用紙設定
普通紙	60～89 g/m ²	<普通紙 (60～89 g/m ²)> <普通紙 L (60～89 g/m ²)>*
再生紙	60～89 g/m ²	<再生紙 (60～89 g/m ²)>
色紙	60～89 g/m ²	<色紙 (60～89 g/m ²)>
厚紙	90～120 g/m ²	<厚紙 1 (90～120 g/m ²)>
	121～163 g/m ²	<厚紙 2 (121～163 g/m ²)>
ボンド紙	60～90 g/m ²	<ボンド紙 1 (60～90 g/m ²)>
	91～120 g/m ²	<ボンド紙 2 (91～120 g/m ²)>
	121～163 g/m ²	<ボンド紙 3 (121～163 g/m ²)>
封筒	—	<封筒>
はがき／往復はがき／4 面はがき	—	<はがき>
ラベル紙	—	<ラベル用紙>

* <普通紙 (60～89 g/m²)> に設定して印刷した結果、排紙された用紙がカールするときは <普通紙 L (60～89 g/m²)> に設定して印刷してください。



次の用紙は使用しない

- しわや折り目がある紙
- カールした、または巻いた紙
- 破れた紙
- 湿った紙
- 非常に薄い紙
- 熱転写プリンターで印刷された紙
- 目の粗い紙
- つるつるした紙

用紙の保管方法

- 平らな場所に保管してください。
- 湿気や乾燥を防ぐため、使用するまでは包装したままにしておいてください。
- 用紙が丸まったり折り目が付いたりするような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、多く積み重ねたりしないでください。
- 直射日光の当たる場所、湿度の高い場所、乾燥している場所、使用場所との温度差や湿度差が著しい場所には保管しないでください。



湿った用紙に印刷すると

排紙部周辺から湯気が出たり、操作パネル部の裏面や排紙部に水滴が付くことがあります。これは、トナーを定着するときの熱によって用紙に含まれる水分が蒸発しているためですので、異常ではありません（特に、室温が低い場合に発生しやすくなります）。



関連項目

- 非定型サイズの内紙を登録する（ユーザー設定用紙）（P. 62）

給紙カセットにセットする

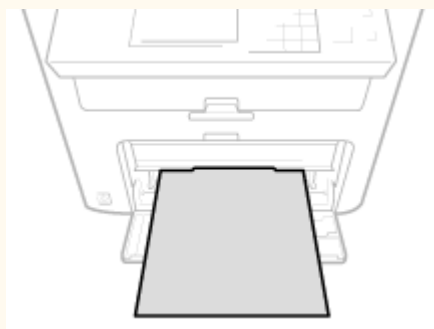
14EH-00S

普段よく使う用紙は、給紙カセットにセットしてください。給紙カセットにセットされていない用紙を使って印刷したいときは、手差し給紙口に用紙をセットします。●手差し給紙口にセットする(P. 51)

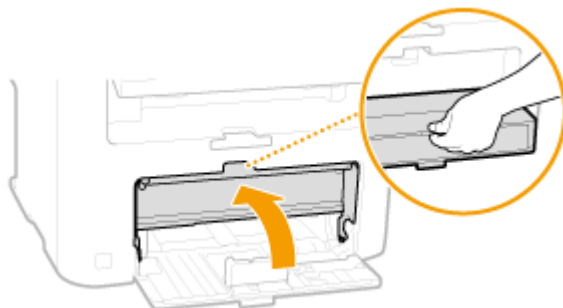


用紙は必ずタテ向きにセットする

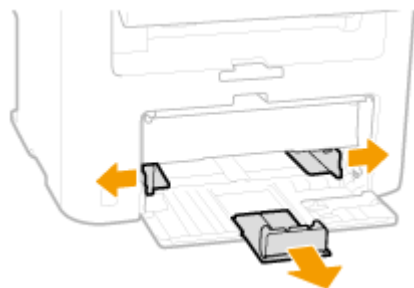
用紙をヨコ向きにセットすることはできません。用紙は必ずタテ向きにセットしてください。



1 用紙カバーを開ける



2 用紙ガイドを広げる



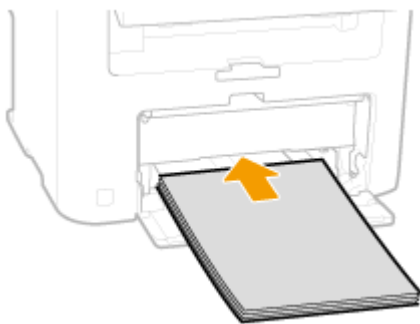
用紙ガイドのサイズ表記について

給紙カセットの用紙ガイドに記載されている略号は、以下の用紙サイズを表わします。

- LGL：リーガル
- LTR：レター
- STMT：ステートメント
- EXEC：エグゼクティブ

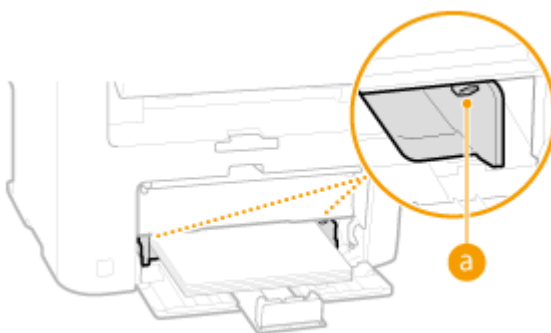
3 用紙を給紙カセットの奥に突き当ててセットする

- プリントする面を上にして用紙の短辺から差し込みます。ヨコ向きにセットすることはできません。
- 用紙をよくさばいて、平らな場所で用紙の端をそろえてからセットしてください。
- <用紙設定の確認表示>が<ON>に設定されている場合、用紙をセットすると、確認画面が表示されます。▶**用紙設定の確認表示(P. 312)**



積載制限ガイドを超えないようにセットする

用紙は積載制限ガイド（a）を超えないようにセットしてください。給紙不良の原因になります。



封筒、はがき、ロゴマーク付きの用紙をセットするときは、▶**封筒・はがきをセットする(P. 54)** または ▶**ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 58)** を参照してください。

4 用紙ガイドを用紙に合わせる

- 用紙ガイドを内側に移動し、用紙の幅にぴったり合わせます。



用紙ガイドを用紙にぴったり合わせる

ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

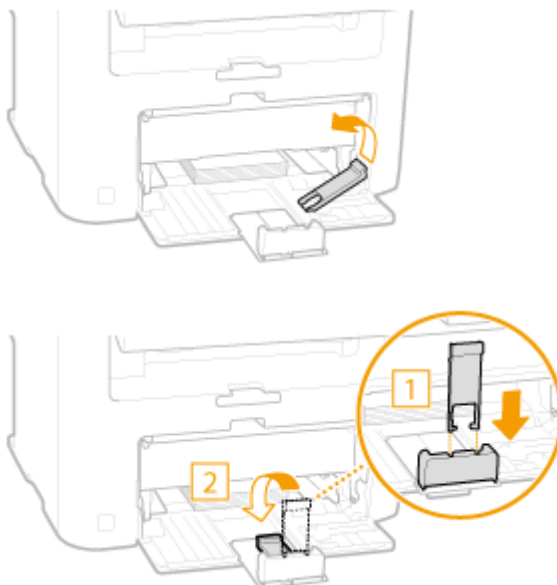
■ はがきなどの小さいサイズの下紙をセットするとき

はがきなどの長さが 187 mm 未満の下紙をセットしたときは、はがきガイドを使って下紙に合わせます。



小さいサイズの下紙には、はがき、封筒のほかに、以下のサイズの下紙が含まれます。
B5、A5、ステートメント、エグゼクティブ、Letter (Government)

1 はがきガイドを給紙カセットから取り外し、手前の用紙ガイドに取り付ける



2 用紙ガイドとはがきガイドを下紙に合わせる

- ガイドを下紙にぴったり合わせます。

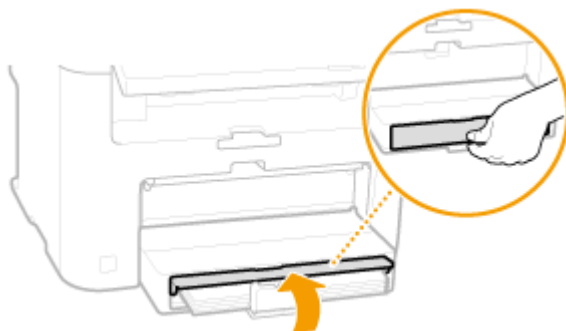


5 用紙カバーを閉める

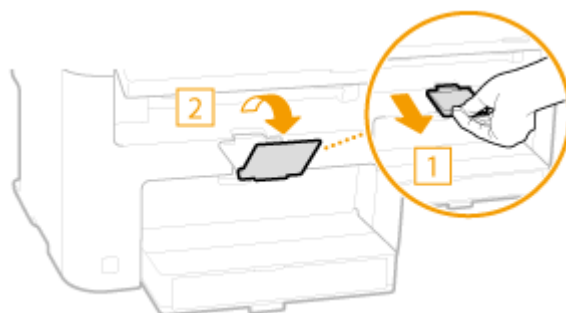


リーガルサイズ用の紙をセットしたときは

用紙ガイドが伸びた状態になるので、前面にあるカバーを開けてから、用紙カバーを閉じてください。



6 排紙ストッパーを引き出して、開く



≫ 続いて、用紙サイズと種類を設定する(P. 60) に進む



用紙サイズや種類を変更したとき

お買い上げ時、用紙サイズは＜A4＞、用紙種類は＜普通紙 (60～89 g/m²)＞に設定されています。用紙サイズや種類を変更したときは、設定も必ず変更してください。変更せずにお使いになると正しく印刷されません。



印刷済み用紙のウラ面に印刷する（手動両面印刷）

一度印刷した用紙のウラ面に印刷することができます。用紙の端を伸ばしてカールを取り、プリントする面を上にして手差し給紙口（手差し給紙口にセットする(P. 51)）にセットしてください。

- 印刷のたびに1枚ずつセットしてください。
- 本機で印刷した用紙のみ使用できます。
- 一度印刷した面の上からさらに印刷することはできません。
- A5 サイズの用紙にウラ面印刷した場合、正しく印刷できないことがあります。



関連項目

 [用紙について\(P. 431\)](#)

手差し給紙口にセットする

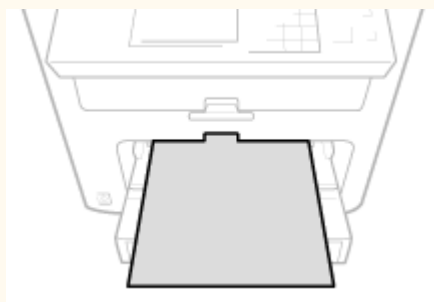
14EH-00U

給紙カセットにセットされていない用紙を使って印刷したいときは手差し給紙口にセットします。普段よく使う用紙は、給紙カセットにセットしてください。●給紙カセットにセットする(P. 46)

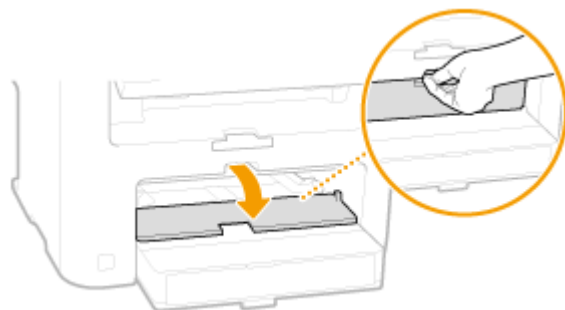


用紙は必ずタテ向きにセットする

用紙をヨコ向きにセットすることはできません。用紙は必ずタテ向きにセットしてください。

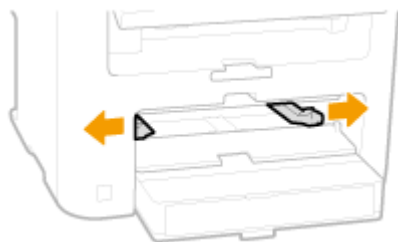


1 手差しカバーを開ける



2 用紙ガイドを広げる

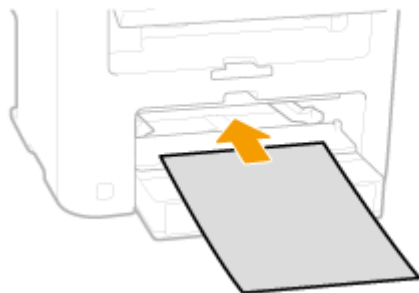
- 用紙ガイドを外側へ広げます。



3 用紙を奥に突き当たるまで差し込む

- プリントする面を上にして用紙の短辺から差し込みます。ヨコ向きにセットすることはできません。

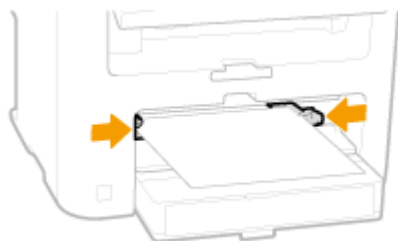
- <用紙設定の確認表示>が< ON >に設定されている場合、用紙をセットすると、確認画面が表示されます。▶**用紙設定の確認表示(P. 312)**



封筒、はがきやロゴマーク付きの用紙をセットするときは、▶**封筒・はがきをセットする(P. 54)** または ▶**ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 58)** を参照してください。

4 用紙ガイドを用紙に合わせる

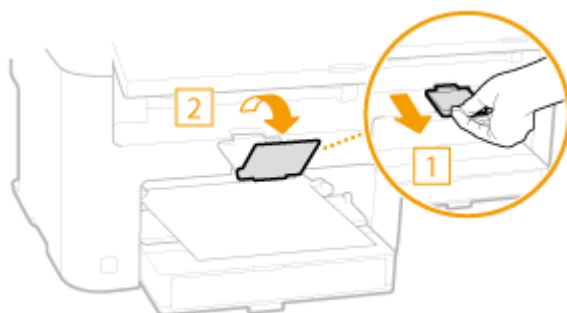
- 用紙ガイドを内側に移動し、用紙の幅にぴったり合わせます。



用紙ガイドを用紙の幅にぴったり合わせる

ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

5 排紙ストッパーを引き出して、開く



≫ 続いて、📄用紙サイズと種類を設定する(P. 60) に進む

封筒・はがきをセットする

14EH-00W

封筒やはがきをセットするときは、カールを取るなどの準備作業を確実に行う必要があります。また、セットする面や向きにも注意が必要です。

- 封筒をセットする(P. 54)
- はがきをセットする(P. 56)



ここでは、封筒をセットする前に行う準備と、封筒やはがきをセットする際の正しい向きについて説明しています。給紙力セットや手差し給紙口にセットするときの全体的な手順については、以下を参照してください。

- 給紙力セットにセットする(P. 46)
- 手差し給紙口にセットする(P. 51)

封筒をセットする

■封筒をセットする前に

セットする前に、以下の手順で封筒を整えてください。



手差し給紙口に一度にセットできる封筒は1枚だけです。ただし、以下の手順1～4の準備は必要です。

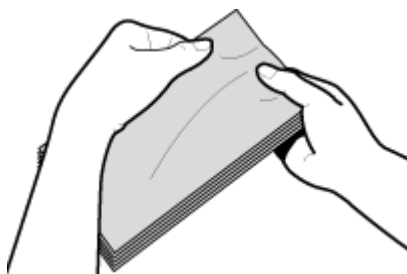
1 ふたを閉じる



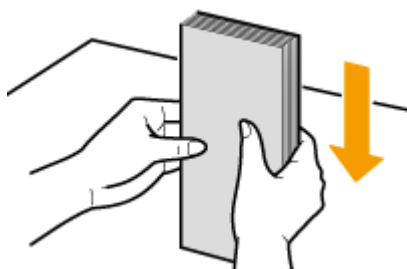
2 上から押して空気を抜き、四辺の折り目をしっかり付けたあと、平らにならす



3 四隅の固い部分をほぐすようにしてカールを取る



4 平らな場所でそろえる



■セットする向き

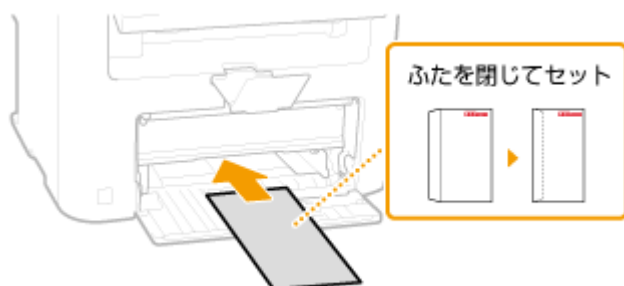
貼り合わせのない面（オモテ面）を上にして、封筒の短辺から差し込み、タテ向きでセットします。



給紙カセットでも手差し給紙口でも、同じ向きにセットします。

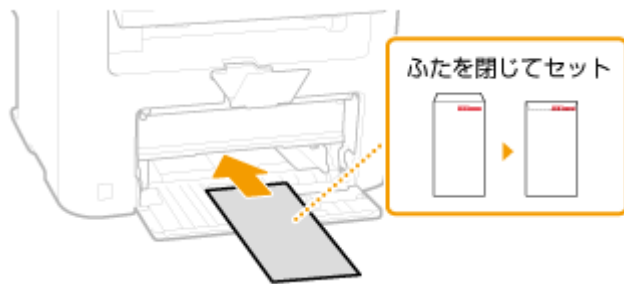
封筒 洋形長3号

封筒のふたが左側になるようにセットします。



封筒 長形3号

封筒のふたが奥側になるようにセットします。



はがきをセットする



- はがきの自動両面印刷はできません。両面印刷するときは、まず片面を印刷してから反対面を印刷してください。
- はがきはカールを取ってからセットしてください。カールしたままでは、斜めに印刷されたり、画像がゆがんで印刷されたりすることがあります。

■セットする向き

プリントする面を上にして、はがきの短辺から差し込み、タテ向きでセットします。

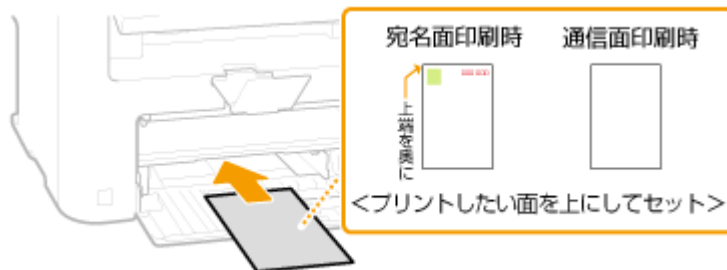


給紙カセットでも手差し給紙口でも、同じ向きにセットします。

はがき

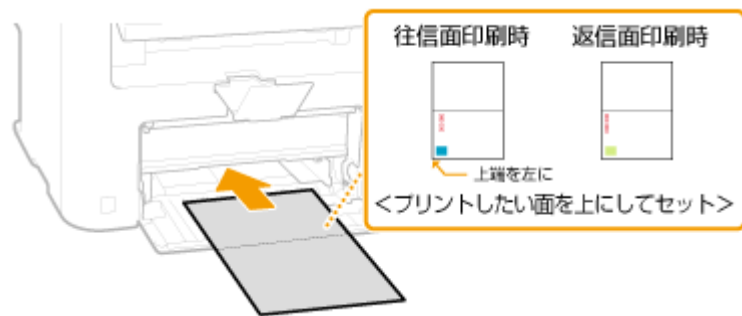
はがきの上端が奥側になるようにセットします。

- 4面はがきの場合も、プリントする面を上にして、上端が奥側になるようにセットします。



往復はがき

はがきを広げた状態で上端が左側になるようにセットします。



ロゴなどが印刷された用紙をセットする

ロゴマークなどが印刷されている用紙を使うときは、用紙の向きに注意する必要があります。ロゴマークなどがある面に正しい向きで文書を印刷するために、レイアウトや印刷のしかたに応じて用紙をセットしてください。



- ▶ロゴ入り用紙に片面印刷する(P. 58)
- ▶ロゴ入り用紙に両面印刷する (MF244dw / MF242dw) (P. 59)



ここでは、ロゴマークなどが印刷された用紙をセットするときの正しい向きについて説明しています。用紙を給紙力セットや手差し給紙口にセットするときの全体的な手順については、以下を参照してください。

- ▶給紙力セットにセットする(P. 46)
- ▶手差し給紙口にセットする(P. 51)

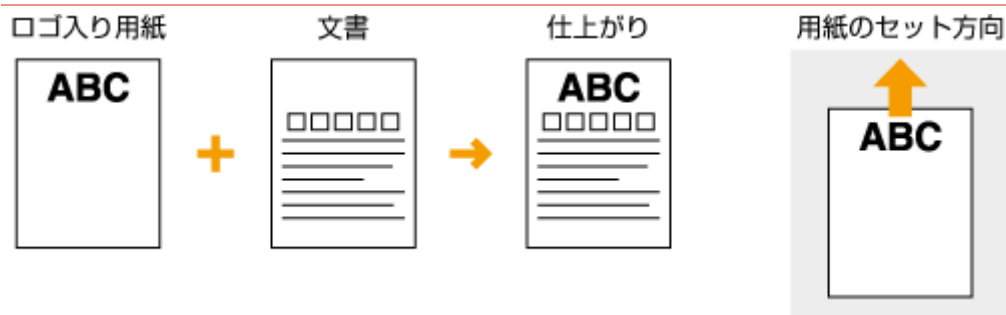
ロゴ入り用紙に片面印刷する

ロゴのある面（文書を印刷する面）を上向きにセットしてください。

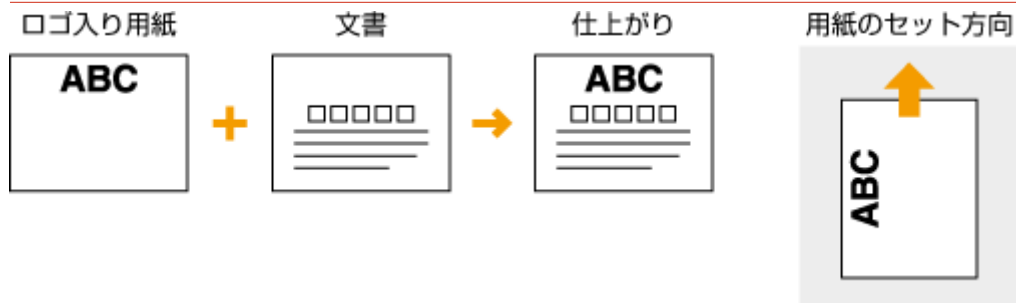


手差し給紙口に一度にセットできる用紙は1枚だけです。

タテ向きのロゴ入り用紙に印刷する



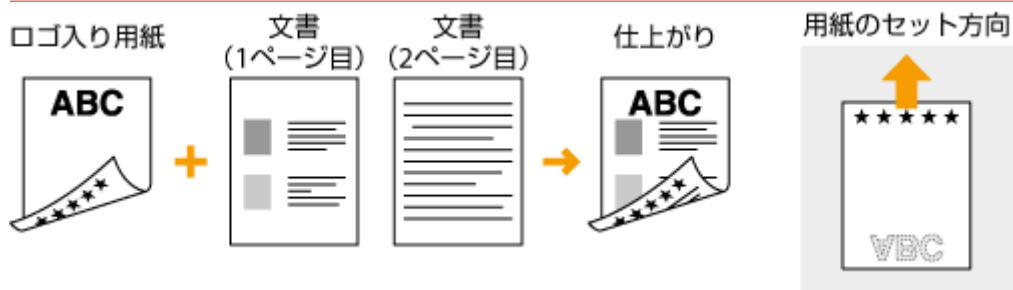
ヨコ向きのロゴ入り用紙に印刷する



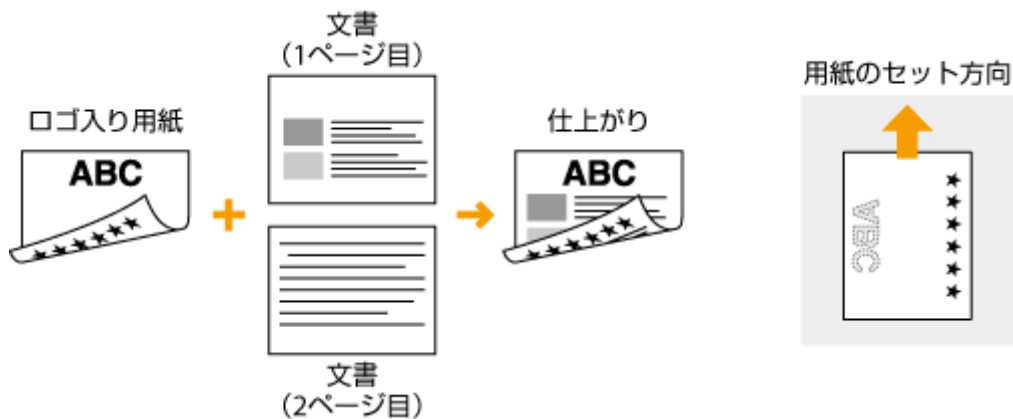
ロゴ入り用紙に両面印刷する（MF244dw / MF242dw）

ロゴのある面（文書の 1 ページ目を印刷する面）を下向きにセットしてください。

タテ向きのロゴ入り用紙に印刷する



ヨコ向きのロゴ入り用紙に印刷する



<給紙方法切替> 設定について（MF244dw / MF242dw）

ロゴ入り用紙に片面印刷するときと両面印刷するときでは、用紙のセット面を変える必要がありますが、<給紙方法切替>を<プリント面優先>に設定すると、片面印刷時のセット面を両面印刷と同じ（ロゴのある面を下向き）にすることができます。片面印刷と両面印刷をひんぱんに使い分ける場合に設定しておくくと便利です。●給紙方法切替 (P. 319)

用紙サイズと種類を設定する

14EH-00Y

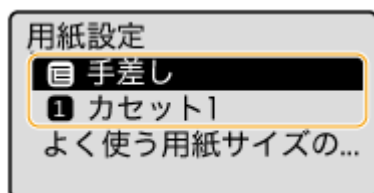
セットした用紙に合わせて用紙サイズと種類を設定する必要があります。今までセットされていた用紙と異なる用紙をセットした場合も、忘れずに設定を変更してください。



セットした用紙と設定が一致していないと、正しく印刷できないだけでなく、紙づまりや印刷不良の原因となります。

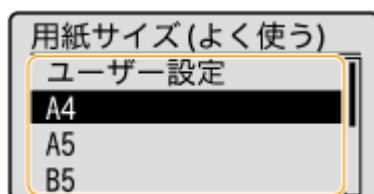
1  (用紙設定) を押す

2 ▲／▼ で<手差し>または<カセット 1>を選び、 を押す

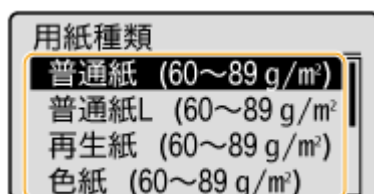


3 用紙サイズを選び、 を押す

- セットした用紙サイズが表示されていないときは、<その他のサイズ>を選びます。



4 用紙の種類を選び、 を押す

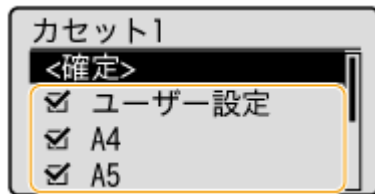


よく使う用紙サイズが決まっているときは

よく使う用紙サイズだけを選択画面に表示させることができます。

1  (用紙設定) を押す

- 2 <よく使う用紙サイズを選択>を選び、**OK** を押す
- 3 <手差し>または<カセット 1>を選び、**OK** を押す
- 4 よく使う用紙サイズを選び、**OK** を押してチェックを付ける



チェックしていない用紙サイズは、<用紙サイズ(その他)>画面に表示されます。

- 5 <確定>を選び、**OK** を押す



関連項目

- ▶ 給紙カセットにセットする(P. 46)
- ▶ 用紙について(P. 431)

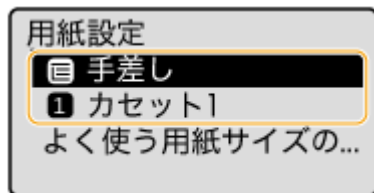
非定型サイズの内紙を登録する（ユーザー設定用紙）

14EH-010

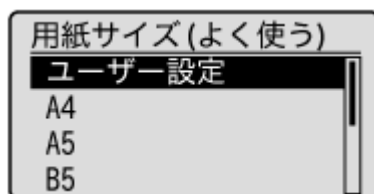
定型サイズ以外の内紙で、よく使うサイズを給紙カセットと手差し給紙口に1つずつ登録できます。

1 （用紙設定）を押す

2 ▲／▼で<手差し>または<カセット1>を選び、を押す



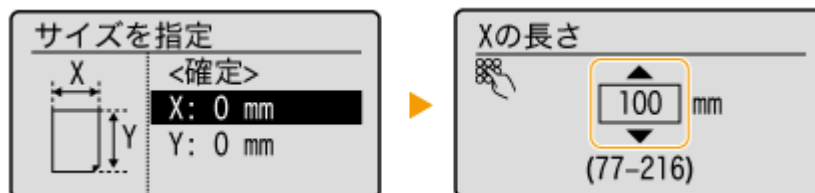
3 <ユーザー設定>を選び、を押す



4 用紙のサイズを設定する

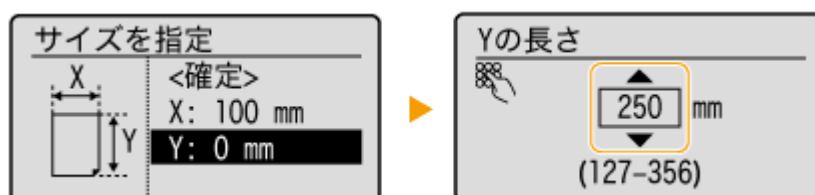
1 <X>辺（短辺）の長さを設定する

- <X>を選び、を押します。
- ▲／▼またはテンキーで<X>辺の長さを入力し、を押します。



2 <Y>辺（長辺）の長さを設定する

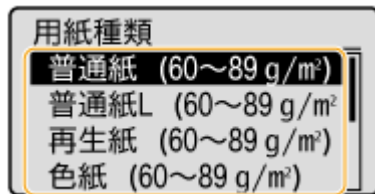
- <Y>を選び、を押します。
- <Y>辺の長さを入力し、を押します。



3 <確定>を選び、を押す



5 用紙の種類を選び、**OK** を押す



関連項目

- 給紙カセットにセットする(P. 46)
- 手差し給紙口にセットする(P. 51)

静音モードにする

14EH-011

静音モードは、本機の動作音を抑える機能です。たとえば、夜間に使用しているときに動作音が気になる場合、操作パネルの  を押してください。これだけの操作で、かんたんに動作音を小さくできます。なお、時間を指定して自動的に静音モードに移行させることもできます。



MEMO

状態を確認するには

静音モードにすると、 が緑色に点灯します。

静音モードを有効にした場合

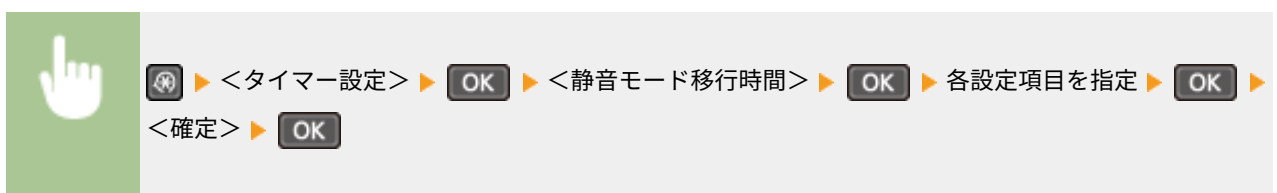
各機能の動作が遅くなります。

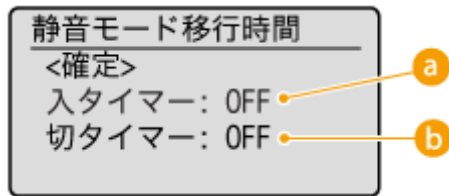
静音モードにならない場合

- 特殊印字モードを設定しているとき
- 特定の用紙サイズや用紙種類を設定しているとき

時間を指定して静音モードにする

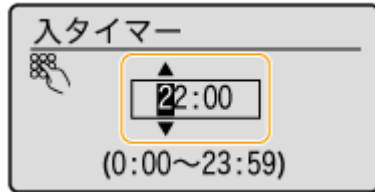
静音モードへ自動的に移行したり、解除したりする時間が設定できます。たとえば、深夜だけ稼働音を抑えたいときなどに便利です。





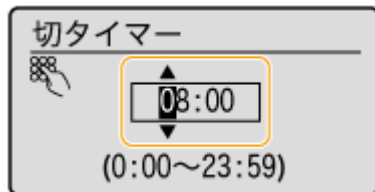
a <入タイマー>

静音モードに移行する時間を設定します。設定する場合は< ON >を選んで **OK** を押したあと、時刻を設定します。



b <切タイマー>

静音モードを解除する時間を設定します。設定する場合は< ON >を選んで **OK** を押したあと、時刻を設定します。



静音モードを解除するとき

 を押します。

スリープモードにする

スリープモードは、本体内部の動作を一部休止して消費電力量を抑える機能です。たとえば、昼休みなどで本機をしばらく使わない場合、操作パネルの  を押してください。これだけの操作で、かんたんに節電できます。なお、一定時間何の操作も行わないと、自動的にスリープモードとなるオートスリープもあります。



MEMO

状態を確認するには

スリープモード時は、 が緑色に点灯します。

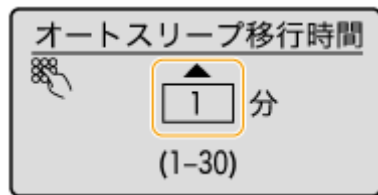
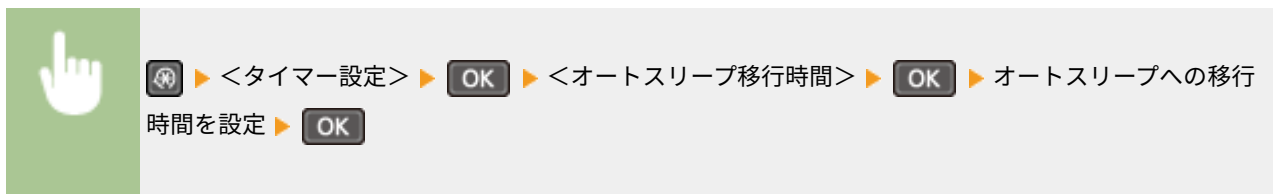
スリープモードにならない場合

- 本機で何らかの操作をしている
- [実行/メモリー] ランプが点灯または点滅している
- フィーダーに原稿をセットしている
- 調整中やクリーニング中など、本機が動作中
- 紙づまりが発生している
- メニュー画面が表示されている
- エラーメッセージが表示されている（例外もあり、スリープモードになることもあります。）
- 無線 LAN またはダイレクト接続の接続待機中

オートスリープにする

お買い上げ時、オートスリープに移行するまでの時間は次のように設定されています。効果的な節電のためにそのままの設定でお使いになることをおすすめしますが、時間を変更する場合は以下の手順に従ってください。

- 1 分（設定範囲は 1～30 分）



スリープモードを解除するとき

操作パネルのどのキーを押しても、解除できます。

コピーする

コピーする	69
コピーの基本操作	71
コピーを中止する	73
いろいろなコピー設定	75
拡大／縮小する	76
原稿の種類を選ぶ	77
濃度を調整する	78
鮮明にする（シャープネス）	79
両面にコピーする（MF244dw / MF242dw）	81
複数の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（集約コピー）	83
[用紙節約コピー] キーを使う（MF244dw / MF242dw）	85
ID カードの表裏を並べてコピーする	87
ページ順に仕分ける（ソート）	89
よく使うコピー設定にする（初期値の変更）	90

コピーする

14EH-013

基本的なコピーの使いかたのほかに、両面コピーやIDカードコピーなど、さまざまな場面で役立つコピーの機能を紹介しています。

■基本操作をご紹介

- ▶コピーの基本操作(P. 71)
- ▶コピーを中止する(P. 73)

■用途に応じて選べる便利な設定



▶拡大／縮小する(P. 76)



▶ページ順に仕分ける (ソート)
(P. 89)



▶原稿の種類を選ぶ(P. 77)



▶濃度を調整する(P. 78)



▶鮮明にする (シャープネス) (P. 79)



▶両面にコピーする (MF244dw /
MF242dw) (P. 81)



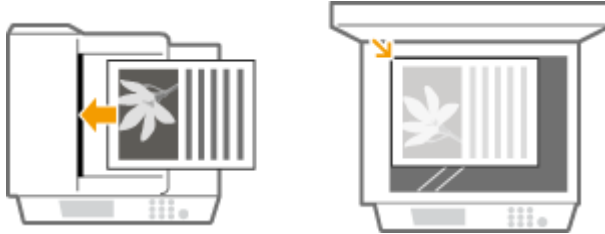
- ▶ 複数の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（集約コピー） (P. 83)
- ▶ [用紙節約コピー] キーを使う (MF244dw / MF242dw) (P. 85)
- ▶ ID カードの表裏を並べてコピーする (P. 87)

■「いつものコピー」をもっとかんたんに

- ▶ よく使うコピー設定にする（初期値の変更） (P. 90)

コピーの基本操作

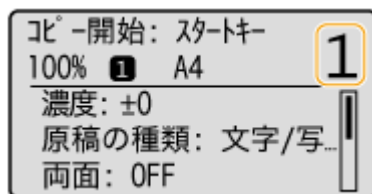
1 原稿をセットする ●原稿をセットする(P. 40)



2 [コピー/スキャン] を押す

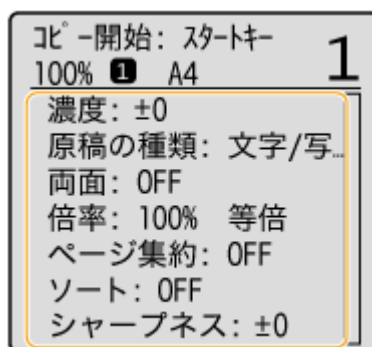
3 テンキーで必要なコピー枚数を入力する

- 1～999 まで入力できます。
- 間違って入力したときは [C] を押してください。



4 用途に応じてコピー設定をする

- 設定する項目を選択します。 ●いろいろなコピー設定(P. 75)



5 [スタート] を押す

- コピーが開始されます。
- 中止したいときは、<中止> ► [OK] ► <はい> ► [OK] の順に選択します。 ●コピーを中止する(P. 73)

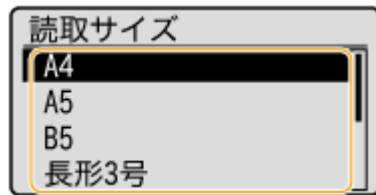
■手順 1 でフィーダーに原稿をセットした場合 (MF244dw)

原稿が自動で読み込まれます。

■手順 1 で原稿台ガラスに原稿をセットした場合

設定によっては、 を押した後に原稿サイズを選ぶ画面が表示されます。以下の手順に従ってください。

1 原稿のサイズを選び、 を押す



2 原稿台ガラスに次の原稿をセットし、 を押す

- すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。

3 <コピー開始>を選び、 を押す



画面に<用紙と設定サイズが不一致>と表示されたとき

●メッセージが表示されたら(P. 350)



余白なく用紙いっぱいに文字や画像がある原稿をコピーしたとき

コピー画像の周囲が欠けることがあります。欠け幅については ●読み取り範囲(P. 430) を参照してください。



便利な機能

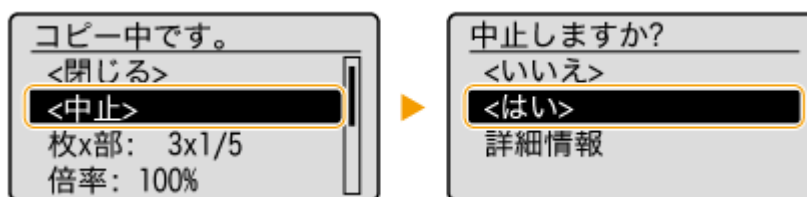
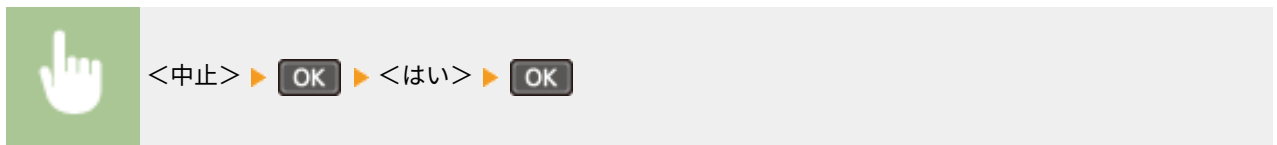
いつも同じ設定でコピーしたい ●よく使うコピー設定にする（初期値の変更）(P. 90)

コピーを中止する

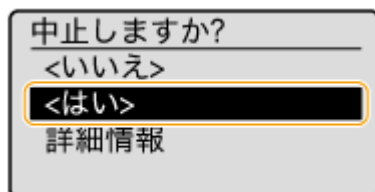
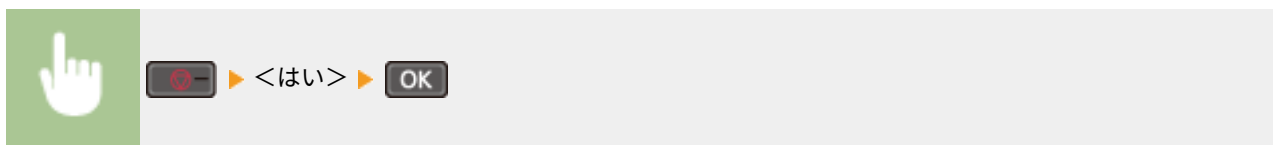
14EH-015

 を押した直後にコピーを中止するときは、＜中止＞を選んで  を押すか、操作パネルの  を押します。なお、コピー状況を確認してから中止することもできます。

■コピー中の画面で＜中止＞を選ぶ

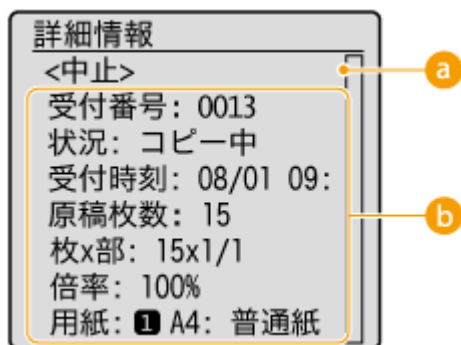


■ で中止する



■ で中止する





a <中止>

コピーを中止します。

b コピーの詳細情報

コピー部数や設定内容など、詳細情報が表示されます。コピーは中止しないで、詳細情報だけ確認する場合は、を押すとコピーの基本画面に戻ります。



関連項目

▶ **コピーの基本操作(P. 71)**

いろいろなコピー設定

14EH-016

用紙を節約したい、会議の資料を見やすくしたいなど、必要に応じてさまざまなコピー設定を使い分けてみましょう。



▶ 拡大／縮小する(P. 76)



▶ 原稿の種類を選ぶ(P. 77)



▶ 濃度を調整する(P. 78)



▶ 鮮明にする（シャープネス）(P. 79)



▶ 両面にコピーする（MF244dw / MF242dw）(P. 81)



▶ 複数の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（集約コピー）(P. 83)



▶ [用紙節約コピー] キーを使う（MF244dw / MF242dw）(P. 85)



▶ ID カードの表裏を並べてコピーする (P. 87)



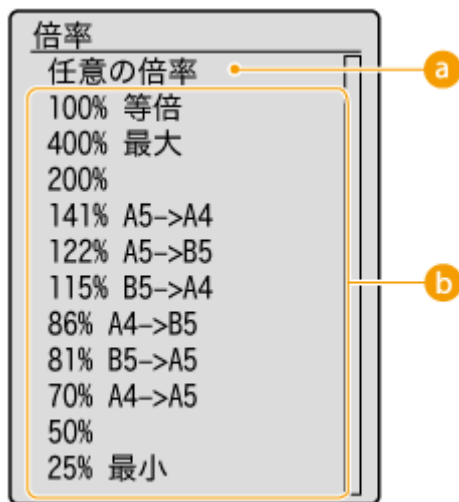
▶ ページ順に仕分ける（ソート）(P. 89)

拡大／縮小する

14EH-017

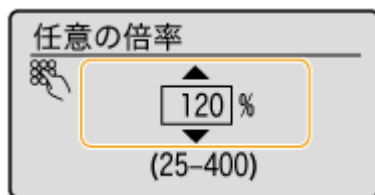


< A5→A4 >などの定型サイズ変倍だけでなく、1%刻みで任意の倍率を指定して拡大／縮小できます。



a <任意の倍率>

▲ / ▼ またはテンキーで倍率を入力し、**OK** を押します。倍率は 25～400%まで 1%刻みで設定できます。



b 定型サイズ変倍

設定したい倍率を選びます。



関連項目

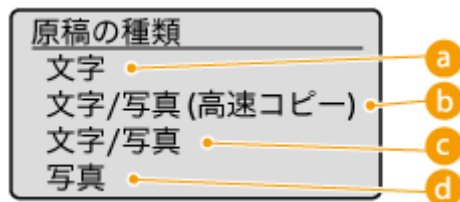
● コピーの基本操作(P. 71)

原稿の種類を選ぶ

14EH-018



文字だけしかない論文、図表が多用されている企画書、雑誌から切り抜かれた写真など、原稿の種類に合わせて、コピーの画質を選ぶことができます。



a <文字>

文字だけの文書をコピーするときに使います。

b <文字/写真(高速コピー)>

文字と写真が混在した原稿のコピーに適しています。画質よりも速度が優先されます。

c <文字/写真>

文字と写真が混在した原稿のコピーに適しています。

d <写真>

雑誌やパンフレットなどに掲載されている写真をコピーするときに使います。



<文字/写真(高速コピー)>、<文字/写真>、<写真>を選択した場合、<濃度>が<自動濃度>に設定されていると、手動濃度に変更されます。



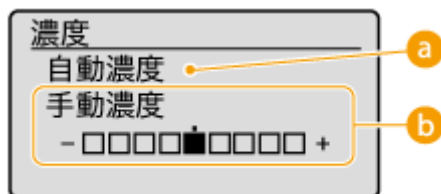
▶ コピーの基本操作(P. 71)

濃度を調整する

14EH-019



原稿の文字や画像が薄い（濃い）場合に、濃度を調整できます。原稿に最適な濃度を自動的に設定することもできます。



a <自動濃度>

原稿に最適な濃度が自動的に設定されます。

<原稿の種類>は自動的に<文字>に設定されます。▶[原稿の種類を選ぶ\(P. 77\)](#)

b <手動濃度>

◀ / ▶ を使って濃度を調整します。



関連項目

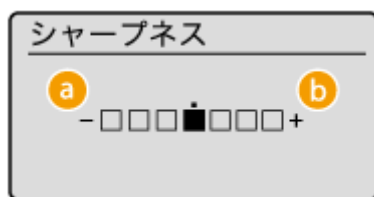
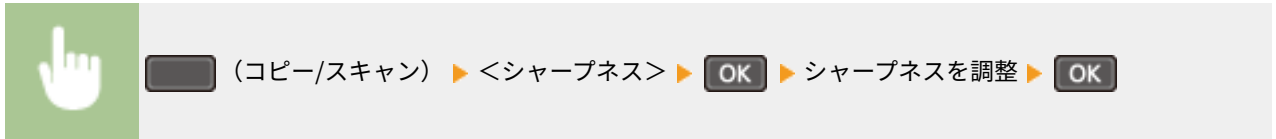
- ▶ [コピーの基本操作\(P. 71\)](#)
- ▶ [鮮明にする（シャープネス）\(P. 79\)](#)
- ▶ [濃度補正\(P. 322\)](#)

鮮明にする（シャープネス）

14EH-01A



原稿の画像のエッジ（周囲）をくっきりさせるように調整してコピーします。ぼやけた文字や線を鮮明にする場合はシャープネスを強くし、写真などの網点原稿をきれいにする場合に逆に弱くします。



a <-> : ◀ を押す

画像がソフトになります。

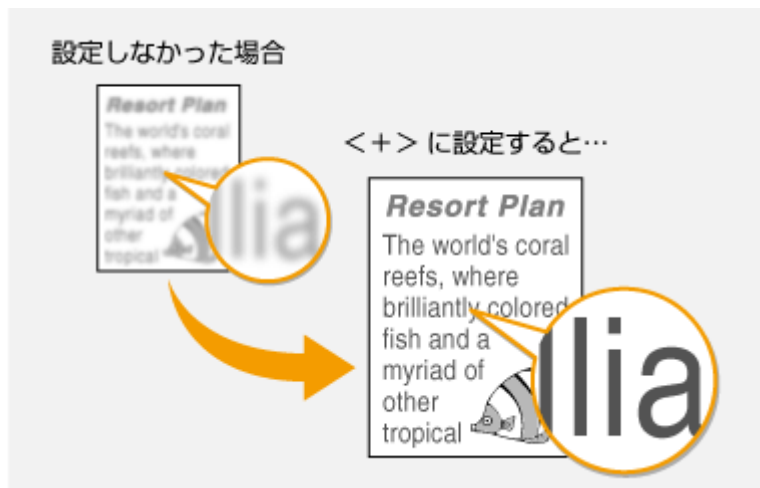
調整例：雑誌の写真を見やすくしたいとき



b <+> : ▶ を押す

画像が鮮明になります。

調整例：鉛筆で書かれた文字や線を鮮明にさせたいとき



関連項目

- ▶ コピーの基本操作(P. 71)
- ▶ 濃度を調整する(P. 78)

両面にコピーする MF244dw / MF242dw

14EH-01C



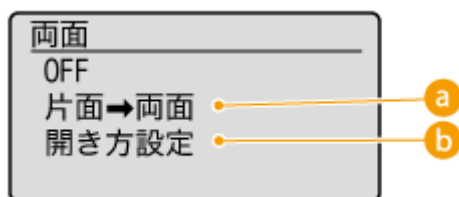
2 枚の片面原稿を用紙のオモテとウラに両面コピーします。

MEMO

- 用紙のサイズや種類によっては、＜両面＞を使用できない場合があります。
▶ **用紙について(P. 431)**
- ＜用紙節約コピー＞または＜ID カードコピー＞と両面コピーをいっしょに使うことはできません。

便利な機能

用紙節約コピー を使えば、1 回の操作で両面コピーと集約コピーを同時に行えます。▶ **〔用紙節約コピー〕キーを使う**
(MF244dw / MF242dw) (P. 85)



a <片面→両面>

表裏とも原稿と同じ向きでコピーします。



b <開き方設定>

同じ位置の体裁が左右開きである原稿を、上下開きにしてコピーしたい場合などに設定します。

■設定例

- タテ原稿を上下開き（短辺とじ）にしたいとき



<開き方設定> ▶ ▶ <片面→両面> ▶ ▶ <縦長原稿> ▶ ▶ <上下開き> ▶

- ヨコ原稿を左右開き（短辺とじ）にしたいとき



<開き方設定> ▶ ▶ <片面→両面> ▶ ▶ <横長原稿> ▶ ▶ <左右開き> ▶

関連項目

- ▶ コピーの基本操作(P. 71)
- ▶ 複数の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（集約コピー）(P. 83)
- ▶ [用紙節約コピー] キーを使う（MF244dw / MF242dw）(P. 85)

複数の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（集約コピー）

14EH-01E



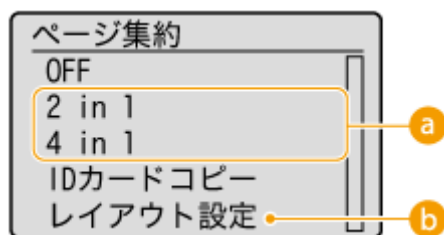
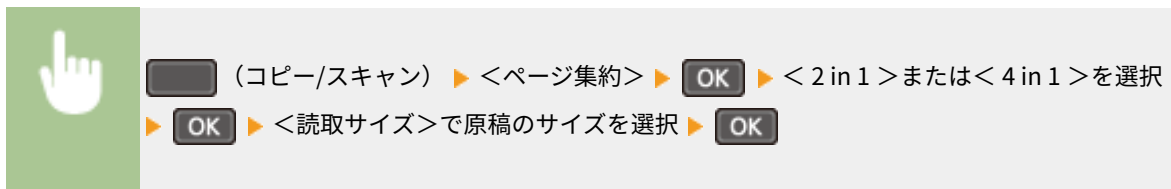
複数の原稿を縮小した状態で 1 枚の用紙にコピーすることを集約コピーといいます。集約コピーには＜2 in 1＞と＜4 in 1＞があり、＜2 in 1＞は 2 枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付け、＜4 in 1＞は 4 枚を 1 枚に割り付けます。

MEMO

- 集約コピーは原稿を自動的に縮小してコピーします（このとき、縮小率が画面に数値表示されます）。を押す前であれば、自動表示された数値をさらに下げて、より縮小することもできます。このとき、数値を上げて拡大すると原稿の一部が欠落することがあります。
- ＜用紙節約コピー＞または＜ID カードコピー＞と集約コピーをいっしょに使うことはできません。
- 複数枚の原稿を縮小して 1 ページにコピーすると、コピーされた画像の周囲に余白ができることがあります。

便利な機能

 **用紙節約コピー** を使えば、1 回の操作で両面コピーと集約コピーを同時に行えます。▶ **〔用紙節約コピー〕キーを使う**
(MF244dw / MF242dw) (P. 85)

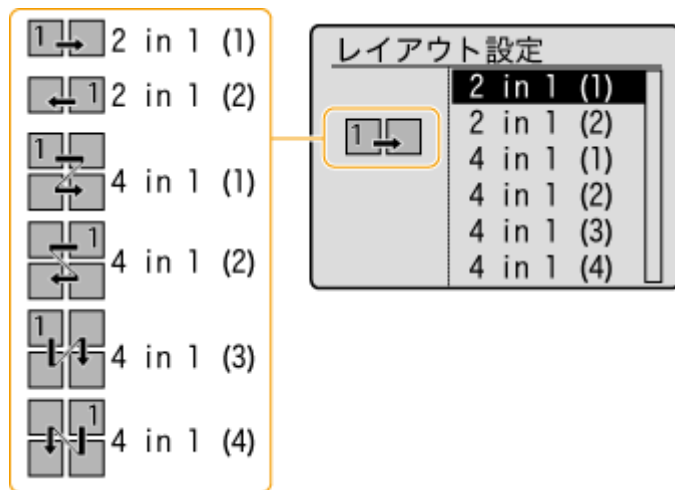


a ＜2 in 1＞／＜4 in 1＞

2 枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付けるときは＜2 in 1＞を、4 枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付けるときは＜4 in 1＞を選びます。

b ＜レイアウト設定＞

1 枚の用紙に複数の原稿をどのように割り付けるのかを設定します。



関連項目

- ▶ コピーの基本操作(P. 71)
- ▶ 両面にコピーする (MF244dw / MF242dw) (P. 81)
- ▶ [用紙節約コピー] キーを使う (MF244dw / MF242dw) (P. 85)

[用紙節約コピー] キーを使う MF244dw / MF242dw

14EH-01F



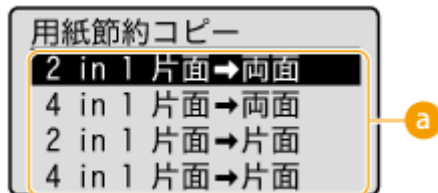
用紙節約コピー を使うと、1回の操作で集約コピーと両面コピーを同時に行うことができ、用紙の節約効果があがります。また、各機能を別々に設定する手間も省けて便利です。

MEMO

- 用紙のサイズや種類によっては、両面に出力する用紙節約コピーを使用できない場合があります。▶ **用紙について(P. 431)**
- <用紙節約コピー>は原稿を自動的に縮小してコピーします（このとき、縮小率が画面に数値表示されます）。
 を押す前であれば、自動表示された数値をさらに下げて、より縮小することもできます。このとき、数値を上げて拡大すると原稿の一部が欠落することがあります。
- 両面コピー、集約コピー、<IDカードコピー>の各機能と<用紙節約コピー>をいっしょに使うことはできません。
- 複数枚の原稿を縮小して1ページにコピーすると、コピーされた画像の周囲に余白ができることがあります。



用紙節約コピー ▶ 用紙節約コピーの種類を選択 ▶ **OK** ▶ <読取サイズ>で原稿のサイズを選択 ▶ **OK**



a 用紙節約コピーの種類

4つの組み合わせから選びます。

	原稿（タテ長）	仕上がり
< 2 in 1 片面→両面 >		
< 4 in 1 片面→両面 >		

< 2 in 1 片面→片面>		
< 4 in 1 片面→片面>		



関連項目

- ▶ コピーの基本操作(P. 71)
- ▶ 両面にコピーする (MF244dw / MF242dw) (P. 81)
- ▶ 複数の原稿を 1 枚の用紙にコピーする (集約コピー) (P. 83)

ID カードの表裏を並べてコピーする

14EH-01H



運転免許証や健康保険証など、ID カードの表裏を 1 枚の用紙に割り付けて等倍コピーします。受付業務で身分証明を複写するときなどに便利です。

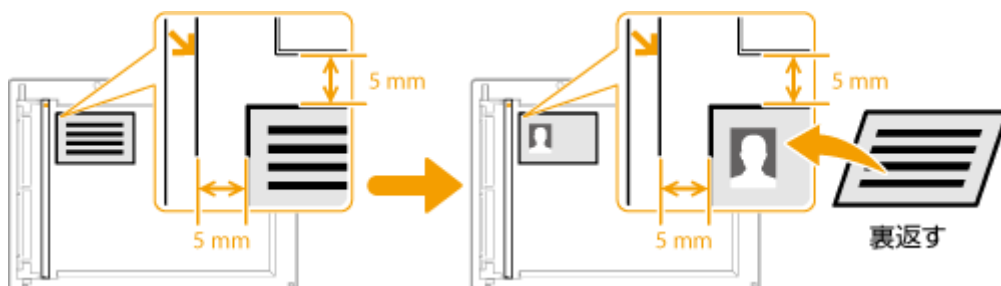
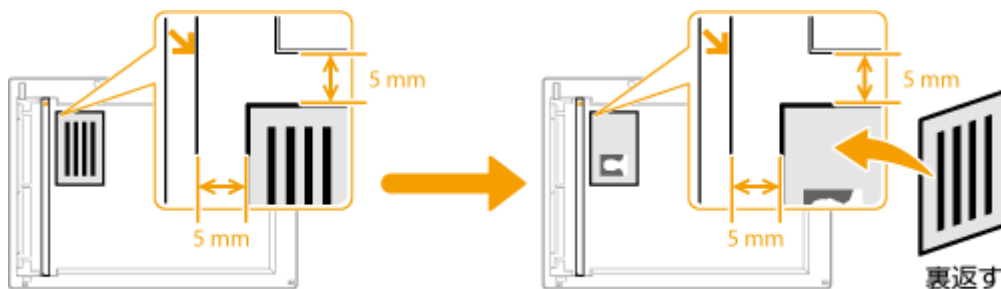
MEMO

- 使用できる用紙サイズは、Letter (Government)、Legal (Government)、はがき、封筒を除く定型サイズです。
- <倍率> は 100% に固定されます。
- 両面コピー、集約コピー、<用紙節約コピー> の各機能と <ID カードコピー> をいっしょに使うことはできません。



カードを置く ▶ (ID カードコピー) ▶ カードを裏返す ▶

■カードの置きかた



MEMO

- 画面に<用紙と設定サイズが不一致>と表示されたとき **メッセージが表示されたら(P. 350)**



関連項目

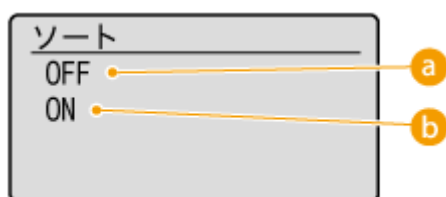
▶ **コピーの基本操作(P. 71)**

ページ順に仕分ける（ソート）

14EH-01J



複数ページの原稿を複数部コピーするときに、＜ソート＞を＜ON＞に設定すると、原稿どおりのページ順で1部ずつ仕分けてコピーされます。会議の配布資料などを作成するときに便利です。



a < OFF >

指定した部数だけページごとにコピーされ、仕分けはされません。たとえば、5ページの原稿を3部コピーすると、「111」「222」「333」「444」「555」の順で排出されます。



b < ON >

原稿のページ順に、1部ずつ仕分けてコピーされます。たとえば、5ページの原稿を3部コピーすると、「12345」「12345」「12345」の順で排出されます。



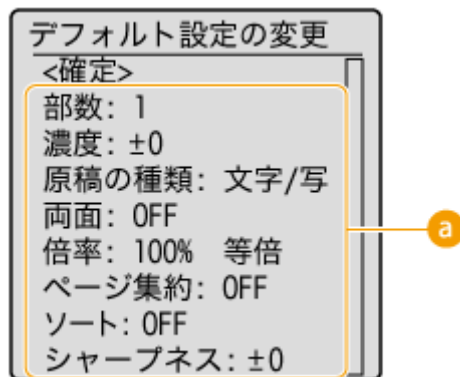
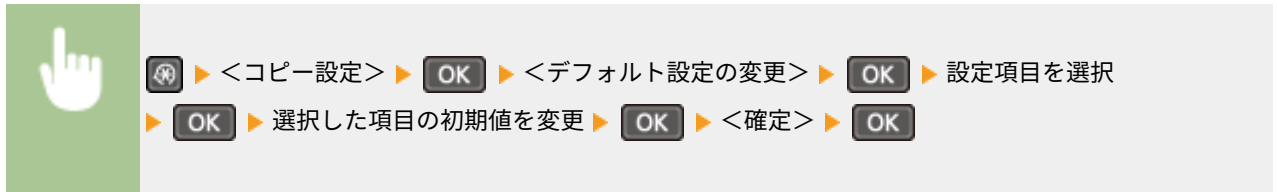
関連項目

▶ コピーの基本操作(P. 71)

よく使うコピー設定にする（初期値の変更）

14EH-01K

電源を入れたときや、を押したときなどに表示される設定値を初期値といいます。この初期値を、ひんばんに使用する操作内容に合わせて変更しておけば、コピーするたびに同じ設定をする手間が省けます。



a 設定項目

設定したい項目を選び、初期値を変更します。



関連項目

- ▶ コピーの基本操作(P. 71)
- ▶ いろいろなコピー設定(P. 75)
- ▶ コピー設定(P. 321)

プリンターとして使う

プリンターとして使う	92
パソコンから印刷する	93
印刷する	94
印刷を中止する	98
印刷状況を確認する	101
いろいろな印刷設定	102
拡大／縮小する	104
両面に印刷する（MF244dw / MF242dw）	106
ページ順に仕分ける（ソート）	108
複数ページを 1 枚の用紙に印刷する	110
ポスターを印刷する	112
小冊子を作る（製本印刷）（MF244dw / MF242dw）	114
ページの周りに枠を付ける	116
日付やページ番号を印刷する	117
「マル秘」などの透かし文字を印刷する（スタンプ印刷）	119
文書の種類に合わせて印刷する	121
トナー消費量を節約する	123
複数の文書を一度に印刷する	125
使いかたに合わせた印刷設定にする	129
よく使う印刷設定を「お気に入り」に登録する	130
よく使う印刷設定にする（初期値の変更）	132

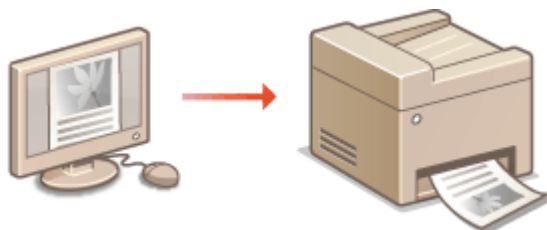
プリンターとして使う

14EH-01L

パソコンで作成した文書を印刷する、モバイル機器から印刷するなど、さまざまな目的で本機をプリンターとして使うことができます。

■ パソコンから印刷する

パソコンで作成した文書を、プリンタードライバーを使って印刷できます。▶ [パソコンから印刷する\(P. 93\)](#)



モバイル機器から印刷する

- スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器を本機と連携させることで、手軽に写真やウェブページを印刷できます。また、Google Cloud Print™にも対応しています。

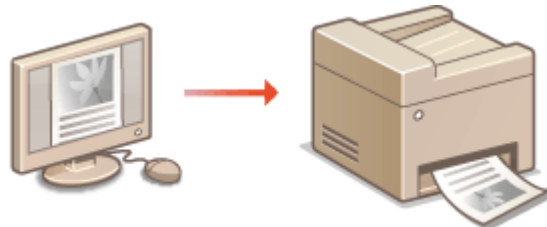
▶ [モバイル機器と便利に連携\(P. 150\)](#)

▶ [Google Cloud Print を使う\(P. 167\)](#)

パソコンから印刷する

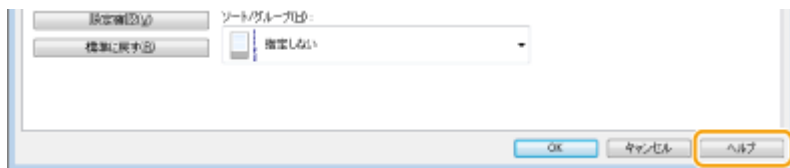
14EH-01R

アプリケーションで作成した文書を、パソコンのプリンタードライバーを使って印刷します。プリンタードライバーには、拡大／縮小や両面印刷などの設定が用意されていますので、さまざまな形で印刷できます。これらの機能を使うには、パソコンにプリンタードライバーをインストールするなどのいくつかの準備が必要です。詳細については、「MF ドライバーインストールガイド」を参照してください。



プリンタードライバーのヘルプについて

プリンタードライバー画面の「ヘルプ」をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。ユーザーズガイドに記載されていない項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。



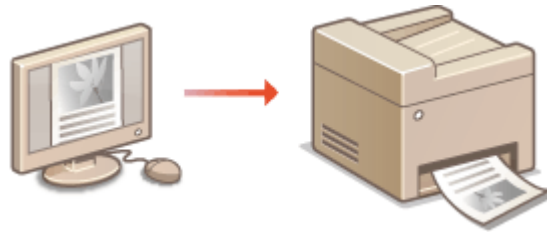
MEMO

- Mac OS をお使いの場合は、プリンタードライバーのインストールについてはプリンタードライバーのユーザーズガイドを、プリント機能の使いかたについてはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- 各ページに掲載されているプリンタードライバーの画面は、OS、プリンタードライバーのバージョンによってはお使いのものと異なる場合があります。

印刷する

14EH-087

プリンタードライバーを使って、パソコン上の文書を本機で印刷する方法を説明します。



MEMO

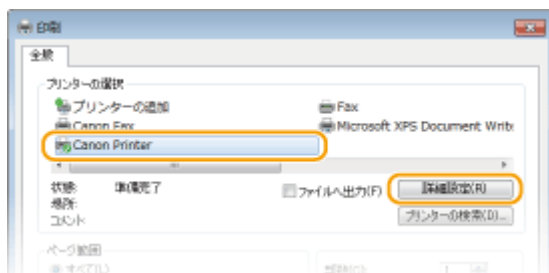
本体の用紙設定について

- 通常は各給紙部にセットした用紙サイズと種類を、あらかじめ操作パネルで設定しておく必要があります。▶用紙サイズと種類を設定する(P. 60)

1 アプリケーションで文書を開いて、印刷画面を表示させる

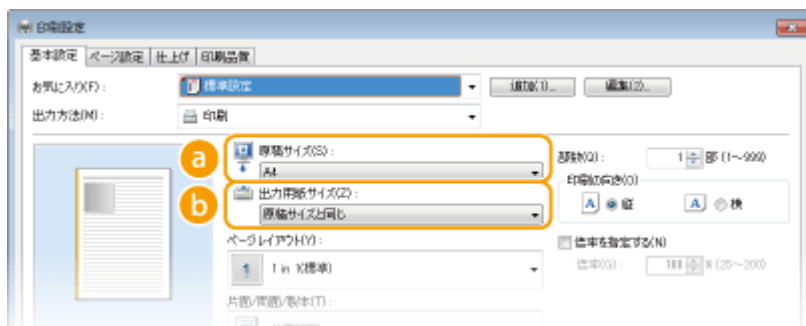
- 印刷画面の表示方法はアプリケーションによって異なります。各アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

2 本機のプリンタードライバーを選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックする



- 表示される画面は、アプリケーションによって異なります。

3 用紙サイズを設定する



a [原稿サイズ]

アプリケーションで作成した文書のサイズを選択します。

b [出力用紙サイズ]

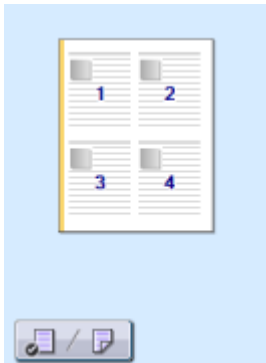
実際に印刷する用紙サイズを選択します。[原稿サイズ]と異なるサイズを選択すると、[出力用紙サイズ]に合わせて自動的に拡大／縮小して印刷されます。▶**拡大／縮小する(P. 104)**



便利な機能

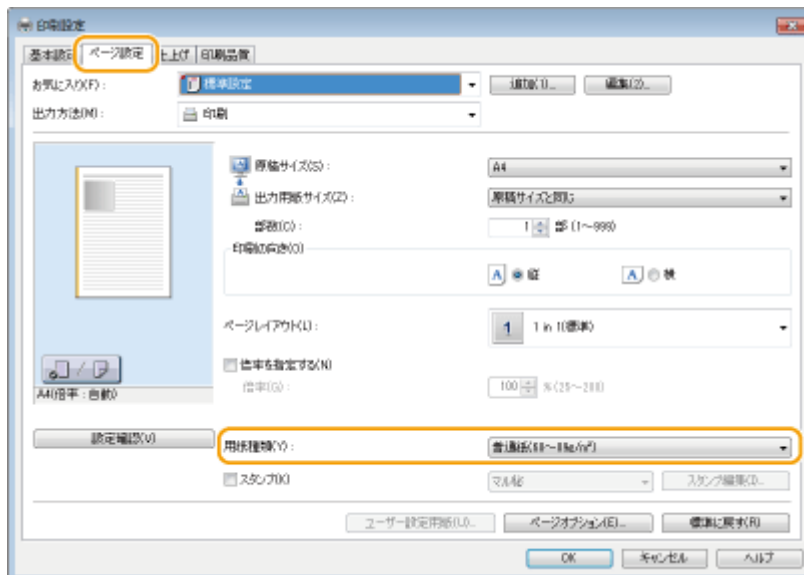
クリックابل UI

- プレビューイメージ上の直感的な操作で、ページレイアウトやとじ方向などを容易に設定できます。詳しくは[ヘルプ]をご参照ください。



4 [ページ設定] タブで用紙の種類を設定する

- 印刷に使用する用紙の種類と坪量に応じて設定します。▶**用紙をセットする(P. 44)**

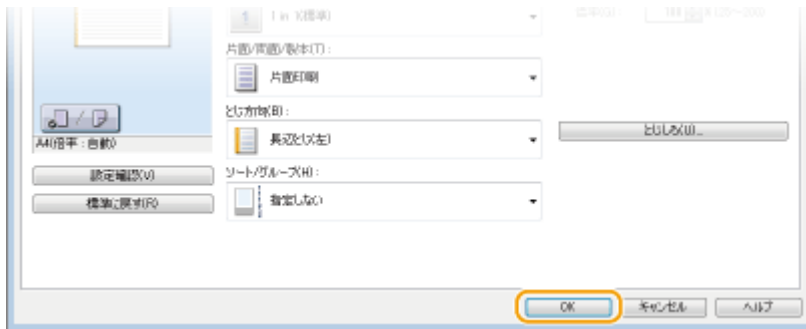


5 必要に応じてその他の印刷設定をする ▶**いろいろな印刷設定(P. 102)**

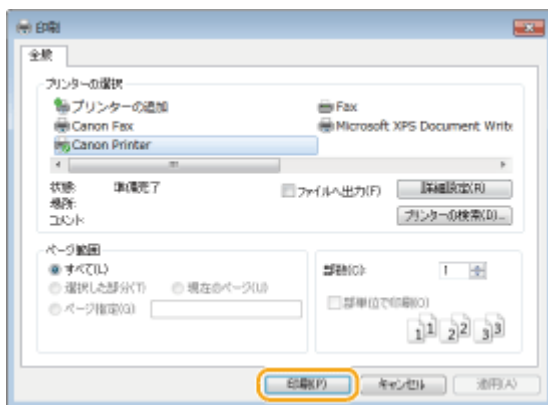


- ここで行った印刷設定を「お気に入り」として登録して、次に印刷するときに呼び出すことができます。印刷のたびに同じ設定を繰り返す手間を省くことができます。▶よく使う印刷設定を「お気に入り」に登録する(P. 130)

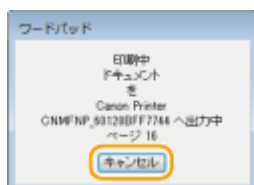
6 [OK] をクリックする



7 [印刷] または [OK] をクリックする



▶▶▶ 印刷が開始されます。アプリケーションによっては、印刷中に次のような画面が表示されます。



- 印刷を中止したいときは、上の画面が表示されているときに [キャンセル] をクリックします。画面が消えたあとや表示されない場合は、別の方法で印刷を中止できます。▶印刷を中止する(P. 98)



Windows 8/10/Server 2012 で Windows ストアアプリから印刷するときは画面右側のチャームを表示し、次の操作を行います。

Windows 8/Server 2012

[デバイス] ▶ 本機のプリンタードライバー ▶ [印刷] をタップまたはクリック

Windows 8.1/Server 2012 R2

[デバイス] ▶ [印刷] ▶ 本機のプリンタードライバー ▶ [印刷] をタップまたはクリック

Windows 10

アプリのメニュー ▶ [印刷] ▶ 本機のプリンタドライバ ▶ [印刷] をタップまたはクリック

- この方法で印刷した場合は、使用できる印刷設定は制限されます。
- 「印刷するには入力が必要です。デスクトップへ移動します。」というメッセージが表示されたときは、デスクトップに移動し、表示されているダイアログボックスに従って操作してください。メッセージは印刷時にユーザー名を確認するように設定しているときなどに表示されます。



関連項目

- 待機中の文書や本機の状態を確認する(P. 288)

印刷を中止する

14EH-088

パソコンから印刷を中止する方法と、本機の操作パネルから中止する方法があります。

- ▶ パソコンから(P. 98)
- ▶ 操作パネルから(P. 99)

パソコンから

デスクトップのタスクトレイに表示されているプリンターアイコンから印刷を中止できます。

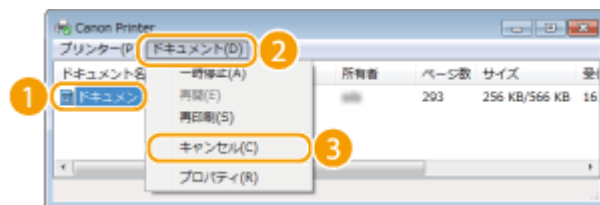
1 プリンターアイコンをダブルクリックする



プリンターアイコンが表示されていないとき

- プリンターフォルダーを開き（▶ [プリンターフォルダーの表示方法\(P. 445\)](#)）、本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして「印刷ジョブの表示」をクリックします（または、本機のアイコンをダブルクリックします）。

2 中止したい文書を選んで、[ドキュメント] ▶ [キャンセル] をクリックする



3 [はい] をクリックする



⇒ 選択した文書が中止されます。



- 中止操作をしても、数ページ印刷されることがあります。



便利な機能

リモート UI から中止する

- リモート UI の [ジョブ状況] ページから印刷を中止することができます。▶印刷文書の状況を確認する(P. 288)

アプリケーションから中止する

- アプリケーションによっては、印刷中に次のような画面が表示されます。[キャンセル] をクリックして印刷を中止することができます。



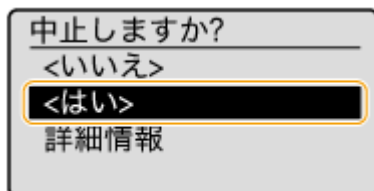
操作パネルから

または で中止します。

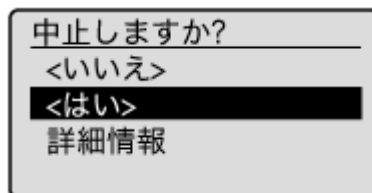
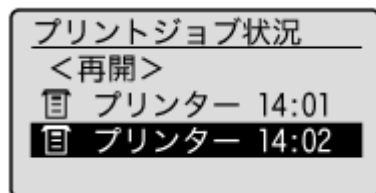
■ で中止する



▶ <はい> ▶

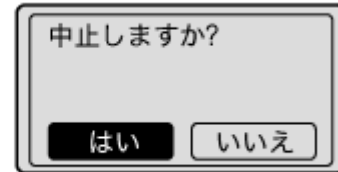
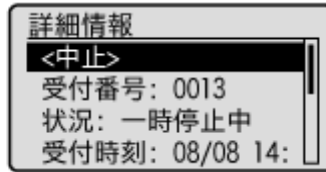
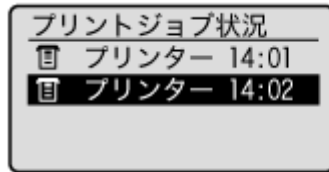


を押すと、文書の一覧画面が表示される場合



印刷を中止する文書を選ぶ ▶ ▶ <はい> ▶

■ で中止する



MEMO

- 中止操作をしても、数ページ印刷されることがあります。

関連項目

- ▶ 印刷する (P. 94)
- ▶ 印刷状況を確認する (P. 101)

印刷状況を確認する

14EH-01W

現在の印刷状況を確認できます。

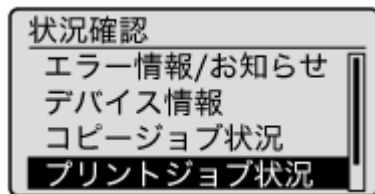


次のようなときに便利です

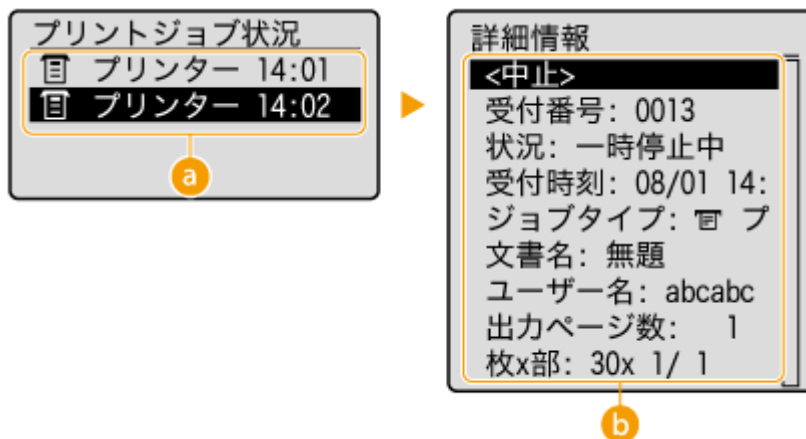
- 文書がなかなか印刷されないので、順番待ちの状況を確認したい。
- 印刷したはずの文書が見当たらないので、エラーが起きていないか確認したい。

1  を押す

2 ▲／▼で<プリントジョブ状況>を選び、**OK**を押す



3 印刷状況を確認したい文書を選び、**OK**を押す



a <プリントジョブ状況>

印刷中の文書、順番待ちで待機中の文書などが一覧表示されます。

b <詳細情報>

一覧で選択した文書の詳細情報が表示されます。



関連項目

- 印刷する (P. 94)
- 印刷を中止する (P. 98)

いろいろな印刷設定

14EH-01X

拡大／縮小や両面印刷をはじめ、さまざまな印刷設定が用意されています。印刷する文書の内容や用途に合わせて活用してください。



▶ 拡大／縮小する (P. 104)



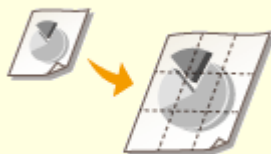
▶ 両面に印刷する (MF244dw / MF242dw) (P. 106)



▶ ページ順に仕分ける (ソート) (P. 108)



▶ 複数ページを 1 枚の用紙に印刷する (P. 110)



▶ ポスターを印刷する (P. 112)



▶ 小冊子を作る (製本印刷) (MF244dw / MF242dw) (P. 114)



▶ ページの周りに枠を付ける (P. 116)



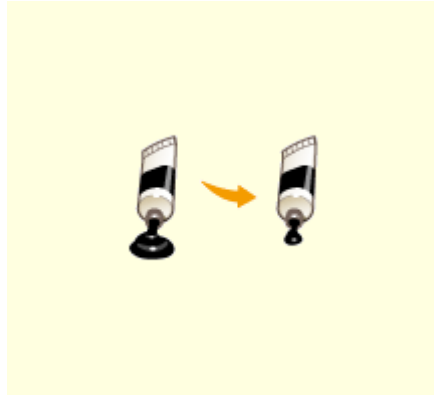
▶ 日付やページ番号を印刷する (P. 117)



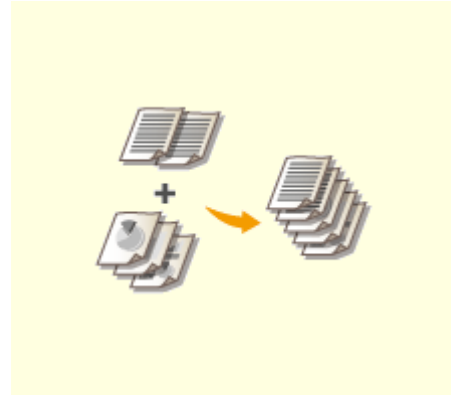
▶ 「マル秘」などの透かし文字を印刷する (スタンプ印刷) (P. 119)



▶ 文書の種類に合わせて印刷する
(P. 121)



▶ トナー消費量を節約する(P. 123)



▶ 複数の文書を一度に印刷する
(P. 125)

拡大／縮小する

14EH-089



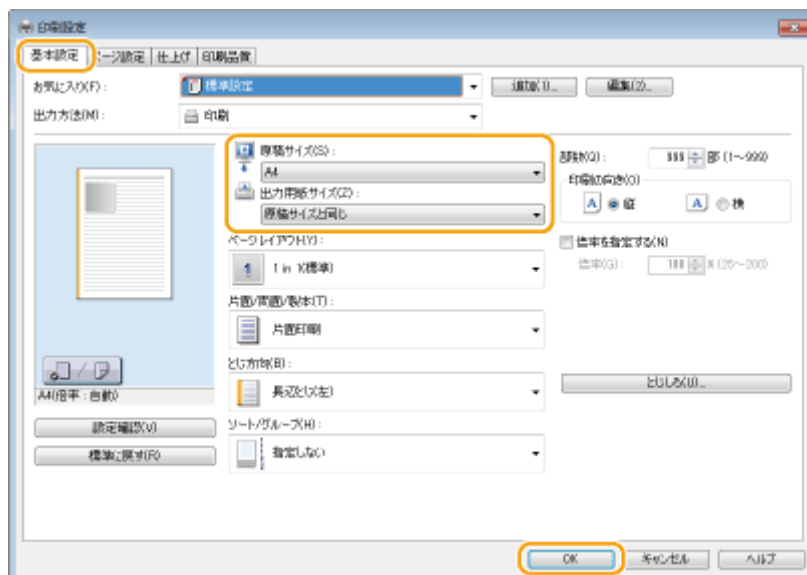
「A5 の文書を A4 の用紙に拡大印刷する」などの定型変倍だけでなく、1%刻みで任意の倍率を指定して拡大／縮小することもできます。

原稿サイズと印刷用紙サイズから倍率を指定する（定型変倍）

選択した文書のサイズと印刷用紙のサイズに応じて、倍率が自動的に設定されます。

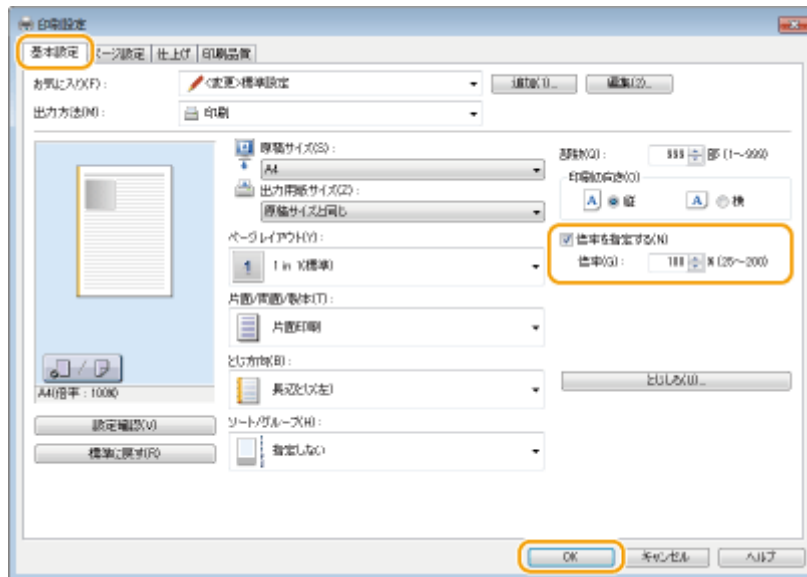
[基本設定] タブ ▶ [原稿サイズ] で文書のサイズを選択 ▶ [出力用紙サイズ] で印刷用紙サイズを選択

▶ [OK]



1%刻みで倍率を指定する

[基本設定] タブ ▶ [倍率を指定する] にチェックマークを付ける ▶ [倍率] に数字を入力 ▶ [OK]



- 選択した用紙サイズによっては、「大きな空白が生じる」、「文書の一部が欠ける」など、適切な拡大／縮小印刷ができないことがあります。
- ここで行った設定よりもアプリケーション側での拡大／縮小設定が優先される場合があります。



関連項目

▶印刷する(P. 94)

両面に印刷する MF244dw / MF242dw

14EH-08A



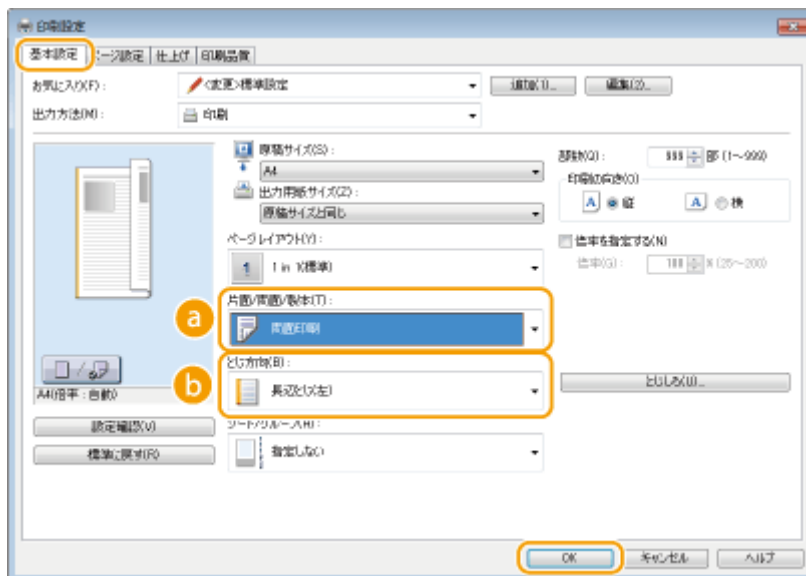
用紙の両面に印刷できます。とじしろを設定することもできますので、印刷した文書をホチキスでとじたいときなどに便利です。



- 用紙サイズや種類によっては両面印刷できないことがあります。▶[用紙について\(P. 431\)](#)



【基本設定】タブ ▶ 【片面/両面/製本】で【両面印刷】を選択 ▶ 【とじ方向】でとじしろの位置を選択 ▶ 【OK】



a 【片面/両面/製本】

片面印刷か両面印刷かを選びます。



- 【製本印刷】については、▶[小冊子を作る（製本印刷）（MF244dw / MF242dw）\(P. 114\)](#)を参照してください。

b [とじ方向]

印刷文書をホチキスなどでとじる場合、とじ位置を文書の上下左右のどこにするのかを設定します。とじ位置によって印刷方向も変化します。また、とじ位置の余白幅を設定するには[とじしろ]をクリックします。

[長辺とじ(左)] / [長辺とじ(右)]

用紙をとじたとき、左右開きとなるように印刷されます。



[短辺とじ(上)] / [短辺とじ(下)]

用紙をとじたとき、上下開きとなるように印刷されます。



[とじしろ]

とじしろ（とじる部分の余白幅）を設定します。



関連項目

- ▶印刷する(P. 94)
- ▶複数ページを1枚の用紙に印刷する(P. 110)
- ▶小冊子を作る（製本印刷）（MF244dw / MF242dw）(P. 114)

ページ順に仕分ける（ソート）

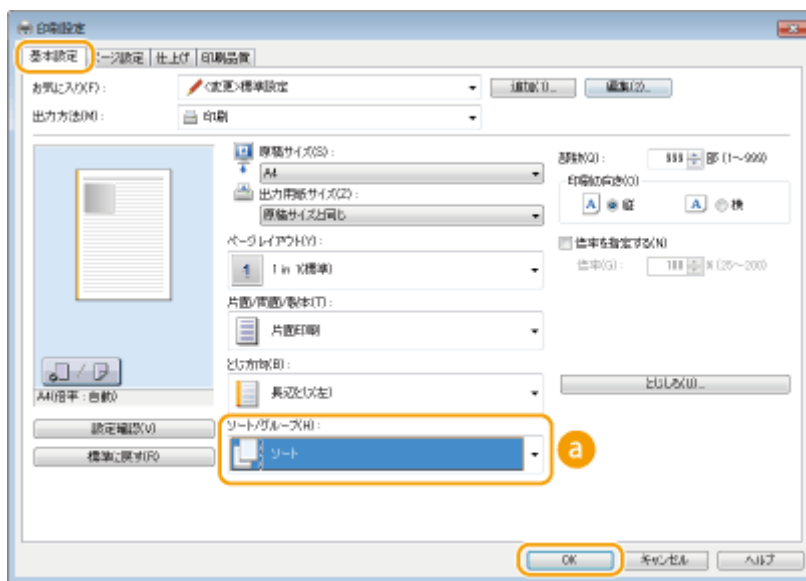
14EH-08C



複数ページからなる文書を何部か印刷するときソート機能を使うと、ページの順番を崩さことなく部数ごとに仕分けることができます。会議の配付資料を作成するときなどに便利です。



[基本設定] タブ ▶ [ソート/グループ] で [ソート] または [グループ] を選択 ▶ [OK]



a [ソート/グループ]

複数ページからなる文書を何部か印刷するときの仕分け方法を設定します。

[ソート]

文書のページ順どおりに 1 部ずつ印刷されます。たとえば、5 ページの文書を 3 部印刷すると、「12345」「12345」「12345」というように仕分けて印刷されます。



[グループ]

仕分けは行われません。設定された部数だけページ単位で印刷されます。たとえば、5 ページの文書を 3 部印刷すると、「111」「222」「333」「444」「555」というように印刷されます。





- [指定しない] を選ぶと、アプリケーション側の設定によってソート印刷されるかどうかが決まります。



関連項目

▶ **印刷する(P. 94)**

複数ページを 1 枚の用紙に印刷する

14EH-08E



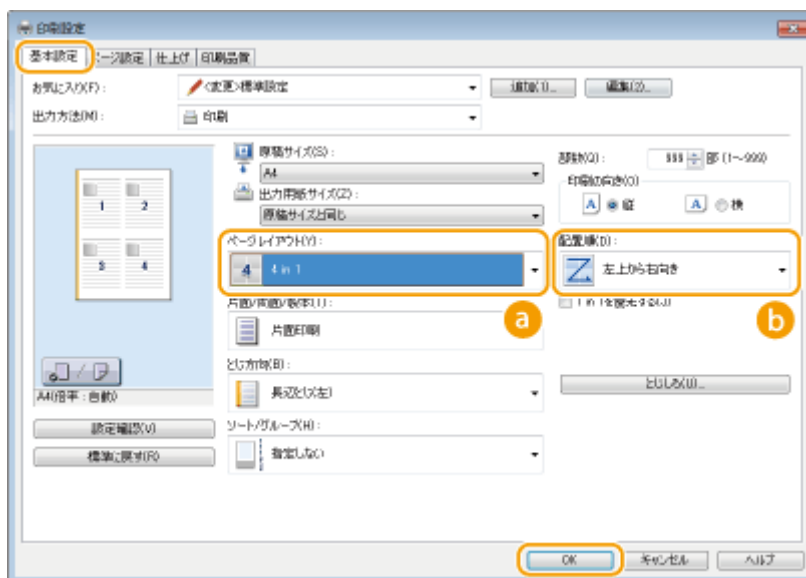
複数のページを縮小して、1 枚の用紙に印刷できます。4 ページを 1 枚に縮小印刷する [4 in 1]、9 ページを 1 枚にまとめる [9 in 1] などが用意されています。文書をサムネイルとして閲覧する場合や、用紙を節約したい場合などにお使いください。



- 両面印刷と組み合わせると、用紙をさらに節約できます。▶ **両面に印刷する (MF244dw / MF242dw) (P. 106)**

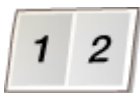


[基本設定] タブ ▶ [ページレイアウト] で用紙 1 枚に収めるページ数を選択 ▶ [配置順] で印刷の配列を選択 ▶ [OK]



a [ページレイアウト]

[1 in 1(標準)] ～ [16 in 1] から、用紙 1 枚に印刷するページ数を選択します。たとえば、[16 in 1] とは「1 枚の用紙に 16 ページを収める」という意味です。



- [ポスター(2 × 2)] などについては、▶ **ポスターを印刷する(P. 112)** を参照してください。
- アプリケーション側で部単位の印刷を設定していると、正しく印刷されないことがあります。

b 【配置順】

各ページをどのような配置で 1 枚の用紙に収めるかを設定することができます。たとえば、[左上から右向き] という設定を選択した場合は、最初のページは左上に配置され、そのあとは右方向に順に配置されます。

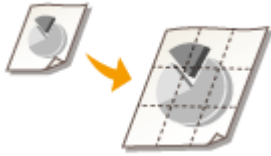


関連項目

- ▶印刷する(P. 94)
- ▶両面に印刷する (MF244dw / MF242dw) (P. 106)

ポスターを印刷する

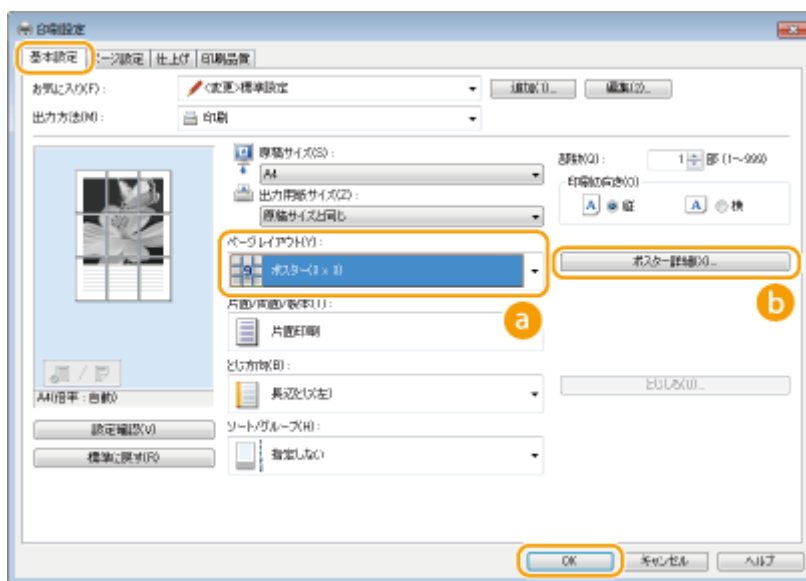
14EH-08F



1 ページを複数枚に分割印刷し、それらをあとから貼り合わせて使用するのがポスター印刷です。たとえば、A4 の文書を 9 分割してそれぞれを拡大印刷したあとで貼り合わせると、A4 サイズ 9 枚分の大きなポスターができあがります。



[基本設定] タブ ▶ [ページレイアウト] で [ポスター(2 × 2)] など、分割して印刷する用紙の枚数を選択 ▶ [OK]



a [ページレイアウト]

ポスター印刷のレイアウトを選択します。[ポスター(1 × 2)]、[ポスター(2 × 2)]、[ポスター(3 × 3)]、[ポスター(4 × 4)] の 4 種類から選びます。

b [ポスター詳細]

以下の画面が表示されます。



[境界線を印刷する]

各ページに境界線が印刷されます。貼り合わせたり、余白を切り落としたりするときに便利です。

[切り取り/のりしろを設定する]

切り取り/のりしろ部を付けて印刷します。切り取り/のりしろ部がわかるように、マークを付けて印刷する場合は、[記号を印刷する] にチェックマークをつけます。

[印刷するページ]

- [すべて]：全てのページに対してポスター印刷を行います。
- [ページ指定]：指定したページのみポスター印刷を行います。



関連項目

▶印刷する(P. 94)

▶拡大／縮小する(P. 104)

小冊子を作る（製本印刷）

MF244dw / MF242dw

14EH-08H



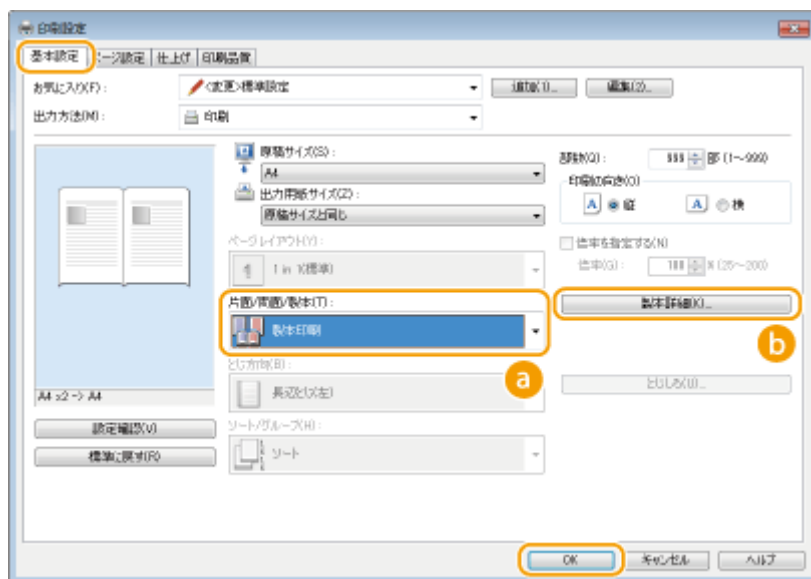
用紙のオモテ面とウラ面にそれぞれ2ページ分ずつ印刷されます。用紙の中央で折ると本のような体裁になります。ページの割り振りは、プリンタードライバーが自動的に行います。



- 用紙サイズや種類によっては製本印刷できないことがあります。▶[用紙について\(P. 431\)](#)



〔基本設定〕タブ ▶ 〔片面/両面/製本〕で〔製本印刷〕を選択 ▶ 〔製本詳細〕をクリックし、必要に応じ詳細を設定 ▶ [OK] ▶ [OK]



a 〔片面/両面/製本〕

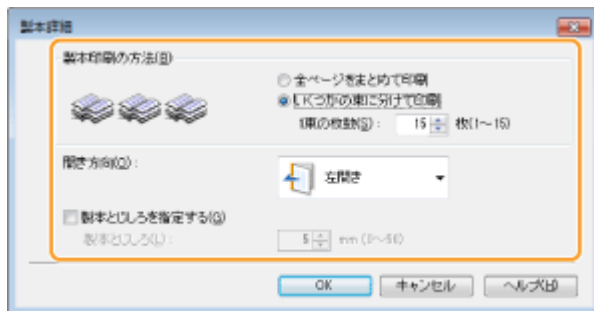
〔製本印刷〕を選択します。



- 〔片面印刷〕、〔両面印刷〕については、▶[両面に印刷する（MF244dw / MF242dw）\(P. 106\)](#)を参照してください。

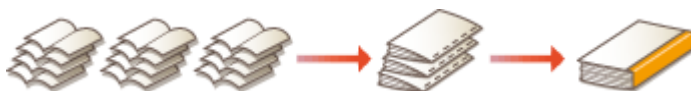
b [製本詳細]

以下の画面が表示されます。



[製本印刷の方法]

- [全ページをまとめて印刷]：すべてのページを 1 束として製本印刷します。そのまま、2 つ折りにして冊子を作ります。
- [いくつかの束に分けて印刷]：ページ数が多く、一度にとじることができない場合に選びます。[1 束の枚数]で指定した枚数を 1 束として分割して印刷されます。小分けされた束をとじ、それらをまとめて冊子にしてください。



[開き方向]

横書き文書の冊子を印刷するときは「左開き」を、縦書き文書には「右開き」を選びます。



[製本とじしろを指定する]

ホチキスなどでとじるときの余白を設定します。チェックマークを付け、「製本とじしろ」に余白幅を入力します。



関連項目

印刷する(P. 94)

ページの周りに枠を付ける

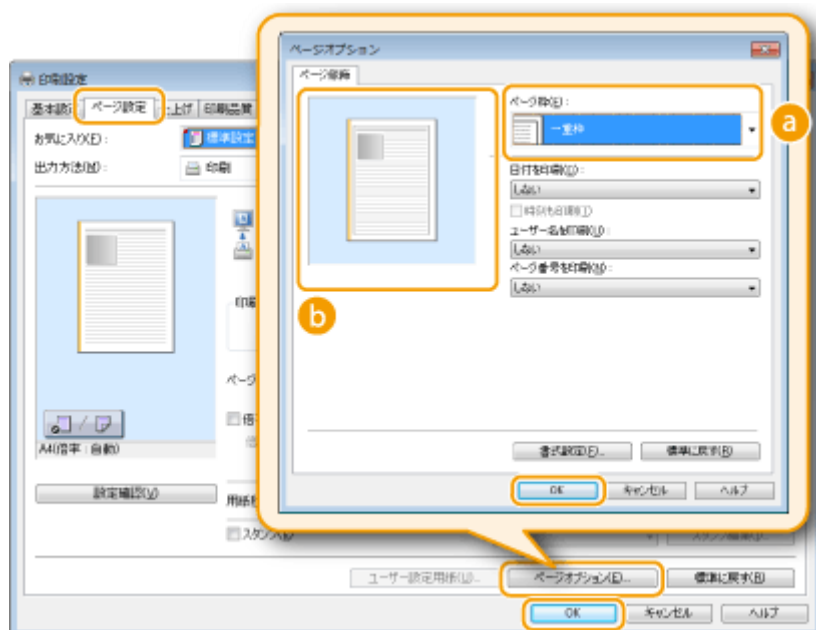
14EH-08J



ページの周りに、破線や二重線などの枠を付けて印刷できます。



[ページ設定] タブ ▶ [ページオプション] をクリック ▶ [ページ枠] で枠の種類を選択 ▶ [OK] ▶ [OK]



a [ページ枠]

文書の周りに付ける枠の種類を選びます。

b プレビューイメージ

枠を付けたときのイメージが表示されます。



関連項目

- ▶ 印刷する (P. 94)
- ▶ 日付やページ番号を印刷する (P. 117)
- ▶ 「マル秘」などの透かし文字を印刷する (スタンプ印刷) (P. 119)

日付やページ番号を印刷する

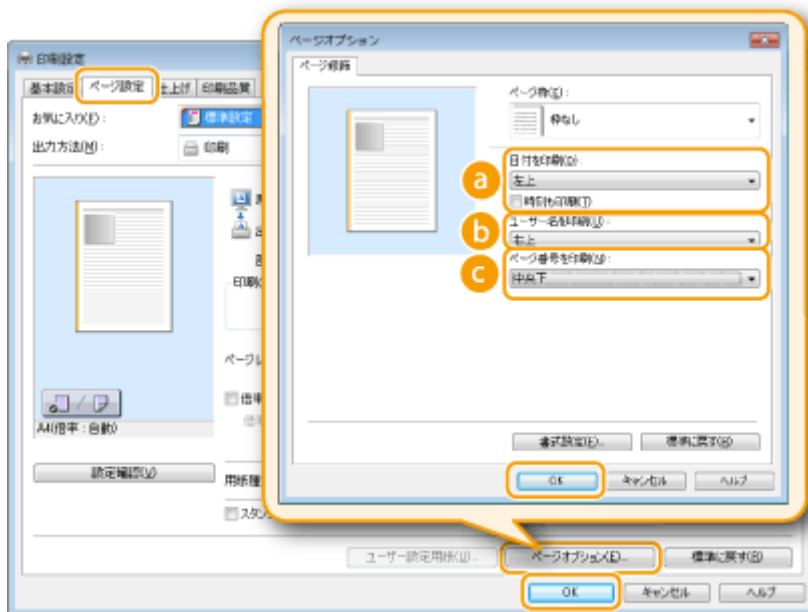
14EH-08K



印刷した日付やページ番号などの情報を、文書の左上や右下などの指定した位置に印刷できます。



[ページ設定] タブ ▶ [ページオプション] をクリック ▶ 日付、ユーザー名、ページ番号の印刷位置を選択 ▶ [OK] ▶ [OK]



a [日付を印刷]

日付を印刷する位置を指定します。必要に応じて、[時刻も印刷] にチェックマークを付けます。

b [ユーザー名を印刷]

印刷を行ったパソコンのユーザー名（ログオン名）を印刷する位置を指定します。

c [ページ番号を印刷]

ページ番号を印刷する位置を指定します。



日付やページ番号の書式を変更する

- 日付などを印刷するときの書式（書体、サイズなど）を変更できます。上記の [ページオプション] 画面で [書式設定] をクリックして、表示された画面で設定します。



関連項目

- ▶印刷する(P. 94)
- ▶ページの周りに枠を付ける(P. 116)
- ▶「マル秘」などの透かし文字を印刷する（スタンプ印刷）(P. 119)

「マル秘」などの透かし文字を印刷する（スタンプ印刷）

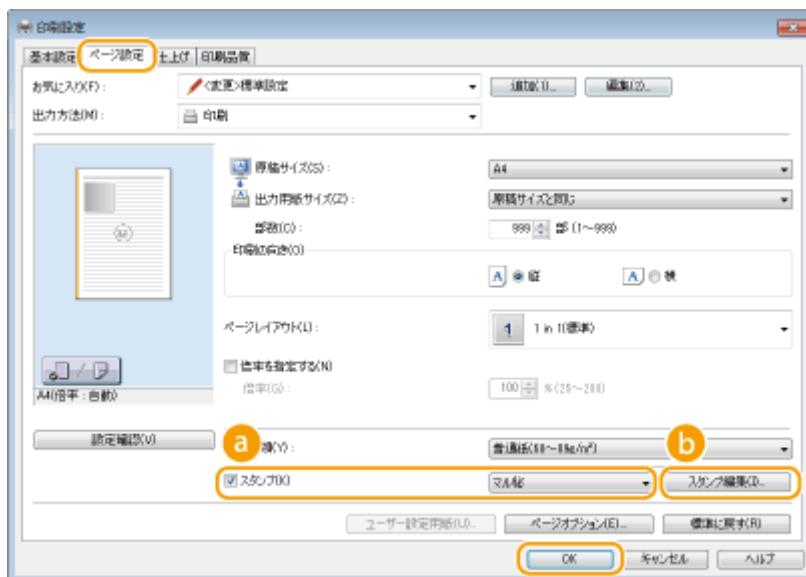
14EH-08L



「マル秘」や「COPY」といった透かし文字（スタンプ）を、文書の上に印刷します。用意されているスタンプに加えて、オリジナルのスタンプを作成することもできます。



[ページ設定] タブ ▶ [スタンプ] にチェックマークを付ける ▶ プルダウンメニューからスタンプの種類を選択 ▶ [OK]

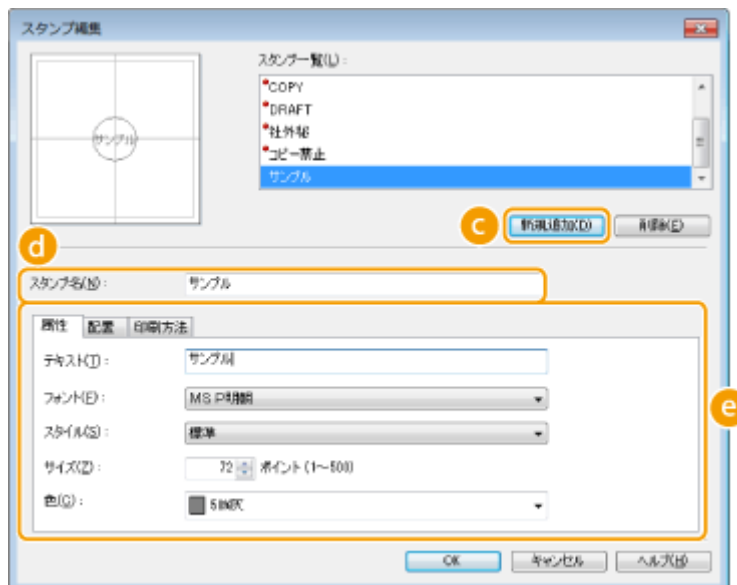


a [スタンプ]

[スタンプ] にチェックマークを付けると、プルダウンメニューにスタンプの一覧が表示されます。ここからスタンプを選びます。

b [スタンプ編集]

オリジナルのスタンプの作成／編集画面が表示されます。



c [新規追加]

新規のオリジナルスタンプを作成できるようになります。50 個まで登録できます。

d [スタンプ名]

作成したスタンプの名前を入力します。

e [属性] / [配置] / [印刷方法]

それぞれのタブをクリックして、スタンプとして表示する文字、色や配置などを設定します。各設定項目の詳細については、ドライバー画面の [ヘルプ] をクリックして、ヘルプを参照してください。



関連項目

- ▶印刷する(P. 94)
- ▶ページの周りに枠を付ける(P. 116)
- ▶日付やページ番号を印刷する(P. 117)

文書の種類に合わせて印刷する

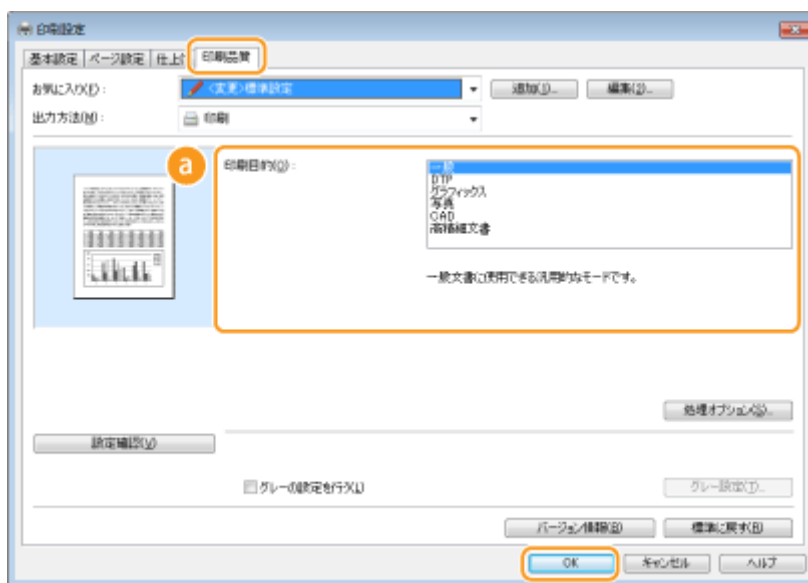
14EH-08R



写真原稿、表やグラフなどを含む文書、細い線の多い設計図など、文書の内容に合わせて印刷画質を選ぶことができます。



〔印刷品質〕 タブ ▶ 〔印刷目的〕 で文書の種類を選択 ▶ 〔OK〕



a 〔印刷目的〕

通常は 〔一般〕、写真をきれいに印刷したいときは 〔写真〕 など、用途や目的に応じて選びます。

〔一般〕

一般文書に使用できる汎用的な画質です。

〔DTP〕

写真や表、グラフなどが混在した文書の印刷に適した画質です。

〔グラフィックス〕

表やグラフを含む文書の印刷に適した画質です。

〔写真〕

写真原稿の印刷に適した画質です。

〔CAD〕

細い線が多く使われた設計図などの印刷に適した画質です。

〔高精細文書〕

小さな文字が多く使われた文書の印刷に適した画質です。



- [印刷目的] で選んだ各項目についてさらに細かく設定するには、[処理オプション] をクリックします。詳細については、ドライバー画面の [ヘルプ] をクリックして、ヘルプを参照してください。



関連項目

▶印刷する(P. 94)

トナー消費量を節約する

14EH-08S



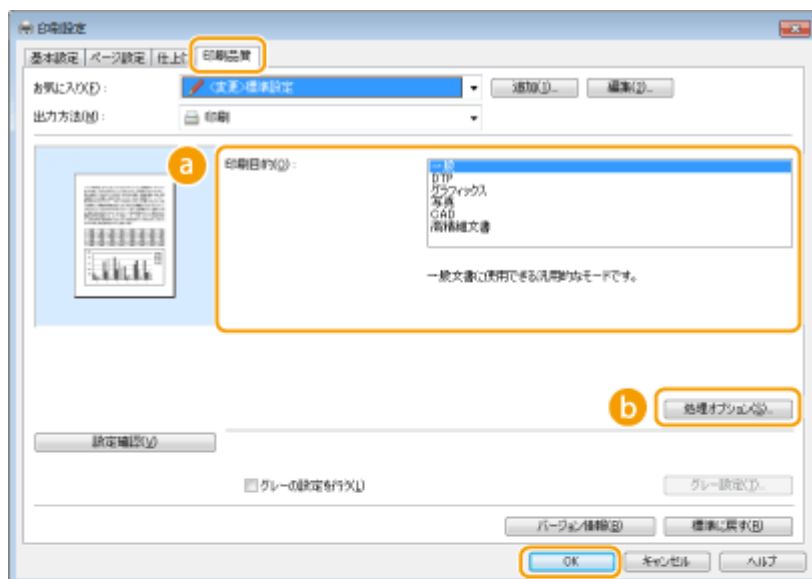
トナーの消費量を通常よりも抑えて印刷できます。



- この設定を行うと、細い線や濃度の薄い部分が通常よりも不鮮明になることがあります。



[印刷品質] タブ ▶ [印刷目的] で文書の種類を選択 ▶ [処理オプション] をクリック ▶ [処理オプション] 画面で [トナー節約モード] を選択 ▶ プルダウンメニューで [使う] を選択 ▶ [OK] ▶ [OK] ▶ [OK]



a [印刷目的] ▶ **文書の種類に合わせて印刷する(P. 121)**

トナー節約の対象にしたい文書の種類を選びます。

b [処理オプション]

設定項目一覧の画面が表示されます。[トナー節約モード] をクリックして、画面下部のプルダウンメニューで [使う] を選びます。



- 文書の種類ごとにトナー節約するかどうかを設定できます。[印刷目的] に表示されている文書の種類ごとに個別に設定してください。
- [処理オプション] 画面では、[トナー節約モード] のほかにもさまざまな設定を行うことができます。詳細については、ドライバー画面の [ヘルプ] をクリックして、ヘルプを参照してください。



関連項目

▶ **印刷する(P. 94)**

複数の文書を一度に印刷する

14EH-08U

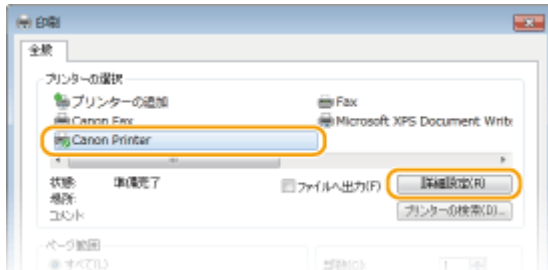


Canon PageComposer という機能を使って、いくつかの文書を 1 つに結合して、一度に印刷できます。結合した文書に対してまとめて印刷設定ができるので、異なるアプリケーションで作成した文書を結合して、すべてのページを同じサイズ of 用紙に印刷するという使いかたもできます。

1 アプリケーションで文書を開いて、印刷画面を表示させる

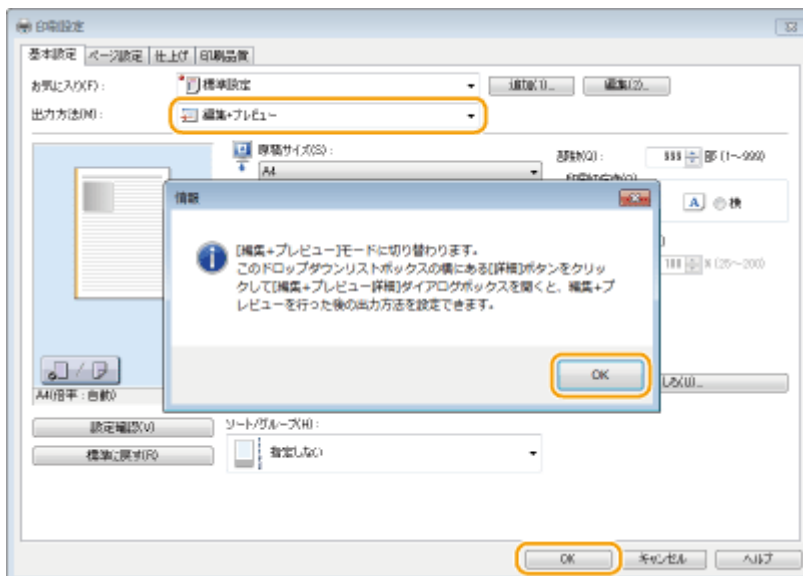
- 印刷画面の表示方法はアプリケーションによって異なります。各アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

2 本機のプリンタードライバーを選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックする

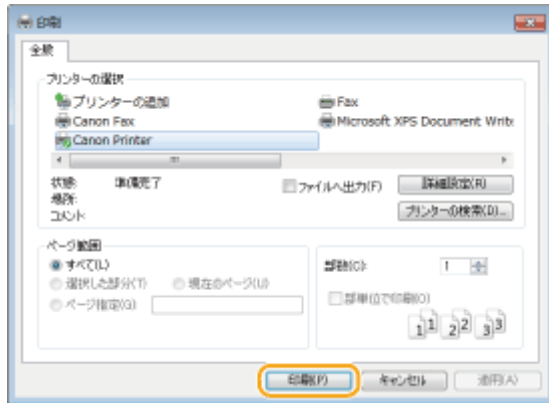


3 [出力方法] で [編集+プレビュー] を選ぶ

- [情報] ポップアップ画面が表示されますので、[OK] をクリックします。
- 画面下部の [OK] をクリックします。



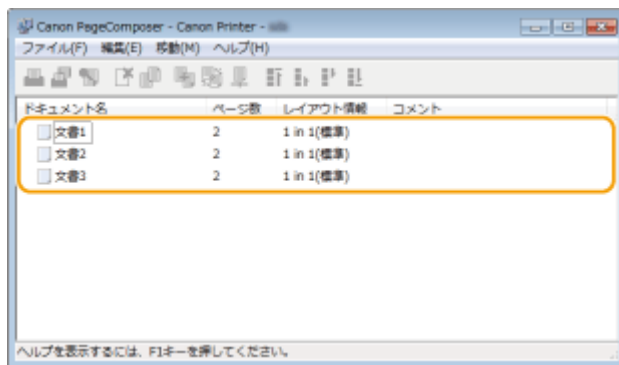
4 [印刷] または [OK] をクリックする



⇒ Canon PageComposer が起動します。ここでは印刷は開始されません。

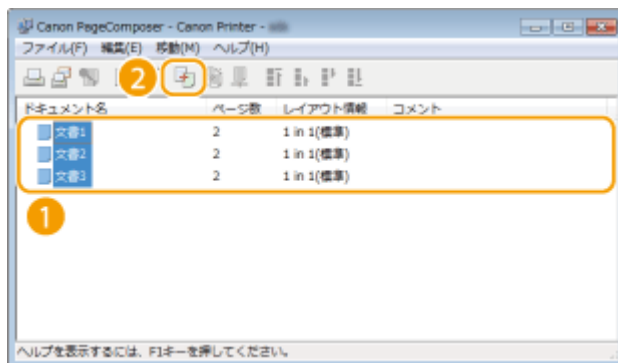
5 結合したい文書について、手順 1～4 を繰り返す

⇒ Canon PageComposer に、文書が追加されていきます。



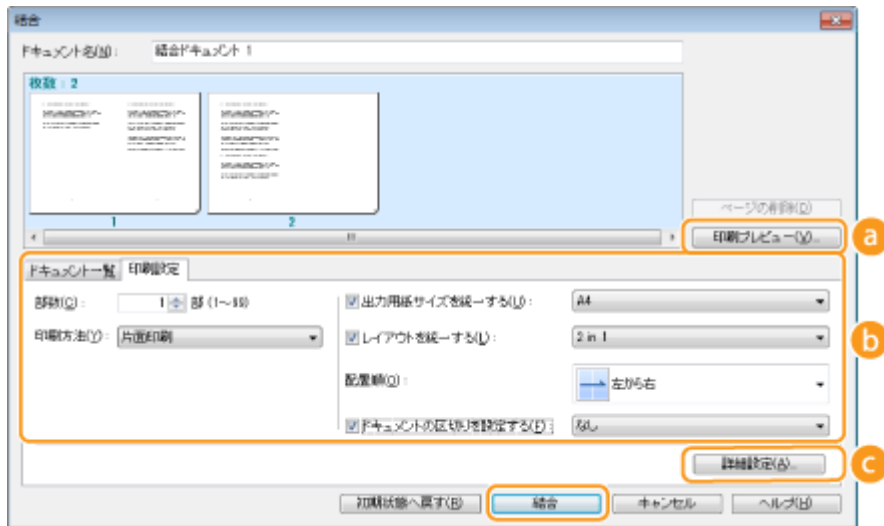
6 [ドキュメント名] の一覧で結合したい文書を選び、 をクリックする

- 複数の文書を選択するには、[SHIFT] キーまたは [CTRL] キーを押しながら、文書をクリックします。



7 必要に応じて設定を変更し、[結合] をクリックする

- 手順 6 で選んだ文書が 1 つに結合されます。

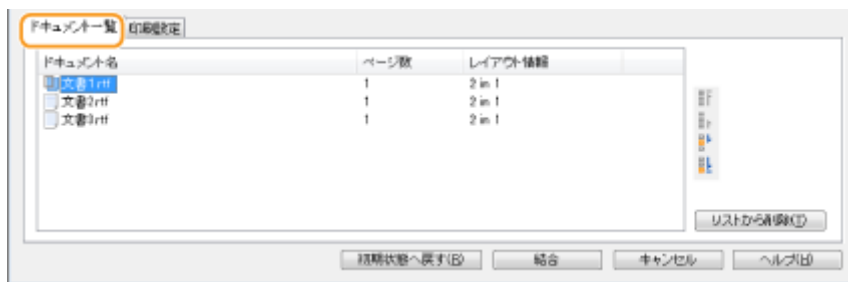


a [印刷プレビュー]

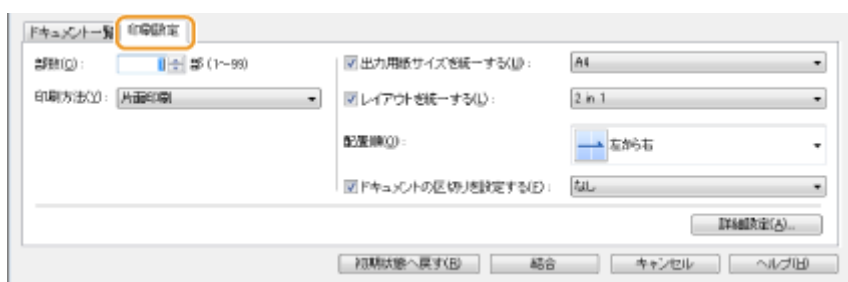
プレビュー画像（実際に印刷したときのイメージ）が表示されます。

b [ドキュメント一覧] / [印刷設定]

- [ドキュメント一覧] タブをクリックすると、手順 1～4 で追加した文書の一覧が表示されます。ここで文書を選び、[リストから削除] をクリックすると、結合する文書から除外できます。



- [印刷設定] タブをクリックすると、印刷部数や片面／両面印刷などの設定画面が表示されます。ここでの設定は、結合する文書全体に適用されます。

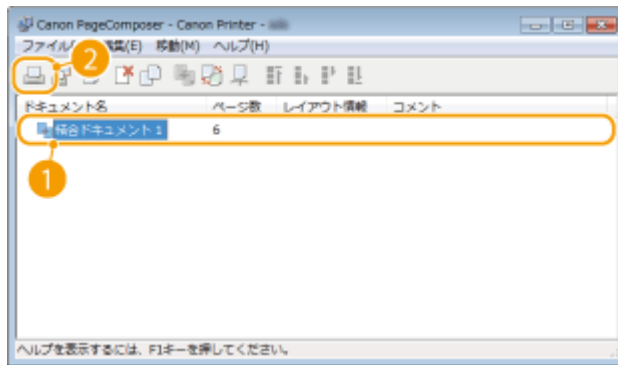


- 各設定の詳細については、Canon PageComposer 画面の [ヘルプ] をクリックして、ヘルプを参照してください。

c [詳細設定]

プリンタードライバの印刷設定画面が表示されます。設定できる項目は通常の印刷よりも制限されます。

8 [ドキュメント名] の一覧で、印刷したい結合済みの文書を選び、 をクリックする



⇒ 印刷が開始されます。

- 中止方法については、[印刷を中止する\(P. 98\)](#) を参照してください。



関連項目

[印刷する\(P. 94\)](#)

使いかたに合わせた印刷設定にする

14EH-08W

印刷目的に応じた設定の組み合わせを「お気に入り」として登録することができます。また、よく使う設定を初期値として登録することができます。次回からは登録した設定値が自動的に表示されますので、設定操作をスキップしてすぐに印刷することができます。



機密性の高い文書を印刷するときに、「コピー禁止」を透かし文字で入れています。



スタンプに「コピー禁止」を設定して「お気に入り」に登録。必要なときに、この「お気に入り」を呼び出すだけです。▶
よく使う印刷設定を「お気に入り」に登録する(P. 130)



コスト削減のため、いつも2ページ分の原稿を1ページに印刷しています。



プリンタードライバーで [2 in 1] を初期値として設定。次回から、いつも2ページ分を1ページに集約して印刷できます。
▶よく使う印刷設定にする（初期値の変更）(P. 132)

よく使う印刷設定を「お気に入り」に登録する

14EH-08X

「用紙サイズは A4、印刷の向きは横向き、片面印刷…」と多くの設定をその都度するのは面倒です。よく使う印刷設定値を「お気に入り」として登録しておけば、印刷時にそれ呼び出すだけで設定完了です。ここでは「お気に入り」の登録方法と、呼び出し方法を説明します。

- ▶ 「お気に入り」に登録する(P. 130)
- ▶ 「お気に入り」を呼び出す(P. 131)

「お気に入り」に登録する

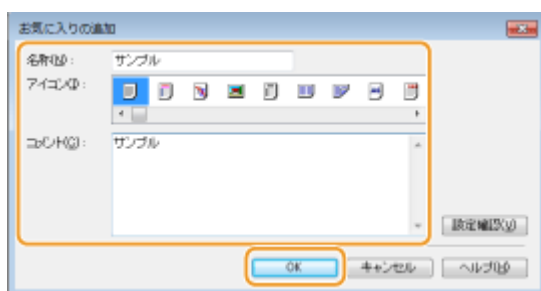
1 登録したい内容に設定値を変更し、[追加] をクリックする

- 必要に応じて [基本設定]、[ページ設定]、[仕上げ]、[印刷品質] タブから設定を行います。▶ **いろいろな印刷設定(P. 102)**



2 [名称] にお気に入りの名前を入力し、アイコンを選択したあと、[OK] をクリックする

- [コメント] は、必要に応じて入力します。
- [設定確認] をクリックすると、登録する設定内容を確認できます。

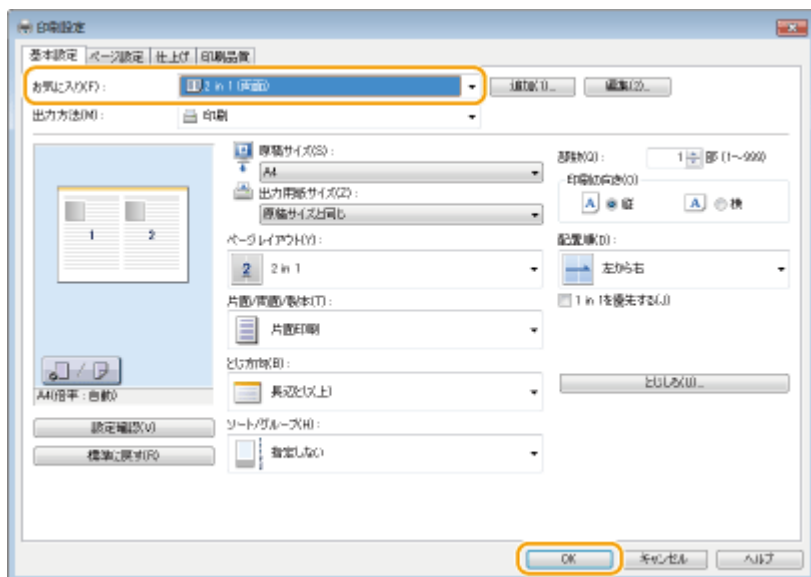


「お気に入り」を編集する

- 手順 1 の画面の [お気に入り] 右側にある [編集] をクリックすると、登録した「お気に入り」の名称、アイコン、コメントを変更できます。なお、お買い上げ時にあらかじめ登録されている「お気に入り」項目は編集できません。

「お気に入り」を呼び出す

「お気に入り」の中から、目的に応じたものを選び「OK」をクリックするだけです。



呼び出した「お気に入り」を変更する

- 「お気に入り」を呼び出したあと、内容を変更することもできます。また、変更したものを別の「お気に入り」として登録することもできます。



関連項目

- 印刷する (P. 94)
- よく使う印刷設定にする (初期値の変更) (P. 132)

よく使う印刷設定にする（初期値の変更）

14EH-08Y

プリンタードライバーの印刷設定画面を開いたときに表示される設定値を初期値といいます。この初期値をよく使う設定に合わせて変更することができます。たとえば、すべての文書に対して、いつも 2 ページ分を 1 ページに集約して印刷したいという場合、ページレイアウトの初期値を [2 in 1] に設定します。こうすることで、次回からプリンタードライバーを開いたときの設定値は常に [2 in 1] となり、毎回設定を変更する手間を省けます。



- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログオンしている必要があります。

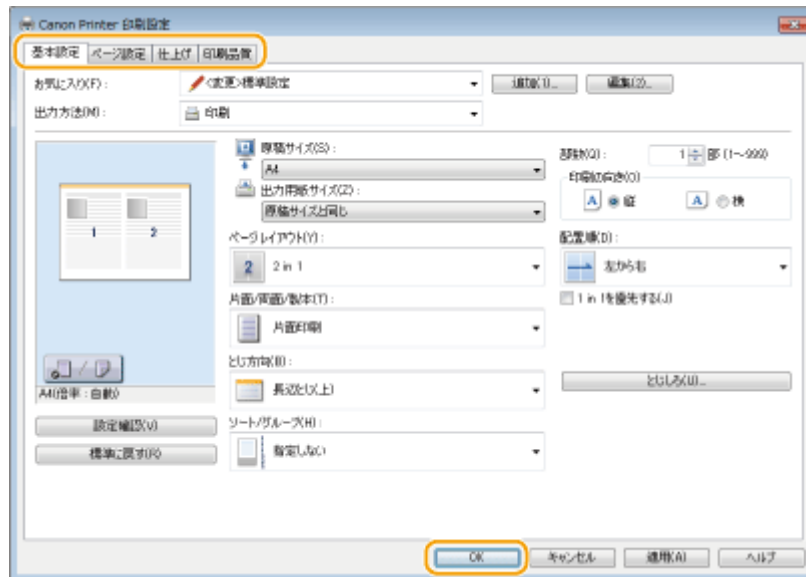
1 プリンターフォルダーを開く ●プリンターフォルダーの表示方法(P. 445)

2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[印刷設定] をクリックする



3 印刷設定画面で設定を変更し、[OK] をクリックする

- 必要に応じて [基本設定]、[ページ設定]、[仕上げ]、[印刷品質] タブから設定を行います。●いろいろな印刷設定(P. 102)



関連項目

- ▶印刷する(P. 94)
- ▶よく使う印刷設定を「お気に入り」に登録する(P. 130)

スキャナーとして使う

スキャナーとして使う	135
スキャナーとして使うための準備をする	137
本体からスキャンする	138
[スキャン→PC] キーを使ってスキャンする	141
パソコンからスキャンする	145
アプリケーションでスキャンする	146
ScanGear MF でスキャン設定する	148

スキャナーとして使う

14EH-02H

本体側の操作でスキャンする方法と、パソコン側の操作でスキャンする方法があります。いずれの場合も読み込んだ原稿は PDF などの電子ファイルに変換されます。かさばる紙文書をファイルにして整理する場合などにお使いください。



- 本機をスキャナーとして使うには、あらかじめパソコンにソフトウェアをインストールするなどの準備が必要です。詳細については、「MF ドライバーインストールガイド」を参照してください。また、ネットワークで接続する場合は、インストールしたソフトウェアに本機を登録する必要があります。▶ **スキャナーとして使うための準備をする(P. 137)**
- Mac OS をお使いの場合は、ソフトウェアのインストールやスキャン機能の使いかたについては ScanGear MF のユーザーズガイドを参照してください。
- 各ページに掲載されているスキャナードライバーやアプリケーションの画面は、OS、スキャナードライバー、アプリケーションのバージョンによってはお使いのものと異なる場合があります。

■ 本体からスキャンする

本機の操作パネルから操作して原稿を読み込み、パソコンに保存します。

▶ **本体からスキャンする(P. 138)**



■ パソコンからスキャンする

パソコン側からの操作によって、本機にセットした原稿を読み込む方法です。読み込んだ原稿はパソコンに保存します。付属の MF Scan Utility を使う方法のほか、画像処理ソフトや文書作成ソフトなどのアプリケーションから読み込む方法があります。▶ **パソコンからスキャンする(P. 145)**



💡 モバイル機器からスキャンする

- スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器を本機と連携させることで、本機にセットした原稿を手軽にスキャンできます。▶ **モバイル機器と便利に連携(P. 150)**

スキャナーとして使うための準備をする

14EH-02J

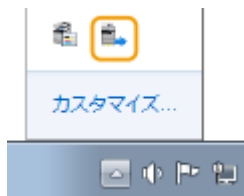
パソコンとの接続とソフトウェアのインストールが完了していることを確認してください。確認方法については、「MF ドライバーインストールガイド」を参照してください。

また無線 LAN または有線 LAN で接続する場合は「MF Network Scanner Selector」に本機を登録する必要があります。以下の手順に従って準備を行ってください。なお、USB で接続している場合はこの操作は不要です。

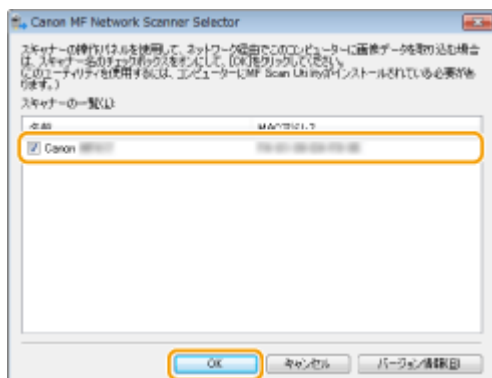


IPv6 環境で本機とパソコンを接続してスキャン機能を使うことはできません。IPv4 環境または USB 接続でご使用ください。

1 タスクトレイに表示されている をクリックする



2 本機にチェックマークを付けて、[OK] をクリックする



- 1 台の製品（スキャナー）に対して、一度にネットワークで接続できるパソコンは、10 台までです。

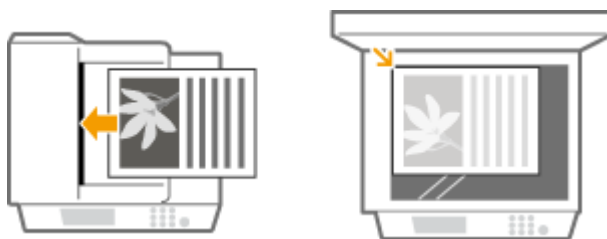
本体からスキャンする

14EH-02K



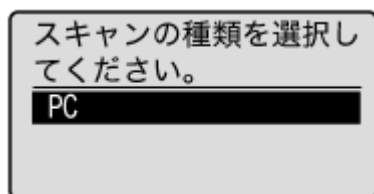
「原稿を読み込んでパソコンに保存する」という一連の作業を本機側だけで行うことができます。「読み込んだ原稿をどのパソコンに保存するか」、「カラーで読み込むか、白黒で読み込むか」、「読み込んだ原稿を PDF で保存するか、JPEG で保存するか」などを選びながらスキャンします。

1 原稿をセットする ●原稿をセットする(P. 40)



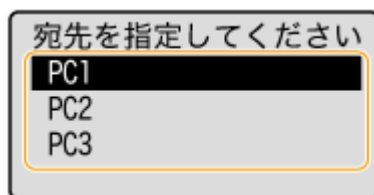
2 (コピー/スキャン) を押して、スキャン画面に切り替える

3 ▲／▼で< PC >を選び、 を押す

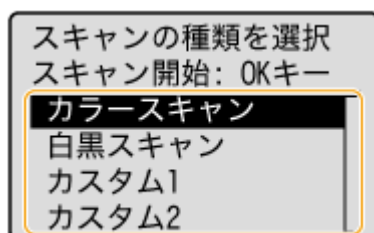


4 読み込んだ原稿を保存するパソコンを選び、 を押す

- 本機と USB 接続されているパソコンだけでお使いの場合はこの画面は表示されません。



5 スキャンの種類を選ぶ



スキャンの種類	色	解像度	ファイル形式
<カラースキャン>	カラー	300 dpi	JPEG (Exif)
<白黒スキャン>	白黒 ^{*1}	300 dpi	PDF (サーチャブル ^{*2})
<カスタム 1>	カラー	300 dpi	JPEG (Exif)
<カスタム 2>	カラー	300 dpi	JPEG (Exif)

^{*1} 「白または黒のみで中間のグレーを含まない画像」として読み込まれます。

^{*2} 原稿の文字をテキストデータとして読み取り、パソコンでテキスト検索ができる PDF 形式です。



設定を変更したいときは

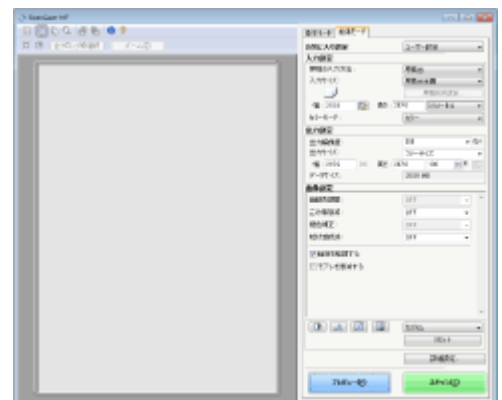
- 上記は、お買い上げ時の設定です。MF Scan Utility から設定を変更できます。詳細については、MF Scan Utility の [操作説明] をクリックして、ヘルプを参照してください。
- Mac OS をお使いの場合は、ScanGear MF のユーザーズガイドを参照してください。

6 OK を押す

- 原稿が読み込まれます。
- 中止したいときは、<中止> ▶ **OK** ▶ <はい> ▶ **OK** の順に選択します。



ScanGear MF が表示されていると、スキャンできません。画面を閉じてからスキャンしてください。



■手順 1 でフィーダーに原稿をセットした場合 (MF244dw)

読み込みが完了すると、パソコンの画面に保存先のフォルダーが表示されます。

■手順 1 で原稿台ガラスに原稿をセットした場合

読み込みが完了したら、次の操作を行います (ファイル形式が PDF の場合のみ)。

1 原稿が複数枚あるときは次の原稿をセットして、 を押す

- すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。

- 原稿が1枚のときは次の手順に進みます。

2 <読み込み終了>を選び、**OK** を押す

- パソコンの画面に保存先のフォルダーが表示されます。



保存先のフォルダーについて

- お買い上げ時の設定では、読み込んだデータは「マイドキュメント」フォルダーに保存されます。日付を名称とするサブフォルダーが作成され、データはその中に保存されます。
- MF Scan Utility から保存先を変更できます。詳細については、MF Scan Utility の「操作説明」をクリックして、ヘルプを参照してください。



便利な機能

本体からのスキャンをもっとかんたんに

- 「カラーで読み込むか、白黒で読み込むか?」、「読み込んだ原稿はどのパソコンに保存するのか?」が常に決まっているのであれば毎回そういった指定をするのは面倒です。あらかじめ「スキャン→PC」キーにこれらの操作を登録しておけば、ワンプッシュでスキャンできます。▶ **「スキャン→PC」キーを使ってスキャンする(P. 141)**

[スキャン→PC] キーを使ってスキャンする

14EH-02L



原稿をセットして **[スキャン→PC]**（MF232w のみ、**[スキャン→PC1]** または **[スキャン→PC2]**）を押すとすぐにスキャンが始まります。カラー読み込み／白黒読み込み、原稿の保存先、スキャンの種類をあらかじめキーに登録した設定で原稿が読み込まれます。ここでは、設定をキーに登録する方法と、登録したキーを使って実際に読み込む方法を説明します。

- ▶ **[スキャン→PC]** キーに設定を登録する(P. 141)
- ▶ **[スキャン→PC]** キーを使う(P. 143)

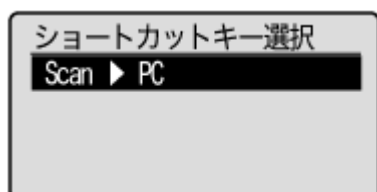
[スキャン→PC] キーに設定を登録する

[スキャン→PC]（MF232w のみ、**[スキャン→PC1]** または **[スキャン→PC2]**）に保存先のパソコンとスキャンの種類を登録します。

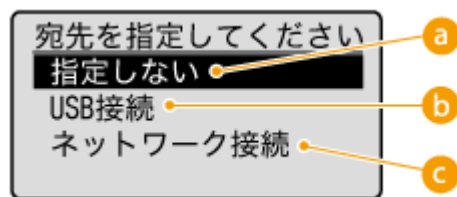


- 1 **[OK]** を押す
- 2 **▲**／**▼** で＜スキャン設定＞を選び、**[OK]** を押す
- 3 ＜ショートカットキー設定＞▶＜登録＞の順に進む
- 4 **[OK]** を押す

- MF232w のみ、設定を登録するショートカットキーを選択し、**[OK]** を押します。



5 パソコンとの接続方法を選び、**OK** を押す



a <指定しない>

登録済みの設定を消去するときに選びます。

b <USB 接続>

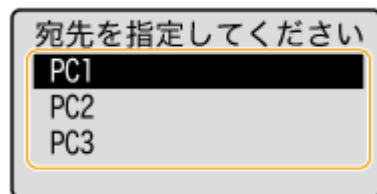
本機とパソコンが USB で接続されているときに選びます。

c <ネットワーク接続>

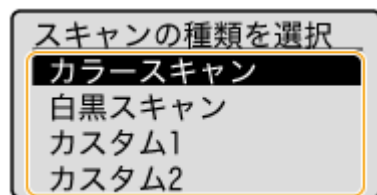
本機とパソコンがネットワークで接続されているときに選びます。

6 読み込んだ原稿を保存するパソコンを選び、**OK** を押す

- 手順 5 で< USB 接続>を選んだ場合は、この画面は表示されません。



7 スキャンの種類を選び、**OK** を押す



スキャンの種類	色	解像度	ファイル形式
<カラースキャン>	カラー	300 dpi	JPEG (Exif)
<白黒スキャン>	白黒 ^{*1}	300 dpi	PDF (サーチャブル ^{*2})
<カスタム 1>	カラー	300 dpi	JPEG (Exif)
<カスタム 2>	カラー	300 dpi	JPEG (Exif)

^{*1} 「白または黒のみで中間のグレーを含まない画像」として読み込まれます。

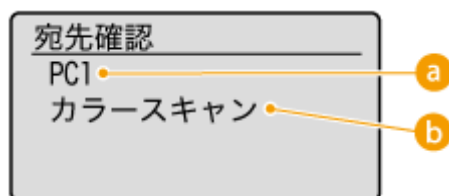
^{*2} 原稿の文字をテキストデータとして読み取り、パソコンでテキスト検索ができる PDF 形式です。



設定を変更したいときは

- 上記は、お買い上げ時の設定です。MF Scan Utility から設定を変更できます。詳細については、MF Scan Utility の [操作説明] をクリックして、ヘルプを参照してください。
- Mac OS をお使いの場合は、ScanGear MF のユーザーズガイドを参照してください。

■登録内容を確認する



a 保存先のパソコン名

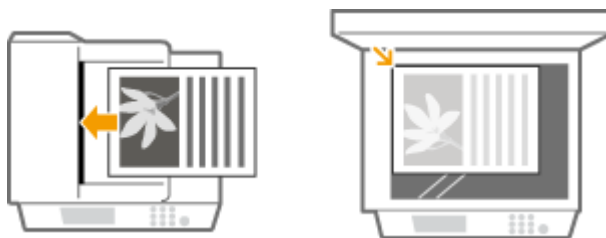
保存先として登録されているパソコンの名前が表示されます。

b スキャンの種類

設定されているスキャンの種類が表示されます。

[スキャン→PC] キーを使う

1 原稿をセットする ●原稿をセットする(P. 40)

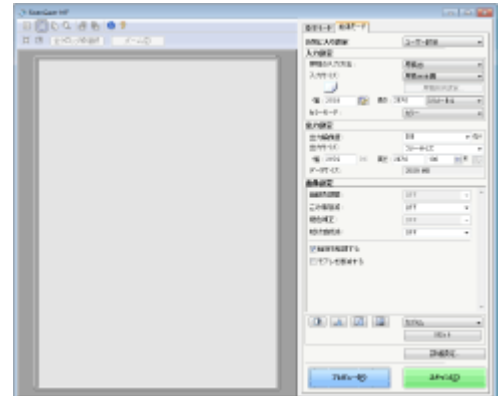


2 (MF232w のみ、 または) を押す

- キーに登録した設定を確認したいとき ●登録内容を確認する(P. 143)
- 原稿が読み込まれます。
- 中止したいときは、<中止>  <はい>  の順に選択します。



ScanGear MF が表示されていると、スキャンできません。画面を閉じてからスキャンしてください。



■手順 1 でフィーダーに原稿をセットした場合 (MF244dw)

読み込みが完了すると、パソコンの画面に保存先のフォルダーが表示されます。

■手順 1 で原稿台ガラスに原稿をセットした場合

読み込みが完了したら、次の操作を行います（ファイル形式が PDF の場合のみ）。

- 1 原稿が複数枚あるときは次の原稿をセットして、 を押す
 - すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。
 - 原稿が 1 枚のときは次の手順に進みます。
- 2 <読み込み終了>を選び、 を押す
 - パソコンの画面に保存先のフォルダーが表示されます。



保存先のフォルダーについて

- お買い上げ時の設定では、読み込んだデータは「マイドキュメント」フォルダーに保存されます。日付を名称とするサブフォルダーが作成され、データはその中に保存されます。
- MF Scan Utility から保存先を変更できます。詳細については、MF Scan Utility の「操作説明」をクリックして、ヘルプを参照してください。



関連項目

- 本体からスキャンする(P. 138)

パソコンからスキャンする

14EH-02R

パソコンからの操作でスキャンする場合は、MF Scan Utility を使ったスキャンと、画像処理ソフトや文書作成ソフトなどのアプリケーションから操作するスキャンの 2 つの方法があります。



MF Scan Utility でスキャンする



MF Scan Utility は、パソコンに文書や画像を取り込むための本機付属のアプリケーションです。読み込んだデータを指定したアプリケーションに転送して表示させたり、E メールソフトのメッセージに添付したりすることもできます。付属の DVD-ROM からインストール後、Windows スタートメニューに表示される [MF Scan Utility] をクリックすると、MF Scan Utility が起動します。使いかたの詳細については、MF Scan Utility の [操作説明] をクリックして、ヘルプを参照してください。



- Mac OS をお使いの場合は、ScanGear MF のユーザーズガイドを参照してください。

アプリケーションでスキャンする



画像処理ソフトや文書作成ソフトなどを操作して、直接アプリケーションに画像を取り込みます。スキャンのために別のアプリケーションを立ち上げる必要はありません。

アプリケーションでスキャンする

14EH-02S



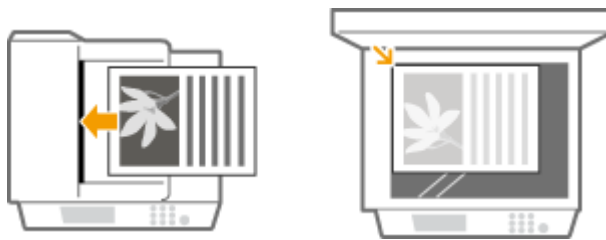
画像処理ソフトや文書作成ソフトなどのアプリケーションから操作して原稿を読み込みます。読み込んだ原稿は直接アプリケーションに取り込まれますので、すぐに編集／加工ができます。なお、以下の操作手順はアプリケーションにより異なる場合があります。



- アプリケーションは TWAIN または WIA^{*}に対応している必要があります。詳細は、お使いのアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

^{*} TWAIN はスキャナーなどの画像入力機器とパソコンを接続するための規格です。WIA は Windows に標準搭載されている機能です。

1 原稿をセットする ▶ 原稿をセットする (P. 40)



- アプリケーションによっては、2 枚目以降の原稿が読み込めなかったり、原稿を読み終わったあとにエラーメッセージが表示されることがあります。この場合は、原稿を 1 枚ずつセットしてスキャンしてください。
- <リモートスキャン時の自動オフラインの ON/OFF> が <OFF> に設定されているときは、 <リモートスキャナー> ▶  の順に選択し、本機をオンライン状態にしておく必要があります。▶ リモートスキャン時の自動オフラインの ON/OFF (P. 337)

2 アプリケーションから、読み込みを開始するコマンドを選ぶ

- コマンドの選択方法はアプリケーションによって異なります。お使いのアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

3 本機用のスキャナードライバーを選ぶ

- ScanGear MF または WIA を選びます。

4 必要に応じて読み込みの設定をする

- ScanGear MF の読み込み設定については、[▶ScanGear MF でスキャン設定する\(P. 148\)](#) を参照してください。

5 [スキャン] をクリックする

⇒ 原稿の読み込みが開始されます。

- 読み込みが完了すると、画像がアプリケーションに転送されます。



関連項目

[▶ScanGear MF でスキャン設定する\(P. 148\)](#)

ScanGear MF でスキャン設定する

14EH-02U



ScanGear MF は本機付属のスキャナードライバーです。ScanGear MF を使用することで、スキャンするときに詳細な読み込み設定を行うことができます。パソコンからスキャンするときの方法によって起動のしかたが異なります。

MF Scan Utility から起動する

MF Scan Utility からスキャンするときに [ScanGear] をクリックすると、ScanGear MF が起動します。使いかたの詳細については、MF Scan Utility の [操作説明] をクリックして、ヘルプを参照してください。



- Mac OS をお使いの場合は、ScanGear MF のユーザーズガイドを参照してください。

アプリケーションから起動する

- 画像処理ソフトや文書作成ソフトなどのアプリケーションから操作してスキャンする場合は、スキャナードライバーを選ぶ際に ScanGear MF を選択してください。▶ **アプリケーションでスキャンする(P. 146)**
- 使いかたの詳細については、ScanGear MF の ? アイコンをクリックしてヘルプを参照してください。



モバイル機器と便利に連携

モバイル機器と便利に連携	150
モバイル機器と接続する	151
ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）	152
アプリを使って本機を活用する	155
AirPrint を使う	156
AirPrint で印刷する	161
AirPrint でスキャンする	164
AirPrint を使用できないときは	166
Google Cloud Print を使う	167
本機を遠隔管理する	171

モバイル機器と便利に連携

14EH-02W

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器と本機を連携させることで、アプリを使って印刷やスキャンなどが手軽に行えます。また、モバイル機器から本機を遠隔操作し、印刷状況を確認したり、本機の設定を変更したりすることもできます。



- ▶ モバイル機器と接続する(P. 151)
- ▶ アプリを使って本機を活用する(P. 155)
- ▶ 本機を遠隔管理する(P. 171)

モバイル機器と接続する

14EH-02X

モバイル機器と本機を接続する方法には、「無線 LAN ルーターを介した接続」または「ダイレクト接続」の 2 つの方法があります。通信環境やお使いの機器に合わせて接続方法を選んでください。

■無線 LAN ルーターを介して接続する

パソコンと本機を接続するのと同じように、無線 LAN ルーターを介して、モバイル機器と本機を接続します。お使いの無線 LAN ルーターとモバイル機器の接続方法については、機器付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

本機は、有線 LAN または無線 LAN でルーターに接続してください。🔴**ネットワークに接続する(P. 174)**



■ダイレクト接続する

無線 LAN ルーターを介さずに、モバイル機器と本機を無線で直接接続します。無線 LAN 環境がなくても、すぐに本機と無線で接続することができます。また、ダイレクト接続開始から一定時間が経過すると、自動的にダイレクト接続を切断し、無線 LAN 接続に切り替わるように設定することもできます。🔴**ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）(P. 152)**



ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）

14EH-02Y

無線 LAN ルーターのない環境でも、モバイル機器から無線で本機に直接接続できる「アクセスポイントモード」を使うことで、お手元のモバイル機器と本機を難しい設定なしに接続することができます。



ダイレクト接続（アクセスポイントモード）で使う

次の順序でアクセスポイントモードを使った接続作業を行います。

1

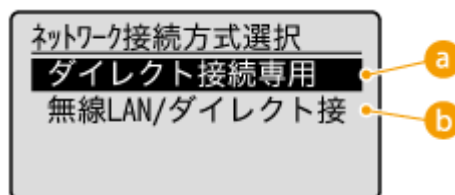


本機をアクセスポイントモードに設定する

- ・ <ダイレクト接続を使用>を<ON>に設定してください。
- ▶ダイレクト接続を使用(P. 299)

■無線 LAN でネットワークに接続している場合

ダイレクト接続の方式を選ぶ画面が表示されます。



a <ダイレクト接続専用>

無線 LAN 接続が使用できなくなります。ダイレクト接続のみで使うときに設定します。

b <無線 LAN/ダイレクト接続自動切替>

ダイレクト接続時のみ無線 LAN 接続が切断されます。ダイレクト接続と無線 LAN 接続を切り替えて使うときに設定します。

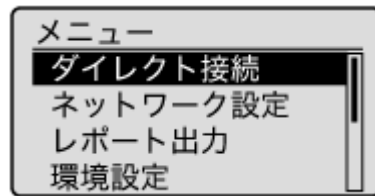


2



本機を接続待機状態にする

- ・ [無線LAN] ▶ <ダイレクト接続> ▶ [OK] の順に選択してください。モバイル機器から接続できる状態になります。

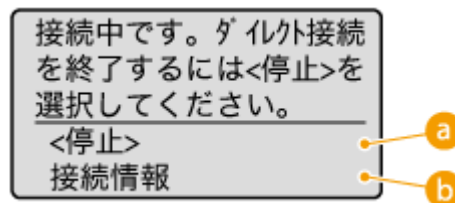


モバイル機器から接続する

- ディスプレイに表示された SSID とネットワークキーの情報をもとに、本機を接続先とする無線 LAN の接続設定を行ってください。



- 接続中はディスプレイに以下の画面が表示されます。



a <停止>

ダイレクト接続を停止します。印刷やスキャンなどの操作が完了したら、<停止>を選んで **OK** を押し、接続を停止してください。

b <接続情報>

接続中のダイレクト接続に関する情報を確認できます。



- ダイレクト接続中、お使いのモバイル機器によってはインターネットに接続できないことがあります。
- ダイレクト接続中に<任意の SSID を使用>が< OFF >の場合、同時に 2 台以上の接続はできません。
- SSID とネットワークキーを表示中に、モバイル機器から 5 分以内に無線接続を行わなかった場合、接続待機状態が終了します。
- ダイレクト接続で通信中、本機とモバイル機器とでデータの送受信が無い状態が続くと、通信が終了する場合があります。
- 本機の SSID とネットワークキーはダイレクト接続の都度変更されます。
- ダイレクト接続中はスリープモードの節電効果が下がります。
- ダイレクト接続を利用する場合、モバイル機器側で IP アドレスを手動で設定しないでください。設定を行うと、ダイレクト接続利用後に通信が正しく行えなくなることがあります。



便利な機能

任意の SSID とネットワークキーを設定する

- ダイレクト接続に使用する SSID やネットワークキーを自分で入力して設定することができます。任意の SSID を設定すると、同時に 5 台まで本機に接続が可能になります。▶ **アクセスポイントモード設定(P. 300)**

ダイレクト接続を自動的に切断する

- ダイレクト接続開始から一定時間が経過すると、ダイレクト接続が自動的に切断されるように設定することができます。ダイレクト接続の方式が＜無線 LAN/ダイレクト接続自動切替＞に設定されていると、ダイレクト接続の切断後、自動的に無線 LAN に接続されます。
 - ▶ **有線 LAN か無線 LAN かを選択する(P. 176)**
 - ▶ **ダイレクト接続の自動切断時間(P. 299)**

アプリを使って本機を活用する

14EH-030

本機と接続したモバイル機器からアプリを使って印刷やスキャンなどを行います。キヤノンの専用アプリをはじめ、さまざまなアプリに対応しています。お使いの機器や用途、利用シーンなどに応じて使い分けてください。

■Canon PRINT Business で印刷／スキャンする

iOS/Android 対応モバイル機器から印刷したり、本機にセットした原稿を読み込んでモバイル機器に送ったりすることができます。印刷するときは、本機での操作は不要です。対応 OS や詳しい設定方法、操作手順に関してはアプリケーションのヘルプや、キヤノンホームページ (<http://www.canon.com/>) をご覧ください。

■Canon Print Service で印刷する

Android の印刷サブシステムをサポートしているアプリケーションのメニューから簡単に印刷できます。対応 OS や詳しい設定方法、操作手順に関しては、キヤノンホームページ (<http://www.canon.com/>) をご覧ください。

■Google Cloud Print を使う

Google Cloud Print に対応しているアプリやサービスから印刷します。外出先など、いつでも、どこからでも本機で印刷することが可能です。▶[Google Cloud Print を使う\(P. 167\)](#)



■Mopria™で印刷する

本機は Mopria™にも対応しています。Mopria™を使用すれば、メーカーや機種が異なっても共通の操作や設定で印刷することができます。たとえば、複数のメーカーの Mopria™対応プリンターをお使いの場合や、外出先に Mopria™対応プリンターがあった場合などに、メーカーや機種ごとの専用アプリをインストールすることなく印刷できます。対応機種や動作環境の詳細は、<http://www.mopria.org> をご覧ください。



AirPrint を使う

14EH-031

Apple 製機器からドライバーを介さずに印刷、スキャンが行えます。



AirPrint の設定

- ▶ AirPrint の設定をする (P. 156)
- ▶ AirPrint 専用ページを表示する (P. 159)

AirPrint でできること

- ▶ AirPrint で印刷する (P. 161)
- ▶ AirPrint でスキャンする (P. 164)

困ったときは

- ▶ AirPrint を使用できないときは (P. 166)

AirPrint の設定をする

本機を識別するための名称や設置場所を登録できます。AirPrint を使用できないように設定することもできます。設定はリモート UI を使って行います。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 283)

2 [設定/登録] をクリックする

- iPad や iPhone、iPod touch などのモバイル機器を使う場合、以降の「クリック」という指示は「タップ」と読み替えてください。



3 [ネットワーク設定] ▶ [AirPrint 設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 必要な情報を入力し、[OK] をクリックする



[AirPrint を使用する]

AirPrint を使用するときはチェックマークを付けます。AirPrint を使用できないようにする場合は、チェックマークを外してください。

[プリンター名] / [設置場所] / [画質モード選択] / [緯度] / [経度]

お使いの Apple 製機器から本機を識別するための名称や設置場所を入力します。AirPrint 対応プリンターが複数台あるときは入力しておくくと便利です。また、印刷速度を優先するか、または印刷品質を優先するかを選択します。



[AirPrint を使用する] にチェックマークを付けると

以下の設定も自動的に < ON > となります。

- IPv4 と IPv6 の < mDNS 設定 > ▶ **DNS の設定をする(P. 222)**
- < HTTP を使用 > ▶ **HTTP 通信を無効にする(P. 257)**
- [IPP 印刷設定] の [IPP 印刷の使用] ▶ **AirPrint で使える機能を変更する(P. 158)**
- < Network Link Scan を使用 > ▶ **AirPrint で使える機能を変更する(P. 158)**

[プリンター名] を変更すると

- 一度設定した [プリンター名] を変更すると今まで印刷できていた Mac から印刷できなくなることがあります。これは IPv4 の < mDNS 名 > (▶ **DNS の設定をする(P. 222)**) も変更されるために起きる現象です。この場合は Mac に本機を追加しなおしてください。

■AirPrint で使える機能を変更する

AirPrint で使わない機能を無効にしたり、通信を暗号化したりするときは、操作パネルまたはリモート UI から設定を行います。

印刷の設定を変更する

AirPrint で印刷をするときは、IPP プロトコルを使用します。

機能の有効／無効を設定する

印刷をするかどうかを設定できます。お買い上げ時は [ON] に設定されています。



リモート UI に管理者モードでログインする (▶ **リモート UI を起動する(P. 283)**) ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPP 印刷設定] ▶ [編集] ▶ [IPP 印刷を使用する] にチェックマークを付けるまたは外す ▶ [OK]

TLS の設定を変更する

印刷をするときに、TLS で通信を暗号化するかどうかを設定できます。お買い上げ時は [ON] に設定されています。



- Mac と USB 接続しているときは、[TLS を使用] を [OFF] にしてください。



リモート UI に管理者モードでログインする（**リモート UI を起動する(P. 283)**）▶ [設定/登録]
▶ [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPP 印刷設定] ▶ [編集] ▶ [TLS を使用する]
にチェックマークを付けるまたは外す ▶ [OK]

スキャンの設定を変更する

AirPrint でスキャンをするときは、Network Link Scan を使用します。

機能の有効／無効を設定する

AirPrint でのスキャン機能を有効／無効に切り替えることができます。お買い上げ時は＜ ON ＞に設定されています。



◀ ネットワーク設定 ▶ OK ▶ TCP/IP 設定 ▶ OK ▶ Network Link Scan 設定
▶ OK ▶ Network Link Scan を使用 ▶ OK ▶ ON または OFF を選択
▶ OK ▶

TLS の設定を変更する

スキャンをするときに、TLS で通信を暗号化するかどうかを設定できます。お買い上げ時は＜ ON ＞に設定されています。



- Mac と USB 接続しているときは、[TLS の使用] を [ON] にしてください。



リモート UI に管理者モードでログインする（**リモート UI を起動する(P. 283)**）▶ [設定/登録]
▶ [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [Network Link Scan 設定] ▶ [編集] ▶ [TLS を使用する]
にチェックマークを付けるまたは外す ▶ [OK]

AirPrint 専用ページを表示する

AirPrint 専用ページから AirPrint の設定画面を表示したり、用紙やトナーカートリッジなどの消耗品の状態を確認したりすることができます。また、セキュリティ機能の設定（**TLS でリモート UI 通信を暗号化する(P. 260)**）も行うことができます。

1 デスクトップの Dock で [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] をクリックする

2 本機を選び、[オプションとサプライ] をクリックする

3 [プリンタの Web ページを表示] をクリックする

4 リモート UI にログインする

- AirPrint の設定を変更する場合は、管理者モードでログインしてください。

⇒ AirPrint 専用ページが表示されます。



商標について

Apple、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch、Mac、Mac OS、OS X および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。AirPrint および AirPrint logo は、Apple Inc.の商標です。

AirPrint で印刷する

14EH-032

Eメール、写真、ウェブページなどを印刷できるのはパソコンだけではありません。AirPrint を使えば、iPad、iPhone、iPod touch から直接印刷することができます。



- ▶ iPad、iPhone または iPod touch から印刷する(P. 161)
- ▶ Mac から印刷する(P. 162)

動作環境

AirPrint で印刷するには、次のいずれかの Apple 製機器が必要です。

- iPad（すべてのモデル）
- iPhone（3GS 以降）
- iPod touch（第3世代以降）
- Mac（Mac OS X 10.7 以降）*

* USB 接続でお使いの場合は OS X 10.9 以降

ネットワーク環境

次のいずれかの環境が必要です。

- Apple 製機器と本機が同一の LAN に接続されている。
- Apple 製機器と本機がダイレクト接続されている。
- Mac と本機が USB 接続されている。



- 印刷をするためには [IPP 印刷の使用] が [ON] になっている必要があります。▶ AirPrint で使える機能を変更する(P. 158)

iPad、iPhone または iPod touch から印刷する

1 本機の電源が入っていて、お使いの Apple 製機器と接続されていることを確認する

- 確認方法については「かんたん設置ガイド」を参照してください。▶ 本機に付属するマニュアル(P. 437)

- ダイレクト接続については、 **ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）**（P. 152）を参照してください。

2 お使いの Apple 製機器のアプリケーションで、 をタップしてメニューオプションを表示する

3 プルダウンメニューから [プリント] をタップする

4 [プリンタオプション] の [プリンタ] で本機を選ぶ

- ネットワーク内で接続されているプリンターが表示されます。ここでは本機を選びます。



- アプリケーションが AirPrint に対応していないと [プリンタオプション] は表示されません。この場合は印刷できません。

5 必要に応じて印刷の設定をする



- 設定できる項目や使用できる用紙サイズは、お使いのアプリケーションにより異なります。
- 画像ファイルの中間調は、操作パネルから設定できます。  **モバイルプリントの中間調選択**(P. 325)

6 [プリント] をタップする

⇒ 印刷が開始されます。



印刷の進行状況を確認するには

- 印刷中に Apple 製機器のホームボタンを 2 回押す ▶ [プリント] をタップ

Mac から印刷する

1 本機の電源が入っていて、Mac と接続されていることを確認する

- 確認方法については「かんたん設置ガイド」を参照してください。  **本機に付属するマニュアル**(P. 437)

2 [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] でお使いの Mac に本機を追加する

- すでに他の機能で追加している場合、この操作は不要です。

3 アプリケーションで文書を開き、印刷ダイアログボックスを表示させる

- 印刷ダイアログボックスの表示方法はアプリケーションによって異なります。お使いのアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

4 印刷ダイアログボックスで本機を選ぶ

- Mac に接続されたプリンターが表示されます。ここでは本機を選びます。

5 必要に応じて印刷設定をする



- 設定できる項目や使用できる用紙サイズは、お使いのアプリケーションにより異なります。
- 画像ファイルの中間調は、操作パネルから設定できます。▶ **モバイルプリントの中間調選択(P. 325)**

6 [プリント] をクリックする

▶▶▶ 印刷が開始されます。

AirPrint でスキャンする

14EH-033

AirPrint を使えば、本機で読み込んだデータを直接 Mac に取り込むことができます。



動作環境

AirPrint でスキャンするには、OS X 10.9 以降がインストールされた Mac が必要です。

ネットワーク環境

次のいずれかの環境が必要です。

- Mac と本機が同一の LAN に接続されている。
- Mac と本機が USB 接続されている。



ご注意

- スキャンをするためには < Network Link Scan を使用 > が < ON > になっている必要があります。▶ **AirPrint で使える機能を変更する (P. 158)**
- スキャンをする際には本機がオンライン状態になっている必要があります。自動オンライン機能 (▶ **リモートスキャン時の自動オフの ON/OFF (P. 337)**) が < OFF > に設定されているときは、次の手順で本機をオンライン状態にしてから、スキャンの操作を行ってください。  (コピー/スキャン) ▶ < リモートスキャナー > ▶ 
- 各機能の設定中や、なんらかの動作を行っているときはスキャンできません。

Mac からスキャンする

1 本機の電源が入っていて、Mac と接続されていることを確認する

- 確認方法については「かんたん設置ガイド」を参照してください。▶ **本機に付属するマニュアル (P. 437)**

2 [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] でお使いの Mac に本機を追加する

- すでに他の機能で追加している場合、この操作は不要です。

3 [プリンタとスキャナ] 内のプリンターの一覧から本機を選ぶ

4 [スキャン] をクリックする

5 [スキャナを開く] をクリックする

⇒ [スキャナ] 画面が表示されます。

6 必要に応じて読み込み設定をする

7 [スキャン] をクリックする

⇒ 原稿が読み込まれ、画像が表示されます。

AirPrint を使用できないときは

14EH-034

AirPrint を使用できないときは、こちらの対処方法をお試しく下さい。

- 本機の電源が入っていることを確認します。すでに電源が入っている場合はいったん電源を切り、10 秒待って再び電源を入れて、問題が解決するか確認してください。
- 本機のディスプレイにエラーメッセージが表示されていないことを確認します。
- Apple 製機器と本機が同一の LAN に接続されていることを確認します。なお、本機の電源を入れてから、通信の準備が完了するまで数分かかる場合があります。
- お使いの Apple 製機器で、Bonjour が有効に設定されていることを確認します。
- 印刷の場合は、本機に用紙がセットされていて、トナーカートリッジの残量が十分あることを確認します。▶**AirPrint 専用ページを表示する(P. 159)**
- スキャンの場合は、本機の Network Link Scan 設定が＜ ON ＞になっていることを確認します。▶**AirPrint で使える機能を変更する(P. 158)**

Google Cloud Print を使う

14EH-035

Google Cloud Print とは、Google アカウントをもったユーザーが、インターネットに接続されたスマートフォン、タブレット、パソコンなどから Google Cloud Print に対応したアプリケーション経由で印刷できるサービスです。従来のパソコンからの印刷とは異なり、印刷のためのドライバーは不要です。たとえば、外出中にメールを印刷したり、メールに添付されている Word ファイルや PDF ファイルを印刷したくなったとき、スマートフォンやタブレットの Google Cloud Print 対応アプリケーションから印刷を指定するだけで自宅に着くころにはそれらが印刷されています。



- 🔴 本機の設定を確認する(P. 167)
- 🔴 クラウドプリントの設定を変更する(P. 167)
- 🔴 Google Cloud Print に本機を登録する(P. 168)



- 本機を登録するときや Google Cloud Print を使って印刷するときは、インターネットに接続できる環境が必要です。また、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。
- 国と地域によっては、Google Cloud Print をお使いになれない場合があります。
- Google Cloud Print は IPv6 アドレスからの印刷に対応していません。



- Google Cloud Print を使うには Google アカウントが必要です。Google アカウントをお持ちでない場合は、Google のウェブサイトで作成してください。

本機の設定を確認する

クラウドプリントの設定を行う前に、次のことを確認してください。

- 本機に IPv4 アドレスが設定され、ネットワーク上のパソコンと通信できる状態か確認してください。
 - 🔴 無線 LAN に接続する(P. 178)
 - 🔴 有線 LAN に接続する(P. 177)
- 日付／時刻やタイムゾーンの設定が正しいか確認してください。 🔴 日付/時刻の設定(P. 315)

クラウドプリントの設定を変更する

本機のクラウドプリント機能を有効にします。クラウドプリント機能を使用できないように設定することもできます。

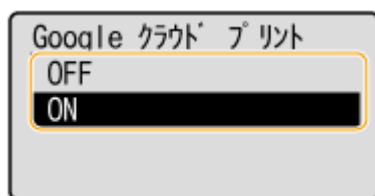
1 を押す

2 ▲／▼ で<システム管理設定>を選び、 を押す

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して  を押します。  システム管理暗証番号を設定する(P. 240)

3 < Google クラウド プrint の設定 > ▶ < Google クラウド プrint の ON/OFF > の順に進む

4 < ON > または < OFF > を選び、 を押す



Google Cloud Print に本機を登録する

Google Cloud Print に本機を登録すると、どこからでも Google Cloud Print を使った印刷ができるようになります。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 283)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク設定] ▶ [Google クラウド プリント設定] をクリックする



4 [登録状況] にある [登録] をクリックする



[登録] が表示されないとき

- クラウドプリントを有効にしてください。[編集] をクリックして [Google クラウド プリントを使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックします。

本機を登録しなおすとき

- 所有者が変わるなどの理由で本機を登録しなおしたいときは、いったん本機の登録を解除してから再登録してください。

5 [登録用 URL] に表示されている URL のリンクをクリックする



6 画面の指示に従って本機を登録する

▶▶ Google Chrome™などの Google Cloud Print に対応したアプリケーションから印刷が可能となります。

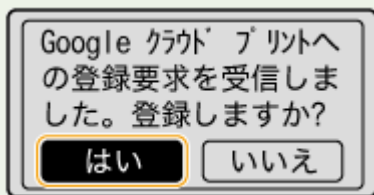


- Google Cloud Print に対応した最新のアプリケーションについては、Google Cloud Print のホームページで確認してください。



モバイル機器や Google Chrome から登録する

- モバイル機器や Google Chrome から本機を登録することもできます*。登録完了前に本機のディスプレイに以下の確認画面が表示されますので、＜はい＞を押して登録を完了してください。



* 登録方法については、お使いの機器の取扱説明書や Google Cloud Print のホームページを参照してください。

本機を遠隔管理する

14EH-036

スマートフォンやタブレットのウェブブラウザからリモート UI を使うことができます。本体状況の確認や、各種設定をモバイル機器から行うことができます。お使いの機器やその環境によっては、リモート UI の画面がうまく表示されない場合があります。



モバイル機器からリモート UI を起動する

ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力し、リモート UI を起動します。操作の前に、あらかじめ本機に設定されている IP アドレスを確認しておいてください（[🔴 ネットワークの設定を確認する\(P. 203\)](#)）。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 モバイル機器のウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力欄に「http://<本機の IP アドレス>/」と入力する

- IPv6 アドレスを使用している場合は、IP アドレスを [] で囲み、次のような形式で入力してください：http://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]/



- 「スマートフォン版」のリモート UI では、表示項目の一部を省略しています。全ての項目を確認したいときは、「PC 版」をご覧ください。



関連項目

- [🔴 リモート UI を使う\(P. 282\)](#)

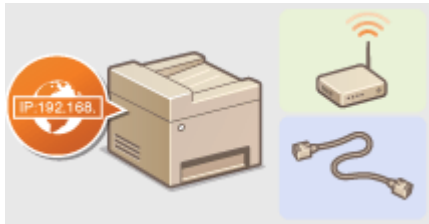
ネットワーク

ネットワーク	173
ネットワークに接続する	174
有線 LAN か無線 LAN かを選択する	176
有線 LAN に接続する	177
無線 LAN に接続する	178
WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）	180
WPS PIN コード方式で設定する	183
無線 LAN ルーターを選んで設定する	186
すべて入力して設定する	189
SSID やネットワークキーを確認する	193
IP アドレスを設定する	196
IPv4 アドレスを設定する	197
IPv6 アドレスを設定する	200
ネットワークの設定を確認する	203
ネットワークプリンターの設定をする	206
印刷プロトコルや Web サービスの設定をする	207
印刷ポートの設定をする	211
プリントサーバーを設定する	214
使用するネットワーク環境に合わせる	217
イーサネットの設定をする	218
送信パケットの最大サイズを変更する	220
ネットワーク接続時の待機時間を設定する	221
DNS の設定をする	222
SNTP の設定をする	227
SNMP で監視／制御する	229

ネットワーク

本機は多様な環境に柔軟に対応できるよう、基本的なネットワーク機能に加えて、先進的な技術も採用しています。お使いの環境に合わせて必要な設定を行ってください。「ネットワークは少しニガテ…」という方のためにも便利でかんたんに使うためのさまざまな工夫を取り入れています。肩ひじを張らずひとつひとつ、着実にネットワークの設定を進めてください。

■ パソコンと接続する／本機の設定を確認する



▶ ネットワークに接続する(P. 174)



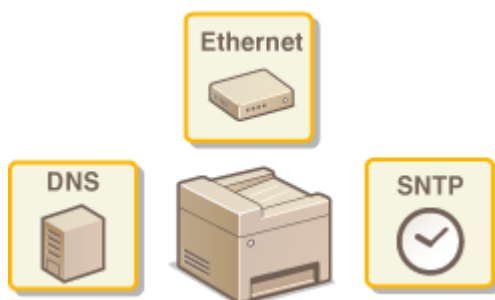
▶ ネットワークの設定を確認する(P. 203)

■ プリントの設定や準備をする



▶ ネットワークプリンターの設定をする(P. 206)

■ お使いの環境に合わせてさらに便利に使う



▶ 使用するネットワーク環境に合わせる(P. 217)



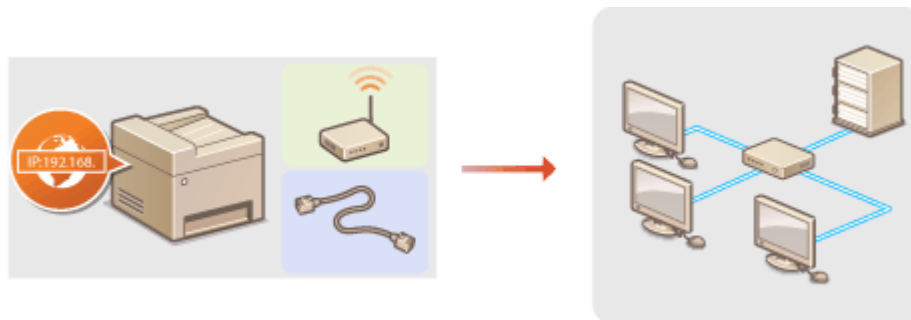
モバイル機器とダイレクト接続

- 難しいネットワーク設定をすることなく、本機とダイレクトに無線通信ができます。▶ **ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）** (P. 152)

ネットワークに接続する

14EH-038

本機をネットワークに接続するには「無線 LAN による接続」と「有線 LAN による接続」の 2 つの方法があり、いずれの場合もネットワーク内で固有の IP アドレスを使用します。接続方法については、通信環境やお使いの機器に合わせてお選びください。接続と設定の手順については、「かんたん設置ガイド」を参照してください（**●本機に付属するマニュアル(P. 437)**）。設定する IP アドレスについては、お使いのプロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。



十分なセキュリティ対策が行われていないネットワークに接続すると、個人情報などのデータが第三者に漏えいする恐れがあります。



- 有線 LAN と無線 LAN は同時に使用できません。
- 本機にはルーターや LAN ケーブルは付属していません。別途ご用意ください。
- お使いのルーターが有線 LAN または無線 LAN のどちらに対応しているか分からない場合は、機器付属の取扱説明書をご覧ください。メーカーにお問い合わせください。

■作業の前に確認してください

次の順序でネットワークへの接続作業を行います。



はじめに確認する

- パソコンとルーターは正しくつながっていますか？詳しくはそれぞれの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。メーカーにお問い合わせください。
- パソコン側のネットワーク設定は完了していますか？設定が正しく完了していないと、以降の手順を行ってもネットワークでお使いいただくことができません。



- お使いの環境によっては、ネットワークの通信方式（半二重／全二重）やイーサネットの種類（10BASE-T/100BASE-TX）の設定を変更する必要があります（**●イーサネットの設**

定をする(P. 218))。詳しくは、プロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 本機の MAC アドレスを確認するとき
 - ▶有線 LAN の MAC アドレスを確認する(P. 203)
 - ▶無線 LAN の MAC アドレスや設定情報を確認する(P. 204)
- IEEE 802.1X を導入したネットワークに接続するとき ▶IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 263)



2



有線 LAN か無線 LAN かを選ぶ

- ▶有線 LAN か無線 LAN かを選択する(P. 176)



3



有線 LAN または無線 LAN に接続する

- 手順 2 で選んだ設定に応じて次のどちらかを選びます。
 - ▶有線 LAN に接続する(P. 177)
 - ▶無線 LAN に接続する(P. 178)



4



必要に応じて IP アドレスを設定する

- 特定の IP アドレスを使用したいときや、IP アドレスを自動設定するプロトコルを初期値の DHCP から変更したいときなどに必要な設定です。
 - ▶IP アドレスを設定する(P. 196)

有線 LAN か無線 LAN かを選択する

14EH-039

本機とパソコンを無線 LAN で接続するのか、有線 LAN で接続するのかを決めたら、実際に操作パネルで設定します。無線 LAN／有線 LAN の接続方法と設定については、「かんたん設置ガイド」を参照してください（[▶本機に付属するマニュアル \(P. 437\)](#)）。なお、有線 LAN を無線 LAN、または無線 LAN を有線 LAN に設定変更した場合は、すでにインストールされている MF ドライバーを一度アンインストールしてからインストールしなおす必要がありますのでご注意ください。詳細については、「MF ドライバーインストールガイド」を参照してください。

1 を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク設定>を選び、 を押す

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して  を押します。[▶システム管理暗証番号を設定する \(P. 240\)](#)

3 <有線/無線 LAN 選択>を選び、 を押す

4 <有線 LAN >または<無線 LAN >を選び、 を押す



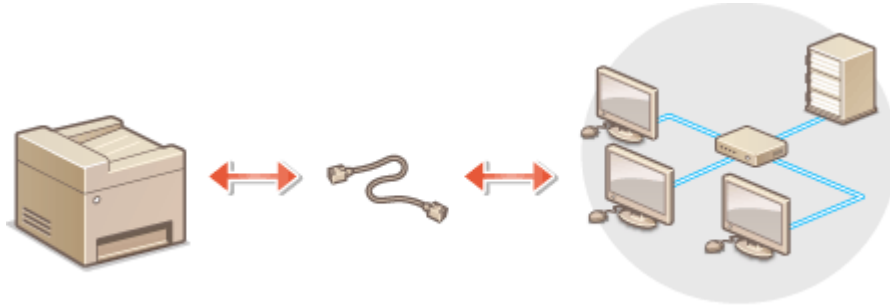
関連項目

- [ネットワークに接続する \(P. 174\)](#)
- [有線 LAN に接続する \(P. 177\)](#)
- [無線 LAN に接続する \(P. 178\)](#)

有線 LAN に接続する

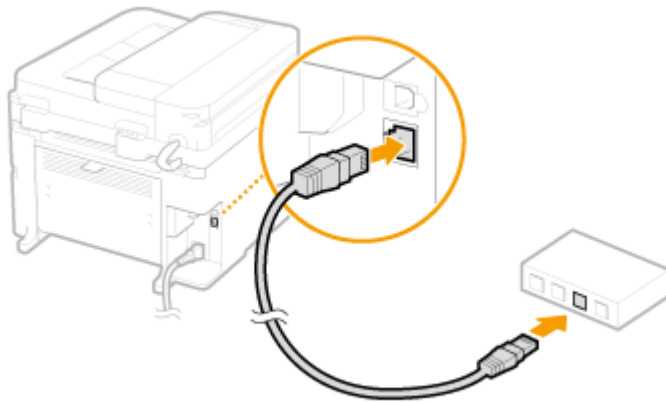
14EH-03A

ルーターを介して本機とパソコンを接続します。接続には LAN ケーブルを使用します。



1 LAN ケーブルを接続する

- LAN ケーブルを使って、本機をルーターに接続します。
- コネクタがきちんとポートに収まるよう、カチッと音がするまで押し込んでください。



2 約 2 分待つ

- この間に IP アドレスが自動的に設定されます。



IP アドレスは手動でも設定できます。 **IP アドレスを設定する(P. 196)**

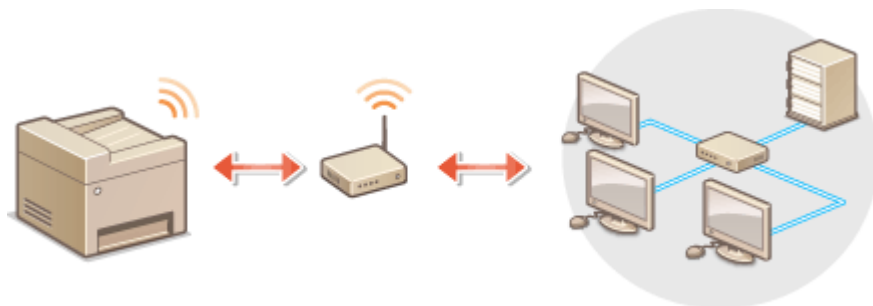


ネットワークに接続する(P. 174)

無線 LAN に接続する

14EH-03C

無線 LAN ルーター（またはアクセスポイント）を介して、本機とパソコンを無線（電波）で接続します。無線 LAN ルーターが WPS/AOSS/らくらく無線スタートに対応している場合はボタン操作でかんたんに接続できます。これらの規格に対応していない場合や、認証や暗号化などの設定を詳しく指定したい場合は手動で設定します。パソコン側の接続はあらかじめ済ませておいてください。



- ▶ WPS/AOSS/らくらく無線スタートで設定する(P. 179)
- ▶ 手動で設定する(P. 179)



情報漏えいのリスクについて

無線通信に使用する電波は一定の範囲内であれば壁などの障害物を越えてしまうため、十分なセキュリティで保護されていないネットワークに接続した場合は、お客様の個人情報などが第三者に漏えいする恐れがあります。本機を無線 LAN に接続するときは、お客様ご自身の判断と責任において使用してください。

無線 LAN のセキュリティ規格

本機の無線 LAN は次のセキュリティ規格に対応しています。お使いの無線 LAN ルーターが対応しているかどうかについては、機器付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

- 128 (104)/64 (40) ビット WEP
- WPA-PSK (TKIP/AES-CCMP)
- WPA2-PSK (TKIP/AES-CCMP)



無線 LAN 接続に必要な機器

- 本機に無線 LAN ルーターは付属していません。必要に応じて別途ご用意ください。
- 無線 LAN ルーターは IEEE 802.11b/g/n に準拠し、2.4 GHz 帯で使用可能である必要があります。詳しくは、機器付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

WPS／AOSS／らくらく無線スタートで設定する

お使いの無線 LAN ルーターが AOSS／らくらく無線スタートに対応している場合はプッシュボタン方式でかんたんに設定することができます。WPS に対応している場合は、プッシュボタン方式に加えて WPS PIN コード方式による設定も可能です。

■ プッシュボタン方式

無線 LAN ルーターの外装箱に次のようなマークが記載されているか、または機器本体にこれらのボタンがあればプッシュボタン方式で設定できます。▶WPS／AOSS／らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）(P. 180)



■ WPS PIN コード方式

WPS 対応ルーターの中にはプッシュボタン方式に対応していないものがあり、この場合は PIN コードを入力して設定します。外装箱または取扱説明書の WPS PIN コードの記載を確認してください。▶WPS PIN コード方式で設定する(P. 183)



無線 LAN ルーターが WEP 認証を使用するように設定されている場合、WPS では接続できないことがあります。

手動で設定する

手動設定には、アクセスポイント選択方式と手動入力方式があります。どちらの場合もあらかじめ SSID やネットワークキーなどの必要情報を手元にご用意ください（▶SSID やネットワークキーを確認する(P. 193)）。

■ アクセスポイント選択方式

手動設定でも、できるかぎりかんたんに設定を済ませたいときは、この方法で設定します。▶無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 186)

■ 手動入力方式

認証や暗号化などのセキュリティ設定を詳しく指定したい場合は、SSID やネットワークキーを自分で入力して設定します。▶すべて入力して設定する(P. 189)



関連項目

- ▶ネットワークに接続する(P. 174)
- ▶有線 LAN か無線 LAN かを選択する(P. 176)

WPS／AOSS／らくらく無線スタートで自動設定する (プッシュボタン方式)

14EH-03E

お使いの無線 LAN ルーターが、WPS／AOSS／らくらく無線スタートのプッシュボタン方式に対応している場合には、ボタン操作によってかんたんに設定できます。



無線 LAN ルーターの操作方法是、機器によって異なります。必ずお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

1 を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク設定>を選び、 を押す

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して  を押します。  システム管理暗証番号を設定する(P. 240)

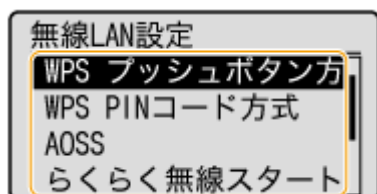
3 <無線 LAN 設定>を選び、 を押す

- <無線 LAN を有効にしますか?>と表示されたら、<はい>を選んで  を押してください。
- <ダイレクト接続設定が OFF に変更されます。よろしいですか?>と表示されたら、<はい>を選んで  を押してください。

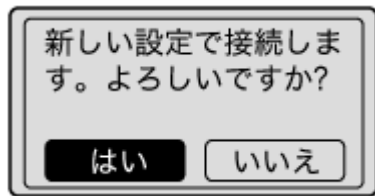
4 メッセージを確認し、 を押す

5 <WPS プッシュボタン方式>、<AOSS>、または<らくらく無線スタート>を選び、 を押す

- お使いの無線 LAN ルーターが対応している機能を選んでください。



6 <はい>を選び、 を押す

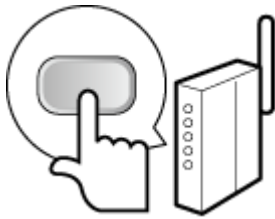


7 無線 LAN ルーターのボタンを押す

■WPS/AOSS の場合

WPS の場合は 2 分以内、AOSS の場合は 1 分 30 秒以内にボタンを押します。

- お使いの無線 LAN ルーターによっては、ボタンを 2 秒以上押す必要があります。必ずお使いの機器の取扱説明書で確認してください。



■らくらく無線スタートの場合

- 1 分以内にボタンを長押しし、無線 LAN ルーターの POWER ランプが緑色に点滅するのを待つ
 - ボタンを離すと、POWER ランプがオレンジ色の点滅に変わります。
- 2 30 秒以内に再びボタンを長押しし、POWER ランプがオレンジ色に点灯するのを待つ

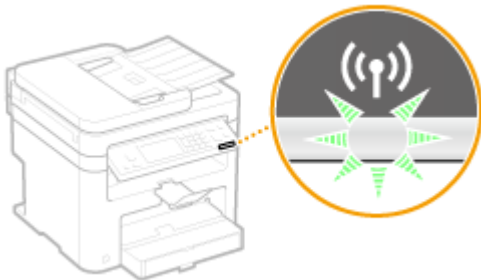


設定中にエラーメッセージが表示されたら

OK を押し、手順 5 からやりなおしてください。

8 本機の Wi-Fi ランプが点滅していることを確認する

- 無線 LAN ルーターが検出されると、Wi-Fi ランプが点滅します。



- 設定が完了すると次の画面が約 2 秒間表示され、Wi-Fi ランプが点灯します。



- 本機が IP アドレスなどの設定を完了するまで、約 2 分間お待ちください。



電波の強度について

接続できる無線 LAN ルーターが複数存在する場合は、電波強度（RSSI）が最も強い機器に接続します。



消費電力を抑えたいとき

＜パワーセーブモード＞を設定すると、無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。▶ **パワーセーブモード(P. 298)**

本機の IP アドレスが変更された場合

DHCP 環境では本機の IP アドレスが自動的に変更される場合がありますが、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されます。



- ▶ **無線 LAN に接続する(P. 178)**

WPS PIN コード方式で設定する

14EH-03F

お使いの無線 LAN ルーターが WPS の PIN コード方式に対応している場合は、本機で生成した PIN コードをパソコンなどを使って無線 LAN ルーターに登録します。



無線 LAN ルーターの操作方法は、機器によって異なります。必ずお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。



パソコンから

1 お使いの無線 LAN ルーターにパソコンなどからアクセスし、WPS PIN コードの設定画面を表示する

- 操作方法については、お使いの無線 LAN ルーターの取扱説明書をご覧ください。



操作パネルから

2 を押す

3 ▲／▼で<ネットワーク設定>を選び、 を押す

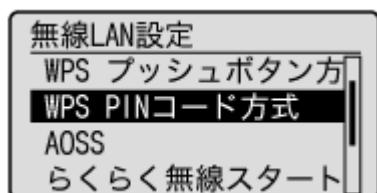
- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して  を押します。  システム管理暗証番号を設定する(P. 240)

4 <無線 LAN 設定>を選び、 を押す

- <無線 LAN を有効にしますか?>と表示されたら、<はい>を選んで  を押してください。
- <ダイレクト接続設定が OFF に変更されます。よろしいですか?>と表示されたら、<はい>を選んで  を押してください。

5 メッセージを確認し、 を押す

6 <WPS PIN コード方式>を選び、 を押す



7 <はい>を選び、**OK** を押す

- PIN コードが生成されます。



パソコンから

8 生成された PIN コードを無線 LAN ルーターに登録する

- 手順 1 の WPS PIN コードの設定画面を使って登録します。
- PIN コードは手順 7 で **OK** を押してから 10 分以内に登録してください。



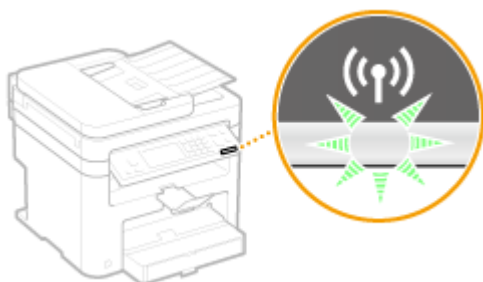
設定中にエラーメッセージが表示されたら

OK を押し、手順 6 からやりなおしてください。

操作パネルから

9 本機の Wi-Fi ランプが点滅していることを確認する

- 無線 LAN ルーターが検出されると、Wi-Fi ランプが点滅します。



- 設定が完了すると次の画面が約 2 秒間表示され、Wi-Fi ランプが点灯します。



- 本機が IP アドレスなどの設定を完了するまで、約 2 分間お待ちください。

**電波の強度について**

接続できる無線 LAN ルーターが複数存在する場合は、電波強度（RSSI）が最も強い機器に接続します。

**消費電力を抑えたいとき**

＜パワーセーブモード＞を設定すると、無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。▶**パワーセーブモード(P. 298)**

本機の IP アドレスが変更された場合

DHCP 環境では本機の IP アドレスが自動的に変更される場合がありますが、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されます。

**関連項目**

▶**無線 LAN に接続する(P. 178)**

無線 LAN ルーターを選んで設定する

14EH-03H

接続可能な無線 LAN ルーター（またはアクセスポイント）を本機のディスプレイから選びます。ネットワークキーには WEP キーまたは TKIP を入力して設定します。SSID やネットワークキーなどの必要情報はあらかじめ確認のうえ、メモしておいてください（ **SSID やネットワークキーを確認する(P. 193)**）。



セキュリティ設定について

無線 LAN ルーターを選んで設定すると、WEP の認証方式は＜オープンシステム＞に、WPA/WPA2 の暗号化方式は＜自動＞（AES-CCMP または TKIP）に設定されます。WEP の認証方式に＜共有キー＞を選びたい場合や、WPA/WPA2 の暗号化方式に＜AES-CCMP＞を指定したい場合は、＜手動入力＞で設定してください。 **すべて入力して設定する(P. 189)**

1 を押す

2 ＜ネットワーク設定＞を選び、 を押す

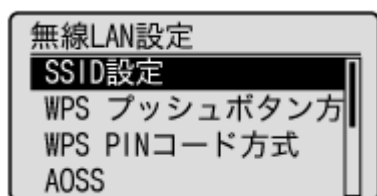
- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して  を押します。 **システム管理暗証番号を設定する(P. 240)**

3 ＜無線 LAN 設定＞を選び、 を押す

- ＜無線 LAN を有効にしますか?＞と表示されたら、＜はい＞を選んで  を押してください。
- ＜ダイレクト接続設定が OFF に変更されます。よろしいですか?＞と表示されたら、＜はい＞を選んで  を押してください。

4 メッセージを確認し、 を押す

5 ＜SSID 設定＞を選び、 を押す



6 ＜アクセスポイント選択＞を選び、 を押す

- 接続可能な無線 LAN ルーターが探索されます。



「アクセスポイントが見つかりません。」と表示されたら

▶メッセージが表示されたら(P. 350) を参照してください。

7 目的の無線 LAN ルーターを選び、**OK** を押す

- メモしておいた SSID と一致する機器を選びます。



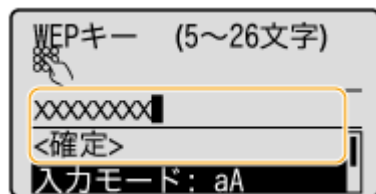
接続したい無線 LAN ルーターが見つからないとき

ネットワークに接続できる状態か、確認してください。▶設置／設定のトラブル(P. 360)

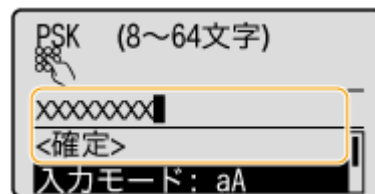
8 メモしておいたネットワークキーを入力する

- テンキーで半角英数字のネットワークキーを入力し、＜確定＞を選んで **OK** を押します。
- ▶文字を入力する(P. 37)

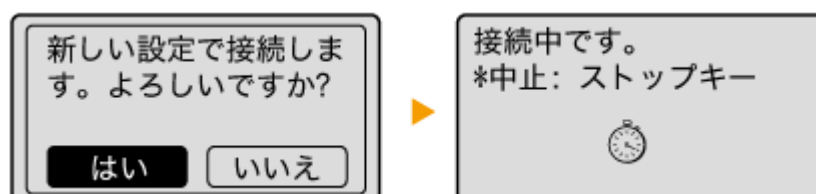
WEP の場合



WPA-PSK または WPA2-PSK の場合



9 <はい>を選び、**OK** を押す



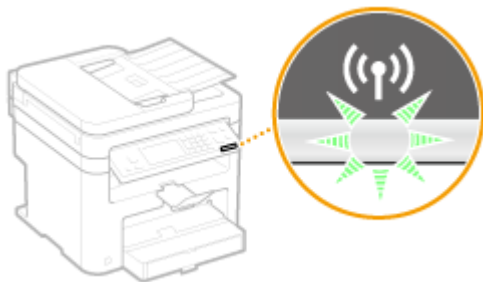


設定中にエラーメッセージが表示されたら

OK を押し、ネットワークキーが正しいか確認したあと、手順 5 からやりなおしてください。

10 本機の Wi-Fi ランプが点滅していることを確認する

- 無線 LAN ルーターが検出されると、Wi-Fi ランプが点滅します。



- 設定が完了すると次の画面が約 2 秒間表示され、Wi-Fi ランプが点灯します。



- 本機が IP アドレスなどの設定を完了するまで、約 2 分間お待ちください。



電波の強度について

接続できる無線 LAN ルーターが複数存在する場合は、電波強度（RSSI）が最も強い機器に接続します。



消費電力を抑えたいとき

<パワーセーブモード>を設定すると、無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。▶ **パワーセーブモード(P. 298)**

本機の IP アドレスが変更された場合

DHCP 環境では本機の IP アドレスが自動的に変更される場合がありますが、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されます。



関連項目

- ▶ **無線 LAN に接続する(P. 178)**

すべて入力して設定する

14EH-03J

セキュリティの設定などを詳しく指定したい場合や、他の方法で接続できない場合は、無線 LAN 接続の設定をすべて手動入力で行います。SSID やネットワークキー、セキュリティ規格や認証／暗号化方式などの必要な情報は、あらかじめ確認／メモしておいてください（[▶SSID やネットワークキーを確認する\(P. 193\)](#)）。

1 を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク設定>を選び、 を押す

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して  を押します。[▶システム管理暗証番号を設定する\(P. 240\)](#)

3 <無線 LAN 設定>を選び、 を押す

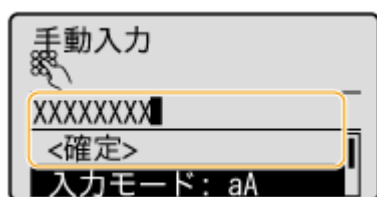
- <無線 LAN を有効にしますか?>と表示されたら、<はい>を選んで  を押してください。
- <ダイレクト接続設定が OFF に変更されます。よろしいですか?>と表示されたら、<はい>を選んで  を押してください。

4 メッセージを確認し、 を押す

5 <SSID 設定> ▶ <手動入力>の順に進む

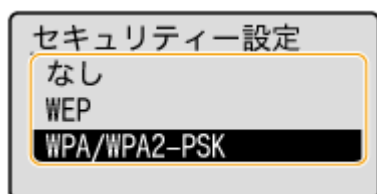
6 メモしておいた SSID を入力する

- テンキーで SSID を入力し、<確定>を選んで  を押します。
[▶文字を入力する\(P. 37\)](#)



7 メモしておいた情報をもとにセキュリティの設定をする

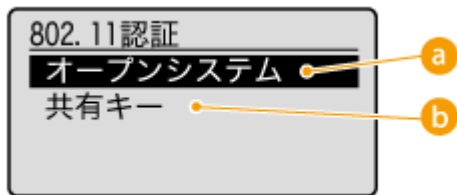
- セキュリティの設定をしないときは<なし>を選び、 を押します。



■WEP を使用する

1 < WEP >を選び、**OK** を押す

2 認証方式を選び、**OK** を押す



a <オープンシステム>

一般に「オープン認証」と呼ばれる認証方式です。

b <共有キー>

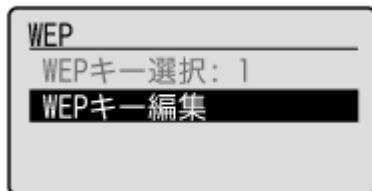
パスワードとして WEP キーを使用する認証方式です。



<オープンシステム>を選んだ場合

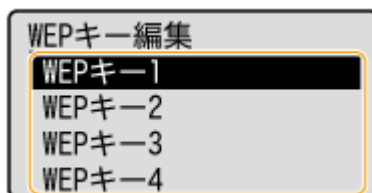
無線 LAN ルーターが共有キー認証を使用している場合は接続時に認証エラーが生じますが、本機の設定は自動的に<共有キー>に変更され再接続が試みられます。

3 < WEP キー編集 >を選び、**OK** を押す



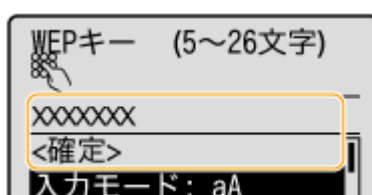
4 編集する WEP キー（1～4）を選び、**OK** を押す

- WEP キーは 4 つまで設定できます。



5 確認／メモしておいたネットワークキーを入力する

- テンキーでネットワークキーを入力し、<確定>を選んで **OK** を押します。 文字を入力する(P. 37)

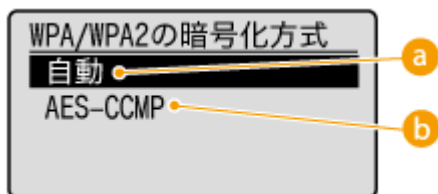


6 < WEP キー選択 >を選び、**OK** を押す

- 7 編集した WEP キーを選び、**OK** を押す

■WPA-PSK または WPA2-PSK を使用する

- 1 < WPA/WPA2-PSK >を選び、**OK** を押す
- 2 暗号化方式を選択する



a <自動>

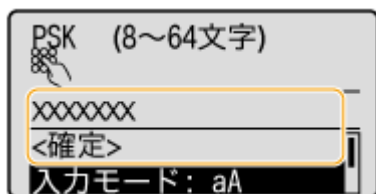
接続する無線 LAN ルーターに合わせて、自動的に AES-CCMP または TKIP を設定します。

b < AES-CCMP >

暗号化方式に AES-CCMP を指定するときに選びます。

- 3 メモしておいたネットワークキーを入力する

- テンキーでネットワークキーを入力し、<確定>を選んで **OK** を押します。▶ **文字を入力する(P. 37)**



- 8 <はい>を選び、**OK** を押す

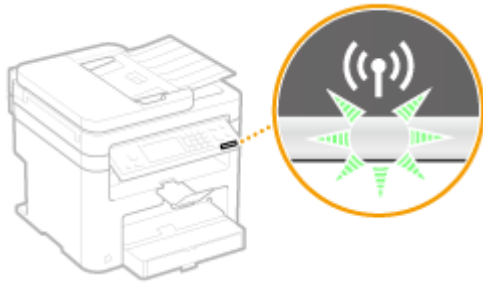


設定中にエラーメッセージが表示されたら

OK を押し、設定した内容が正しいか確認したあと、手順 5 からやりなおしてください。

- 9 本機の Wi-Fi ランプが点滅していることを確認する

- 無線 LAN ルーターが検出されると、Wi-Fi ランプが点滅します。



- 設定が完了すると次の画面が約 2 秒間表示され、Wi-Fi ランプが点灯します。



- 本機が IP アドレスなどの設定を完了するまで、約 2 分間お待ちください。



電波の強度について

接続できる無線 LAN ルーターが複数存在する場合は、電波強度（RSSI）が最も強い機器に接続します。



消費電力を抑えたいとき

<パワーセーブモード>を設定すると、無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。▶**パワーセーブモード(P. 298)**

本機の IP アドレスが変更された場合

DHCP 環境では本機の IP アドレスが自動的に変更される場合がありますが、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されます。



関連項目

- ▶無線 LAN に接続する(P. 178)

SSID やネットワークキーを確認する

14EH-03K

手動設定では、無線 LAN ルーターの SSID やネットワークキーなどを指定する必要があります。SSID やネットワークキーは無線 LAN ルーターに表記されている場合がありますので、あらかじめ確認／メモしておいてください。詳しくは、各機器の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

SSID	無線 LAN のネットワークを識別するための名前です。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」などと表記されることもあります。
ネットワークキー	データの暗号化に使用されるキーワード、またはネットワークの認証時に使用されるパスワードです。「暗号化キー」、「WEP キー」、「WPA/WPA2 パスフレーズ」、「PSK」、「事前共有キー」などと表記されることもあります。
セキュリティ規格 (認証／暗号化)	手動入力方式では、セキュリティ規格や認証／暗号化などの方法を指定する必要があります。次のような情報を確認してください。 ● セキュリティ規格 (WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK) ● 認証方式 (オープンシステム／共有キー) ● 暗号化方式 (TKIP/AES-CCMP)

■ パソコンから SSID やネットワークキーを確認する

「SSID やネットワークキーが変更されてしまって現在の設定値がわからない」というような場合は、付属の DVD-ROM に収録されている「Canon MF/LBP ワイヤレスセットアップアシスタント」を使って確認します。この場合は無線 LAN に接続されたパソコンから確認してください。



Mac OS をお使いの場合

- 付属の DVD-ROM には、Mac OS 用の「Canon MF/LBP ワイヤレスセットアップアシスタント」が収録されていません。キヤノンホームページ (<http://canon.com/>) からダウンロードしてお使いください。

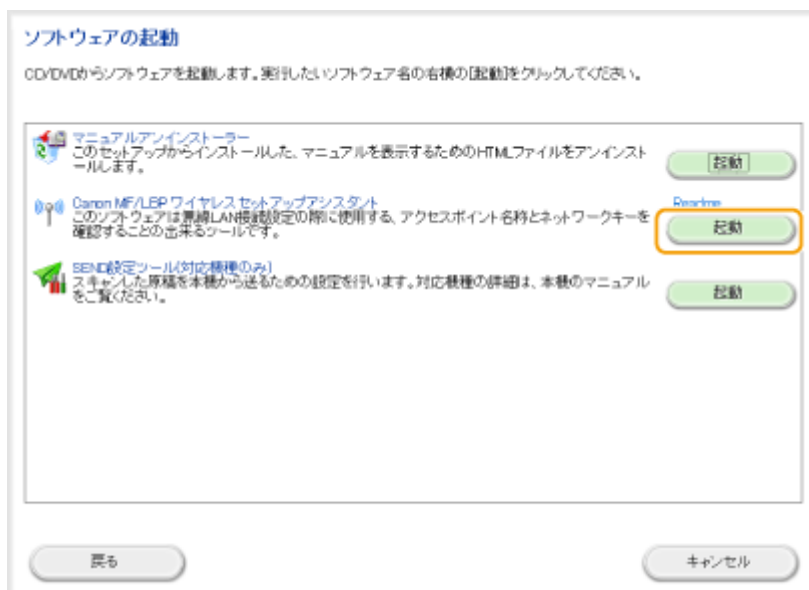
1 付属の DVD-ROM をパソコンにセットする

2 [ソフトウェアの起動] をクリックする

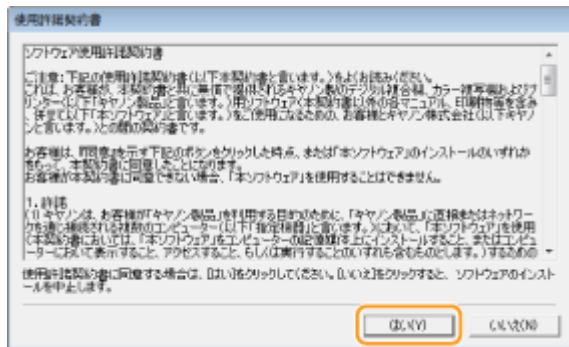


- [ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面が表示されないときは ▶ [ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面の表示方法(P. 447)
- [自動再生] が表示されたときは、[MInst.exe の実行] をクリックします。

3 [Canon MF/LBP ワイヤレスセットアップアシスタント] の [起動] をクリックする

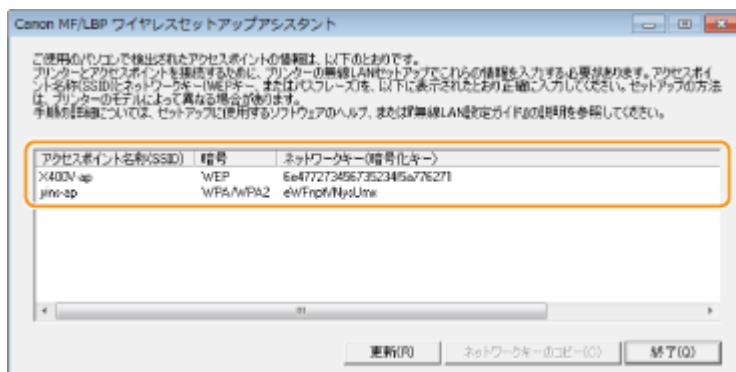


4 使用許諾契約書の内容を確認し、[はい] をクリックする



5 表示された無線 LAN ルーターの情報を確認する

- 必要な情報をメモします。わからないときは、すべての情報をメモしてください。



アクセスポイントが表示されない場合

[更新] をクリックしてください。それでも表示されない場合は、パソコンと無線 LAN ルーターの設定が完了しているか確認してください。



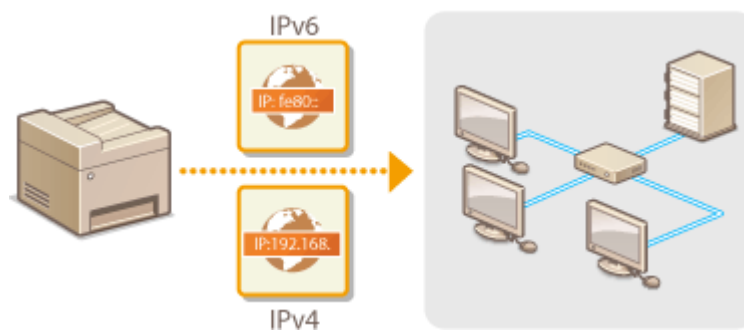
関連項目

- 無線 LAN に接続する (P. 178)
- 無線 LAN ルーターを選んで設定する (P. 186)
- すべて入力して設定する (P. 189)

IP アドレスを設定する

14EH-03L

本機をネットワークに接続するには、そのネットワーク内で固有の IP アドレスが必要です。IP アドレスには「IPv4」と「IPv6」という 2 つのバージョンがありますので、お使いの環境に合わせて設定してください。なお、IPv6 アドレスを使うためには、IPv4 アドレスが適切に設定されている必要があります。



IPv4 アドレスを設定する

14EH-03R



IPv4 アドレスの設定方法には、DHCP などを使って自動で割り当てる方法と、自分で入力する方法がありますのでいずれかを選択してください。有線 LAN に接続するときは、作業を始める前にまず LAN ケーブルのコネクタがポートにしっかり差し込まれているか再確認してください（**有線 LAN に接続する(P. 177)**）。また、必要に応じて接続テストを行ってください。

● IPv4 アドレスを設定する(P. 197)

● 接続テストをする(P. 199)

IPv4 アドレスを設定する

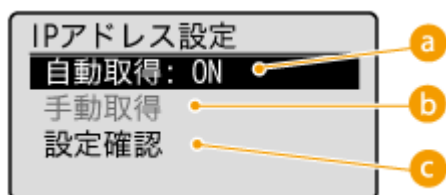
1 を押す

2 ▲／▼ で＜ネットワーク設定＞を選び、**OK** を押す

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して **OK** を押します。● **システム管理暗証番号を設定する(P. 240)**

3 ＜TCP/IP 設定＞▶＜IPv4 設定＞▶＜IP アドレス設定＞の順に進む

4 IP アドレスを設定する



a ＜自動取得＞

DHCP などによって IP アドレスを自動的に割り当てるときに選びます。＜自動取得：ON＞と表示されているときは、自動割り当てが行われています。

b ＜手動取得＞

IP アドレスを自分で入力して設定するときを選びます。＜自動取得＞が＜OFF＞のときだけ設定できます。

c ＜設定確認＞

現在の IP アドレス設定を確認できます。

■DHCP などでも自動的に割り当てる

1 ＜自動取得＞▶＜プロトコル選択＞の順に進む

- 2 < DHCP >、< BOOTP >、< RARP >のうちいずれか 1 つを選び、**OK** を押す



IP アドレスの自動割り当てに DHCP/BOOTP/RARP を使わないとき

< OFF >を選択します。DHCP/BOOTP/RARP を使用できないときにプロトコルを選ぶと、本機はネットワーク内でサービスが提供されているか確認するので、無駄な通信が発生します。

- 3 < Auto IP >が< ON >になっているか確認する
- < OFF >のときは、< ON >に変更します。
- 4 < 確定 >を選び、**OK** を押す



Auto IP が有効でも、DHCP や BOOTP、RARP で取得された IP アドレスが優先されます。

■自分で入力して設定する

- 1 < 自動取得 >が< OFF >になっているか確認する

- < ON >のときは< 自動取得 >を選んだあと、< プロトコル選択 >と< Auto IP >を< OFF >に設定します。
- 2 < 手動取得 >を選び、**OK** を押す
- 3 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する
- < IP アドレス > ▶ < サブネットマスク > ▶ < ゲートウェイアドレス >の順に設定します。
 - それぞれテンキーで入力し、**OK** を押します。



正しく設定できたか確認するには

パソコンでリモート UI のログイン画面を表示できるか確認してください（[リモート UI を起動する\(P. 283\)](#)）。パソコンが使えないときは、本機の操作パネルから確認することもできます（[接続テストをする\(P. 199\)](#)）。

接続テストをする

1 を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク設定>を選び、**OK**を押す

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して **OK** を押します。 [システム管理暗証番号を設定する\(P. 240\)](#)

3 < TCP/IP 設定 > ▶ < IPv4 設定 > ▶ < PING コマンド > の順に進む

4 ネットワーク内の他の機器の IPv4 アドレスを入力し、**OK**を押す



- 正しく接続されているときは、上のように表示されます。



関連項目

- [IPv6 アドレスを設定する\(P. 200\)](#)
- [ネットワークの設定を確認する\(P. 203\)](#)

IPv6 アドレスを設定する

14EH-03S



IPv6 アドレスはリモート UI を使って設定します。IPv6 アドレスを使うためには、IPv4 アドレスが適切に設定されている必要がありますのであらかじめ確認しておいてください（[▶IPv4 の設定を確認する\(P. 203\)](#)）。また、IPv6 環境ではスキャナードライバーや MF Scan Utility によるスキャンはできませんのでご注意ください。IPv6 は、次のように最大で 9 アドレスを登録できます。

種類	最大登録数	解説
リンクローカルアドレス	1	同一リンク内でのみ使用できるアドレスです（ルーターを越える範囲の通信には使用できません）。IPv6 アドレスを使用するときは自動的に設定されます。
手動アドレス	1	手動で入力するアドレスです。プレフィックス長およびデフォルトルーターアドレスを指定します。
ステートレスアドレス	6	ルーターから通知されるプレフィックスと本機の MAC アドレスから自動生成されるアドレスです。本機の再起動（または電源 ON）時に破棄されます。
ステートフルアドレス	1	DHCPv6 を使って DHCP サーバーから取得します。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [▶リモート UI を起動する\(P. 283\)](#)

2 [設定/登録] をクリックする



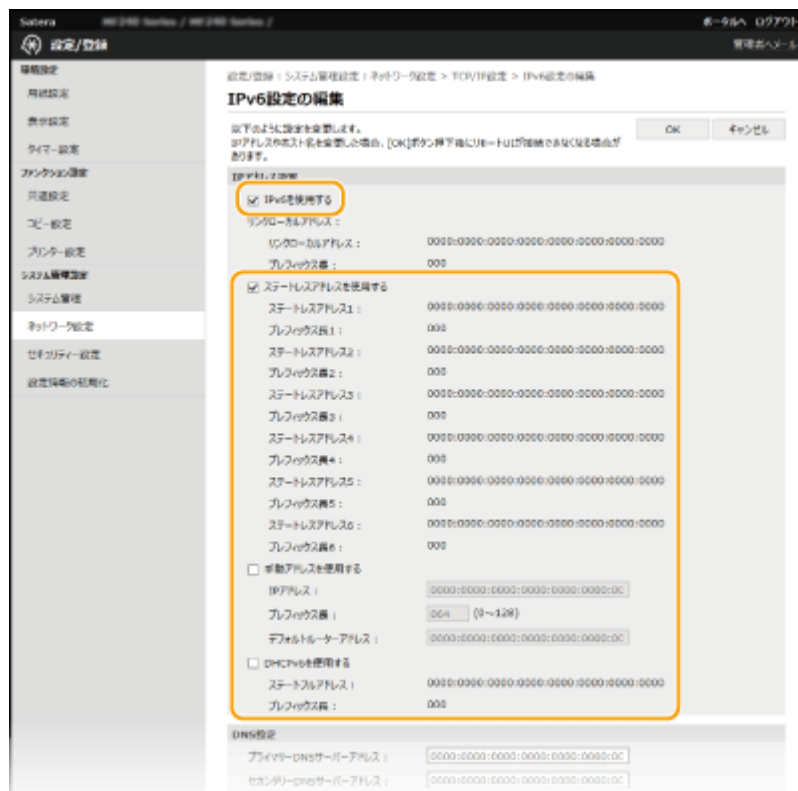
3 [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 [IPv6 設定] にある [編集] をクリックする



5 [IPv6 を使用する] にチェックマークを付け、必要な設定をする



[IPv6 を使用する]

本機で IPv6 を使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

【ステートレスアドレスを使用する】

ステートレスアドレスを使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

【手動アドレスを使用する】

アドレスを入力して設定するときはチェックマークを付け、[IP アドレス]、[プレフィックス長]、[デフォルトルーターアドレス] を入力します。

【IP アドレス】

IPv6 アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）は入力できません。

【プレフィックス長】

ネットワークアドレス部の長さを入力します。

【デフォルトルーターアドレス】

必要に応じてデフォルトルーターをアドレスで指定します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）は入力できません。

【DHCPv6 を使用する】

ステートフルアドレスを使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

6 【OK】をクリックする



正しく設定できたか確認するには

本機の IPv6 アドレスを使ってリモート UI のログイン画面を表示できるか確認してください。▶ **リモート UI を起動する(P. 283)**

操作パネルから設定するには

操作パネルの  から IPv6 設定を行うこともできます。▶ **IPv6 設定(P. 302)**



関連項目

- ▶ IPv4 アドレスを設定する(P. 197)
- ▶ ネットワークの設定を確認する(P. 203)

ネットワークの設定を確認する

- ▶IPv4 の設定を確認する(P. 203)
- ▶IPv6 の設定を確認する(P. 203)
- ▶有線 LAN の MAC アドレスを確認する(P. 203)
- ▶無線 LAN の MAC アドレスや設定情報を確認する(P. 204)

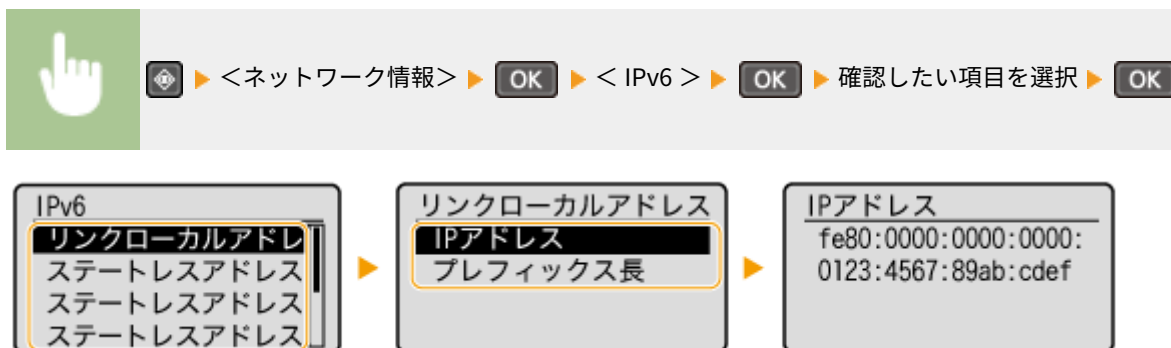


- IP アドレスが「0.0.0.0」と表示される場合は、適切にアドレス設定されていません。
- IP アドレスが正しく設定されていても、本機をスイッチングハブなどに接続しているとネットワークに接続されないことがあります。この場合は、本機の通信開始のタイミングを遅らせて接続しなおしてください。▶**ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 221)**
- ネットワークの設定情報は一覧形式で印刷できます。▶**レポート出力(P. 308)**

IPv4 の設定を確認する



IPv6 の設定を確認する



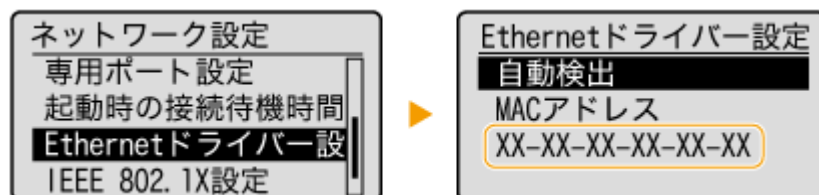
有線 LAN の MAC アドレスを確認する

1 を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク設定>を選び、**OK**を押す

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して **OK** を押します。  システム管理暗証番号を設定する(P. 240)

3 <Ethernet ドライバー設定>を選び、**OK**を押す



無線 LAN の MAC アドレスや設定情報を確認する

1 を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク設定>を選び、**OK**を押す

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して **OK** を押します。  システム管理暗証番号を設定する(P. 240)

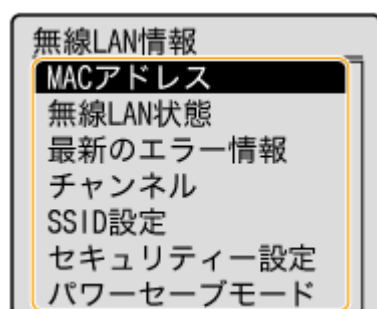
3 <無線 LAN 設定>を選び、**OK**を押す

- <無線 LAN を有効にしますか?>と表示されたら、<はい>を選んで **OK** を押してください。
- <ダイレクト接続設定が OFF に変更されます。よろしいですか?>と表示されたら、<はい>を選んで **OK** を押してください。

4 メッセージを確認し、**OK**を押す

5 <無線 LAN 情報>を選び、**OK**を押す

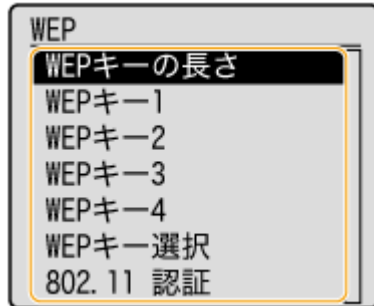
6 確認したい項目を選び、**OK**を押す



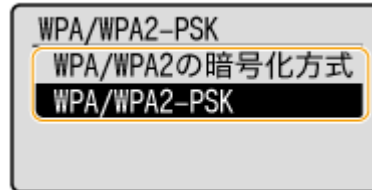
■ WEP や WPA/WPA2-PSK の情報を確認する

- 1 <セキュリティ設定>を選び、**OK** を押す
- 2 適用中のセキュリティを確認し、**OK** を押す
 - セキュリティが未設定のときは<なし>と表示されます。
- 3 確認したい項目を選び、**OK** を押す

WEP の場合



WPA-PSK または WPA2-PSK の場合



MEMO

- <無線 LAN 状態>と<最新のエラー情報>を確認するだけであれば  からの操作も可能です。  ▶ <ネットワーク情報> ▶ <ネットワーク接続方式>から確認したい項目を選んでください。



関連項目

- 無線 LAN に接続する (P. 178)
- IPv4 アドレスを設定する (P. 197)
- IPv6 アドレスを設定する (P. 200)
- DNS の設定をする (P. 222)

ネットワークプリンターの設定をする

14EH-03W

本機をネットワークプリンターとして使用する場合、印刷プロトコルや印刷ポートの設定を行うことができます。また、ネットワーク内にプリントサーバーを設けることも可能です。ただし、基本的な準備作業はあらかじめ済ませておいてください。詳細については、「MF ドライバーインストールガイド」を参照してください



MEMO

- 印刷プロトコルは、パソコンから本機に文書データを届けるための方法で、用途やネットワーク環境に応じて使い分けます。
- 印刷ポートとは、パソコンからプリンターへ文書データを受け渡しするいわば出入口に相当する部分です。ネットワーク接続で印刷できないときは、このポートの設定に原因がある場合があります。

印刷プロトコルや Web サービスの設定をする

14EH-03X

パソコンから文書を印刷するときに使用する印刷プロトコルの設定をします。本機が対応している印刷プロトコルは、LPD、RAW、および WSD（Web Services on Devices）です。



プロトコルのポート番号を本機側で変更するとき **▶ポート番号を変更する(P. 252)**

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶リモート UI を起動する(P. 283)**

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 印刷プロトコルの設定をする

■LPD または RAW の設定をする

1 [LPD 印刷設定] または [RAW 印刷設定] にある [編集] をクリックする



2 必要に応じて設定する



[LPD 印刷を使用する]

LPD を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[RAW 印刷を使用する]

RAW を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

3 [OK] をクリックする

■WSD の設定をする

1 [WSD 設定] にある [編集] をクリックする



2 必要に応じて設定する



[WSD 印刷を使用する]

WSD を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[WSD 参照を使用する]

WSD を使用してパソコンから本機の情報を取得するときはチェックマークを付けます。[WSD 印刷を使用する] にチェックマークが付いているときは必ずチェックマークが付きます。

[WSD スキャンを使用する]

WSD スキャンは Windows Vista/7/8/10 で使用できる機能で、スキャナードライバーをインストールしていないパソコンにも文書をスキャンして取り込むことができます。WSD を使用してスキャンを行うときはチェックマークを付けます。

[PC スキャンを使用する]

WSD スキャンを操作パネルからの操作で行うときはチェックマークを付けます。[WSD スキャンを使用する] にチェックマークが付いているときだけチェックマークを付けることができます。スキャンするときは  (コピー/スキャン) を押し、WSD で接続中のパソコンを保存先として指定します ( **本体からスキャンする (P. 138)**)。

[マルチキャスト探索を使用する]

マルチキャストによる本機の探索に対して応答するときは、チェックマークを付けます。チェックマークを外すと、本機がスリープ中にマルチキャスト探索パケットを受信してもスリープ状態を維持します。

3 [OK] をクリックする



操作パネルから設定するには

- 操作パネルの  から LPD、RAW、WSD の設定を行うこともできます。
 -  **LPD 印刷の設定 (P. 303)**
 -  **RAW 印刷の設定 (P. 303)**
 -  **WSD の設定 (P. 303)**

Windows Vista/7/8/10 で WSD ネットワークデバイスを追加する

- WSD のプリンターやスキャナーは、プリンターフォルダーから追加できます。プリンターフォルダーを開き ( **プリンターフォルダーの表示方法 (P. 445)**)、[デバイスの追加] または [プリンターの追加] をクリックしたあと、画面の指示に従ってください。WSD ネットワークで MF ドライバーをインストールする方法については、「MF ドライバーインストールガイド」を参照してください。



関連項目

▶ **印刷ポートの設定をする(P. 211)**

印刷ポートの設定をする

14EH-03Y

本機の IP アドレスが変更されたり、Windows のプリンターフォルダーでプリンターを追加したりすると、パソコンから文書を印刷しようとしてもエラーが発生して印刷できないことがあります。これは「パソコン側でプリンタードライバーに設定した印刷ポートの種類や番号が間違っている」など、印刷ポートの設定に問題がある場合に発生するトラブルです。このような場合は、パソコンから印刷ポートの設定を行ってください。

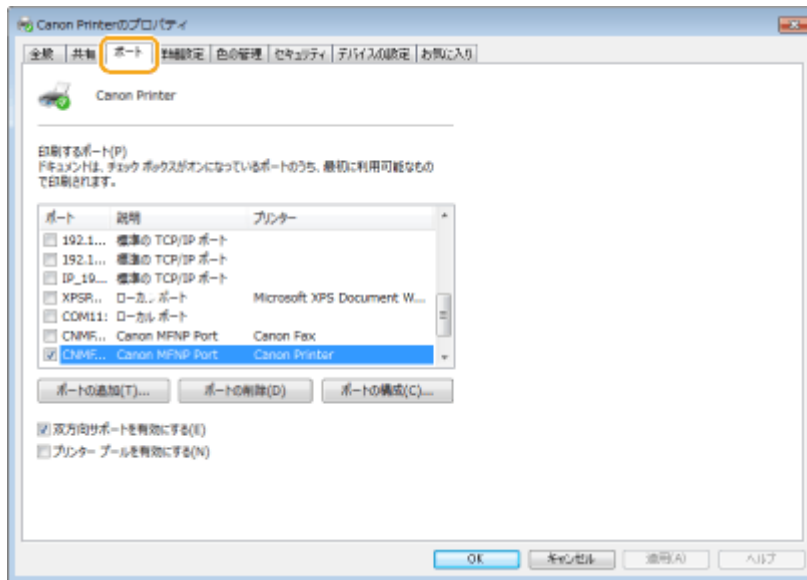


ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログオンしている必要があります。

- 1 プリンターフォルダーを開く ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 445)
- 2 設定するプリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]（または [プロパティ]）をクリックする



- 3 [ポート] タブをクリックし、必要な設定をする



■ポートを追加する

本機の IP アドレスが変更されたときは、新しいポートを追加します。プリンタードライバーを Windows のプリンターフォルダーからインストールした際に正しいポートを選択しなかった場合なども、この方法で修正できます。

- 1 [ポートの追加] をクリックする
- 2 [利用可能なポートの種類] で [Canon MFNP Port] を選び、[新しいポート] をクリックする

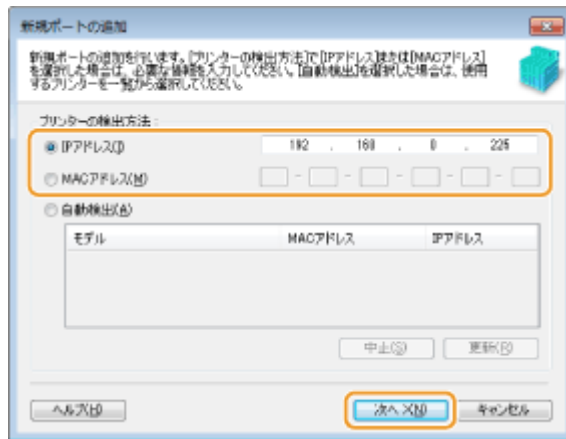


- 3 [自動検出] をクリックし、本機が表示されたらそれを選んだあと、[次へ] をクリックする



本機が表示されないとき

[更新] をクリックします。それでも表示されないときは、[IP アドレス] または [MAC アドレス] をクリックし、本機の IP アドレスまたは MAC アドレス（**ネットワークの設定を確認する(P. 203)**）を入力してから [次へ] をクリックします。



4 [追加] ► [完了] をクリックする

5 [閉じる] をクリックする

■ポートの種類や番号を変更する

本機側で印刷プロトコル（LPD または RAW）の設定を変更した場合（[印刷プロトコルや Web サービスの設定をする\(P. 207\)](#)）やポート番号を変更した場合（[ポート番号を変更する\(P. 252\)](#)）は、パソコン側の設定も同じ内容に変更します。なお、WSD ポートの場合、この操作は不要です。

1 [ポートの構成] をクリックする

2 [プロトコル] で [LPR] または [RAW] を選び、[ポート番号] を変更したあと、[OK] をクリックする



4 [閉じる] をクリックする



関連項目

▶ [プリントサーバーを設定する\(P. 214\)](#)

プリントサーバーを設定する

14EH-040

プリントサーバーを設定すると、印刷を行うパソコンにかかる負荷を軽減できます。ネットワークを介して他のパソコンにも MF ドライバーをインストールできるようになりますので、パソコンごとに付属の DVD-ROM からドライバーをインストールする手間も省けます。プリントサーバーにするパソコンをネットワーク内から選び、そのパソコンに対してプリンターの共有設定を行います。



- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログオンしている必要があります。
- プリントサーバーの OS とパソコンの OS が 32 ビット版と 64 ビット版とで異なる場合、ネットワークを介したドライバのインストールができないことがあります。
- ドメイン環境でプリントサーバーを設定する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

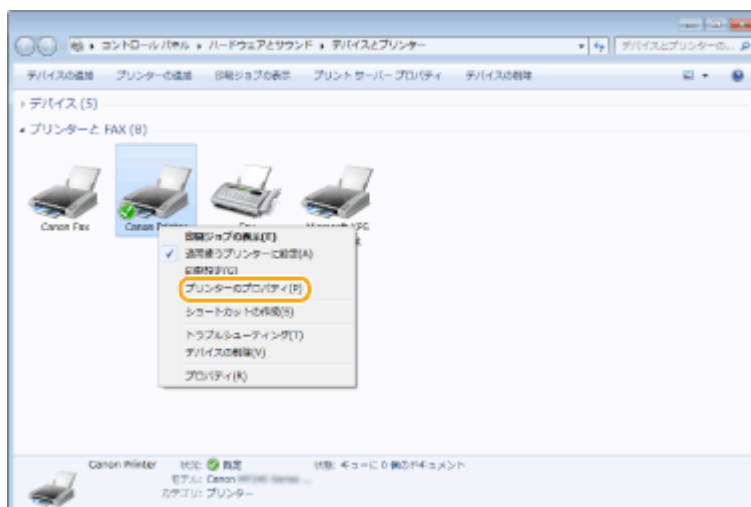


プリントサーバー利用時にデバイス情報を取得するには

- MF ドライバーをインストールする際に、Canon Driver Information Assist Service を追加する必要があります。詳細については、「MF ドライバーインストールガイド」を参照してください。

1 プリンターフォルダーを開く ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 445)

2 設定するプリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]（または [プロパティ]）をクリックする



3 [共有] タブをクリックし、[このプリンターを共有する] を選んだあと、共有名を入力する



【共有オプションの変更】が表示されたとき

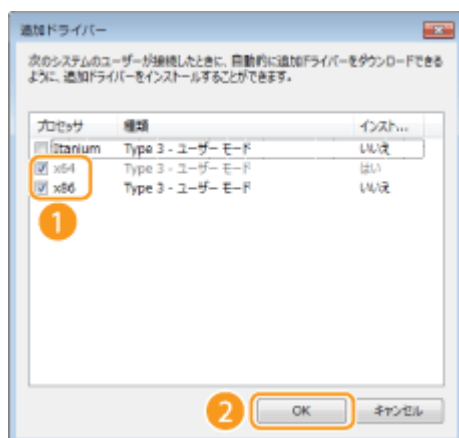
【共有オプションの変更】をクリックします。【ユーザーアカウント制御】ダイアログボックスが表示されたときは、【はい】（または【続行】）をクリックします。



4 必要に応じて追加ドライバーをインストールする

- この作業は、プリントサーバーとはプロセッサバージョン（32 ビット／64 ビット）が異なるパソコンに、プリントサーバーを介してプリンタードライバーをインストールしたいときに必要です。

- 1 【追加ドライバー】をクリックする
- 2 追加ドライバーを選び、【OK】をクリックする



- 追加ドライバーはプリントサーバーの OS に応じて、次のように選択してください。

プリントサーバー	選択する追加ドライバー
32 ビット版 OS	[x64] にチェックマークを付けます。

64 ビット版 OS	[プロセッサ] が [x86] の項目にチェックマークを付けます。
------------	-----------------------------------



Windows Vista/7/8/10/Server 2008/Server 2012 の場合に、32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからないときは、**▶ プロセッサバージョンの確認方法(P. 448)** を参照してください。

- 3 付属の DVD-ROM をセットし、[参照] をクリックして MF ドライバーが収録されているフォルダーを指定したあと、[OK] をクリックする
 - プリントサーバーが 32 ビット版 OS の場合は、付属の DVD-ROM 内の [intdrv] ▶ [CARPS2] ▶ [x64] ▶ [Driver] フォルダーを指定します。
 - プリントサーバーが 64 ビット版 OS の場合は、付属の DVD-ROM 内の [intdrv] ▶ [CARPS2] ▶ [32bit] ▶ [Driver] フォルダーを指定します。
- 4 画面の指示に従ってドライバーをインストールする

5 [OK] をクリックする

■ プリントサーバーを介してパソコンに MF ドライバーをインストールする

- 1 プリントサーバーの共有プリンターを表示する **▶ プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法(P. 446)**
- 2 共有プリンターをダブルクリックする
- 3 画面の指示に従ってドライバーをインストールする



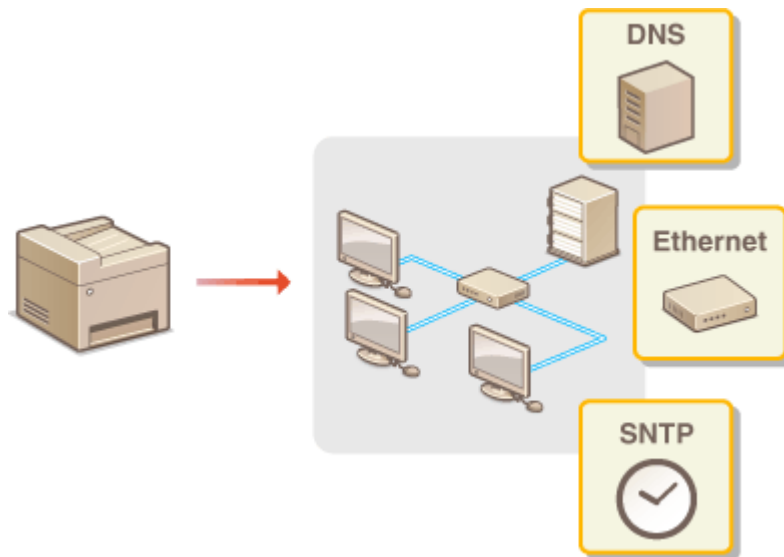
関連項目

- ▶ パソコンから印刷する(P. 93)

使用するネットワーク環境に合わせる

14EH-041

ネットワークの規模や形態は、目的用途によってさまざまです。お使いの環境に合わせて必要な設定を行ってください。



イーサネットの設定をする

14EH-042

イーサネットは LAN 内の通信方法を定めた規格です。本機では通信方式（半二重／全二重）やイーサネットの種類（10BASE-T/100BASE-TX）を設定できます。通常は初期値（**Ethernet ドライバー設定(P. 306)**）のままで使用できますが、お使いの環境に合うよう、必要に応じて変更してください。

1 を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク設定>を選び、**OK**を押す

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して **OK** を押します。 **システム管理暗証番号を設定する(P. 240)**

3 < Ethernet ドライバー設定 > ▶ < 自動検出 > の順に進む

4 自動または手動の設定をする



■イーサネットの設定を自動検出する

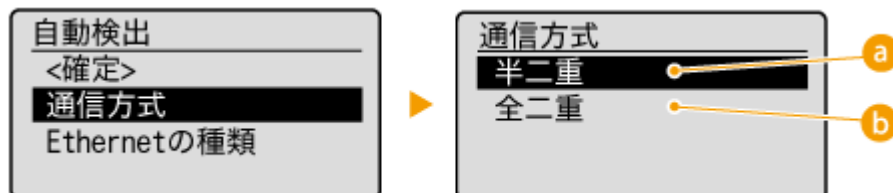
< ON >を選び、**OK**を押します。使用できるイーサネットの通信方式や種類が検出されて自動的に設定されます。

■イーサネットの設定を手動でする

1 < OFF >を選び、**OK**を押す

2 通信方式を選択する

- <通信方式>を選んで **OK** を押したあと、<半二重>または<全二重>を選んで **OK** を押します。



a <半二重>

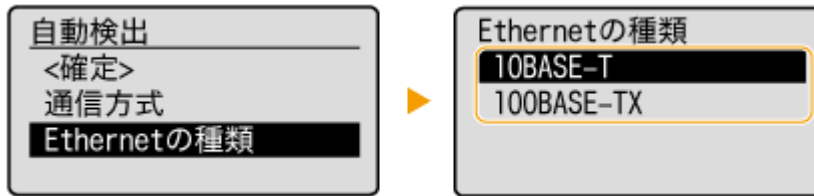
送信／受信を交互に行います。接続するルーターが半二重通信を使うように設定されているときに選びます。

b <全二重>

送信／受信を同時に行います。通常はこちらを選んでください。

3 イーサネットの種類を選択する

- ＜ Ethernet の種類＞を選んで **OK** を押したあと、＜ 10BASE-T ＞または＜ 100BASE-TX ＞を選んで **OK** を押します。



4 <確定>を選び、**OK** を押す



関連項目

- 🔗 送信パケットの最大サイズを変更する(P. 220)
- 🔗 ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 221)

送信パケットの最大サイズを変更する

14EH-043

イーサネットネットワークで送信できるパケットの最大サイズは通常 1,500 バイトです。「パケット」とはデータの小さなまとまりのことで、データはいくつかのパケットに分割されて送信されます。送信パケットサイズはお使いの環境によって異なる場合がありますので、必要に応じて本機の設定を変更してください。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

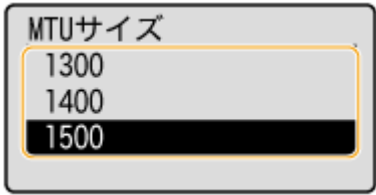
1 を押す

2 <ネットワーク設定>を選び、 を押す

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して  を押します。●  システム管理暗証番号を設定する(P. 240)

3 <TCP/IP 設定> ▶ <MTU サイズ>の順に進む

4 パケットの最大サイズを選び、 を押す



MTUサイズ

1300

1400

1500



関連項目

- イーサネットの設定をする(P. 218)
- ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 221)

ネットワーク接続時の待機時間を設定する

14EH-044

スイッチングハブなどを数台つないでネットワークの冗長化を図った場合、パケットのループを回避するための仕組みが必要となります。そのためにはスイッチポートの役割決めが有効ですが、ネットワークに新しく機器を追加するなどの変更を行った直後はうまく通信できないことがあります。このようなネットワークに本機を接続するときは、通信開始までの待機時間を設定します。

1 を押す

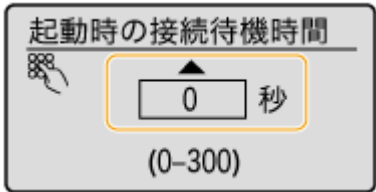
2 ▲／▼で<ネットワーク設定>を選び、 を押す

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して  を押します。●  システム管理暗証番号を設定する(P. 240)

3 <起動時の接続待機時間>を選び、 を押す

4 ネットワークとの通信を開始するまでの待機時間を入力し、 を押す

- ▲／▼ またはテンキーで入力します。



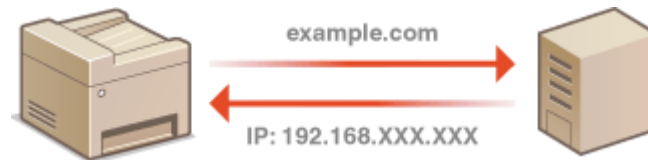
関連項目

- イーサネットの設定をする(P. 218)
- 送信パケットの最大サイズを変更する(P. 220)

DNS の設定をする

14EH-045

DNS (Domain Name System) は、ホスト名 (ドメイン名) と IP アドレスを対応させる名前解決サービスです。お使いのネットワークに応じて DNS や mDNS、DHCP オプションの設定を行います。IPv4 と IPv6 とで設定が分かれていますのでご注意ください。



1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 283)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



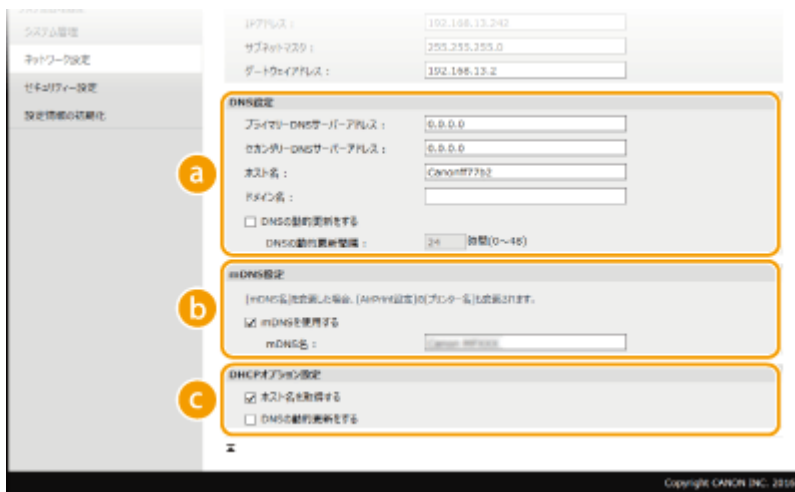
4 DNS の設定をする

■IPv4 の DNS を設定する

1 [IPv4 設定] にある [編集] をクリックする



2 IPv4 の DNS を設定する



a [DNS 設定]

[プライマリ DNS サーバーアドレス]

DNS サーバーの IP アドレスを入力します。

[セカンダリ DNS サーバーアドレス]

セカンダリ DNS サーバーがあるときは、その IP アドレスを入力します。

[ホスト名]

DNS サーバーに登録するホスト名を、47 文字以内の半角英数字で入力します。

[ドメイン名]

本機が属するドメイン名を、47 文字以内の半角英数字で入力します（入力例：「example.com」）。

[DNS の動的更新をする]

DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに自動更新するにはチェックマークを付けます。更新間隔を変更するときは、[DNS の動的更新間隔] に時間単位で入力します。

b [mDNS 設定]

[mDNS を使用する]

mDNS (multicast DNS) は DNS を使わずにホスト名を解決するプロトコルで、Bonjour などに採用されています。使用するときはチェックマークを付け、[mDNS 名] を入力します。

c [DHCP オプション設定]

[ホスト名を取得する]

DHCP サーバーからホスト名を取得する（オプション 12 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

【DNS の動的更新をする】

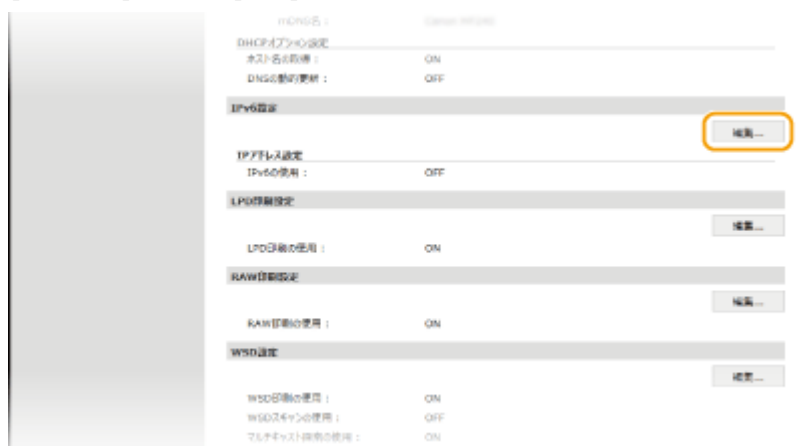
本機に代わって DHCP サーバーにホスト名の対応付けの情報を自動更新させる（オプション 81 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

3 [OK] をクリックする



■IPv6 の DNS を設定する

1 [IPv6 設定] にある [編集] をクリックする



2 IPv6 の DNS を設定する

- [IPv6 を使用する] にチェックマークが付いていないときは設定できません。▶IPv6 アドレスを設定する (P. 200)



a [DNS 設定]**[プライマリー DNS サーバーアドレス]**

DNS サーバーの IP アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）は入力できません。

[セカンダリー DNS サーバーアドレス]

セカンダリー DNS サーバーがあるときは、その IP アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）は入力できません。

[IPv4 と同じホスト名/ドメイン名を使用する]

IPv4 と同じ設定にするとときはチェックマークを付けます。

[ホスト名]

DNS サーバーに登録するホスト名を 47 文字以内の半角英数字で入力します。

[ドメイン名]

本機が属するドメイン名を 47 文字以内の半角英数字で入力します（入力例：「example.com」）。

[DNS の動的更新をする]

DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに自動更新するにはチェックマークを付けます。DNS サーバーに登録したいアドレスの種類を指定するときは、必要に応じて [手動アドレスを登録する]、[ステートフルアドレスを登録する]、または [ステートレスアドレスを登録する] にチェックマークを付けます。更新間隔を変更するときは、[DNS の動的更新間隔] に時間単位で入力します。

b [mDNS 設定]**[mDNS を使用する]**

mDNS (multicast DNS) は DNS を使わずにホスト名を解決するプロトコルで、Bonjour などに採用されています。使用するときはチェックマークを付けます。

[IPv4 と同じ mDNS 名を使用する]

IPv4 と同じ設定にするとときはチェックマークを付けます。別に設定するときは、チェックマークを外して [mDNS 名] を入力します。

3 [OK] をクリックする

操作パネルから設定するには

操作パネルの  から DNS 設定を行うこともできます。 [▶ IPv4 設定\(P. 300\)](#) [▶ IPv6 設定\(P. 302\)](#)

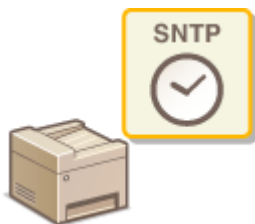


関連項目

- ▶ IPv4 アドレスを設定する(P. 197)
- ▶ IPv6 アドレスを設定する(P. 200)
- ▶ ネットワークの設定を確認する(P. 203)

SNTP の設定をする

14EH-046



SNTP はネットワーク上のタイムサーバーを基準にして時刻を調整するためのプロトコルです。本機とサーバー間で時刻を同期させる必要がある場合に使用します。協定世界時 (UTC) を基準に動作するので、時差 (タイムゾーン) をあらかじめ設定しておいてください (**日付/時刻の設定(P. 315)**)。SNTP の設定はリモート UI を使って行います。



- NTP サーバー (NTPv3) と SNTP サーバー (SNTPv3 および v4) の両方に対応しています。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶ リモート UI を起動する(P. 283)**

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 [SNTP 設定] にある [編集] をクリックする



5 [SNTP を使用する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力する



[SNTP を使用する]

チェックマークを付けると SNTP を使用して時刻調整を行います。使用しないときはチェックマークを外してください。

[NTP サーバー名]

NTP または SNTP サーバーの IP アドレスを入力します。DNS サーバーを利用できるときは、IP アドレスの代わりにホスト名（または FQDN）を 255 文字以内の半角英数字で入力することもできます（入力例：「ntp.example.com」）。

[ポーリング間隔]

何時間おきに時刻を調整するかを 1～48（時間）の範囲で入力します。

6 [OK] をクリックする



NTP/SNTP サーバーと通信できるか確認するには

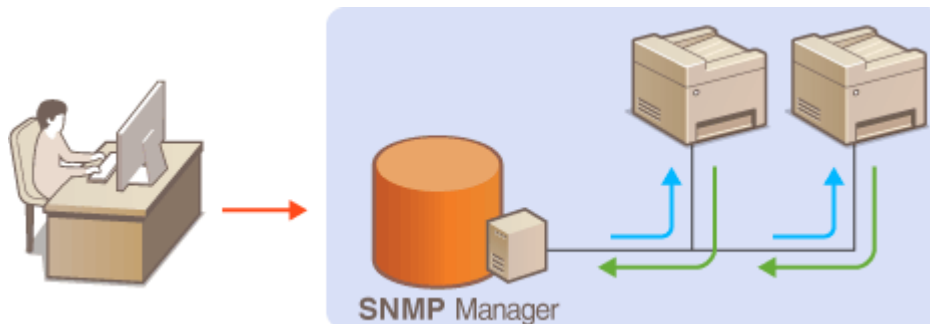
- 登録したサーバーとの通信状況を確認するときは、[設定/登録] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックして表示される [SNTP 設定] の [NTP サーバー確認] をクリックします。正しく接続されているときは下の画面のように表示されます（ただし、このときは通信状況を確認するだけで、時刻合わせは行いません）。



SNMP で監視／制御する

14EH-047

Simple Network Management Protocol (SNMP) は、MIB と呼ばれる管理情報データベースをもとに、ネットワーク上の通信機器を監視・制御するためのプロトコルです。本機は SNMPv1 と、セキュリティ機能が強化された SNMPv3 に対応しており、印刷するときやリモート UI を使用するときなどにパソコンから本機の状態を確認できます。SNMPv1 と SNMPv3 はいずれか一方を使用することも、両方を併用することもできます。使用目的や環境に合わせてそれぞれの設定を行ってください。



SNMPv1

SNMPv1 はコミュニティ名と呼ばれる情報で通信範囲を決定しますが、コミュニティ名は平文でネットワークに流されるため、セキュリティ面では脆弱です。安全性を確保したい場合は SNMPv1 を無効にし、SNMPv3 を利用してください。

SNMPv3

SNMPv3 を使用すると、強固なセキュリティ機能を持つネットワーク機器管理を実現できます。設定はリモート UI から行います。あらかじめ TLS を有効にしておいてください（[▶TLS でリモート UI 通信を暗号化する\(P. 260\)](#)）。



- 本機の SNMP は、Trap 通知には対応していません。
- SNMP のポート番号を変更するとき [▶ポート番号を変更する\(P. 252\)](#)
- SNMP 管理ソフトウェアが利用できる場合は、これをインストールしたパソコンから本機の設定や監視、制御ができます。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [▶リモート UI を起動する\(P. 283\)](#)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク設定] ▶ [SNMP 設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 SNMPv1 の設定をする

- SNMPv1 設定を変更しないときは、次の手順に進みます。



【SNMPv1 を使用する】

SNMPv1 を使用するときはチェックマークを付けます。このチェックマークが付いていないと SNMPv1 の他の項目は設定できません。

【コミュニティ名 1 を使用する】 / 【コミュニティ名 2 を使用する】

コミュニティ名を指定するときはチェックマークを付けます。指定しないときはチェックマークを外してください。

【コミュニティ名】

コミュニティ名を 32 文字以内の半角英数字で入力します。

【MIB アクセス権限】

それぞれのコミュニティについて、MIB のアクセス権限を「読み/書き」または「読みのみ」から選びます。

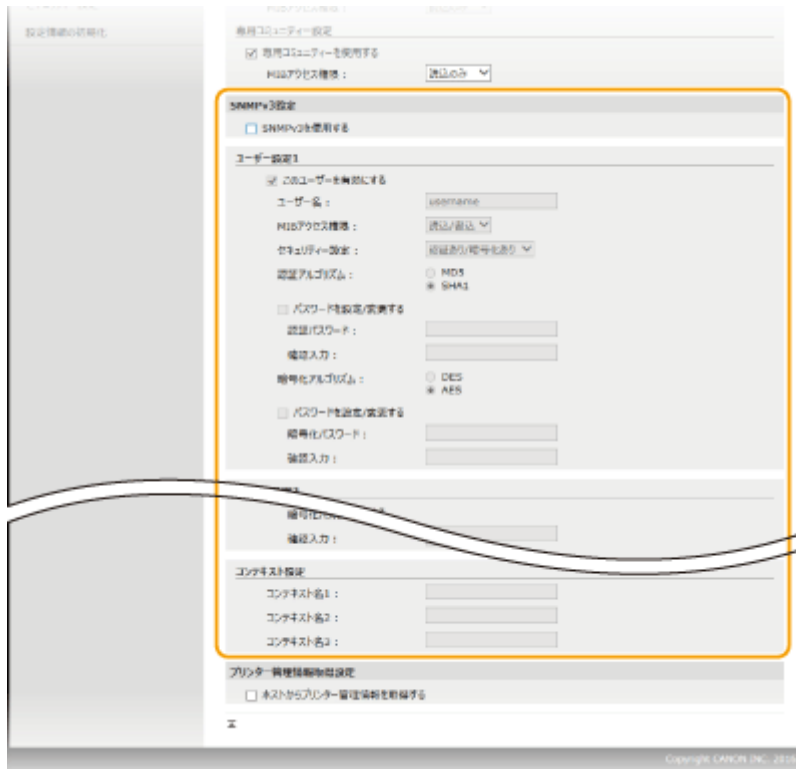
「読み/書き」	MIB のオブジェクトへの読み込みと書き込みの両方を許可します。
「読みのみ」	MIB のオブジェクトへの読み込みだけを許可します。

【専用コミュニティを使用する】

専用コミュニティは、キヤノンのソフトウェアを使用する管理者用に用意されたコミュニティです。専用コミュニティを使用するときはチェックマークを付けます。使用しないときはチェックマークを外してください。

6 SNMPv3 の設定をする

- SNMPv3 設定を変更しないときは、次の手順に進みます。



〔SNMPv3 を使用する〕

SNMPv3 を使用するときにはチェックマークを付けます。このチェックマークが付いていないと SNMPv3 の他の項目は設定できません。

〔このユーザーを有効にする〕

〔ユーザー設定 1〕 / 〔ユーザー設定 2〕 / 〔ユーザー設定 3〕 を有効にするときはチェックマークを付けます。無効にするときはチェックマークを外してください。

〔ユーザー名〕

ユーザー名を 32 文字以内の半角英数字で入力します。

〔MIB アクセス権限〕

MIB のアクセス権限を、〔読み/書込〕 または 〔読みのみ〕 から選びます。

〔読み/書込〕	MIB のオブジェクトへの読み込みと書き込みの両方を許可します。
〔読みのみ〕	MIB のオブジェクトへの読み込みだけを許可します。

〔セキュリティ設定〕

認証と暗号化の有無の組み合わせを、〔認証あり/暗号化あり〕、〔認証あり/暗号化なし〕 または 〔認証なし/暗号化なし〕 から選びます。

〔認証アルゴリズム〕

〔セキュリティ設定〕 で 〔認証あり/暗号化あり〕 または 〔認証あり/暗号化なし〕 を選んだ場合に、お使いの環境に応じた認証アルゴリズムを選択します。

〔暗号化アルゴリズム〕

〔セキュリティ設定〕 で 〔認証あり/暗号化あり〕 を選んだ場合に、お使いの環境に応じた暗号化アルゴリズムを選択します。

〔パスワードを設定/変更する〕

パスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、〔認証パスワード〕 または 〔暗号化パスワード〕 と 〔確認入力〕 の両方に同じパスワードを 6～16 文字の半角英数字で入力します。使用するアルゴリズム（認証／暗号化）ごとに設定します。

[コンテキスト名 1] / [コンテキスト名 2] / [コンテキスト名 3]
3 件までのコンテキスト名を、32 文字以内の半角英数字で入力します。

7 プリンター管理情報取得の設定をする

- SNMP を使ってネットワーク上のパソコンから、印刷プロトコルやポートなどのプリンター管理情報を定期的に取り得ます。



[ホストからプリンター管理情報を取得する]

SNMP を使って本機のプリンター管理情報を監視するときはチェックマークを付けます。監視しない場合はチェックマークを外してください。

8 [OK] をクリックする



SNMPv1 を使用しないとき

- プリンタードライバーによる本機からの情報取得など、一部の機能が使用できなくなります。

操作パネルから設定するには

- 操作パネルの  から SNMPv1 設定を行ったり、SNMPv3 設定を有効／無効に切り替えたりすることもできます。▶ **SNMP 設定(P. 305)**



SNMPv1 と SNMPv3 を併用するとき

- SNMPv1 の MIB アクセス権限を「読込のみ」に設定することをおすすめします。MIB へのアクセス権限は SNMPv1 と SNMPv3 で別々に設定できます（SNMPv3 ではさらにユーザーごとにも設定できます）が、SNMPv1 で「読込/書込」（フルアクセス権限）を設定すると本機のほぼすべての操作ができるため、SNMPv3 の特徴である強固なセキュリティ機能を生かすことができません。



関連項目

- ▶ **TLS でリモート UI 通信を暗号化する(P. 260)**

セキュリティ

セキュリティ	235
不正な使用を防止する	236
不正アクセス防止対策について	237
アクセス権限を設定する	239
システム管理暗証番号を設定する	240
リモート UI の暗証番号を設定する	242
ファイアーウォールで通信制限する	244
IP アドレスでファイアーウォールを設定する	245
MAC アドレスでファイアーウォールを設定する	249
ポート番号を変更する	252
プロキシを設定する	254
機能を制限する	256
HTTP 通信を無効にする	257
リモート UI を無効にする	258
強固なセキュリティ機能を導入する	259
TLS でリモート UI 通信を暗号化する	260
IEEE 802.1X 認証の設定をする	263
鍵ペアと電子証明書の設定をする	268
鍵ペアを生成する	269
認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う	276
鍵ペアと CA 証明書を検証する	279

セキュリティ

14EH-048

パソコンやプリンターなどの情報機器を通じて扱われる機密情報は、悪意のある第三者の標的となる場合があります。不正アクセスなどによる攻撃だけでなく、不注意や誤操作による情報漏えいが結果的に予想外の損失に結びつく恐れもあります。こうしたリスクに備えて本機にはさまざまなセキュリティ機能が搭載されています。お使いの環境に合わせて必要な対策を行ってください。



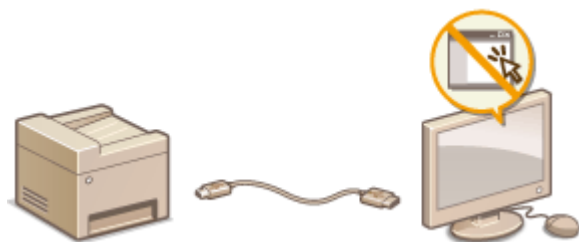
本機のセキュリティ機能と併せて、インターネットから社内ネットワーク内の複合機にアクセスできないような環境を構築すると、最良のセキュリティ対策を築けます。▶不正アクセス防止対策について(P. 237)

■情報セキュリティ対策の基本を押さえる



▶不正な使用を防止する(P. 236)

■不注意／誤操作／悪用などのリスクに対処する



▶機能を制限する(P. 256)

■強固なセキュリティ機能を導入する

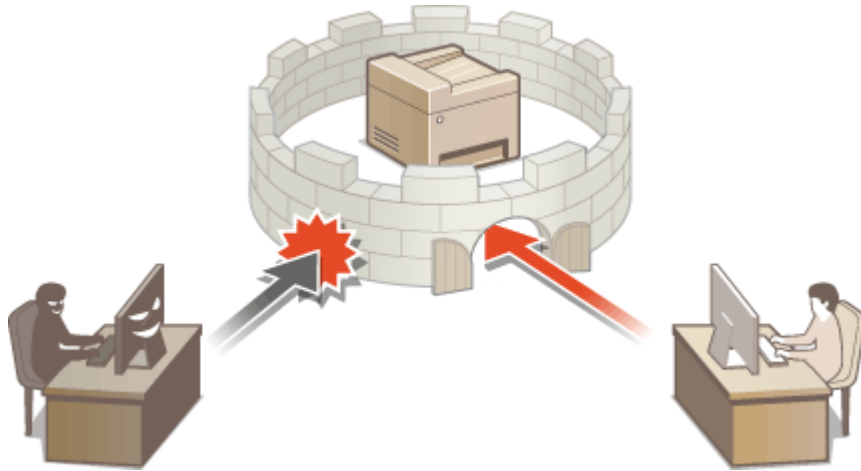


▶強固なセキュリティ機能を導入する(P. 259)

不正な使用を防止する

14EH-049

第三者が無断で本機を使用するといった不正使用を制限できます。ファイアウォールによる通信制限、ポートの設定変更など、複数の手段を組み合わせることで外部からの不正侵入に対抗することが可能です。



不正アクセス防止対策について

14EH-04A

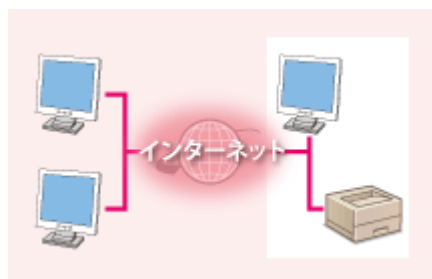
外部ネットワークからの不正アクセス防止対策について記載しています。本機や他のプリンター、複合機をネットワーク環境でお使いの方、管理者の方は、ご利用の前に必ずお読みください。近年のプリンターや複合機は、ネットワークに接続することでコンピューターからプリントやリモート操作をしたり、スキャンした原稿をインターネット経由で送信したりなど、さまざまな機能を利用できるようになっています。その反面、ネットワーク上では外部からの不正アクセスや盗聴による脅威にもさらされるため、情報漏えい等のセキュリティリスクへの対策が不可欠です。以降では、ネットワーク環境でプリンターや複合機を使用する際に必ず行っていただきたい不正アクセス対策のポイントについて説明します。

外部からの不正アクセス対策のポイント

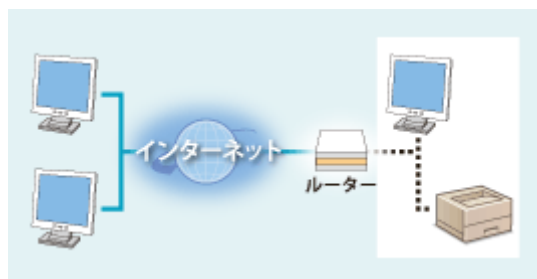
- ▶ **プライベート IP アドレスで運用する(P. 237)**
- ▶ **ファイアウォールで通信を制限する(P. 238)**
- ▶ **TLS 暗号化通信を設定する(P. 238)**
- ▶ **複合機が持つ情報を暗証番号で管理する(P. 238)**

プライベート IP アドレスで運用する

IP アドレスとは、ネットワーク上の機器に割り当てられる番号のことで、インターネット接続に使われる IP アドレスを「グローバル IP アドレス」、社内 LAN などのローカルエリアネットワークで使われる IP アドレスを「プライベート IP アドレス」と呼びます。プリンター、複合機に設定されている IP アドレスがグローバル IP アドレスの場合は、インターネット上の不特定多数のユーザーからアクセス可能な状態であり、外部からの不正アクセスによる情報漏えいなどのリスクも高まります。一方で、プライベート IP アドレスが設定されているプリンター、複合機なら、社内 LAN などのローカルエリアネットワーク上のユーザーからしかアクセスすることができません。



【グローバル IP アドレス】
外部からアクセス可



【プライベート IP アドレス】
ローカルエリア内でのみアクセス可

基本的には、プリンター、複合機の IP アドレスにはプライベート IP アドレスを設定して運用してください。プライベート IP アドレスには、以下のいずれかの範囲のアドレスが使用されます。お使いのプリンター、複合機に設定されている IP アドレスがプライベート IP アドレスかどうかを確認してください。

■ プライベート IP アドレスの範囲

- 10.0.0.0 ～ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
- 192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

IP アドレスの確認手順については、▶ **IPv4 アドレスを設定する(P. 197)** を参照してください。



- プリンター、複合機にグローバル IP アドレスが設定されていても、ファイアーウォール等で外部からのアクセスを防御する環境を構築すれば、不正アクセスのリスクは軽減されます。プリンター、複合機にグローバル IP アドレスを設定して運用したいときは、ネットワーク管理者にご相談ください。

ファイアーウォールで通信を制限する

ファイアーウォールとは、外部ネットワークからの不正アクセスを防止し、ローカルエリア内のネットワークへの攻撃や侵入を防ぐシステムです。お使いのネットワーク環境で、特定の外部 IP アドレスからの通信を制限することで、危険と思われる外部からのアクセスをあらかじめ遮断できます。キヤノンのプリンター、複合機に搭載された機能でも IP アドレスのフィルタリングができます。IP アドレスのフィルタリングについては、**🔴IP アドレスでファイアーウォールを設定する(P. 245)** を参照してください。

TLS 暗号化通信を設定する

TLS 通信については **🔴強固なセキュリティ機能を導入する(P. 259)** を、設定手順については **🔴TLS でリモート UI 通信を暗号化する(P. 260)** を参照してください。

複合機が持つ情報を暗証番号で管理する

万が一、悪意のある第三者から不正アクセスを受けたとしても、プリンター、複合機が持つさまざまな情報を暗証番号で保護しておけば、情報漏えいによるリスクを大幅に軽減できます。キヤノンのプリンター、複合機は、さまざまな情報を暗証番号で保護できるようになっています。

■各機能の暗証番号設定

- リモート UI の暗証番号設定
詳細は、**🔴リモート UI の暗証番号を設定する(P. 242)** を参照のうえ、設定してください。
- システム管理項目の暗証番号設定
詳細は、**🔴システム管理暗証番号を設定する(P. 240)** を参照のうえ、設定してください。

上記は不正アクセス防止対策の一例です。その他の詳細は **🔴セキュリティ(P. 235)** を参照のうえ、お使いの環境に合わせて必要な対策を行ってください。

アクセス権を設定する

14EH-04C

アクセス権を持つユーザーだけが本機を利用できるようにして、第三者の不正使用を防ぎます。アクセス権が設定されていると、設定変更やリモート UI にアクセスするときに、暗証番号の入力が必要になります。



アクセス権には管理者モードと一般ユーザーモードがあります。フルアクセス権を持つ管理者モードでのログインを制限するためにシステム管理暗証番号の設定を行うことができます。また、「リモート UI アクセス暗証番号」を設定することで、一般ユーザーモードとシステム管理暗証番号を設定していない管理者モードでのリモート UI の使用も制限することができます。

システム管理暗証番号

フルアクセス権を持つ管理者専用の暗証番号です。この暗証番号を設定すると、＜ネットワーク設定＞や＜システム管理設定＞といった設定項目にアクセスするにはシステム管理暗証番号によるログイン操作が必要になります。管理者と一般ユーザーとで権限レベルに差をつけたいときに設定します。

● システム管理暗証番号を設定する(P. 240)

リモート UI の暗証番号（リモート UI アクセス暗証番号）

リモート UI を使うための暗証番号です。暗証番号を知っているユーザーだけがリモート UI にアクセスできるようになります。

● リモート UI の暗証番号を設定する(P. 242)

システム管理暗証番号を設定する

14EH-04E

管理者専用のシステム管理暗証番号を設定します。この暗証番号を正しく入力したときだけ＜ネットワーク設定＞や＜システム管理設定＞などを操作できるようになります。管理者だけが暗証番号を知っているような体制にしてください。

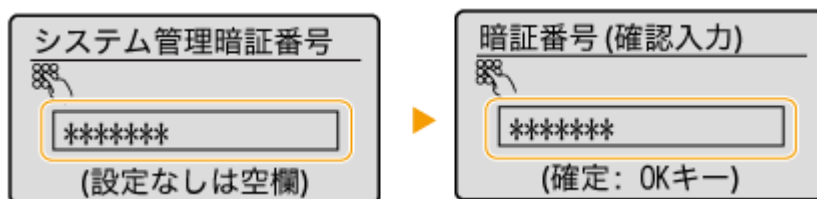
1  を押す

2 ▲／▼で＜システム管理設定＞を選び、**OK**を押す

3 ＜システム管理者情報の設定＞▶＜システム管理暗証番号＞の順に進む

4 システム管理暗証番号を設定する

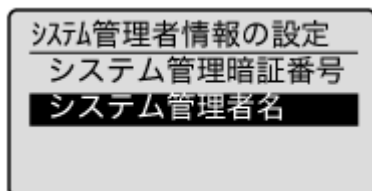
- テンキーで7桁以内の数字を入力し、**OK**を押します。
- 確認のため、＜暗証番号(確認入力)＞が表示されますので、再度暗証番号を入力してください。



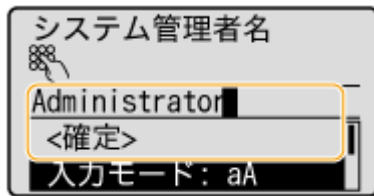

- 「00」や「0000000」など、0だけの暗証番号は登録できません。
- 暗証番号を解除するときは、**C**で入力内容を消去し、**OK**を押します。

■システム管理者名を設定する

1 ＜システム管理者名＞を選び、**OK**を押す



2 システム管理者名を32文字以内で入力し、＜確定＞を選んで **OK**を押す  文字を入力する(P. 37)



MEMO

リモート UI で設定するとき

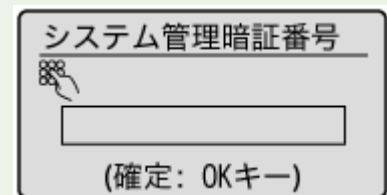
- リモート UI に管理者モードでログインし、[設定/登録] ▶ [システム管理] ▶ [編集] の順にクリックして表示される画面で設定します。
- リモート UI から設定すると、操作パネルでの設定項目に加えてシステム管理者の連絡先やコメント、本機の設置場所などのさまざまな情報を入力できます。入力した情報は、リモート UI の [デバイス情報] ページで確認できます。▶ **管理者情報を確認する(P. 290)**

暗証番号を忘れたとき

- 設定した暗証番号は忘れないようにしてください。暗証番号を忘れた場合は、お買い求めの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。

システム管理暗証番号を設定すると

- <システム管理設定>や<ネットワーク設定>などを操作しようとする、次の画面が表示されます。設定した暗証番号を入力してください。
- リモート UI の管理者モードでログインするときにも暗証番号の入力が必要になります。▶ **リモート UI を起動する(P. 283)**



リモート UI の暗証番号を設定する

14EH-04F

リモート UI にアクセスするための暗証番号を設定できます。すべてのユーザーが共通の暗証番号を使用します。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 283)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ設定] ▶ [リモート UI 設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [リモート UI アクセス暗証番号を使用する] にチェックマークを付け、暗証番号を設定する



〔リモート UI アクセス暗証番号を使用する〕

チェックマークを付けると、リモート UI にアクセスするときに暗証番号の入力が必要になります。

〔暗証番号を設定/変更する〕

暗証番号を設定または変更するときはチェックマークを付け、〔暗証番号〕と〔確認入力〕の両方に同じ暗証番号を7桁以内の半角数字で入力します。

6 〔OK〕をクリックする



暗証番号を忘れたとき

- 操作パネルの設定メニューでリモート UI アクセス暗証番号を再度設定しなおしてください。▶ **リモート UI 設定 (P. 336)**

リモート UI 設定を初期化したとき

- リモート UI アクセス暗証番号も初期化されます。初期化したあとは、暗証番号を設定しなおしてください。▶ **メニューを初期化する (P. 403)**



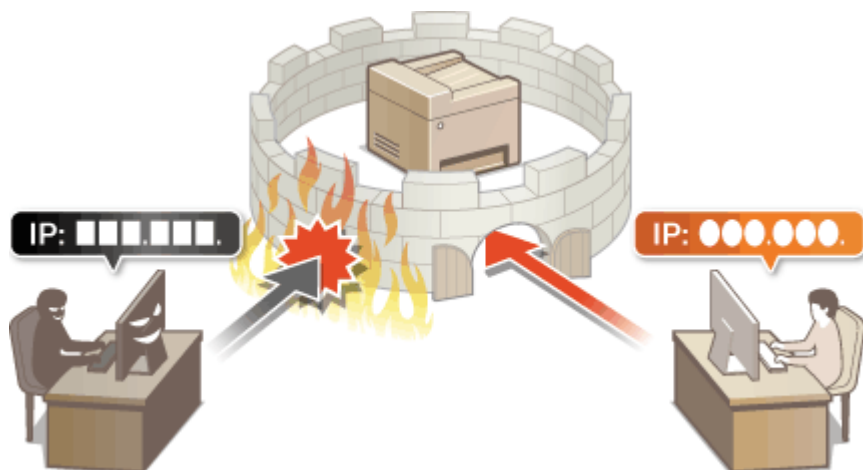
関連項目

- ▶ **アクセス権限を設定する (P. 239)**
- ▶ **システム管理暗証番号を設定する (P. 240)**

ファイアウォールで通信制限する

14EH-04H

適切なセキュリティ対策を施さずにパソコンや通信機器をネットワークに接続すると、意図しない第三者から不正にアクセスされる恐れがあります。そこで、特定の IP アドレスや MAC アドレスを持つ機器だけに通信を許可するパケットフィルタリングを設定することで、そうしたリスクを低減させます。



IP アドレスでファイアウォールを設定する

14EH-04J

指定した IP アドレスを持つ機器との通信だけを許可し、それ以外の機器との通信を拒否します。逆に、特定の IP アドレスを持つ機器との通信だけを拒否し、それ以外の通信は許可することもできます。なお、IP アドレスは範囲を指定して設定することも可能です。



- 指定できる IP アドレス（IP アドレスの範囲）は IPv4 と IPv6 とでそれぞれ最大 4 です。
- 通信制限可能なプロトコルは TCP、UDP、ICMP です。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 283)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ設定] ▶ [IP アドレスフィルター] をクリックする



4 設定したいフィルターの [編集] をクリックする



[IPv4 アドレス：受信フィルター]

IPv4 アドレスを指定して本機からパソコンへのデータ受信を制限します。

[IPv6 アドレス：受信フィルター]

IPv6 アドレスを指定して本機からパソコンへのデータ受信を制限します。

5 フィルターを設定する



a [拒否アドレス]

通信を拒否するアドレスの登録と、登録されているアドレスの確認と削除ができます。

b [許可アドレス]

通信を許可するアドレスの登録と、登録されているアドレスの確認と削除ができます。

1 [フィルターを使用する] にチェックマークを付ける

- チェックマークを付けると通信制限が有効になります。通信制限をしないときはチェックマークを外してください。

2 アドレスを設定する

- [登録するアドレス] に IP アドレス（またはその範囲）を入力し、[追加] をクリックします。

登録したアドレス	結果
[拒否アドレス]	[登録するアドレス] に入力した IP アドレスを持つ機器との通信（受信）を制限します。それ以外の IP アドレスを持つ機器とは通信可能です。
[許可アドレス]	[登録するアドレス] に入力した IP アドレスを持つ機器とだけ通信（受信）し、それ以外の IP アドレスを持つ機器との通信は制限します。
両方とも登録	[許可アドレス] に登録した IP アドレスを持つ機器とだけ通信（受信）し、それ以外の IP アドレスを持つ機器との通信は制限します。ただし、[拒否アドレス] と重複して登録している IP アドレスは、通信が制限されます。



入力内容をよくお確かめください

IP アドレスを間違えて設定すると、リモート UI からアクセスできなくなることがあります。この場合は、操作パネルから＜IPv4 アドレスフィルター＞または＜IPv6 アドレスフィルター＞を＜OFF＞にしてください。 [▶IPv4 アドレスフィルター\(P. 335\)](#) [▶IPv6 アドレスフィルター\(P. 336\)](#)



IP アドレスの入力形式

	入力方法	入力例
単一のアドレスを指定するとき	IPv4 の場合は、「.」（ピリオド）で数字を区切ります。	192.168.0.10
	IPv6 の場合は、「:」（コロン）で英数字を区切ります。	fe80::10
アドレスを範囲で指定するとき	「-」（ハイフン）でアドレスをつなぎます。	IPv4 の場合 192.168.0.10-192.168.0.20
		IPv6 の場合 fe80::10-fe80::20
アドレスの範囲をプレフィックスで指定するとき (IPv6 のみ)	アドレス、「/」（スラッシュ）、プレフィックス長の順に入力します。	fe80::1234/64

設定した IP アドレスを削除するとき

削除する IP アドレスを選び、[削除] をクリックします。

追加
 * XXXX.XXXX.XXXX.XXXX-XXXX.XXXX.XXXX.XXXXのようにハイフンでつなぐと、連番
 に設定できます。
 * 拒否アドレスと許可アドレスに重複して含まれるIPアドレスは、拒否アド
 192.168.222.10
削除

3 [OK] をクリックする



操作パネルの  から IP アドレスによる通信制限を有効／無効に切り替えることもできます。  **IPv4 アドレスフ
ィルター(P. 335)**  **IPv6 アドレスフィルタ(P. 336)**



関連項目

 **MAC アドレスでファイアーウォールを設定する(P. 249)**

MAC アドレスでファイアウォールを設定する

14EH-04K

指定した MAC アドレスを持つ機器との通信だけを許可し、それ以外の機器との通信を拒否します。逆に、特定の MAC アドレスを持つ機器との通信だけを拒否し、それ以外は許可することもできます。指定できる MAC アドレスは最大 10 です。



本機を無線 LAN に接続している場合、この機能は使えません。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 283)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ設定] ▶ [MAC アドレスフィルター] をクリックする



4 [編集] をクリックする



【受信フィルター】

MAC アドレスを指定してパソコンからのデータ受信を制限します。

5 フィルターを設定する



1 【フィルターを使用する】にチェックマークを付ける

- チェックマークを付けると通信制限が有効になります。通信制限をしないときはチェックマークを外してください。

2 アドレスを設定する

- 【登録するアドレス】に MAC アドレスを入力し、【追加】をクリックします。登録した MAC アドレスを持つ機器とだけ通信（受信）し、それ以外の MAC アドレスを持つ機器との通信は制限します。
- アドレスは「-」（ハイフン）や「:」（コロン）で区切らずに入力してください。



入力内容をよくお確かめください

MAC アドレスを間違えて設定すると、リモート UI からアクセスできなくなることがあります。この場合は、操作パネルから＜MAC アドレスフィルター＞を＜OFF＞にしてください。🔴**MAC アドレスフィルター (P. 336)**



設定した MAC アドレスを削除するとき

削除する MAC アドレスを選び、【削除】をクリックします。



3 [OK] をクリックする

MEMO

操作パネルの  から MAC アドレスによる通信制限を有効／無効に切り替えることもできます。  **MAC アドレス
フィルター(P. 336)**



関連項目

 **IP アドレスでファイアーウォールを設定する(P. 245)**

ポート番号を変更する

14EH-04L

ポートは外部機器と情報をやりとりするための出入口です。通常、おもなプロトコルには決まったポート番号を使用しますが、同じ番号が使われがちなので攻撃対象になりやすいという弱点があります。そのためネットワークで使用するポート番号を変更してセキュリティ向上を図るネットワーク管理者もいます。ポート番号はパソコンやサーバーなどの通信機器間で同じ設定にする必要があるため、変更があった場合はこれに合わせて本機側でも設定を変更します。



プロキシーサーバーのポート番号を変更するとき **プロキシーを設定する(P. 254)**

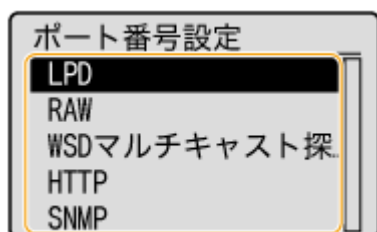
1 を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク設定>を選び、**OK**を押す

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して **OK** を押します。 **システム管理暗証番号を設定する(P. 240)**

3 <TCP/IP 設定> ▶ <ポート番号設定>の順に進む

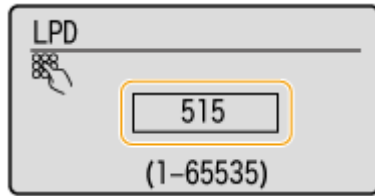
4 変更するポートを選び、**OK**を押す



各ポートの詳細について

- < LPD >／< RAW >／< WSD マルチキャスト探索 > **印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 207)**
- < HTTP > **HTTP 通信を無効にする(P. 257)**
- < SNMP > **SNMP で監視／制御する(P. 229)**

5 テンキーでポート番号を変更し、**OK**を押す



関連項目

- ▶ 印刷ポートの設定をする(P. 211)

プロキシを設定する

14EH-04R

プロキシ（HTTP プロキシサーバー）とは、おもにウェブサイトの閲覧などでネットワークの外にある機器との HTTP 通信を代行するパソコンやソフトウェアなどのことです。ネットワーク外部に直接通信するのではなく、プロキシサーバーを中継して外部に接続します。プロキシを設定することで、外部ネットワークとの通信管理がしやすくなるだけでなく、不正アクセスの遮断やウィルス対策の集約化など、セキュリティを強化できます。Google Cloud Print を利用するときは、プロキシを設定しておくでインターネットを介した印刷における安全性の向上が期待できます。プロキシサーバーのアドレスやポート番号、認証情報などはあらかじめ確認しておいてください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 283)

2 [設定/登録] をクリックする



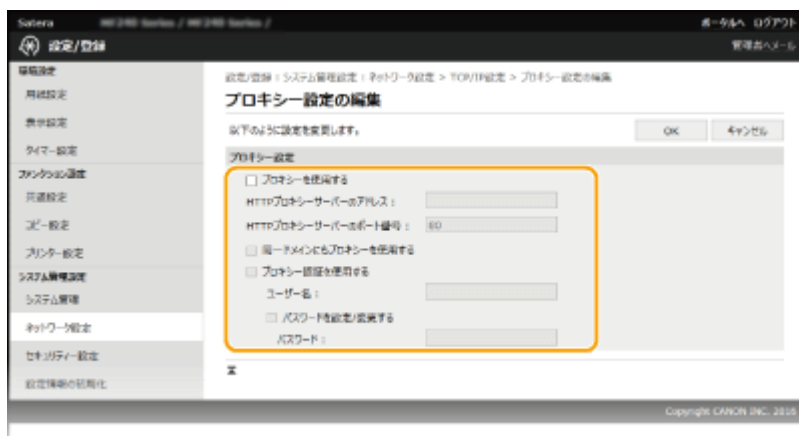
3 [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 [プロキシ設定] にある [編集] をクリックする



5 [プロキシを使用する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力する



[プロキシを使用する]

チェックマークを付けると、本機が HTTP 通信するときは指定したプロキシサーバーが使用されます。

[HTTP プロキシサーバーのアドレス]

使用するプロキシサーバーのアドレスを入力します。お使いの環境に応じて IP アドレスやホスト名などを設定してください。

[HTTP プロキシサーバーのポート番号]

使用するプロキシサーバーのポート番号を 1～65535 の範囲で入力します。

[同一ドメインにもプロキシを使用する]

チェックマークを付けると、同じドメインにも指定したプロキシサーバーが使用されます。

[プロキシ認証を使用する]

プロキシサーバーの認証機能を使用するときはチェックマークを付け、[ユーザー名] に認証するユーザー名を 24 文字以内の半角英数字で入力します。

[パスワードを設定/変更する]

プロキシ認証を使用する場合にパスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[パスワード] に新しく設定するパスワードを 24 文字以内の半角英数字で入力します。

6 [OK] をクリックする

機能を制限する

14EH-04S

使用頻度が低い機能や悪用される恐れのある機能に対して使用条件を設定し、機能を制限することができます。また、機能自体を完全に使えなくすることもできます。

HTTP 通信やリモート UI を制限する



- ▶ HTTP 通信を無効にする (P. 257)
- ▶ リモート UI を無効にする (P. 258)

HTTP 通信を無効にする

14EH-04U

HTTP はリモート UI から本機を操作するときなどに使われます。ネットワークを使用せず USB 接続で本機をお使いの場合や、HTTP 通信を使用しない場合は、その機能を無効にすることで、悪意のある第三者が未使用ポートから本機に侵入する危険性を減らすことができます。



HTTP 通信を無効にすると、リモート UI の操作や WSD 印刷、Google Cloud Print での印刷などのネットワークを介した操作ができなくなります。

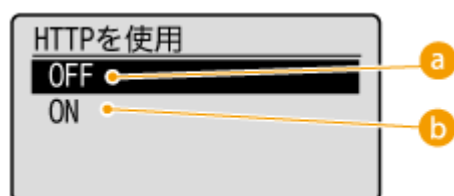
1 を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク設定>を選び、 を押す

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して  を押します。▶ [システム管理暗証番号を設定する\(P. 240\)](#)

3 < TCP/IP 設定 > ▶ < HTTP を使用 > の順に進む

4 < OFF > を選び、 を押す



a < OFF >

HTTP 通信を無効にします。

b < ON >

HTTP 通信を有効にします。



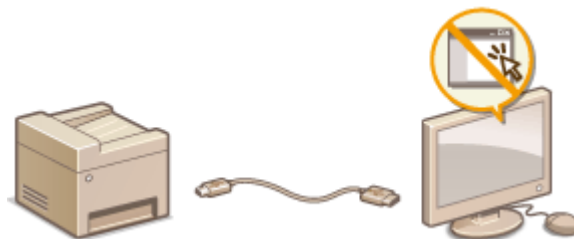
関連項目

- ▶ [リモート UI を使う\(P. 282\)](#)
- ▶ [ポート番号を変更する\(P. 252\)](#)
- ▶ [印刷プロトコルや Web サービスの設定をする\(P. 207\)](#)

リモート UI を無効にする

14EH-04W

リモート UI を使うとパソコンのウェブブラウザから本機の設定を行うことができ便利ですが、そのためには本機とパソコンがネットワーク上で接続されていなければなりません。また、リモート UI を使う必要がない場合も、機能を無効にすることでネットワークを介した不正な遠隔操作などのリスクを低減し、セキュリティ効果を高めることができます。



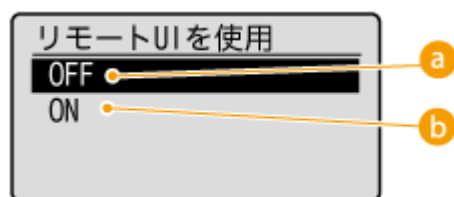
1 を押す

2 ▲／▼で<システム管理設定>を選び、**OK**を押す

- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して **OK** を押します。● **システム管理暗証番号**を設定する(P. 240)

3 <リモート UI 設定> ▶ <リモート UI を使用>の順に進む

4 <OFF>を選び、**OK**を押す



a <OFF>

リモート UI を無効にします。

b <ON>

リモート UI を有効にします。



関連項目

- リモート UI を使う(P. 282)
- HTTP 通信を無効にする(P. 257)

強固なセキュリティ機能を導入する

14EH-04X

悪意のある第三者による通信内容の盗聴や改ざん、なりすまし…。これらは正規ユーザーに想定外の損失をもたらす恐れがあります。大切なデータや情報を守るため、本機にはネットワークのセキュリティを高めるさまざまな対策が用意されています。

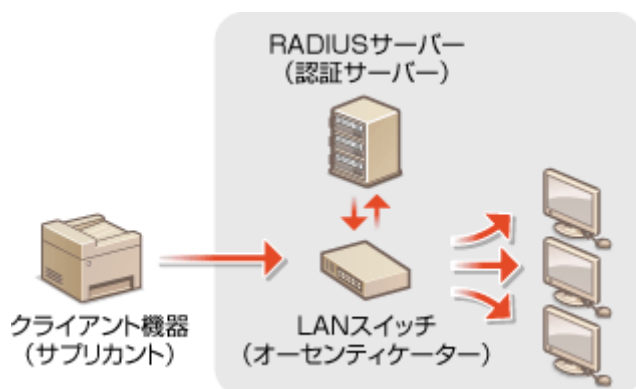
TLS 暗号化通信

ウェブブラウザや電子メールクライアントなどでデータを暗号化してネットワーク上で送受信する方法です。TLS 暗号化を使えば、リモート UI でパソコンから本機にアクセスするときも安全に通信できるようになります。▶**TLS でリモート UI 通信を暗号化する(P. 260)**



IEEE 802.1X 認証

IEEE 802.1X を導入したネットワークに機器を接続して通信を始めようとする、まずその機器が正しいユーザーであるかどうか確認されます。確認は RADIUS サーバーに問い合わせることで行われ、正しいユーザーであれば認証されます。認証が下りないかぎり LAN スイッチ（アクセスポイント）は機器からの通信要求を遮断します。このようなネットワークに本機はクライアントとして接続できます。▶**IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 263)**



関連項目

▶**鍵ペアと電子証明書の設定をする(P. 268)**

TLS でリモート UI 通信を暗号化する

14EH-04Y

リモート UI によるパソコンのウェブブラウザとの通信を Transport Layer Security (TLS) を使って暗号化できます。TLS はネットワーク上で情報を暗号化して送受信するための仕組みです。リモート UI を使って IEEE 802.1X 認証 (TTLS/PEAP) や SNMPv3 の設定をするときは TLS を有効にする必要があります。リモート UI で TLS 暗号化通信を行うには、使用する鍵ペアを指定してから TLS を有効にします。使用する鍵ペアはあらかじめ用意しておいてください (**鍵ペアと電子証明書の設定をする(P. 268)**)。



1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **リモート UI を起動する(P. 283)**

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク設定] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 [TLS 設定] にある [鍵と証明書] をクリックする



5 使用する鍵ペアの右側にある「使用鍵登録」をクリックする



証明書の内容を確認するには

- 「鍵の名前」のリンクか証明書のアイコンをクリックすると、証明書の詳細情報確認や検証ができます。▶ 鍵ペアと CA 証明書を検証する(P. 279)

6 TLS を有効にする

1 「セキュリティ設定」▶「リモート UI 設定」をクリックする



2 「編集」をクリックする



- 3 [TLSを使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの  から TLS 暗号化通信を有効／無効に切り替えることもできます。▶ [TLS を使用\(P. 335\)](#)

TLS を有効にしてリモート UI を起動したとき

- TLS 有効時にリモート UI を起動すると、セキュリティ証明書に関する警告メッセージが表示されることがあります。この場合はアドレス入力欄に入力した URL に間違いがないか確認してから、操作を続行してください。▶ [リモート UI を起動する\(P. 283\)](#)



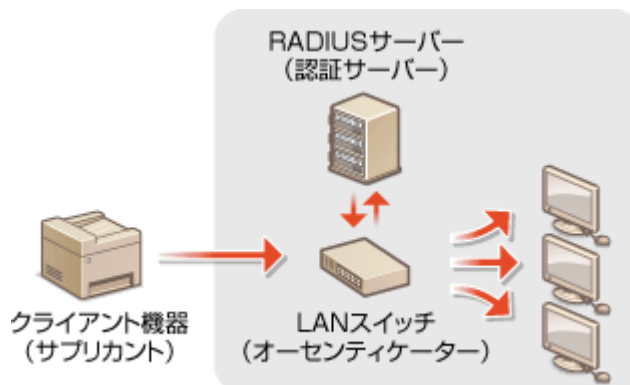
関連項目

- ▶ [鍵ペアを生成する\(P. 269\)](#)
- ▶ [認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う\(P. 276\)](#)
- ▶ [IEEE 802.1X 認証の設定をする\(P. 263\)](#)
- ▶ [SNMP で監視／制御する\(P. 229\)](#)

IEEE 802.1X 認証の設定をする

14EH-050

IEEE 802.1X 認証を導入したネットワークにクライアントとして本機を接続し、セキュリティを確保することができます。IEEE 802.1X ネットワークは、RADIUS サーバー（認証サーバー）、LAN スイッチ（オーセンティケーター）、クライアント機器（サブリカント）の 3 つの要素で構成されます。IEEE 802.1X ネットワーク上のクライアント機器が通信を始めようとする、まずその機器が正しいユーザーであるかどうか確認されます。確認は RADIUS サーバーに問い合わせることで行われ、正しいユーザーであれば認証されます。認証が下りないかぎり LAN スイッチは機器からの通信要求を遮断します。



認証サーバーに設定してある認証方式を次の中から選び、あらかじめ必要な鍵ペアや CA 証明書を用意しておいてください（[●認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う\(P. 276\)](#)）。

TLS

本機と認証サーバーがそれぞれの証明書を使って互いに認証を行います。本機の認証には認証局発行の鍵ペアが必要です。あらかじめ用意しておいてください。一方、サーバーの認証にはプリインストールされた CA 証明書またはリモート UI からインストールした CA 証明書が使用されます。

TTLS

本機の認証にユーザー名とパスワードを使用し、サーバー認証には CA 証明書を使用する認証方式です。内部プロトコルとして MSCHAPv2 または PAP を選択できます。PEAP との併用も可能です。あらかじめリモート UI 通信に対して TLS を設定しておいてください（[●TLS でリモート UI 通信を暗号化する\(P. 260\)](#)）。

PEAP

必要な設定は併用できる TTLS とほぼ同じですが、内部プロトコルには MSCHAPv2 を使用します。あらかじめリモート UI 通信に対して TLS を設定しておいてください（[●TLS でリモート UI 通信を暗号化する\(P. 260\)](#)）。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [●リモート UI を起動する\(P. 283\)](#)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク設定] ▶ [IEEE 802.1X 設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [IEEE 802.1X を使用する] にチェックマークを付け、[ログイン名] を入力したあと、必要な設定をする



「IEEE 802.1X を使用する」

IEEE 802.1X 認証を使用するときはチェックマークを付けます。

「ログイン名」

ユーザーを識別するための名称（EAP Identity）を、24 文字以内の半角英数字で入力します。

■TLS を設定する

- 1 「[TLS を使用する]」にチェックマークを付け、[鍵と証明書] をクリックする
- 2 使用する鍵ペアの右側にある「使用鍵登録」をクリックする



証明書の内容を確認するには

- 「[鍵の名前]」のリンクか証明書のアイコンをクリックすると、証明書の詳細情報確認や検証ができます。▶
鍵ペアと CA 証明書を検証する(P. 279)

■TTLS/PEAP を設定する

- 1 「[TTLS を使用する]」または「[PEAP を使用する]」にチェックマークを付ける



TLSを使用する場合の内部プロトコル

- MSCHAPv2 または PAP を選択できます。PAP を使用したいときは、[PAP] をクリックしてください。



2 [ユーザー名/パスワード変更] をクリックする

- IEEE 802.1X 認証のログイン名とは違うユーザー名を設定するときは、[ユーザー名にログイン名を使用する] のチェックマークを外します。IEEE 802.1X 認証のログイン名と同じユーザー名にするときは、チェックマークを付けた状態にしてください。



3 ユーザー名やパスワードを設定し、[OK] をクリックする



[ユーザー名]

ユーザー名を 24 文字以内の半角英数字で入力します。

[パスワードを変更する]

パスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを 24 文字以内の半角英数字で入力します。

6 [OK] をクリックする



7 本機を再起動する

- 電源を切り、10 秒待って再び電源を入れます。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの  から IEEE 802.1X 認証を有効／無効に切り替えることもできます。  **IEEE 802.1X 設定 (P. 307)**



関連項目

-  **鍵ペアと電子証明書の設定をする (P. 268)**

鍵ペアと電子証明書の設定をする

14EH-051

離れた場所にいる相手と暗号化通信を行うには、あらかじめ暗号化に使う鍵を保護されていないネットワーク上で送受信しなければなりません。この問題を解決するのが公開鍵暗号方式です。公開鍵暗号方式では、鍵ペアや電子証明書を使って盗聴、改ざん、なりすましなどの攻撃から大切なデータを保護し、通信の安全性を高めることができます。

鍵ペア



鍵ペアとは、データを暗号化したり元に戻したりするときに使う「公開鍵」と「秘密鍵」という一対の鍵のことです。暗号化したデータはペアのもう一方の鍵がないと元に戻せないため、安全にデータをやりとりできます。鍵ペアは TLS 暗号化通信や IEEE 802.1X 認証の TLS 方式などで使用します。本機に登録できる鍵ペアはプリインストールされている鍵ペアと合わせて最大 5 つです（[認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う\(P. 276\)](#)）。本機で自己生成することもできます（[鍵ペアを生成する\(P. 269\)](#)）。

CA 証明書



CA 証明書などの電子証明書は、本人認証に必要な運転免許証などの身分証明書に例えることができます。電子証明書には電子署名が含まれており、通信中に改ざんやなりすましがあった場合はこれらを検出できます。また、電子証明書を第三者が不正利用することは非常に困難です。認証局（CA）の公開鍵を含む電子証明書を特に CA 証明書と呼び、Google Cloud Print での印刷や IEEE 802.1X 認証などで本機の通信相手となる機器を認証するときに使用します。プリインストールされている 62 個の証明書と合わせて最大 67 個の CA 証明書を登録できます（[認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う\(P. 276\)](#)）。

■ 鍵と証明書の動作条件

本機で生成できる鍵ペアの証明書は、X.509v3 に対応します。鍵ペアや CA 証明書をパソコンからインストールする場合は、次の条件を満たしているか確認してください。

形式	- 鍵ペア：PKCS#12^{*1} - CA 証明書：X.509v1 または X.509v3、DER（バイナリーエンコード）、PEM
ファイルの拡張子	- 鍵ペア：「.p12」または「.pfx」 - CA 証明書：「.cer」
公開鍵のアルゴリズム（および鍵長）	RSA（512 ビット、1024 ビット、2048 ビット、4096 ビット）
証明書の署名アルゴリズム	SHA1-RSA、SHA256-RSA、SHA384-RSA ^{*2} 、SHA512-RSA ^{*2} 、MD5-RSA、MD2-RSA
証明書の拇印アルゴリズム	SHA1

^{*1} 鍵ペアに含まれている証明書は、CA 証明書の動作条件に準じます。

^{*2} SHA384-RSA および SHA512-RSA は、RSA の鍵長が 1024 ビット以上の場合にだけ使用できます。



- 証明書失効リスト（CRL）には対応していません。

鍵ペアを生成する

14EH-052

Transport Layer Security (TLS) を使った暗号化通信に必要な鍵ペアを生成できます。TLS は、リモート UI を使って本機にアクセスするときに使用できます。本機に登録できる鍵ペアはプリインストールされている鍵ペアと合わせて最大 5 つです。「ネットワーク通信用」に生成した鍵ペアでは自己署名証明書が使われます。「鍵と証明書署名要求 (CSR)」では、本機で生成した鍵ペアに対して認証局発行の電子証明書を申請することができます。

- ▶ ネットワーク通信用の鍵生成(P. 269)
- ▶ 鍵と証明書署名要求 (CSR) による鍵生成(P. 271)

ネットワーク通信用の鍵生成

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 283)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ設定] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする



4 [鍵生成] をクリックする



登録されている鍵ペアを削除するとき

- 削除したい鍵ペアの右側にある「削除」▶「OK」をクリックします。
- 使用中の鍵ペアには「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵ペアに変更してから削除してください。

5 [ネットワーク通信用] を選び、[OK] をクリックする



6 鍵と証明書の設定をする



a [鍵の設定]

[鍵の名前]

鍵に付ける名称を 24 文字以内の半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

[署名アルゴリズム]

プルダウンメニューから署名アルゴリズムを選びます。

[鍵のアルゴリズム]

鍵の生成アルゴリズムは RSA です。鍵長をプルダウンメニューから選びます。鍵長は数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。



- [署名アルゴリズム] で [SHA384] または [SHA512] を選んだときは、鍵の長さを [512 bit] に設定することはできません。

b [証明書の設定]

[有効期限開始日(YYYY/MM/DD)]

証明書の有効期間の開始日を、2000/01/01～2099/12/31 の範囲で入力します。

[有効期限終了日(YYYY/MM/DD)]

証明書の有効期間の終了日を、2000/01/01～2099/12/31 の範囲で入力します。[有効期限開始日(YYYY/MM/DD)] より前に設定することはできません。

[国/地域名]

[国/地域名で選択] をクリックしてプルダウンメニューから国／地域名を選ぶか、[インターネット国コードで入力] をクリックして国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

[都道府県] / [市町村]

必要に応じて所在地を 24 文字以内の半角英数字で入力します。

[組織] / [組織単位]

必要に応じて組織名を 24 文字以内の半角英数字で入力します。

[共通名]

必要に応じて証明書の主体者の名称を 48 文字以内の半角英数字で入力します。「Common Name」や「CN」、「一般名」と呼ぶこともあります。

7 [OK] をクリックする

- 鍵ペアの生成には 10 分～15 分程度かかることがあります。
- 生成した鍵ペアは本機に自動的に登録されます。

鍵と証明書署名要求（CSR）による鍵生成

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 283)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ設定] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする



4 [鍵生成] をクリックする



登録されている鍵ペアを削除するとき

- 削除したい鍵ペアの右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。
- 使用中の鍵ペアには「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵ペアに変更してから削除してください。

5 [鍵と証明書署名要求(CSR)] を選び、[OK] をクリックする



6 鍵と証明書の設定をする



a [鍵の設定]

[鍵の名前]

鍵に付ける名称を 24 文字以内の半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

[署名アルゴリズム]

プルダウンメニューから署名アルゴリズムを選びます。

[鍵のアルゴリズム]

鍵の生成アルゴリズムは RSA です。鍵長をプルダウンメニューから選びます。鍵長は数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。



- [署名アルゴリズム] で [SHA384] または [SHA512] を選んだときは、鍵の長さを [512 bit] に設定することはできません。

b [証明書署名要求(CSR)の設定]

[国/地域名]

[国/地域名で選択] をクリックしてプルダウンメニューから国／地域名を選ぶか、[インターネット国コードで入力] をクリックして国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

[都道府県] ／ [市町村]

必要に応じて所在地を 24 文字以内の半角英数字で入力します。

【組織】／【組織単位】

必要に応じて組織名を 24 文字以内の半角英数字で入力します。

【共通名】

必要に応じて証明書の主体者の名称を 48 文字以内の半角英数字で入力します。「Common Name」や「CN」、「一般名」と呼ぶこともあります。

7 [OK] をクリックする

- 鍵ペアの生成には 10 分～15 分程度かかることがあります。

8 [ファイルに保存] をクリックする

- ファイルを保存するダイアログボックスが表示されるので、保存先を選んで [保存] をクリックします。



⇒ 証明書署名要求 (CSR) のファイルがパソコンに保存されます。

9 保存したファイルを添付して認証局に申請する

■ 認証局から発行された電子証明書を登録する

証明書署名要求 (CSR) で生成した鍵ペアは証明書を登録するまで使うことができません。認証局から電子証明書が発行されたら、次の手順で登録します。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 283)

2 [設定/登録] をクリックする

3 [セキュリティ設定] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする

4 登録する証明書の [鍵の名前] または [証明書] をクリックする



5 [証明書の登録] をクリックする



6 [参照] をクリックし、証明要求した証明書のファイルを指定したあと、[登録] をクリックする



関連項目

- 認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う (P. 276)
- 鍵ペアと CA 証明書を検証する (P. 279)
- TLS でリモート UI 通信を暗号化する (P. 260)

認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う

14EH-053

鍵ペアや電子証明書を発行機関から入手して使用することができます。入手した鍵ペアや CA 証明書のファイルはリモート UI を使って本機にインストール／登録します。本機で利用できる鍵ペアと証明書の条件をあらかじめ確認しておいてください（**鍵と証明書の動作条件(P. 268)**）。鍵ペアはプリインストールされている鍵ペアと合わせて 5 つまで、CA 証明書はプリインストールされている 62 個の証明書と合わせて 67 個まで登録できます。



1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 283)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ設定] ▶ [鍵と証明書設定] または [CA 証明書設定] をクリックする

- 鍵ペアをインストールするときは「鍵と証明書設定」を、CA 証明書をインストールするときは「CA 証明書設定」をクリックします。



4 [鍵と証明書の登録] または [CA 証明書登録] をクリックする



登録されている鍵ペアや CA 証明書を削除するとき

- 削除したい鍵ペアまたは CA 証明書の右側にある [削除] ► [OK] をクリックします。プリインストールされている CA 証明書は削除できません。
- 使用中の鍵ペアには「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵ペアに変更してから削除してください。

プリインストールされている CA 証明書を無効にするとき

- 無効にしたい CA 証明書の右側にある [無効] をクリックします。再度有効にしたいときは、[有効] をクリックしてください。

5 [インストール] をクリックする



鍵ペアや CA 証明書のファイルを削除するには

- 削除したいファイルの右側にある [削除] ► [OK] をクリックします。

6 [参照] をクリックし、インストールするファイルを指定したあと、[インストール開始] をクリックする



▶▶▶ パソコンから本機に鍵ペアまたは CA 証明書がインストールされます。

7 鍵ペアまたは CA 証明書を登録する

■鍵ペアを登録する

- 1 登録したい鍵ペアの右側にある「登録」をクリックする
- 2 鍵の名前とパスワードを入力し、「OK」をクリックする

【鍵の名前】

本機に登録するときの鍵の名称を 24 文字以内の半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

【パスワード】

登録するファイルに設定されている秘密鍵のパスワードを 24 文字以内の半角英数字で入力します。

■CA 証明書を登録する

登録したい CA 証明書の右側にある「登録」をクリックします。



関連項目

- 🔗 鍵ペアを生成する (P. 269)
- 🔗 鍵ペアと CA 証明書を検証する (P. 279)
- 🔗 TLS でリモート UI 通信を暗号化する (P. 260)
- 🔗 IEEE 802.1X 認証の設定をする (P. 263)

鍵ペアと CA 証明書を検証する

14EH-054

登録した鍵ペアや CA 証明書は、詳細情報を確認したり、有効期限や署名などを検証したりできます。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 283)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ設定] ▶ [鍵と証明書設定] または [CA 証明書設定] をクリックする

- 鍵ペアを検証するときは [鍵と証明書設定] を、CA 証明書を検証するときは [CA 証明書設定] をクリックします。



4 検証したい鍵ペアや証明書のアイコンをクリックする



⇒ 証明書の詳細情報が表示されます。

5 証明書の詳細情報を確認し、[証明書の検証] をクリックする



⇒ 検証結果が表示されます。



関連項目

- 鍵ペアを生成する(P. 269)
- 認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う(P. 276)

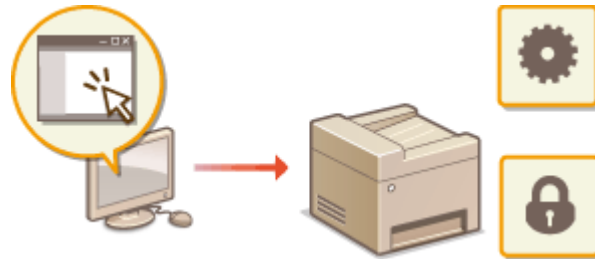
リモート UI を使う

リモート UI を使う	282
リモート UI を起動する	283
リモート UI の画面	285
待機中の文書や本機の状態を確認する	288
本機の設定を変更する	292

リモート UI を使う

14EH-055

パソコンのウェブブラウザを使って本機を遠隔操作し、待機中の文書を確認したり、本体状況を確認したりすることができます。セキュリティなど各種設定を行うことも可能です。ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力すると「リモート UI」が起動しますので、これを使って遠隔操作します。デスクに居ながらにして本機を操作できますので大変便利です。



リモート UI でできること

- ▶ 待機中の文書や本機の状態を確認する(P. 288)
- ▶ 本機の設定を変更する(P. 292)

リモート UI の使いかた

- ▶ リモート UI を起動する(P. 283)
- ▶ リモート UI の画面(P. 285)

動作環境

リモート UI を使用するには、以下のシステム環境が必要です。なお、ウェブブラウザの設定で Cookie が利用できるようにしてください。

Windows の場合

- Windows Vista/7/8/10
- Microsoft Internet Explorer 7.0 以降

Mac OS の場合

- Mac OS 10.6 以降（Classic 環境を除く）
- Safari 3.2.1 以降

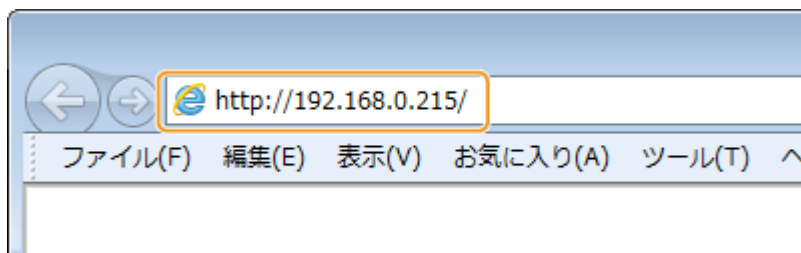
リモート UI を起動する

14EH-056

遠隔操作は、ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力し、リモート UI を起動させて行います。操作の前に、あらかじめ本機に設定されている IP アドレスを確認しておいてください（[●ネットワークの設定を確認する\(P. 203\)](#)）。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 ウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力欄に「http://<本機の IP アドレス>/」と入力し、キーボードの [ENTER] を押す



- IPv6 アドレスを使用している場合は、IP アドレスを [] で囲み、次のような形式で入力してください：http://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]/



セキュリティに関するメッセージが表示されたときは

- Apple 製機器との通信が暗号化されている場合（[●TLS でリモート UI 通信を暗号化する\(P. 260\)](#)）に、エラーメッセージが表示されることがあります。証明書や TLS の設定に問題がないときは、ウェブサイトの閲覧を続行してください。
- リモート UI の通信が暗号化されている場合（[●TLS でリモート UI 通信を暗号化する\(P. 260\)](#)）に、エラーメッセージが表示されることがあります。証明書や TLS の設定に問題がないときは、ウェブサイトの閲覧を続行してください。

3 リモート UI にログインする

■システム管理暗証番号が設定されていない場合

[管理者モード] または [一般ユーザーモード] をクリックします。



a [管理者モード]

リモート UI のすべての操作および設定ができます。システム管理暗証番号を設定している場合は、[システム管理暗証番号] を入力します（▶システム管理暗証番号を設定する(P. 240)）。システム管理暗証番号を設定していない場合は、何も入力する必要はありません。

b [一般ユーザーモード]

印刷文書の確認、本機状態の確認、各種設定内容の確認ができます。待機中の印刷文書を確認したり、待機をやめて印刷を中止したいときは、[ユーザー名] に文書のユーザー名を入力してください（文書のユーザー名には、パソコンのログオンユーザー名などが、印刷時に自動的に設定されています）。

c [リモート UI アクセス暗証番号]

[リモート UI アクセス暗証番号] を設定している場合は、暗証番号を入力してください。▶リモート UI の暗証番号を設定する(P. 242)

■システム管理暗証番号が設定されている場合

登録されている [システム管理暗証番号] を入力します。▶システム管理暗証番号を設定する(P. 240)

4 [ログイン] をクリックする

- リモート UI のメイン画面（ポータルページ）が表示されます。▶リモート UI の画面(P. 285)



リモート UI の画面

リモート UI のおもな画面について説明します。

- ▶ ポータルページ（メイン画面）（P. 285）
- ▶ [状況確認/中止] ページ（P. 286）
- ▶ [設定/登録] ページ（P. 287）

ポータルページ（メイン画面）



1 [ログアウト]

リモート UI をログアウトして、ログインページに戻ります。

2 [管理者へメール]

[システム管理] の [システム管理者情報] に設定されている管理者宛にメールを作成します。

3 更新アイコン

表示中のページを最新の情報に更新します。

4 [デバイス基本情報]

本機の現在の状況と、エラー情報が表示されます。エラーが発生している場合は、エラー情報ページへのリンクが表示されます。

5 [消耗品情報]

用紙についての情報（残量やサイズなど）やトナーカートリッジ残量が表示されます。[消耗品詳細] をクリックすると、消耗品確認画面が表示されます。▶ **消耗品を確認する(P. 289)**

6 [サポートリンク]

[システム管理] の [デバイス情報] に設定されている本機のサポート情報へのリンクが表示されます。

7 [状況確認/中止]

[状況確認/中止] ページが開きます。印刷、コピーの待機文書について、状況の確認、履歴の確認、処理の中止ができます。

8 [設定/登録]

[設定/登録] ページが開きます。管理者モードでログインしているときは、設定内容を変更したり、設定データの保存／読み込みをしたりなどの操作ができます。▶**本機の設定を変更する(P. 292)**

[状況確認/中止] ページ



1 [ポータルへ]

ポータルページ（メイン画面）に戻ります。

2 メニュー

項目をクリックすると、その内容が右側のページに表示されます。▶**待機中の文書や本機の状態を確認する(P. 288)**

3 階層表示

表示中のページ階層が表示され、現在どのページを表示しているかを確認できます。

4 更新アイコン

表示中のページを最新の情報に更新します。

5 上へアイコン

ページの下の方を見ているときにこのボタンをクリックすると、ページの最上部に戻ることができます。

[設定/登録] ページ



1 [ポータルへ]

ポータルページ（メイン画面）に戻ります。

2 メニュー

項目をクリックすると、その内容が右側のページに表示されます。▶ **本機の設定を変更する(P. 292)**

3 階層表示

表示中のページ階層が表示され、現在どのページを表示しているかを確認できます。

4 上へアイコン

ページの下の方を見ているときにこのボタンをクリックすると、ページの最上部に戻ることができます。



[システム管理設定] について

- 管理者モードでログインした場合にのみ、設定内容を変更できます。
- 一般ユーザーモードでログインした場合は、[システム管理] のみ表示されます。

待機中の文書や本機の状態を確認する

14EH-058

- ▶印刷文書の状況を確認する(P. 288)
- ▶エラー情報を確認する(P. 289)
- ▶消耗品を確認する(P. 289)
- ▶最大印刷速度を確認する(P. 289)
- ▶管理者情報を確認する(P. 290)
- ▶印刷ページ数を確認する(P. 290)



文書のファイル名は全角で 127 文字（半角 255 文字）だけ表示されます。また、印刷したアプリケーション名がファイル名に付加されることがあります。

印刷文書の状況を確認する

パソコンから印刷した文書の印刷状況（印刷中／印刷待機中）をプリントジョブ状況で確認できます。



リモート UI にログインする（▶**リモート UI を起動する(P. 283)**）▶ [状況確認/中止] ▶ [ジョブ状況]



[中止] をクリックすると、印刷中／印刷待機中の文書を削除できます。



- 管理者モードでログインした場合、すべての印刷文書の状況が表示されます。
- 一般ユーザーモードで、[ユーザー名] を入力してログインした場合、そのユーザーが印刷した文書だけが表示されます。
- 一時停止中の文書で [受付番号] をクリックすると、文書の詳細情報が表示されます。ユーザー名や印刷枚数などの情報を確認できます。

エラー情報を確認する

エラーが発生しているとき、ポータルページ（メイン画面）の「エラー情報」に表示されているメッセージをクリックすると、このページが表示されます。▶ポータルページ（メイン画面）(P. 285)



リモート UI にログインする（▶リモート UI を起動する(P. 283)）▶ [状況確認/中止] ▶ [エラー情報]



消耗品を確認する

給紙部の用紙サイズや種類、トナーカートリッジの型番などが表示されます。▶ポータルページ（メイン画面）(P. 285) で、[消耗品詳細] をクリックしてもこのページを表示できます。



リモート UI にログインする（▶リモート UI を起動する(P. 283)）▶ [状況確認/中止] ▶ [消耗品確認]



最大印刷速度を確認する

最大印刷速度が表示されます。



リモート UI にログインする（**▶リモート UI を起動する(P. 283)**）▶ [状況確認/中止] ▶ [デバイス
装備]



管理者情報を確認する

本体とシステム管理者についての情報が表示されます。ここに表示されている情報は、[設定/登録] ページの [システム管理] で設定したものです（**▶システム管理設定(P. 334)**）。



リモート UI にログインする（**▶リモート UI を起動する(P. 283)**）▶ [状況確認/中止] ▶ [デバイス
情報]



印刷ページ数を確認する

印刷、コピーで、今までに印刷された文書の合計ページ数が表示されます。



リモート UI にログインする（**▶リモート UI を起動する(P. 283)**）▶ [状況確認/中止] ▶ [カウンター
確認]



関連項目

- ▶ リモート UI の画面(P. 285)

本機の設定を変更する

14EH-059

リモート UI を使って、パソコン側から本機のさまざまな設定を登録／変更できます。ほとんどの項目は本機の操作パネルで設定できますが、リモート UI でしか設定できない項目もあります。



管理者モードでログインした場合にのみ変更できる項目があります。

1 リモート UI を起動する ▶ リモート UI を起動する(P. 283)

2 [設定/登録] をクリックする



3 設定したい項目をクリックして表示し、[編集] をクリックする



- 設定メニューの詳細については、以下の各項目を参照してください。

メニュー項目	参照先
環境設定	

メニュー項目	参照先
用紙設定	▶用紙サイズと種類を設定する(P. 60)
表示設定	▶環境設定(P. 311)
タイマー設定	▶タイマー設定(P. 315)
ファンクション設定	
共通設定	▶共通設定 (MF244dw / MF242dw) (P. 319)
コピー設定	▶コピー設定(P. 321)
プリンター設定	▶プリンター設定(P. 325)
システム管理設定	
システム管理	▶システム管理設定(P. 334)
ネットワーク設定	▶ネットワーク(P. 173)
セキュリティー設定	▶セキュリティー(P. 235)
設定情報の初期化	▶メニューを初期化する(P. 403)



関連項目

- ▶リモート UI の画面(P. 285)

設定メニュー一覧

設定メニュー一覧	295
ダイレクト接続	296
ネットワーク設定	297
レポート出力	308
環境設定	311
タイマー設定	315
共通設定（MF244dw / MF242dw）	319
コピー設定	321
スキャン設定	323
プリンター設定	325
調整/メンテナンス設定	327
システム管理設定	334

設定メニュー一覧

14EH-05A

本機にはさまざまな設定項目があり、それぞれについて詳細な調整を行うことができます。各項目は操作パネルの  から入って操作します。



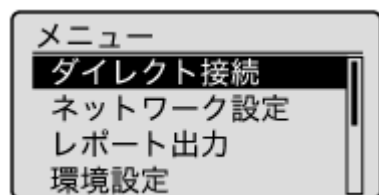
このマニュアルには、設定メニューをまとめた PDF も付属しています。併せて参考にしてください。▶ **メニュールートマップ(P. 453)**



現在の設定内容をプリントして確認することができます。▶ **レポート出力(P. 308)**

ダイレクト接続

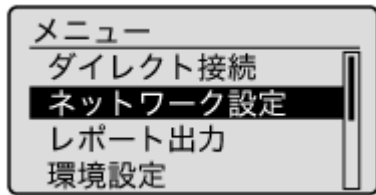
14EH-05C



モバイル機器と本機でダイレクト接続を行います。🔴**ダイレクト接続（アクセスポイントモード）**で使う(P. 152)

ダイレクト接続の設定は 🔴**ダイレクト接続設定(P. 299)**で行うことができます。

ネットワーク設定



ネットワークに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



暗証番号の入力画面が表示されたらテンキーで暗証番号を入力して **OK** を押します。▶ **システム管理暗証番号を設定する(P. 240)**

- ▶ 有線/無線 LAN 選択(P. 297)
- ▶ 無線 LAN 設定(P. 297)
- ▶ ダイレクト接続設定(P. 299)
- ▶ TCP/IP 設定(P. 300)
- ▶ SNMP 設定(P. 305)
- ▶ 専用ポート設定(P. 306)
- ▶ 起動時の接続待機時間(P. 306)
- ▶ Ethernet ドライバー設定(P. 306)
- ▶ IEEE 802.1X 設定(P. 307)
- ▶ ネットワーク設定の初期化(P. 307)

有線/無線 LAN 選択

無線 LAN から有線 LAN に切り替えるときに設定します。逆に有線 LAN から無線 LAN に切り替えるときは、この設定は必要ありません（次の＜無線 LAN 設定＞で切り替えできます）。▶ **有線 LAN か無線 LAN かを選択する(P. 176)**

有線 LAN
無線 LAN

無線 LAN 設定

本機を無線 LAN に接続するための設定を行います。設定の確認や節電のための設定もできます。設定方法については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。▶ **本機に付属するマニュアル(P. 437)**

SSID 設定

SSID やネットワークキーなどの情報を操作パネルから手動入力して無線 LAN 接続を設定します。

アクセスポイント選択

本機と接続可能な無線 LAN ルーターが自動的に探索されますので、一覧から選びます。WEP キーや PSK などのネットワークキーは手動で入力します。▶ **無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 186)**

手動入力

無線 LAN 接続の設定をすべて手動入力で行います。セキュリティの設定などを詳しく指定したい場合や、他の方法で接続できない場合に選択します。▶**すべて入力して設定する(P. 189)**

•セキュリティ設定 なし WEP オープンシステム WEP キー選択: 1 WEP キー選択: 2 WEP キー選択: 3 WEP キー選択: 4 共有キー WEP キー選択: 1 WEP キー選択: 2 WEP キー選択: 3 WEP キー選択: 4 WPA/WPA2-PSK 自動 AES-CCMP
--

WPS プッシュボタン方式

WPS 対応無線 LAN ルーターのボタンを使って無線 LAN 接続を自動設定します。▶**WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）(P. 180)**

WPS PIN コード方式

WPS 対応無線 LAN ルーターに PIN コードを入力して無線 LAN 接続を設定します。▶**WPS PIN コード方式で設定する(P. 183)**

AOSS

AOSS 対応無線 LAN ルーターのボタンを使って無線 LAN 接続を自動設定します。▶**WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）(P. 180)**

らくらく無線スタート

らくらく無線スタート対応無線 LAN ルーターのボタンを使って無線 LAN 接続を自動設定します。▶**WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）(P. 180)**

パワーセーブモード

無線 LAN ルーターが発する信号に合わせて本機を節電状態にするかどうかを設定します。

OFF ON



無線 LAN 情報

現在の無線 LAN についての設定を確認します。▶ **ネットワークの設定を確認する (P. 203)**

MAC アドレス
無線 LAN 状態
最新のエラー情報
チャンネル
SSID 設定
セキュリティ設定
パワーセーブモード

ダイレクト接続設定

<ダイレクト接続を使用> が <ON> のとき、ダイレクト接続をするための設定をします。設定をするとアクセスポイントや無線 LAN ルーターのない環境でも、モバイル機器から無線で直接本機に接続できます。

ダイレクト接続を使用

ダイレクト接続を使用するかどうかを設定します。<ダイレクト接続専用>、<無線 LAN/ダイレクト接続自動切替> は、無線 LAN が使用できる状態で <ダイレクト接続を使用> が <ON> のときに設定することができます。▶ **ダイレクト接続する (アクセスポイントモード) (P. 152)**

OFF
ON
ダイレクト接続専用
無線 LAN/ダイレクト接続自動切替



ダイレクト接続の自動切断時間

<ダイレクト接続を使用> が <ON> のとき、ダイレクト接続を自動的に切断する時間を設定します。<ダイレクト接続の自動切断時間> で設定している時間になると、本機とモバイル機器との通信が切断されます。大量に印刷するときは、切断時間の設定を長めにするか、切断時間を <0> (自動切断しない) にしてください。

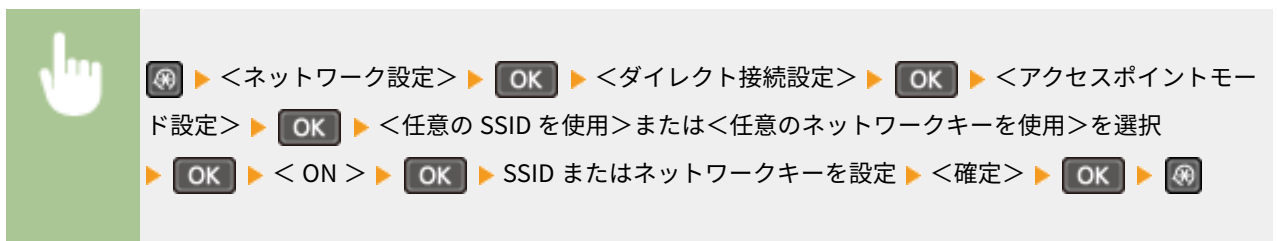
0 (自動切断しない)
1~10~60 (分)



アクセスポイントモード設定

<ダイレクト接続を使用>が< ON >のとき、認証や暗号化などを詳しく指定したい場合は、SSID やネットワークキーを自分で入力して設定します。

- 任意の SSID を使用
OFF
 ON
 SSID (1～20 文字)
- 任意のネットワークキーを使用
OFF
 ON
 ネットワークキー (10 文字)



TCP/IP 設定

IP アドレスの設定など、本機を TCP/IP ネットワークで使用するための設定をします。

IPv4 設定

IPv4 を使ったネットワークで本機を使用するための各種設定を行います。

IP アドレス設定

TCP/IP ネットワークでパソコンやプリンターなどの通信機器を特定するための IP アドレスを設定します。▶IPv4 アドレスを設定する(P. 197)

- 自動取得
 プロトコル選択
 OFF
DHCP
 BOOTP
 RARP
 Auto IP
 OFF

ON

- 手動取得
IP アドレス：0.0.0.0
サブネットマスク：0.0.0.0
ゲートウェイアドレス：0.0.0.0
- 設定確認
自動取得
IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス

PING コマンド

本機とパソコンがネットワーク上で接続されているかどうかを確認します。▶[接続テストをする\(P. 199\)](#)

DNS 設定

ホスト名を IP アドレスに変換する Domain Name System（DNS）の設定をします。▶[DNS の設定をする\(P. 222\)](#)

- DNS サーバー設定
プライマリー DNS サーバー：0.0.0.0
セカンダリー DNS サーバー：0.0.0.0
- DNS ホスト名/ドメイン名設定
ホスト名
ドメイン名
- DNS の動的更新設定
OFF
ON
DNS の動的更新間隔
0～**24**～48（時間）

mDNS 設定

DNS サーバーがない環境で DNS の機能を使うための設定をします。▶[DNS の設定をする\(P. 222\)](#)

- OFF
- **ON**
mDNS 名

DHCP オプション設定

DHCP が有効な場合に、DHCP オプション機能を使ってホスト名の取得や動的更新をするかどうかを設定します。

▶[DNS の設定をする\(P. 222\)](#)

- ホスト名の取得
OFF
ON

- DNS の動的更新
- OFF**
- ON

IPv6 設定

IPv6 を導入したネットワークで本機を使用するための各種設定を行います。

IPv6 を使用

本機で IPv6 を使用するかどうかを選びます。▶IPv6 アドレスを設定する(P. 200)

- **OFF**
- ON
- 設定確認
- リンクローカルアドレス
- プレフィックス長

ステートレスアドレス設定

ステートレスアドレスを使用するかどうかを設定します。▶IPv6 アドレスを設定する(P. 200)

- OFF
- **ON**
- 設定確認
- ステートレスアドレス
- プレフィックス長

DHCPv6 を使用

DHCPv6 から取得するステートフルアドレスを使用するかどうかを設定します。▶IPv6 アドレスを設定する(P. 200)

- **OFF**
- ON
- 設定確認
- ステートフルアドレス
- プレフィックス長

DNS 設定

ホスト名を IP アドレスに変換する Domain Name System (DNS) の設定をします。▶DNS の設定をする(P. 222)

- DNS ホスト名/ドメイン名設定
- IPv4 と同ホスト/ドメイン使用
- OFF
- ホスト名
- ドメイン名
- ON**

- DNS の動的更新設定
 - OFF**
 - ON
 - 手動アドレスの登録
 - OFF**
 - ON
 - ステートフルアドレスの登録
 - OFF**
 - ON
 - ステートレスアドレスの登録
 - OFF**
 - ON
 - DNS の動的更新間隔
 - 0～24～48（時間）

mDNS 設定

DNS サーバーがない環境で DNS の機能を使うための設定をします。▶DNS の設定をする(P. 222)

- OFF
- **ON**
 - IPv4 と同じ mDNS 名を使用
 - OFF
 - mDNS 名
 - ON**

LPD 印刷の設定

ハードウェアや OS などのプラットフォームに依存しない印刷プロトコルである LPD を使用するかどうかを設定します。▶印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 207)

OFF
ON

RAW 印刷の設定

Windows 独自の印刷データ形式である RAW を使用するかどうかを設定します。▶印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 207)

OFF
ON

WSD の設定

Windows Vista/7/8/10/Server 2008/Server 2012 で利用できる WSD プロトコルを使ってプリンターやスキャナーの自動検索や情報取得をするかどうかを設定します。▶印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 207)

- WSD 印刷の設定
 - WSD 印刷を使用
 - OFF

ON WSD 参照を使用 OFF ON • WSD スキャンの設定 WSD スキャンを使用 OFF ON PC スキャンを使用 OFF ON • マルチキャスト探索を使用 OFF ON

HTTP を使用

HTTP を使用するかどうかを設定します。HTTP はリモート UI や WSD 印刷、Google Cloud Print での印刷などでパソコンやサーバーとの通信をするときに必要です。▶**HTTP 通信を無効にする(P. 257)**

OFF ON

ポート番号設定

お使いの環境に応じて、各種プロトコルのポート番号を変更します。▶**ポート番号を変更する(P. 252)**

• LPD 1~515~65535 • RAW 1~9100~65535 • WSD マルチキャスト探索 1~3702~65535 • HTTP 1~80~65535 • SNMP 1~161~65535

MTU サイズ

本機が送受信するパケットの最大サイズを設定します。▶**送信パケットの最大サイズを変更する(P. 220)**

1300 1400 1500
--

SNMP 設定

SNMP 対応ソフトウェアで本機を監視／制御するための設定をします。  **SNMP で監視／制御する(P. 229)**

SNMPv1 設定

SNMPv1 を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、所属するコミュニティ名および管理情報ベース (MIB) へのアクセス権限を設定します。

- OFF
- **ON**
 - コミュニティ名 1 設定
 - OFF
 - ON**
 - コミュニティ名
 - MIB アクセス権限
 - コミュニティ名 2 設定
 - OFF**
 - ON
 - コミュニティ名
 - MIB アクセス権限
 - 専用コミュニティ設定
 - OFF
 - ON**



 > <ネットワーク設定> >  > <SNMP 設定> >  > <SNMPv1 設定> >  > <SNMPv1 設定> >  > <ON >または< OFF >を選択 >  > <ON >を選んだ場合は各項目を設定 >  > 

SNMPv3 設定

SNMPv3 を使用するかどうかを設定します。SNMPv3 を使用するとき適用される詳細な設定はリモート UI から行う必要があります。

- OFF
- ON



 > <ネットワーク設定> >  > <SNMP 設定> >  > <SNMPv3 設定> >  > <ON >または< OFF >を選択 >  > 

ホストからプリンター管理情報を取得

SNMP 対応ソフトウェアがネットワークを介して本機のプリンター管理情報を監視できるようにするかどうかを設定します。

OFF
ON



専用ポート設定

専用ポートを使用するかどうかを設定します。専用ポートは、ネットワーク接続時にパソコンからの印刷や MF Scan Utility を使ったスキャン、本機の設定／参照などをする際に使用します。

OFF
ON



起動時の接続待機時間

通信開始までの待ち時間を設定します。本機を接続したネットワーク環境に合わせて設定してください。▶**ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 221)**

0～300（秒）

Ethernet ドライバー設定

イーサネットの通信方式（半二重／全二重）や種類（10BASE-T/100BASE-TX）を設定したり、MAC アドレスを表示したりします。

自動検出

通信方式と種類を自動検出するかどうかを設定します。▶**イーサネットの設定をする(P. 218)**

• OFF
通信方式
半二重
全二重

Ethernet の種類

10BASE-T

100BASE-TX

• ON

MAC アドレス

通信機器固有の番号である MAC アドレスを確認します。▶[有線 LAN の MAC アドレスを確認する\(P. 203\)](#)

IEEE 802.1X 設定

IEEE 802.1X 認証を使用するかどうかを設定します。▶[IEEE 802.1X 認証の設定をする\(P. 263\)](#)

OFF

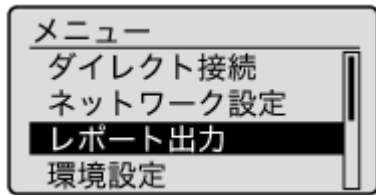
ON

ネットワーク設定の初期化

ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。▶[メニューの初期化\(P. 340\)](#)

レポート出力

14EH-05F



本機の設定項目とその内容をリストで確認できます。リストにはネットワークやシステムなど各種設定の設定値、登録されている用紙のサイズと種類などがプリントされます。



レポート出力を行うときは、A4 またはレターサイズ of 用紙をセットしてください。▶**用紙をセットする(P. 44)**

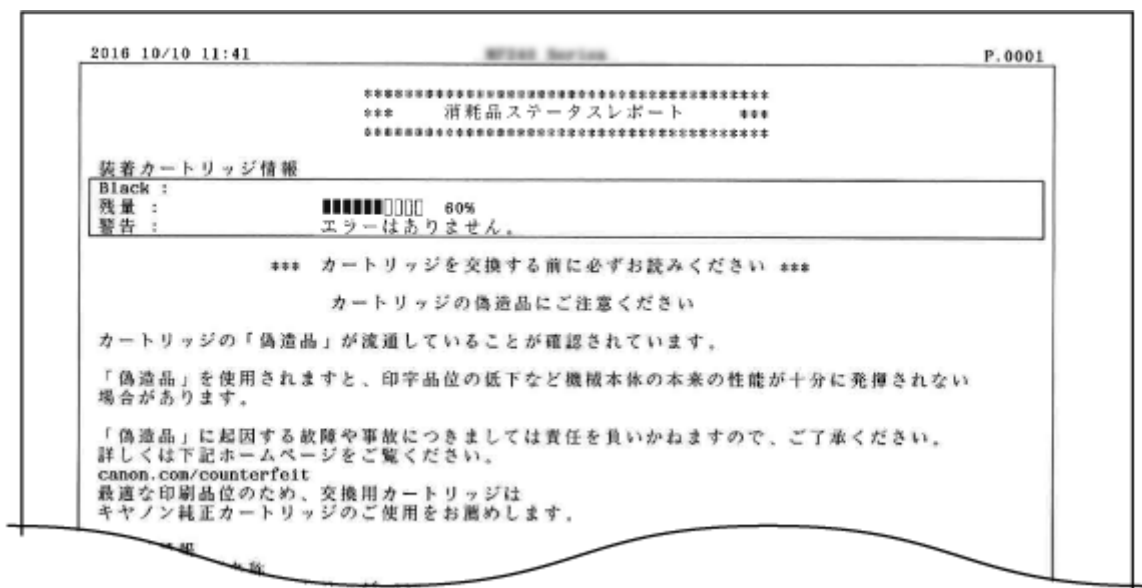
- ▶**消耗品ステータスレポート (P. 308)**
- ▶**ECO レポート (P. 309)**
- ▶**ユーザーデータリスト (P. 309)**

消耗品ステータスレポート

本機にセットされている消耗品の状態を確認できます。

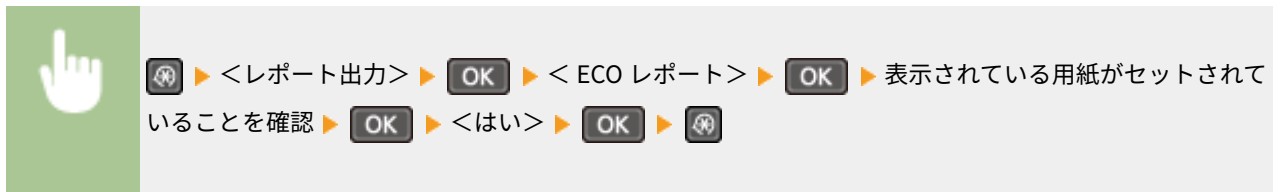


出力例：



ECO レポート

本機の月別出力枚数、消費電力の使用量などの情報や方法について確認できます。



出力例：

2016 10/15 05:15

P.0001

*** ECOレポート ***

本機の設定を変更することで、用紙や電力を節約することができます。
詳しいご利用方法については取扱説明書をご覧ください。

*用紙を節約しましょう

現在の使用状況（1か月あたりの平均出力枚数）

	総出力枚数	ページ集約出力枚数
コピー	2	0 (0%)
プリント	0	0 (0%)

節約するためには

＜複数のページを1枚の用紙に印刷する＞

複数ページの原稿を1枚にまとめることで用紙を節約できます。

また、デフォルト設定を変更すれば、毎回同じ設定をする手間が省けます。

コピーのデフォルト設定は、操作パネルから以下の手順で変更できます。

メニュー > コピー設定 > デフォルト設定の変更

プリントのデフォルト設定は、接続しているパソコンのプリンターフォルダーから変更できます。

*電力を節約しましょう

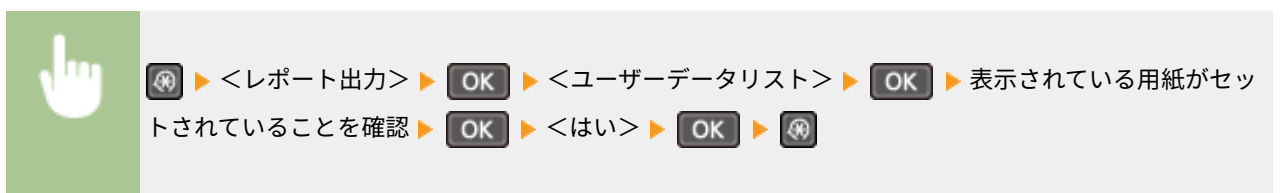
現在の使用状況（1か月あたりの平均消費電力）

現在の消費電力	平均 0.948kW/月
複数ページを1枚の用紙に印刷した場合	平均 0.648kW/月

には

ユーザーデータリスト

本機の設定項目（設定メニュー一覧）とその内容をリストで確認できます。



出力例：

2016 10/10 10:12

設定メニュー

P.0001

***** ユーザーデータリスト *****

Rom Controller Ver.

Boot Rom

Main Controller

Language

DCON

Device Configuration

Memory Capacity

Serial Number

1. ネットワーク設定

有線/無線LAN選択

ダイレクト接続設定

ダイレクト接続を使用

TCP/IP設定

IPv4設定

IPアドレス設定

自動取得

プロトコル選択

Auto IP

IPアドレス

サブネットマスク

ブロードキャストアドレス

有線 LAN

OFF

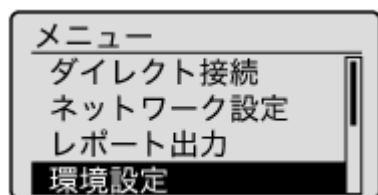
OFF

OFF

192.168.1.100

環境設定

14EH-05H



表示に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき
MF244dw のみ

表示設定

画面コントラスト

設置場所に応じて、表示の明るさを調整します。

5 段階



画面色反転

< ON > に設定すると、画面の明暗が反転して表示されます。<画面コントラスト> で明るさを調整しても表示が見づらくときに < ON > に設定してください。

OFF
ON



mm/インチ入力の切替

長さの単位を選びます。

mm
インチ



 ▶ <環境設定> ▶  ▶ <表示設定> ▶  ▶ <mm/インチ入力の切替> ▶  ▶ <mm>または<インチ>を選択 ▶  ▶ 

用紙設定の確認表示

給紙カセットまたは手差し給紙口に用紙をセットしたときに、用紙設定の確認を促すメッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



 ▶ <環境設定> ▶  ▶ <表示設定> ▶  ▶ <用紙設定の確認表示> ▶  ▶ <ON>または<OFF>を選択 ▶  ▶ 

原稿読み取り部の清掃表示*

<ON>に設定すると、原稿読み取り部にゴミや汚れがあった場合、メッセージを表示します。

OFF
ON



 ▶ <環境設定> ▶  ▶ <表示設定> ▶  ▶ <原稿読み取り部の清掃表示> ▶  ▶ <OFF>または<ON>を選択 ▶  ▶ 

メッセージ表示時間

2種類のメッセージが交互に表示されるとき、何秒ごとに切り替わるかを設定します。

1~2~5 (秒)



 ▶ <環境設定> ▶  ▶ <表示設定> ▶  ▶ <メッセージ表示時間> ▶  ▶ 表示時間を入力 ▶  ▶ 

スクロール文字速度

画面のスクロール速度を 3 種類の中から選びます。

遅い
標準
速い



入力画面のカーソル移動

文字入力時のカーソル移動について設定します。＜自動＞に設定すると、文字入力後に自動で次の入力欄にカーソルが移動します。＜手動＞に設定した場合は、▶ でカーソルを移動させてください。

自動
手動



表示言語の切替

操作パネルの画面やレポートに表示される言語を切り替えるときに設定します。

Chinese (Simplified)
Chinese (Traditional)
English
French
German
Italian
Japanese
Korean
Spanish



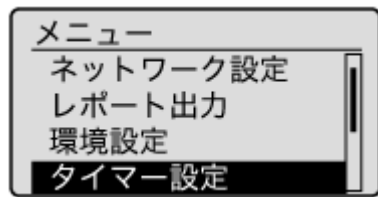
リモート UI 表示言語の切替

リモート UI の表示言語を切り替えるときに設定します。

Chinese (Simplified)
Chinese (Traditional)
English
French
German
Italian
Japanese
Korean
Spanish



タイマー設定



時間に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶ 静音モード移行時間(P. 315)
- ▶ 日付/時刻の設定(P. 315)
- ▶ オートスリープ移行時間(P. 317)
- ▶ オートクリア移行時間(P. 317)
- ▶ オートクリア後の機能(P. 317)
- ▶ 自動オフライン移行時間(P. 318)

静音モード移行時間

本機をより静かに使いたい場合、稼働音を抑えることができます（静音モード）。時刻を設定しておくとも自動的に静音モードに切り替わります。常に静音モードにしておくこともできます。▶ **静音モードにする(P. 64)**

- 入タイマー
OFF
ON
静音モード開始時刻設定
- 切タイマー
OFF
ON
静音モード終了時刻設定

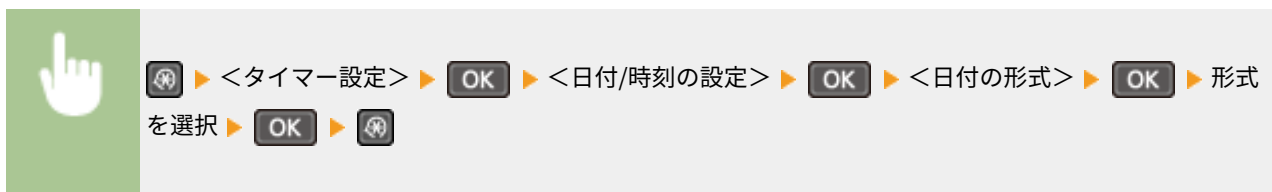
日付/時刻の設定

年月日の表示順や現在時刻の表示形式など、日付と時刻に関する項目を設定します。

日付の形式

年月日の表示順序を設定します。

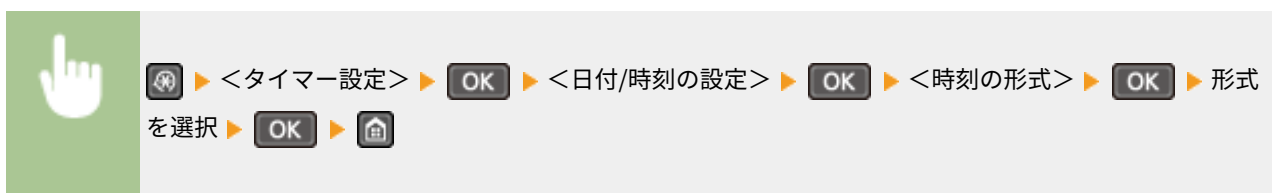
年 月/日
月/日/年
日/月 年



時刻の形式

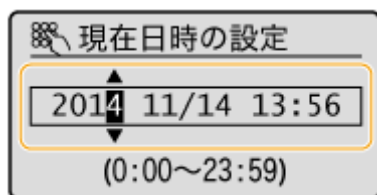
時刻の表示形式を設定します。

12 時間表示(AM/PM)
24 時間表示



現在日時の設定

現在の日時と時刻を設定します。カーソルは ◀ / ▶ で移動し、日時の指定は ▲ / ▼ で行います。



タイムゾーン

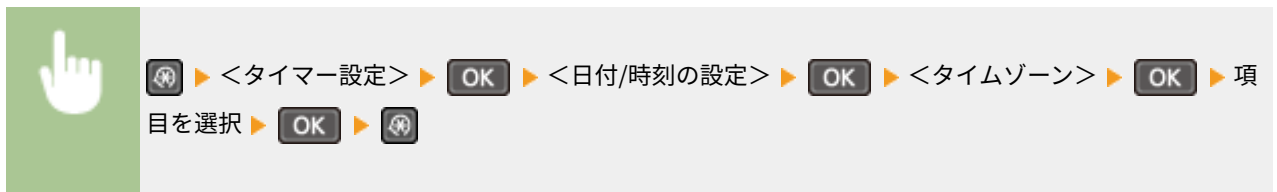
タイムゾーンを設定します。タイムゾーンを変更すると、それに合わせて<現在日時の設定>で設定した値も自動的に変更されます。

(UTC-12:00) 国際日付変更線 西側～(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京～(UTC+14:00) クリスマス島



UTC とは

- UTC とは世界各地の基準となる協定世界時のことで、日本は UTC との間に + 9 時間の時差があります。インターネットを介した通信では、正しく設定することが前提となっています。



オートスリープ移行時間

キー操作もなく、パソコンからの印刷やスキャンなどもない状態が一定時間続くと、自動的に節電状態（オートスリープ）になります。オートスリープになるまでの時間を指定します。なお、メニュー画面が表示されているときは、オートスリープになりません。お買い上げ時の設定でお使いになることをおすすめします。▶**スリープモードにする(P. 66)**

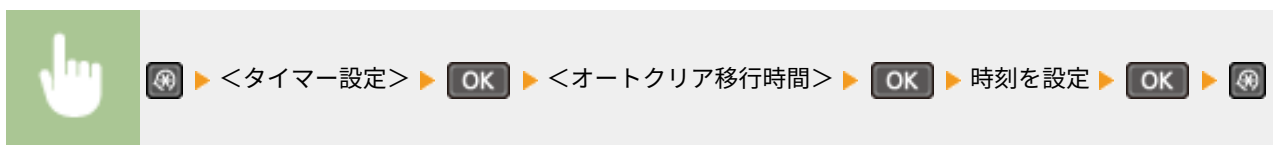
1～30（分）

オートクリア移行時間

一定時間キー操作をしないと、その時点の設定は初期値に戻ります（オートクリア）。オートクリアされるまでの時間を指定します。オートクリアさせたくないときは<0>にします。なお、以下の場合にはオートクリアされません。

- メニュー画面が表示されているとき
- 文書の出力など、何らかの動きが進行中のとき
- 画面にエラーメッセージが表示され、エラーランプが点滅しているとき（ただし、エラーでも続行可能な機能の場合にはオートクリアされます。）

0（オートクリアしない）
1～2～9（分）

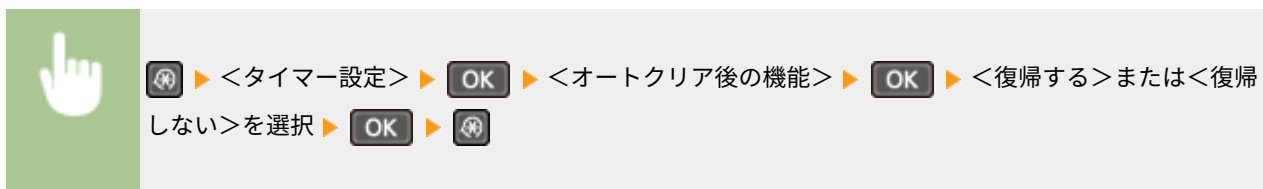


オートクリア後にどの機能の画面を表示させるかは、<オートクリア後の機能>で設定できます。

オートクリア後の機能

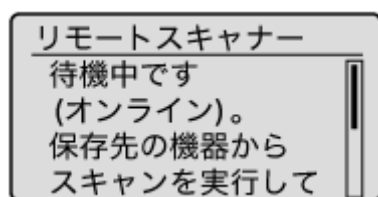
オートクリア直後に表示される画面について設定します。<復帰する>に設定すると、コピーの基本画面が表示されます。<復帰しない>に設定すると、オートクリア直前に使用していた機能の画面が表示されます。

復帰する
復帰しない

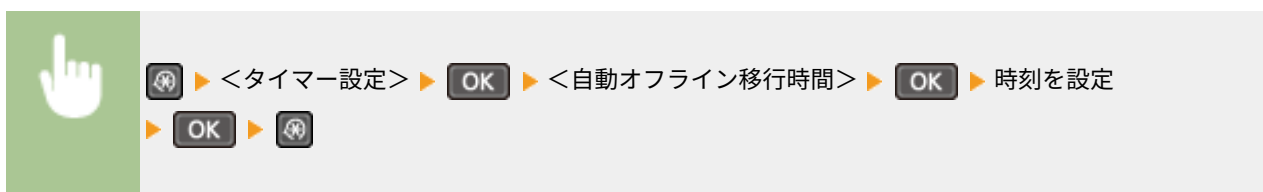


自動オフライン移行時間

以下の画面が表示されているときに（オンラインでスキャン待機中）一定時間キー操作がないと、スキャン待機状態が解除されて自動的にオフラインとなります。オフラインになるまでの時間を設定できます。オフラインにならないように設定することもできます。

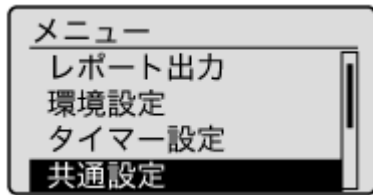


0（オフラインに移行しない）
1～5～60（分）



共通設定 MF244dw / MF242dw

14EH-05K

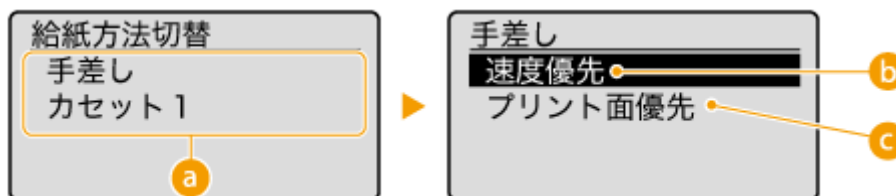


給紙方法に関する設定項目について説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

給紙方法切替

ロゴマーク付きの用紙に印刷するときに設定します。通常、ロゴマーク付きの用紙を印刷するときは、片面印刷と両面印刷でセットする用紙のオモテ／ウラを変更しなければなりません、＜プリント優先＞に設定すれば、いずれの場合もロゴマーク面がウラになるようにセットするだけですみます。詳細については、**▶ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 58)** を参照してください。

- 手差し
速度優先
プリント面優先
- カセット 1
速度優先
プリント面優先



a 給紙部の選択

設定変更の対象となる給紙部を選びます。

b ＜速度優先＞

ロゴマークなどが印刷されている用紙を使うときは、片面印刷と両面印刷でセットする用紙の面を変更する必要があります。



オモテ・ウラ面を考慮する必要のない用紙に印刷する場合は、＜速度優先＞に設定しておくことをおすすめします。

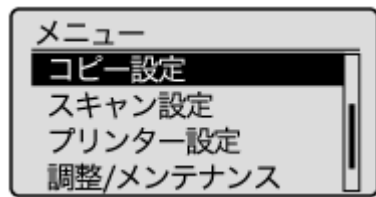
＜プリント面優先＞

片面印刷と両面印刷でセットする用紙の面を変更する必要がありません。



- 両面印刷できないサイズや種類の用紙（ **用紙について(P. 431)**）をセットしている給紙部に対して＜プリント面優先＞を設定しても無効となり、＜速度優先＞の動作となります。この場合、用紙は＜速度優先＞の向きでセットしてください（ **ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 58)**）。
- ＜プリント面優先＞に設定すると、片面印刷の速度が遅くなります。

コピー設定



コピーに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク（*）が付いているとき
MF244dw / MF242dw のみ

- ▶ デフォルト設定の変更 (P. 321)
- ▶ 濃度補正 (P. 322)
- ▶ デフォルト設定の初期化 (P. 322)

デフォルト設定の変更

コピーに関する設定の初期値を変更できます。ここで行った設定がコピー機能の基本設定値となります。▶ **よく使うコピー設定にする（初期値の変更）** (P. 90)

- 部数
1～999
- 濃度
-4～**0**～+4
自動
- 原稿の種類
文字
文字/写真（高速コピー）
文字/写真
写真
- 両面*
OFF
片面→両面
開き方設定
- 倍率
任意の倍率
100% 等倍
400% 最大

200%
141% A5→A4
122% A5→B5
115% B5→A4
86% A4→B5
81% B5→A5
70% A4→A5
50%
25% 最小

• ページ集約

OFF

2 in 1

4 in 1

ID カードコピー

レイアウト設定

• ソート

OFF

ON

• シャープネス

7 段階

濃度補正

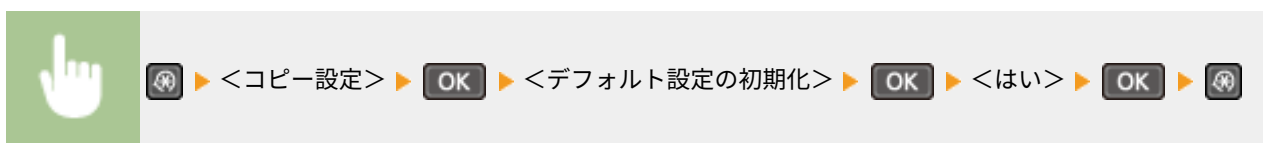
コピー濃度の初期値を設定します。一時的にコピー濃度を変更することもできます。▶**濃度を調整する(P. 78)**

-4~0~+4

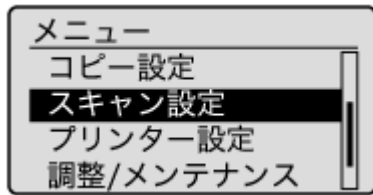


デフォルト設定の初期化

コピーに関する設定の初期値をお買い上げ時の状態に戻します。



スキャン設定



スキャンに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

ショートカットキー設定

スキャン→PC (MF232w のみ、**スキャン→PC1** または **スキャン→PC2**) に、保存先のパソコン、カラーモード (カラー／白黒)、PDF や JPEG などのファイル形式を登録します。登録を済ませると、**スキャン→PC** (**スキャン→PC1** または **スキャン→PC2**) を押すだけで原稿を読み込んで指定したパソコンに保存される、ワンプッシュのスキャンができるようになります。なお、＜宛先確認＞では、登録した内容を確認することができます。▶ **【スキャン→PC】キーを使ってスキャンする(P. 141)**

MF244dw / MF242dw

- 登録
 - スキャン → PC
 - 指定しない**
 - USB 接続
 - カラースキャン
 - 白黒スキャン
 - カスタム 1
 - カスタム 2
 - ネットワーク接続
 - カラースキャン
 - 白黒スキャン
 - カスタム 1
 - カスタム 2
- 宛先確認
 - スキャン → PC

MF232w

- 登録
 - スキャン → PC1
 - 指定しない**
 - USB 接続
 - カラースキャン
 - 白黒スキャン
 - カスタム 1
 - カスタム 2
 - ネットワーク接続
 - カラースキャン

白黒スキャン

カスタム 1

カスタム 2

スキャン → PC2

指定しない

USB 接続

カラースキャン

白黒スキャン

カスタム 1

カスタム 2

ネットワーク接続

カラースキャン

白黒スキャン

カスタム 1

カスタム 2

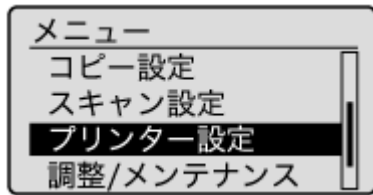
•宛先確認

スキャン → PC1

スキャン → PC2

プリンター設定

14EH-05S



プリンターに関する設定項目について説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶ 用紙サイズ不一致時の動作(P. 325)
- ▶ モバイルプリントの中間調選択(P. 325)
- ▶ 印字調整(P. 326)

用紙サイズ不一致時の動作

給紙カセットにセットされている用紙サイズと異なるサイズを選択したとき、警告メッセージを表示するかどうかを設定します。警告メッセージを表示せずに強制印刷することも可能です（▶ **メッセージが表示されたら(P. 350)**）。

強制出力する
エラーを表示する

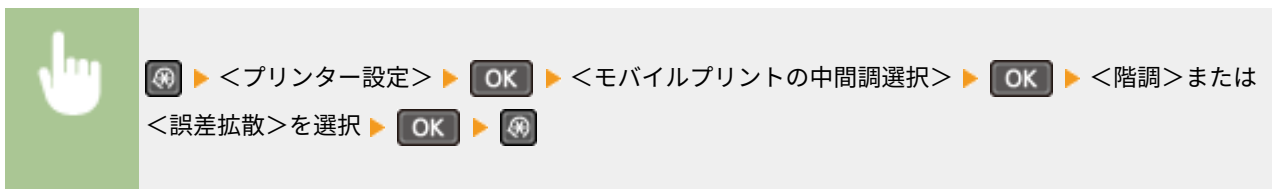


- <エラーを表示する>に設定しても、1～2枚出力されることがあります。

モバイルプリントの中間調選択

モバイル機器から印刷するときの画像処理方法を選択します。<階調>は写真やイラストに適しています。<誤差拡散>は文字や細い線のデータを印刷するのに適しています。

階調
誤差拡散





- <誤差拡散>を使用した場合、定着させたトナー、質感の安定性が下がる場合があります。

印字調整

印刷の品質に関する設定を変更できます。

トナー節約

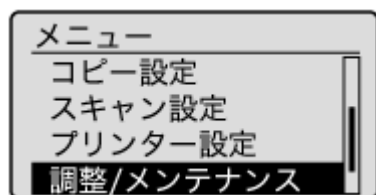
トナーを節約して印刷します。大量に印刷するときなど、レイアウトなどの仕上がりを事前に確認してから印刷したいときに設定します。

しない
する



調整/メンテナンス設定

14EH-05U



調整／メンテナンスに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- カートリッジ準備お知らせの表示タイミング (P. 327)
- トナー節約 (P. 327)
- 特殊処理 (P. 328)
- 定着器のクリーニング (P. 333)

カートリッジ 準備お知らせの表示タイミング

トナーカートリッジ残量が少なくなったときにメッセージを表示するタイミングを設定します。

1～10～99 (%)



▶ <調整/メンテナンス> ▶ ▶ <カートリッジ 準備お知らせの表示タイミング> ▶ ▶ トナー
 カートリッジ残量を入力 ▶ ▶

トナー節約

コピー時に、トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。

コピー
OFF
ON



▶ <調整/メンテナンス> ▶ ▶ <トナー節約> ▶ ▶ <コピー> ▶ ▶ <ON>
 ▶ ▶



<ON>に設定したとき

トナーの消費量は節約できますが、プリント結果が薄くなり、細い線や濃度の薄いプリントが不鮮明になることがあります。

特殊処理

さまざまな種類の用紙に印刷するとき、以下の設定を行うことでお困りの症状を改善できる場合があります。

特殊印字モード U

印刷したときに、文字やパターンの周辺にトナーが飛び散ったような跡が見受けられる場合に設定します。

OFF
ON



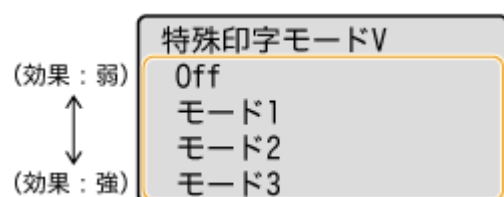
< ON > に設定したとき

紙の種類（特に薄紙）や使用環境（特に高湿度環境）によっては、プリント品質が低下することがあります。

特殊印字モード V

印刷した用紙がカールしたり、しわがよったりする場合に設定します。

OFF
モード 1
モード 2
モード 3





設定を有効にするには

次のいずれかの場合にのみ有効です。

- 用紙サイズが＜ B5 ＞、＜ A5 ＞、＜ STMT ＞、＜ EXEC ＞に設定されている
- 用紙種類が＜ 普通紙 (60～89 g/m²) ＞、＜ 普通紙 L (60～89 g/m²) ＞、＜ 再生紙 (60～89 g/m²) ＞、＜ 色紙 (60～89 g/m²) ＞、＜ 封筒 ＞に設定されている

設定を有効にしたとき

プリント速度が遅くなります。

特殊印字モード X

印刷したときに用紙にすじ状の汚れが付着する場合に設定します。

OFF
 モード 1
 モード 2
 モード 3
 モード 4

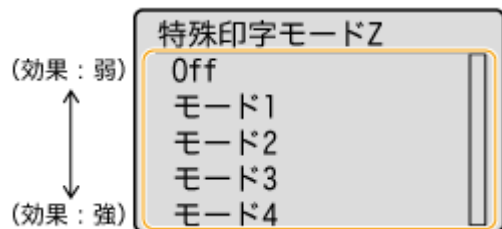


特殊印字モード Z

コピーで出力された用紙にすじ状の汚れが付着する場合に設定します。

OFF
 モード 1
モード 2
 モード 3
 モード 4





設定を変更したとき

＜OFF＞や＜モード1＞に設定すると、すじ状の汚れが付着することがあります。＜モード3＞や＜モード4＞に設定すると、輪郭がはっきりしなくなったり、粗さが多少目立つことがあります。また、＜OFF＞→＜モード4＞の順にプリント濃度が薄くなります。

スマートフォンやタブレットから印刷したとき

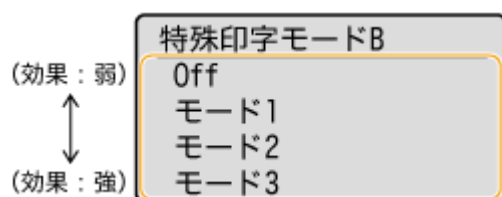
すじ状の汚れが付くときは、＜特殊印字モードZ＞→＜コピー＞で設定を変更してください。

特殊印字モード B

トナーカートリッジを交換したときや、長期間印刷を行わなかったときに、印刷した用紙にすじ状の汚れが付着する場合に設定します。

OFF

モード1
モード2
モード3



設定を有効にしたとき

プリント速度が遅くなります。

特殊印字モード C

印刷したときに用紙にすじ状の汚れが付着する場合に設定します。

OFF
ON



設定を有効にしたとき

- <特殊印字モード Z>に比べて改善効果は強くなりますが、プリント速度が遅くなります。

特殊印字モード D

印刷した用紙にすじ状の汚れが付着する場合に設定します。また、<ON>に設定すると印刷時の動作音を抑えることもできます。

- コピー
OFF
ON
- プリント
OFF
ON



設定を有効にしたとき

- <特殊印字モード Z>に比べて改善効果は強くなりますが、プリント速度が遅くなります。

スマートフォンやタブレットから印刷したとき

すじ状の汚れが付くときは、<特殊印字モード D> ▶ <コピー> で設定を変更してください。

特殊印字モード I

薄い紙やカールした用紙に両面プリントをして、紙づまりがひんぱんに起きるときにのみ設定します。

OFF

ON



< ON >に設定したとき

薄い用紙以外にプリントすると、画像が白く抜けることがあります。

特殊印字モード J

細線や薄い画像を印刷したときに、ムラが出る場合に設定します。

OFF
ON



< ON >に設定したとき

以下の現象が発生する場合があります。

- 精細さが低下する
- 新品のトナーカートリッジ使用時にプリントしない部分にトナーがのる
- トナーカートリッジが消耗する

特殊印字モード K

十分にトナーが定着されずに、プリントがかすれてしまう場合に設定します。

OFF
ON



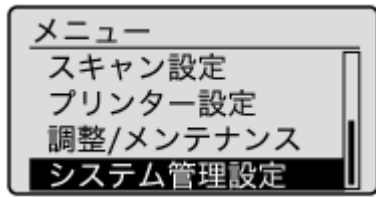
<ON>に設定したとき

プリント速度が遅くなります。

定着器のクリーニング

トナーカートリッジを交換したあとや印刷された用紙に黒いすじが現れる場合などに定着器をクリーニングします。▶**定着器(P. 388)**

システム管理設定



システム管理設定に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



暗証番号の入力画面が表示されたら

テンキーで暗証番号を入力して **OK** を押します。▶ **システム管理暗証番号を設定する(P. 240)**

項目にアスタリスク (*) が付いているとき

MF244dw / MF242dw のみ

- ▶ ネットワーク設定(P. 334)
- ▶ システム管理者情報の設定(P. 334)
- ▶ デバイス情報の設定(P. 335)
- ▶ セキュリティ設定(P. 335)
- ▶ リモート UI 設定(P. 336)
- ▶ リモートスキャン時の自動オフの ON/OFF(P. 337)
- ▶ USB デバイスとして使用(P. 337)
- ▶ 使用状況調査プログラムの ON/OFF(P. 337)
- ▶ リモートUI/ツールへの消耗品情報表示(P. 338)
- ▶ Google クラウド プリントの設定(P. 338)
- ▶ ページ記述言語選択(プラグ&プレイ)(P. 338)
- ▶ ファームウェア更新(P. 339)
- ▶ ECO レポートカウンターの初期化(P. 340)
- ▶ メニューの初期化(P. 340)
- ▶ 全データ/設定の初期化(P. 340)

ネットワーク設定

- ▶ ネットワーク設定(P. 297) を参照してください。

システム管理者情報の設定

＜ネットワーク設定＞や＜システム管理設定＞へアクセスするためには暗証番号の入力が必要となるように設定できます。暗証番号は＜システム管理暗証番号＞で設定します。管理者の名前も登録できます。▶ **システム管理暗証番号を設定する(P. 240)**

システム管理暗証番号

管理者専用のシステム管理暗証番号を 7 桁までの数字で入力します。

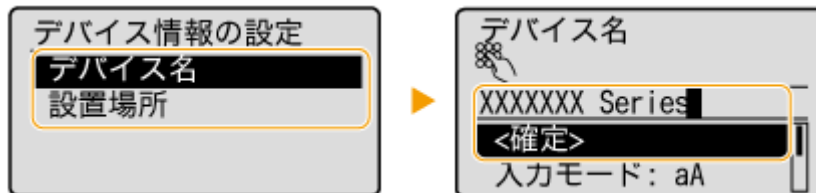
システム管理者名

管理者の名前を最大 32 文字で入力します。

デバイス情報の設定

本機を識別するための名前や設置場所をそれぞれ最大 32 文字で入力します。たとえば、デバイス名には「ケイブ 1ゴウ」、設置場所には「1トウ2カニガワ」というように入力します。

デバイス名
設置場所



セキュリティ設定

IP アドレスまたは MAC アドレスによるパケットフィルタリングを使用するかどうかを設定します。

TLS を使用

TLS による暗号化通信を使用するかしないかを設定します。 TLS でリモート UI 通信を暗号化する(P. 260)

OFF
ON

IPv4 アドレスフィルター

指定した IPv4 アドレスを持つ通信機器とのネットワークを介した受信を許可または拒否します。 IP アドレスでファイアーウォールを設定する(P. 245)

OFF
ON



IPv6 アドレスフィルター

指定した IPv6 アドレスを持つ通信機器とのネットワークを介した受信を許可または拒否します。▶**IP アドレスでファイアーウォールを設定する(P. 245)**

OFF
ON



MAC アドレスフィルター

指定した MAC アドレスを持つ通信機器とのネットワークを介した受信を許可または拒否します。▶**MAC アドレスでファイアーウォールを設定する(P. 249)**

OFF
ON



リモート UI 設定

リモート UI を使うための設定をします。リモート UI を使うとウェブブラウザから本機の設定ができます。

リモート UI を使用

リモート UI を使うかどうかを設定します。リモート UI を使うとウェブブラウザから本機の設定ができます。▶**リモート UI を無効にする(P. 258)**

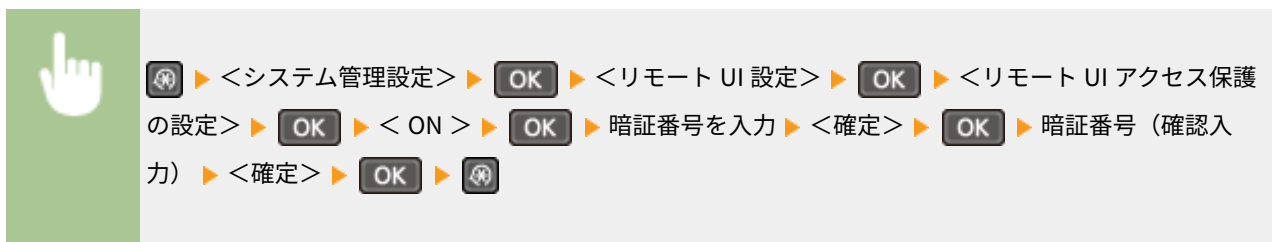
OFF
ON

リモート UI アクセス保護の設定

リモート UI にアクセスするために暗証番号の入力が必要かどうかを設定できます。暗証番号を 7 桁以内の数字で設定します。すべてのユーザーが共通の暗証番号を使用します。▶**リモート UI の暗証番号を設定する(P. 242)**

• OFF

• ON
リモートUIアクセス暗証番号



リモートスキャン時の自動オンラインの ON/OFF

リモートスキャンを行う際に、操作パネルから操作しなくてもオンライン状態にする機能を使用するかしないかを設定します。

OFF
ON



USB デバイスとして使用

パソコンと本機を接続する USB ポートを使用するかどうかを設定します。

OFF
ON



使用状況調査プログラムの ON/OFF

使用状況調査プログラムを使用するかどうかを設定します。

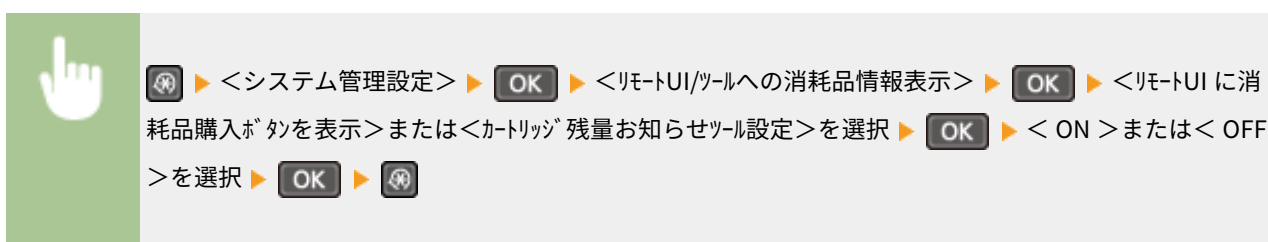
OFF
ON



リモートUI/ツールへの消耗品情報表示

リモート UI やカートリッジ残量お知らせツールに、トナーカートリッジ購入サイトへアクセスするためのボタンを表示するかどうかを設定します。また、カートリッジ残量お知らせツールを使うかどうかを設定します。

- リモートUI に消耗品購入ボタンを表示
OFF
ON
- カートリッジ 残量お知らせツール設定
OFF
ON
購入ボタンを表示
OFF
ON



Google クラウド プリントの設定

クラウドプリントを使用するかどうかを設定します。▶Google Cloud Print を使う(P. 167)

- Google クラウド プリントの ON/OFF
OFF
ON
- Google クラウド プリントの登録状況

ページ記述言語選択(プラグ&プレイ)

プラグ&プレイで本機にパソコンを接続したときに、本機がどのページ記述言語を使用する機器として検出されるかを設定します。

ネットワーク

ネットワーク上で本機を探索したときに本機がどのページ記述言語を使用する機器として検出されるかを選択します。

CARPS2
CARPS2 (V4)

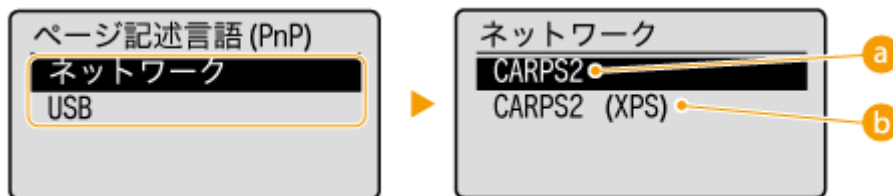
USB

本機とパソコンを USB で接続したときに、本機がどのページ記述言語を使用する機器として検出されるかを選択します。

CARPS2
CARPS2 (V4)



変更した内容は次回主電源 ON 時より有効になります。



a < CARPS2 >

本機を CARPS2 プリンターとして検出／接続します。

b < CARPS2 (V4)>

本機を XPS 対応の CARPS2 プリンターとして検出／接続します。

ファームウェア更新

ファームウェアを更新する際に、お使いの環境に合わせて選んでください。

● < PC 経由 >

お客様自身でキヤノンホームページから最新のファームウェアをインストールします。更新方法はファームウェアといっしょに掲載されているマニュアルを参照してください。本機を無線 LAN 環境で使用しているときは、下記の<インターネット経由>で行うか、USB ケーブルを接続して行ってください。

● < インターネット経由 >

パソコンを介さずに、本機が自動で最新のファームウェアをインストールします。更新方法は画面の指示に従ってください。本機がインターネットに接続されている必要があります。

● <バージョン情報>

現在のファームウェアの詳細を確認できます。

PC 経由
インターネット経由
バージョン情報

ECO レポートカウンターの初期化

ECO レポートカウンターの設定を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。▶**ECO レポートカウンターを初期化する(P. 405)**

メニューの初期化

メニューの設定値を設定項目ごとに選んでお買い上げ時の状態に戻します。すべての設定を一括で初期化することもできます。▶**メニューを初期化する(P. 403)**

環境設定
タイマー設定
共通設定*
コピー設定
スキャン設定
プリンター設定
調整/メンテナンス
システム管理設定
上記すべて

システム管理設定

システム管理設定を設定項目ごとに選んでお買い上げ時の状態に戻します。すべての設定を一括で初期化することもできます。▶**メニューを初期化する(P. 403)**

ネットワーク設定	使用状況調査プログラムの ON/OFF
システム管理者情報の設定	リモートUI/ツールへの消耗品情報表示
デバイス情報の設定	Google クラウド プリントの設定
セキュリティ/リモート UI 設定	ページ記述言語選択(プラグ&プレイ)
リモートスキャン時の自動ログインの ON/OFF	上記すべて
USB デバイスとして使用	

全データ/設定の初期化

本機データをすべて削除して、お買い上げ時の状態に戻します。



困ったときは

困ったときは	342
紙がつまったら	344
メッセージが表示されたら	350
よくあるトラブル	359
設置／設定のトラブル	360
コピー／印刷（プリント）のトラブル	364
正しく印刷できない	367
きれいに印刷できない	369
用紙がしわになったり、カールしたりする	375
用紙が正しく送られない	377
トラブルが解決しないときは	379

困ったときは

14EH-05X

トラブルが発生した場合は、お問い合わせいただく前に、まず本章で対処方法を確認してください。

■紙づまりが起きた

原稿や用紙がつまったときは **▶紙がつまったら(P. 344)** をご覧ください。



■メッセージが表示された

ディスプレイにメッセージが表示された場合は、こちらをご覧ください。



▶メッセージが表示されたら(P. 350)

■よくあるトラブル

本機の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、修理を依頼する前にこちらを確認してください。



▶よくあるトラブル(P. 359)

▶設置／設定のトラブル(P. 360)

▶コピー／印刷（プリント）のトラブル(P. 364)

■印刷結果がよくない

きれいに印刷できないときは **▶正しく印刷できない(P. 367)** をご覧ください。



■トラブルが解決しないときは

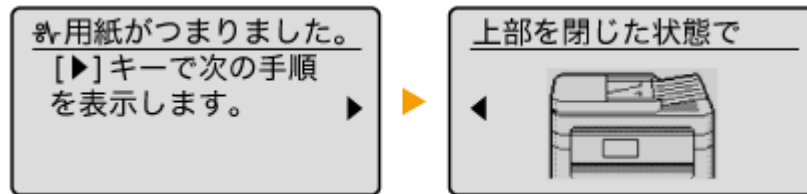
トラブルが解決しないときのお問い合わせ先についてご紹介しています。 **▶トラブルが解決しないときは(P. 379)**



紙が詰まったら

14EH-05Y

紙が詰まると、画面に＜用紙が詰まりました＞と表示され、▶を押すと簡易的な対処方法が表示されます。画面を見ても対処方法がわからないときは、以下の参照先を確認し、詰まった紙を取り除いてください。



MF244dw

- ＜フィーダーカバー＞を開けます。＞
 - ▶ **フィーダーに原稿が詰まった (MF244dw) (P. 345)**
- ＜上部を閉じた状態で＞ ▶ ＜操作パネル部を上げます。＞
 - ▶ **本体の内部に用紙が詰まった(P. 345)**

MF242dw / MF232w

- ＜上部を閉じた状態で＞ ▶ ＜操作パネル部を上げます。＞
 - ▶ **本体の内部に用紙が詰まった(P. 345)**



作業するときは電源を切らない

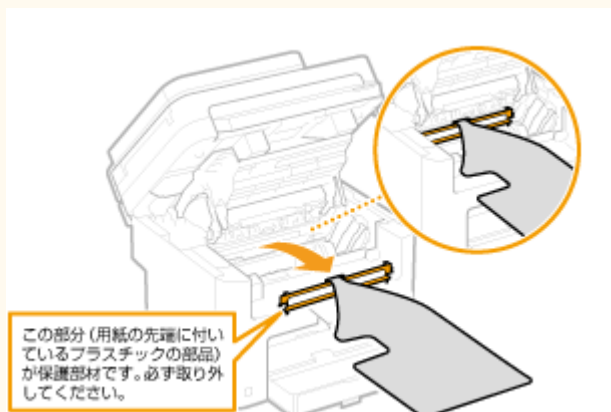
電源を切ると、印刷中のデータが消去されます。

用紙が破れたとき

紙片が残らないように、すべて取り除いてください。

紙づまりが繰り返し起こるとき

- 用紙付き保護部材が完全に取り外されていることを確認してください。



- 用紙を平らな場所でそろえてから本機にセットしてください。
- お使いの用紙が本機に適しているか確認してください。

▶ **用紙について(P. 431)**

- つまった用紙の紙片が本体内部に残っていないか、確認してください。

つまった原稿や用紙を本体から無理に取り除かない

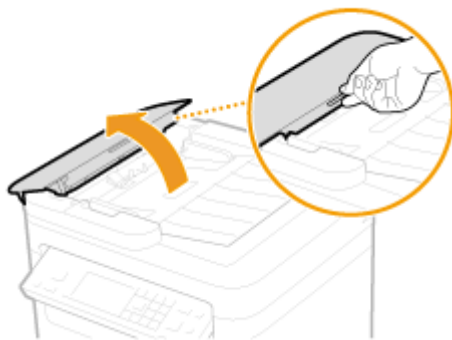
無理に取り除こうとすると、部品などを損傷する恐れがあります。どうしても取り除けない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にご連絡ください。

▶トラブルが解決しないときは(P. 379)

フィーダーに原稿がつまった (MF244dw)

原稿がフィーダーにセットされているときは、作業の前にまず原稿を取り除いてください。そのあと、以下の手順で確認します。

1 フィーダーカバーを開ける



2 原稿をゆっくり引き抜く

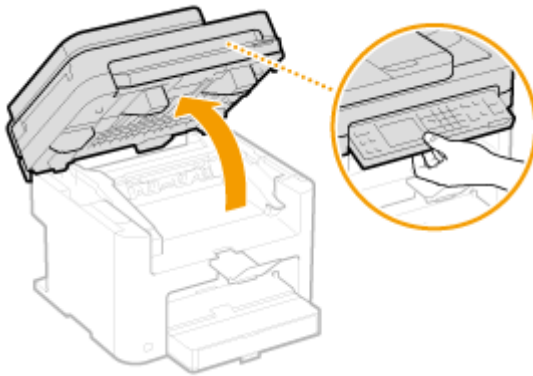


3 フィーダーカバーを閉める

本体の内部に用紙がつまった

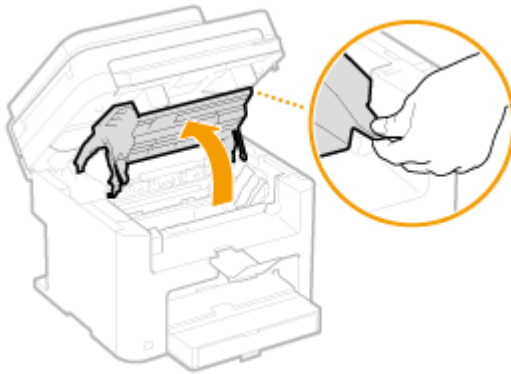
1 トナーカートリッジを取り出す

- 1 操作パネル部を持ち上げる



フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まっていないと操作パネル部を持ち上げることはできません。
無理に持ち上げると故障の原因になります。

- 2** トナーカバーの右手前にあるつまみを持ち、トナーカバーを開ける



- 3** トナーカートリッジを取り出す

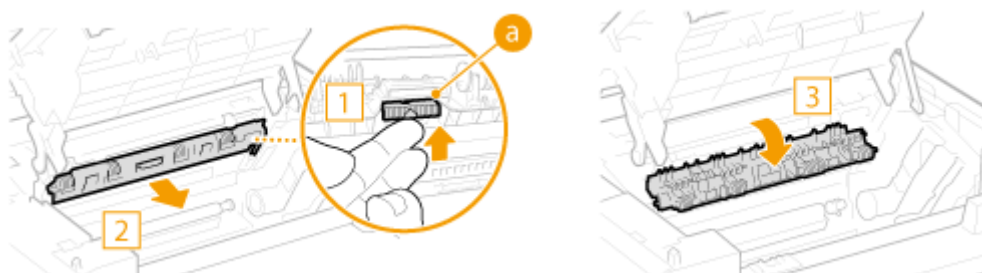


- 2** 用紙をゆっくり引き抜く



3 排紙ガイド内部に用紙がつまっているか確認する

- 1 ボタン (a) を押しながら、排紙ガイドを手前に引き出す



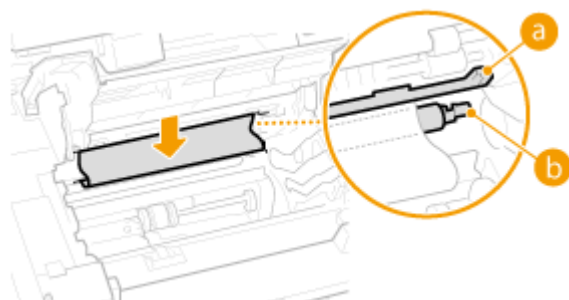
- 2 用紙をゆっくり引き抜く



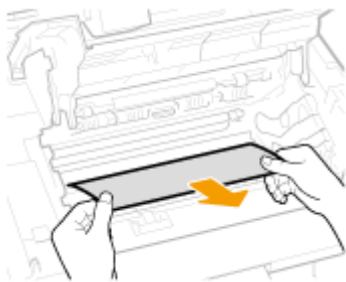
- 3 排紙ガイドを閉める

4 本体内部に用紙がつまっているか確認する

- 1 定着器 (a) とローラー (b) の間につまった用紙を、先端が見えるまで静かに引き出す

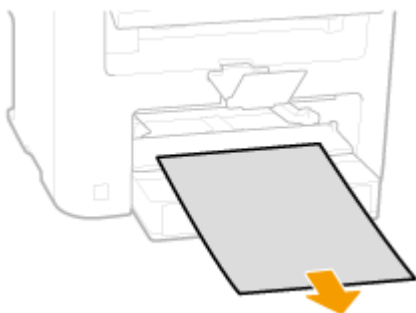


- 2 用紙の先端が出たら、ゆっくり引き抜く

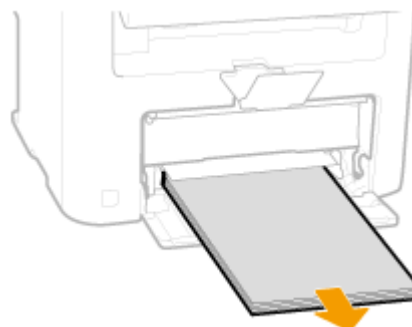
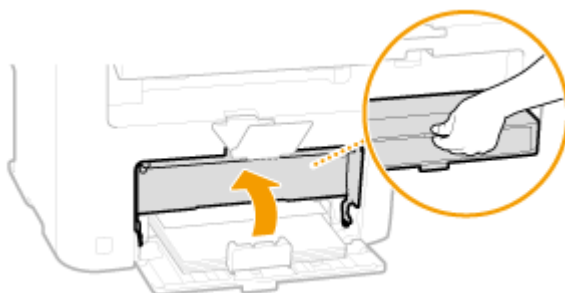


5 手差し給紙口、給紙カセットに用紙がつまっているか確認する

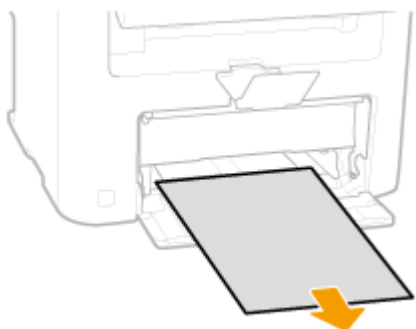
- 1 手差し給紙口用の紙をゆっくり引き抜く



- 2 用紙カバーを開け、セットされていた用紙を取り除く



- 3 用紙をゆっくり引き抜く

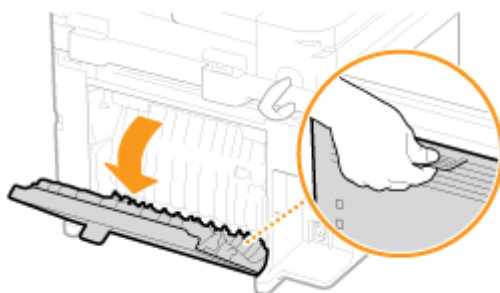


- 4 用紙をセットして、用紙カバーを閉める

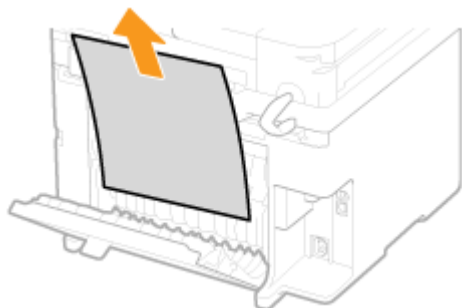
- MF232w をお使いの場合は、手順 7 に進みます。

6 後ろカバー内部に用紙がつまっているか確認する

1 後ろカバーを開ける



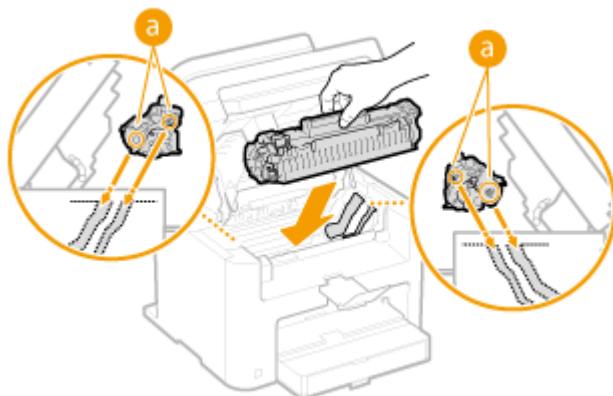
2 用紙をゆっくり引き抜く



3 後ろカバーを閉める

7 トナーカートリッジを取り付ける

- 左右の（a）をトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。



8 トナーカバーを閉め、操作パネル部をおろす



トナーカバーが閉まらないとき

トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。無理に閉めると、故障の原因になることがあります。

メッセージが表示されたら

14EH-060

ネットワークに接続できないときや、メモリー容量がいっぱいになったときなど、操作に支障が生じた場合は画面にメッセージが表示されます。メッセージの詳細については以下をご覧ください。

- ▶英数字(P. 350)
- ▶あ〜お(P. 352)
- ▶か〜こ(P. 352)
- ▶さ〜そ(P. 354)
- ▶た〜と(P. 354)
- ▶な〜の(P. 355)
- ▶は〜ほ(P. 356)
- ▶ま〜も(P. 356)
- ▶や〜よ(P. 357)
- ▶ら〜ろ(P. 358)

英数字

AOSS 接続できませんでした。

何らかのエラーが発生し、AOSS での接続が失敗した。

- しばらく待ってから、再度設定を行ってください。それでも接続できない場合は、無線 LAN ルーターが AOSS に対応しているか確認してください。また、他の接続方式（WPS／らくらく無線スタート）に対応している可能性もあります。

AOSS に対応している場合

ネットワークに接続できる状態か、確認してください。

- ▶設置／設定のトラブル(P. 360)

AOSS に対応していない場合

他の接続方式で設定してください。

- ▶無線 LAN に接続する(P. 178)

Google クラウド プリント使用不可。サーバー通信エラー発生

何らかのエラーが発生し、クラウドプリントができない。

- 無線 LAN または有線 LAN に正しく接続されているか確認してください。
- ▶無線 LAN に接続する(P. 178)
- ▶有線 LAN に接続する(P. 177)
- クラウドプリントで使用しているポートがファイアウォールなどでブロックされている可能性があります。お使いのパソコンで 5222 ポートが使用可能な状態か確認してください。
- ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、プロキシサーバーと本機のプロキシ設定が正しいか確認してください。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ▶プロキシを設定する(P. 254)

Google クラウド プリント使用不可。サーバー認証失敗。

クラウドプリントのサーバー認証ができなかった。または登録情報の取得に失敗した。

- 本機の日付／時刻の設定が正しいか確認してください。
- ▶ **日付/時刻の設定(P. 315)**

PC との接続が切断されました。接続を確認してください。

スキャン中にパソコンとの接続が切断された。

- 本機とパソコンの接続を確認してください。
- ▶ **スキャナーとして使うための準備をする(P. 137)**

WEP キーが正しく設定されていません。WEP 設定を確認して下さい

接続したい無線 LAN ルーターのネットワークキー（WEP キー）が正しく設定されていない。

- 無線 LAN ルーターのネットワークキー（WEP キー）を確認し、設定しなおしてください。
- ▶ **SSID やネットワークキーを確認する(P. 193)**
- ▶ **無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 186)**
- ▶ **すべて入力して設定する(P. 189)**

本機の認証方式が＜共有キー＞で設定されているのに、無線 LAN ルーター側は「オープン（Open System）」で設定されている。

- アクセスポイント選択方式で接続するか、手動入力方式で WEP の認証方式を＜オープンシステム＞に変更して接続しなおしてください。
- ▶ **無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 186)**
- ▶ **すべて入力して設定する(P. 189)**
- 無線 LAN ルーターで WEP の認証方式を「共有（Shared Key）」に変更したあと、接続しなおしてください。変更方法については、お使いの機器の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

WPS 接続できませんでした。

WPS で自動設定を試みましたが、何らかのエラーが発生して接続に失敗した。

- しばらく待ってから、再度設定を行ってください。それでも接続できない場合は、無線 LAN ルーターが WPS に対応しているか確認してください。また、他の接続方式（AOSS／らくらく無線スタート）に対応している可能性もあります。

WPS に対応している場合

ネットワークに接続できる状態か、確認してください。

- ▶ **設置／設定のトラブル(P. 360)**

WPS に対応していない場合

他の接続方式で設定してください。

- ▶ **無線 LAN に接続する(P. 178)**

あ〜お

アクセスポイントが見つかりません。

WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定を試みましたが、所定の時間内に無線 LAN ルーターを検出できなかった。

- 制限時間に注意して接続しなおしてください。
- ▶ WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）(P. 180)
- ▶ WPS PIN コード方式で設定する(P. 183)

接続方式の選択を間違えた。

- 正しい方式を選択して接続しなおしてください。
- ▶ WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（プッシュボタン方式）(P. 180)

無線 LAN ルーターの SSID の入力内容に間違いがある。

- SSID を正しく入力しなおしてください。
- ▶ SSID やネットワークキーを確認する(P. 193)
- ▶ すべて入力して設定する(P. 189)

ネットワーク側の設定に問題があり、無線 LAN ルーターを検出できなかった。

- ネットワークに接続できる状態か、確認してください。
- ▶ 設置/設定のトラブル(P. 360)
- 解決しない場合は、無線 LAN ルーターのセキュリティ設定を確認してください。

アクセスポイントの接続数が最大に達したため接続できませんでした。

すでに最大接続数に達した無線 LAN ルーターに接続しようとした。

- 無線 LAN ルーターに接続している機器（クライアント）の数を減らしてください。最大接続数については、お使いの無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

アクセスポイントモードで接続できませんでした。

何らかのエラーが発生し、アクセスポイントモードでの接続が失敗した。

- しばらく待ってから、再度設定を行ってください。それでも接続できない場合は、いったん電源を切って再起動してください。
- ▶ ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）(P. 152)

か〜こ

カートリッジが寿命になりました。交換を推奨。

トナーカートリッジが寿命に達した。

- トナーカートリッジの交換をおすすめします。
- ▶ トナーカートリッジを交換する(P. 396)

カートリッジの準備をおすすめします。

トナーカートリッジの交換時期が近づいた。

- トナーを均一にならしてください。大量にプリントするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします。
- トナーカートリッジを交換する前に(P. 393)
- トナーカートリッジを交換する(P. 396)

カートリッジ残量を正しく表示できません。

トナーカートリッジが正しくセットされていないか、トナーカートリッジが故障している可能性がある。

- トナーカートリッジをセットしなおしてください。何度かセットしなおしても、メッセージが引き続き表示されている場合は、トナーカートリッジが故障している可能性があります。お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。
- トナーカートリッジを交換する(P. 396)

キヤノン純正トナーカートリッジを使用していない可能性がある。

- 交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジの使用をおすすめします。
- 消耗品(P. 436)

カートリッジ通信エラー 他社カートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があります。

トナーカートリッジが正しくセットされていないか、トナーカートリッジが故障している可能性がある。

- トナーカートリッジをセットしなおしてください。何度かセットしなおしても、メッセージが引き続き表示されている場合は、トナーカートリッジが故障している可能性があります。お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。
- トナーカートリッジを交換する(P. 396)

キヤノン純正トナーカートリッジを使用していない可能性がある。

- 交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジの使用をおすすめします。
- 消耗品(P. 436)

共有キー認証ができませんでした。WEP 設定を確認してください。

接続したい無線 LAN ルーターのネットワークキー（WEP キー）が正しく設定されていない。

- 無線 LAN ルーターのネットワークキー（WEP キー）を確認し、設定しなおしてください。
- SSID やネットワークキーを確認する(P. 193)
- すべて入力して設定する(P. 189)
- アクセスポイント選択方式で接続するか、手動入力方式で WEP の認証方式を＜オープンシステム＞に変更して接続しなおしてください。
- 無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 186)
- すべて入力して設定する(P. 189)

本機の認証方式は＜共有キー＞に設定されているが、無線 LAN ルーターの認証方式が「オープン（Open System）」に設定されている。

- 無線 LAN ルーターで WEP の認証方式を「共有（Shared Key）」に変更したあと、接続しなおしてください。変更方法については、お使いの機器の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

クリーニングできませんでした。

クリーニング中に紙づまりが起きた。

- つまった用紙を取り除いて用紙を正しくセットし、もう一度クリーニングを実行してください。
- 🔴 本体の内部に用紙がつまった(P. 345)
- 🔴 定着器(P. 388)

さ〜そ

接続できませんでした PSK 設定を確認してください。

接続したい無線 LAN ルーターのネットワークキー (PSK) が正しく設定されていない。

- 無線 LAN ルーターのネットワークキー (PSK) を確認し、設定しなおしてください。
- 🔴 SSID やネットワークキーを確認する(P. 193)
- 🔴 無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 186)
- 🔴 すべて入力して設定する(P. 189)
- ネットワークキーを確認しても解決しない場合は、ネットワークに接続できる状態か、確認してください。
- 🔴 設置／設定のトラブル(P. 360)

た〜と

ダイレクト接続が切断されました。

モバイル機器との接続が切断された。

- ダイレクト接続しなおしてください。
- 🔴 ダイレクト接続 (アクセスポイントモード) で使う(P. 152)

ダイレクト接続中の無線機器の数が最大に達しています。別の無線機器を接続する場合は、現在接続中の機器を切断してください。

ダイレクト接続中のモバイル機器の数が最大に達した。

- 別のモバイル機器をダイレクト接続するには、現在接続中のモバイル機器を切断してから接続しなおしてください。
- 🔴 ダイレクト接続 (アクセスポイントモード) で使う(P. 152)

他社カートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があります。

キヤノン純正トナーカートリッジを使用していない可能性がある。

- 交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジの使用をおすすめします。
- 🔴 消耗品(P. 436)

正しい認証情報を設定してください。

クライアント認証情報（鍵ペアと証明書、ユーザー名とパスワード、および CA 証明書）が正しく設定されていない。

- 設定した認証方式および認証情報（鍵ペアと証明書、ユーザー名とパスワード、および CA 証明書）を確認してください。
- ▶ IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 263)
- ▶ 鍵ペアと CA 証明書を検証する(P. 279)

通信先から応答がありませんでした。

ネットワークケーブルが抜けているか、スイッチで問題が発生している可能性がある。

- ネットワークケーブルおよびスイッチの状況を確認してください。

トナーカートリッジ をセットしてください。

トナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない。

- トナーカートリッジを正しくセットしてください。
- ▶ トナーカートリッジを交換する(P. 396)

な～の

入力文字数が間違っているか不正な文字が入力されています。

無線 LAN ルーターのネットワークキー（WPA/WPA2-PSK または WEP キー）が正しく入力されていない。

- 無線 LAN ルーターのネットワークキー（WPA/WPA2-PSK または WEP キー）を確認し、設定しなおしてください。ネットワークキーの確認方法については、お使いの機器の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- ▶ SSID やネットワークキーを確認する(P. 193)
- ▶ 無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 186)
- ▶ すべて入力して設定する(P. 189)

認証に必要な情報をリモート UI から設定してください。

[IEEE 802.1X 設定] の設定内容に不備がある。

- [ログイン名] が正しく設定されているか確認してください。
- [TLS を使用する]、[TTLS を使用する]、[PEAP を使用する] の中の少なくとも 1 つにチェックマークが付いているか確認してください。
- TLS を使用する場合、鍵ペアが登録されているか確認してください。
- TTLS または PEAP を使用する場合、ユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。
- ▶ IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 263)

認証方式の設定を確認してください。

本機で設定した認証方式と RADIUS サーバーで設定した認証方式が一致していない。

- 本機と RADIUS サーバーで設定されている認証方式が一致しているかを確認して、正しい認証方式を設定してください。

▶ IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 263)

は～ほ

ホストから応答がありませんでした。

本機がネットワークに正しく接続されていない。

- 本機とネットワークの設定を再度確認し、接続しなおしてください。

▶ ネットワークに接続する(P. 174)

本体の充電が切れたため、時刻が更新されませんでした。時刻の設定が正しくないと Google クラウドプリントが使用できません。

本体の充電が切れたため、正しい時刻設定を維持できなかった。

- 時刻を正しく設定しなおしてください。

▶ 現在日時の設定(P. 316)

ま～も

無線 LAN 通信できませんでした。

無線 LAN 接続の設定中に何らかのエラーが発生した。

- いったん電源を切って再起動し、設定しなおしてください。
- 再起動しても解決しない場合は、ネットワークに接続できる状態か、確認してください。

▶ 設置／設定のトラブル(P. 360)

- 無線 LAN の接続を確認しても解決しない場合は、無線 LAN ルーターのセキュリティ設定を確認してください。

無線機器からの接続を検知できませんでした

所定の時間内にモバイル機器を検出できなかった。

- 制限時間に注意して接続しなおしてください。

▶ ダイレクト接続（アクセスポイントモード）で使う(P. 152)

メモリーがいっぱいのため読み込みを中止しますプリントしますか？

メモリー容量が不足して原稿を読み込めなかった。

- 読み込まれたページまで印刷するか、読み込みを中止するかを選択してください。中止した場合は、原稿を分割して読み込みなおすか、読み込み設定を変更してください。

や～よ

用紙がつまりました。

紙がつまった。

- つまった用紙や原稿を取り除いて、もう一度印刷してください（印刷は、自動で再開される場合もあります）。

▶紙がつまったら(P. 344)

用紙と設定サイズ が不一致

操作パネルでの用紙サイズ設定と、実際にセットしている用紙サイズが合っていない。

- <用紙設定>に設定されている用紙サイズと、実際にセットされている用紙サイズを合わせてください。

すでにセットされている用紙を使う場合

<用紙設定>の設定内容を、セットされている用紙のサイズに合わせて変更してください。

▶用紙サイズと種類を設定する(P. 60)



パソコンから印刷するときは、プリンタードライバーの用紙サイズが実際の用紙のサイズと合っているかどうか確認してください。

設定を変えずに用紙をセットしなおす場合

<用紙設定>で設定されているサイズの用紙をセットしてください。

▶用紙をセットする(P. 44)

用紙なし：XXXXX*

*XXXXX には<カセット 1>または<手差し>が表示されます。

給紙カセットまたは手差し給紙口に用紙がセットされていない。

- 用紙をセットしてください。

▶用紙をセットする(P. 44)

レポートやリストをプリントできる用紙がセットされていない。

- レポートやリストは、A4 またはレターサイズの用紙にプリントできます。A4 またはレターサイズの用紙をセットし、用紙サイズを設定してください。

▶用紙をセットする(P. 44)

▶用紙サイズと種類を設定する(P. 60)

ら〜ろ

らくらく無線スタートでの接続ができませんでした。

何らかのエラーが発生し、らくらく無線スタートでの接続が失敗した。

- しばらく待ってから、再度設定を行ってください。それでも接続できない場合は、無線 LAN ルーターがらくらく無線スタートに対応しているか確認してください。また、他の接続方式（WPS/AOSS）に対応している可能性があります。

らくらく無線スタートに対応している場合

ネットワークに接続できる状態か、確認してください。

🔴 **設置／設定のトラブル(P. 360)**

らくらく無線スタートに対応していない場合

他の接続方式で設定してください。

🔴 **無線 LAN に接続する(P. 178)**

よくあるトラブル

14EH-061

本機をご使用中にトラブルが発生した場合、お問い合わせの前にこの項目をチェックしてください。それでもなお、トラブルが解消されない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

次の項目をチェックしてください

→ 電源は入っていますか？／電源コードは接続されていますか？

- 電源が入っていても本機に反応がない場合、一度電源を切り、電源コードが正しく接続されているか確認して、再度電源を入れてください。電源コードの接続については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。
- ▶ **本機に付属するマニュアル(P. 437)**

→ LAN ケーブル、USB ケーブルは正しく接続されていますか？

- 正しく接続されているか確認してください。
- ▶ **各部の名称とはたらき(P. 16)**

→ スリープモードになっていませんか？

- 一定時間何も操作をしないと、省エネのために自動的に節電状態（スリープモード）になり、操作ができなくなります。スリープモードを解除するには  を押してください。

→ ディスプレーにメッセージが表示されていませんか？

- トラブルが発生するとメッセージが表示されます。
- ▶ **メッセージが表示されたら(P. 350)**

チェックしても解決しないときは

トラブルの状況に合った項目を選んでください。

- ▶ **設置／設定のトラブル(P. 360)**
- ▶ **コピー／印刷（プリント）のトラブル(P. 364)**

設置／設定のトラブル

14EH-062

あわせて ▶よくあるトラブル(P. 359) をご覧ください。

- ▶無線 LAN／有線 LAN 接続のトラブル(P. 360)
- ▶USB 接続のトラブル(P. 363)
- ▶プリントサーバー経由のトラブル(P. 363)

無線 LAN／有線 LAN 接続のトラブル

無線 LAN と有線 LAN を同時に接続できない。

- 無線 LAN と有線 LAN を同時に接続することはできません。USB と無線 LAN、USB と有線 LAN はそれぞれ同時にお使いいただけます。

リモート UI が表示されない。

- < HTTP を使用 > や < リモート UI を使用 > の設定が < ON > になっていますか？
 - ▶HTTP 通信を無効にする(P. 257)
 - ▶リモート UI を無効にする(P. 258)
- 無線 LAN で接続している場合、Wi-Fi ランプが点灯していて、IP アドレスが正しく設定されているかを確認してからリモート UI を起動しなおしてください。
 - ▶操作パネル(P. 24)
 - ▶ネットワークの設定を確認する(P. 203)
- 有線 LAN で接続している場合、ケーブルが正しく接続され、IP アドレスが正しく設定されているかを確認してからリモート UI を起動しなおしてください。
 - ▶有線 LAN に接続する(P. 177)
 - ▶ネットワークの設定を確認する(P. 203)
- プロキシサーバーをお使いではありませんか？その場合は、ウェブブラウザのプロキシサーバーの設定で、[例外]（プロキシを使用しないアドレス）に本機の IP アドレスを追加してください。
- ファイアーウォールでパソコンの通信が制限されていませんか？間違えて設定してしまったためにリモート UI が表示されなくなったときは、操作パネルから < IPv4 アドレスフィルター >、< IPv6 アドレスフィルター >、または < MAC アドレスフィルター > を < OFF > にしてください。
 - ▶ファイアーウォールで通信制限する(P. 244)
 - ▶IPv4 アドレスフィルター(P. 335)
 - ▶IPv6 アドレスフィルター(P. 336)
 - ▶MAC アドレスフィルター(P. 336)

ネットワークにつながらない。

- IP アドレスの設定に失敗している可能性があります。再度 IP アドレスを設定しなおしてください。
 - ▶IP アドレスを設定する(P. 196)
- 無線 LAN で接続する場合は、本機がネットワークに接続できる状態か、確認してください。
 - ▶無線 LAN に接続できないときは(P. 361)

設定された IP アドレスがわからない。🔴 ネットワークの設定を確認する(P. 203)

有線 LAN から無線 LAN へ、無線 LAN から有線 LAN への変更ができない。

- 有線 LAN、無線 LAN を変更するときに本機の操作パネルからも切り替え操作を行いましたか？これを行わないと本機は接続方法を変更できません。

🔴 有線 LAN か無線 LAN かを選択する(P. 176)

接続したい無線 LAN ルーターの SSID やネットワークキーがわからない、または SSID が画面に表示されない。

- 無線 LAN ルーター本体または箱に記載がないか確認してください。
- Canon MF/LBP ワイヤレスセットアップアシスタントを使って、無線 LAN ルーターの SSID やネットワークキーを確認してください。

🔴 SSID やネットワークキーを確認する(P. 193)

アクセスポイント一覧に、接続したい無線 LAN ルーターの SSID が表示されない。

- メモした無線 LAN ルーターの SSID が間違っていないか確認してください。
- 🔴 SSID やネットワークキーを確認する(P. 193)
- 無線 LAN ルーターの SSID が公開されていない（ステルス機能*を使用している）場合は、無線 LAN ルーターで SSID が公開されるように設定してください。

* 無線 LAN ルーターの SSID を他の機器が自動検出できないようにする機能です。

- 本機がネットワークに接続できる状態か、確認してください。

🔴 無線 LAN に接続できないときは(P. 361)

意図しない接続先に自動的にダイヤルアップする（ネットワークにダイヤルアップルーターが接続されている場合）。

- ダイヤルアップルーターでブロードキャストを通す必要がない場合は、ダイヤルアップルーターの設定はブロードキャストを通さない設定にしてください。ダイヤルアップルーターでブロードキャストを通す必要がある場合は、設定が正しいかどうか確認してください。
- DNS サーバーが外部のネットワークにある場合は、本機が接続されているネットワーク上の機器に接続する場合でも、接続先はホスト名ではなく、IP アドレスを使用して設定してください。
- 本機が接続されているネットワーク上に DNS サーバーがあり、DNS サーバーに外部のネットワークに接続されている機器の情報が登録されている場合は、その設定が正しいかどうか確認してください。

無線 LAN に接続できないときは



1 パソコンの状態を確認する

- パソコンと無線 LAN ルーターの設定は完了していますか？
- 無線 LAN ルーターのケーブル類（電源ケーブルや LAN ケーブルなど）が抜けていませんか？
- 無線 LAN ルーターの電源が入っていますか？

上記を確認しても解決しない場合：

- 各機器の電源をいったん切り、再度入れなおしてください。

- 少し時間をおいて、再度ネットワークに接続できるか確認してください。



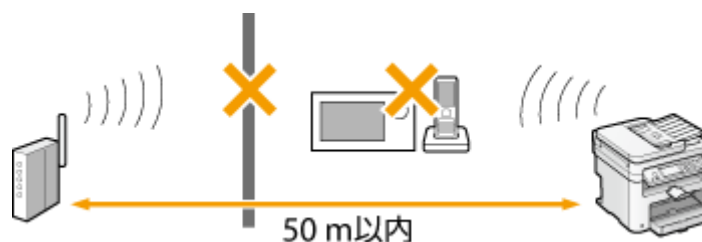
本機の電源が入っているか確認する

- 電源が入っているときは、いったん切ってから、再度入れなおしてください。



本機と無線 LAN ルーターの設置場所を確認する

- 本機と無線 LAN ルーターの距離が離れすぎていませんか？
- 本機と無線 LAN ルーターの間に壁などの障害物がありませんか？
- 近くに電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器がありませんか？



以下の設定をしない

- ▶ WPS/AOSS/らくらく無線スタートで自動設定する（押しボタン方式）(P. 180)
- ▶ WPS PIN コード方式で設定する(P. 183)
- ▶ 無線 LAN ルーターを選んで設定する(P. 186)
- ▶ すべて入力して設定する(P. 189)



MEMO

手動入力での設定が必要な場合

無線 LAN ルーターが次のように設定されているときは、手動入力で設定してください（▶すべて入力して設定する(P. 189)）。

- ANY 拒否*がオンになっている
- 自動生成した WEP キー（16 進数）が設定されている
- ステルス機能がオンになっている

* 接続しようとしている機器が SSID を「ANY」または「空白」に設定している場合、無線 LAN ルーターが接続を拒否する機能です。

無線 LAN ルーター側の設定変更が必要な場合

無線 LAN ルーターが次のように設定されているときは、ルーター側の設定を変更してください。

- MAC アドレスフィルタリングが設定されている

- IEEE 802.11n のみで通信している状態で、WEP を選択しているか、WPA/WPA2 の暗号化方式を TKIP に設定している

USB 接続のトラブル

通信できない。

- USB ケーブルを交換してください。USB ケーブルが長い場合は短いものに変更してください。
- USB ハブを使用しているときは、本機とパソコンを USB ケーブルで直接接続するようにしてください。

プリントサーバー経由のトラブル

接続するプリントサーバーが見つからない。

- プrintサーバーとパソコンが正しく接続されていますか？
- プrintサーバーは起動されていますか？
- プrintサーバーに接続する権限はありますか？不明な場合は、サーバーの管理者にお問い合わせください。
- [ネットワーク探索] は有効になっていますか？（Windows Vista/7/8/10/Server 2008/Server 2012）
▶ **[ネットワーク探索] を有効にする(P. 445)**

共有プリンターに接続できない。

- ネットワーク上でPrintサーバー内のプリンターは表示されますか？表示されない場合は、ネットワークやサーバーの管理者にお問い合わせください。
▶ **Printサーバー内の共有プリンターの表示方法(P. 446)**

コピー／印刷（プリント）のトラブル

14EH-063

あわせて ▶よくあるトラブル(P. 359) をご覧ください。

きれいにコピー／印刷できない。または用紙にしわやカールが発生する。▶正しく印刷できない(P. 367)

印刷できない。

- Windows のテストページは印刷できますか？印刷できるときは、本機やプリンタードライバーに問題はありません。アプリケーションの印刷設定を確認してください。

▶Windows のテストページの印刷方法(P. 447)

テストページが印刷されないときは、お使いの環境に応じた項目をチェックしてください。

■ 無線 LAN 接続の場合

- 無線 LAN の接続状態（電波強度）を確認してください。
- ▶ネットワークの設定を確認する(P. 203)



接続状態が悪いときは、次のことを試してください。

- 無線 LAN ルーターのチャンネルを変更してください。複数の無線 LAN ルーターがある場合は、チャンネルの間隔を 5 チャンネル以上離してください。
- 無線 LAN ルーターの電波出力を変更できる場合は、出力を上げてください。
- パソコンが無線 LAN 接続の場合に、本機とパソコンが接続している無線 LAN ルーターの SSID は同じですか？異なるときは本機の無線 LAN 接続の設定をやりなおしてください。
- ▶ネットワークの設定を確認する(P. 203)
- ▶パソコンが接続している SSID を確認する(P. 452)
- ▶無線 LAN に接続する(P. 178)



無線 LAN 接続の設定をやりなおすとき

- 接続する無線 LAN ルーターはパソコンが接続している SSID と同じものを選んでください。
- 使用するポートは正しく選択されていますか？使用するポートがないときは、ポートを作成してください。
- ▶プリンターポートの確認方法(P. 450)
- ▶印刷ポートの設定をする(P. 211)
- ファイアーウォールでパソコンの通信が制限されていませんか？間違えて設定してしまったために本機にアクセスできなくなったときは、操作パネルから＜IPv4 アドレスフィルター＞または＜IPv6 アドレスフィルター＞を＜OFF＞にしてください。
- ▶ファイアーウォールで通信制限する(P. 244)
- ▶IPv4 アドレスフィルター(P. 335)

▶IPv6 アドレスフィルター(P. 336)

- セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを無効にしてください。
- 「MF ドライバーインストールガイド」を参照して、プリンタードライバーをインストールしなおしてください。
- ネットワーク上の他のパソコンから印刷できますか？他のパソコンからも印刷できない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

■ 有線 LAN 接続の場合

- 使用するポートは正しく選択されていますか？使用するポートがないときは、ポートを作成してください。
 - ▶プリンターポートの確認方法(P. 450)
 - ▶印刷ポートの設定をする(P. 211)
- ファイアウォールでパソコンの通信が制限されていませんか？間違えて設定してしまったために本機にアクセスできなくなったときは、操作パネルから < IPv4 アドレスフィルター >、< IPv6 アドレスフィルター >、または < MAC アドレスフィルター > を < OFF > にしてください。
 - ▶ファイアウォールで通信制限する(P. 244)
 - ▶IPv4 アドレスフィルター(P. 335)
 - ▶IPv6 アドレスフィルター(P. 336)
 - ▶MAC アドレスフィルター(P. 336)
- セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを無効にしてください。
- 「MF ドライバーインストールガイド」を参照して、プリンタードライバーをインストールしなおしてください。
- ネットワーク上の他のパソコンから印刷できますか？他のパソコンからも印刷できない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

■ USB 接続の場合

- 使用するポートは正しく選択されていますか？使用するポートがないときやわからないときは、「MF ドライバーインストールガイド」を参照してプリンタードライバーをインストールしなおしてください。インストールしなおすと自動的に正しいポートが作成されます。
 - ▶プリンターポートの確認方法(P. 450)
- 双方向通信は有効になっていますか？双方向通信を有効にしたときは、パソコンと本機を再起動してください。
 - ▶双方向通信の確認方法(P. 451)
- セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを無効にしてください。
- パソコンの他の USB ポートに接続してください。
- 他のパソコンに USB 接続して印刷できますか？他のパソコンからも印刷できない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

■ プリントサーバー経由の場合

- プリントサーバーから印刷できますか？プリントサーバーから印刷できるときは、プリントサーバーとお使いのパソコンの接続を確認してください。
 - ▶プリントサーバー経由のトラブル(P. 363)
- セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを無効にしてください。
- 「MF ドライバーインストールガイド」を参照して、プリンタードライバーをインストールしなおしてください。
- 他のパソコンからプリントサーバーを介して印刷できますか？他のパソコンからも印刷できない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

印刷が遅く感じる。*

- メモリー内に蓄積されているデータを印刷または削除してください。

* メモリー残量が少なくなると動作が遅くなることがあります。ただし、これはパソコンなどでも起こる現象で異常ではありません。

Google Cloud Print で印刷できない。▶Google Cloud Print を使う (P. 167)

印刷を開始するまでに時間がかかる。

- 幅の狭い用紙を印刷しませんでしたか？幅の狭い用紙を印刷したあとは、印刷品質を保つために本体の冷却を行うことがあり、その場合は次の印刷を開始するまでに時間がかかります。そのまましばらくお待ちください。冷却が終わると、印刷が再開されます。

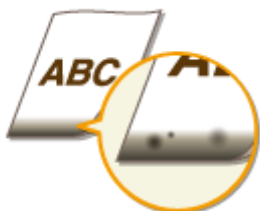
白紙で排紙される（何も印刷されない）。

- トナーカートリッジをセットするときに、シーリングテープを引き抜きましたか？引き抜いていない場合は、トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを引き抜いて、セットしなおしてください。
▶トナーカートリッジを交換する (P. 396)

正しく印刷できない

14EH-064

きれいに印刷できないとき、または用紙にしわやカールが発生したときは、こちらの対処方法をお試しください。それでもなお、改善されない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。



▶ 用紙の端が汚れる(P. 369)



▶ すじ状の汚れが付く(P. 369)



▶ 白いすじ（線）が入る(P. 370)



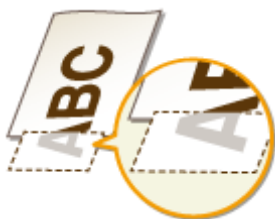
▶ トナーが飛び散ったような汚れが付く(P. 370)



▶ 印刷がかすれる(P. 371)



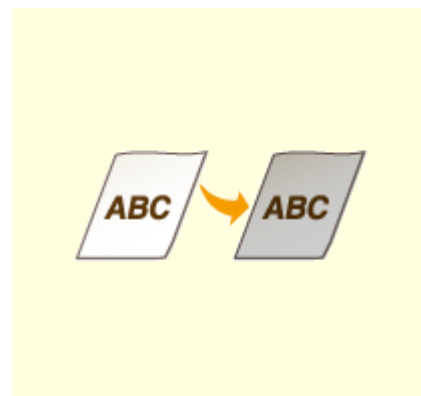
▶ 白く抜ける(P. 371)



▶ ページの一部が印刷されない(P. 372)



▶ 印字ムラが出る(P. 372)



▶ 印字が全体的に黒ずむ(P. 373)



▶ プリントしたバーコードが読み取れない(P. 373)



▶ しわになる(P. 375)



▶ カールする(P. 375)



▶ 斜めに印刷される(P. 377)



▶ 用紙が給紙されない／用紙が重なって送られる(P. 377)



▶ 両面プリント時に紙づまりが頻繁に起こる (MF244dw / MF242dw) (P. 378)

きれいに印刷できない

14EH-065

本体内部の汚れが印刷結果に影響する場合があります。まず、本体のお手入れを行ってください。

▶ **日常のお手入れ(P. 382)**

用紙の端が汚れる



→ 余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷していませんか？

- プリンタードライバーで余白なしに設定すると、この現象が起こることがあります。本機で印刷できる範囲は、用紙の周囲 5 mm（封筒は 10 mm）を除いた部分です。印刷する文書の周囲に余白を確保してください。

【仕上げ】 タブ ▶ 【処理オプション】 ▶ 【印字領域を広げて印刷】 ▶ 【しない】

すじ状の汚れが付く



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。

▶ **用紙について(P. 431)**

▶ **用紙をセットする(P. 44)**

- 適切な用紙を使用しても改善しない場合は、＜特殊印字モード Z＞、＜特殊印字モード C＞、＜特殊印字モード D＞のいずれかの設定を変更してください。

▶ **特殊処理(P. 328)**

- パソコンから印刷する場合は、プリンタードライバーの【特殊印字モード】の設定を変更してください。



改善効果は【モード 1】が最も弱く、【モード 4】が最も強くなります。【モード 1】から順に試してください。改善効果を強くすると、プリント濃度が薄くなります。また、輪郭がはっきりしなくなったり、粗さが多少目立つことがあります。

→ トナーカートリッジを交換した直後ですか？または、長い期間プリントをしていないですか？

- <特殊印字モード B>の設定を変更してください。

▶ 特殊処理(P. 328)

白いすじ（線）が入る



→ 原稿台ガラスが汚れていませんか？

- 原稿台ガラスやフィーダーの裏面を清掃してください。

▶ 原稿台ガラス(P. 384)

→ トナーカートリッジが消耗していませんか？

- トナーカートリッジの残量を確認して、必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。

▶ トナーカートリッジの交換(P. 391)

トナーが飛び散ったような汚れが付く



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。

▶ 用紙について(P. 431)

▶ 用紙をセットする(P. 44)

- <特殊印字モード U>の設定を変更してください。

▶ 特殊処理(P. 328)

→ トナーカートリッジが消耗していませんか？

- トナーカートリッジの残量を確認して、必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。
- ▶ トナーカートリッジの交換(P. 391)

印刷がかすれる



→ トナーカートリッジが消耗していませんか？

- トナーカートリッジの残量を確認して、必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。
- ▶ トナーカートリッジの交換(P. 391)

→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。また、用紙サイズと種類を正しく設定してください。
- ▶ 用紙について(P. 431)
- ▶ 用紙をセットする(P. 44)
- ▶ 用紙サイズと種類を設定する(P. 60)

→ 特殊な環境（特に低温度環境）で使用していませんか？

- 十分にトナーが定着されずに、プリントがかすれてしまうことがあります。＜特殊印字モード K＞の設定を変更してください。
- ▶ 特殊処理(P. 328)

白く抜ける



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。

▶用紙について(P. 431)

▶用紙をセットする(P. 44)

→トナーカートリッジ内のドラムが劣化していませんか？

- 必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。

▶トナーカートリッジの交換(P. 391)

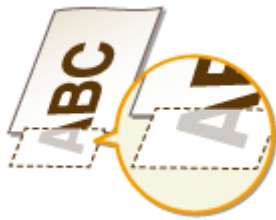
→濃淡の強い文書をプリントしましたか？

- プリンタードライバーで「特殊印字処理」の設定を変更してください。



「特殊設定 2」に設定すると、「しない」や「特殊設定 1」に比べプリント濃度が薄くなります。また、文字や線がかすれることがあります。

ページの一部分が印刷されない



→余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷していませんか？

- プリンタードライバーで余白なしに設定すると、この現象が起こることがあります。本機で印刷できる範囲は、用紙の周囲 5 mm（封筒は 10 mm）を除いた部分です。印刷する文書の周囲に余白を確保してください。

「仕上げ」タブ ▶ 「処理オプション」 ▶ 「印字領域を広げて印刷」 ▶ 「しない」

印字ムラが出る



→トナーカートリッジが消耗していませんか？

- トナーカートリッジの残量を確認して、必要に応じてトナーカートリッジを交換してください。

▶トナーカートリッジの交換(P. 391)

→ 細線をプリントしたときに、ムラが出ることはありませんか？

- <特殊印字モード J>の設定を変更してください。
- ▶ 特殊処理(P. 328)

印字が全体的に黒ずむ



→ <コピー設定>の<濃度補正>を濃く設定していませんか？

- 薄くなるように設定しなおしてください。
- ▶ 濃度補正(P. 322)

→ プリンターが直射日光または強い光が当たる場所に設置されていませんか？

- 適切な場所へ設置しなおしてください。
- ▶ 設置について(P. 3)
- ▶ 本機を移動する(P. 399)

→ トナーカートリッジを直射日光が当たる場所に長時間置いていませんか？

- トナーカートリッジを適切な場所に保管し、2～3 時間してから再度、印刷してみてください。不具合が改善される場合があります。それでも改善されない場合は、トナーカートリッジを交換してください。
- ▶ トナーカートリッジの交換(P. 391)

プリントしたバーコードが読み取れない



→ 工場出荷時の設定でプリントしたバーコードが読み取れませんか？

- プリンタードライバーで [特殊印字処理] の設定を [特殊設定 1] にしてください。



- [特殊設定 1] に設定すると、[しない] に比べプリント濃度が薄くなります。また、文字や線がかすれることがあります。
- 薄い用紙以外にプリントするときに本項目を設定すると、画像が白く抜けることがあります。

用紙がしわになったり、カールしたりする

14EH-066

しわになる



→ 用紙は正しくセットされていますか？

- 用紙を積載制限ガイドの下に通していなかったり、斜めにセットしたりするとしわになることがあります。
- ▶ 用紙をセットする(P. 44)

→ 湿った用紙を使用していないですか？

- 適切な用紙に交換してください。
- ▶ 用紙をセットする(P. 44)

→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。
- ▶ 用紙について(P. 431)
- 適切な用紙を使用しても改善しない場合は、＜特殊印字モード V＞の設定を変更してください。
- ▶ 特殊処理(P. 328)

カールする



→ 適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認して、適切な用紙に交換してください。また、用紙サイズと種類を正しく設定してください。
- ▶ 用紙について(P. 431)
- ▶ 用紙をセットする(P. 44)

▶ **用紙サイズと種類を設定する(P. 60)**

- 普通紙（60～89 g/m²）を使用している場合は、プリンタードライバーで次の操作を行うと、改善される場合があります。

[ページ設定] タブ ▶ [用紙種類] ▶ [普通紙 L(60～89g/m²)]

- 適切な用紙を使用しても改善しない場合は、＜特殊印字モード V＞の設定を変更してください。

▶ **特殊処理(P. 328)**

用紙が正しく送られない

14EH-067

斜めに印刷される



→ 用紙ガイドを用紙にぴったり合わせていますか？

- ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、斜めに印刷されます。

🔴 用紙をセットする(P. 44)

→ 手差し給紙口から印刷していませんか？

- 給紙カセットに用紙をセットしてください。

🔴 給紙カセットにセットする(P. 46)

→ カールしたはがきまたは封筒に印刷していませんか？

- カールを取ってから印刷してください。

🔴 封筒・はがきをセットする(P. 54)

用紙が給紙されない／用紙が重なって送られる



→ 用紙を適切にセットしていますか？

- 用紙をよくさばき、紙が貼りつかないようにしてください。
- 用紙が正しくセットされているか確認してください。

🔴 用紙をセットする(P. 44)

- セットした用紙の枚数や、使用している用紙が適切か確認してください。

🔴 用紙について(P. 431)

▶用紙をセットする(P. 44)

- 異なるサイズや異なる種類の用紙をいっしょにセットしていないか確認してください。

両面プリント時に紙づまりが頻繁に起こる (MF244dw / MF242dw)



→特に薄い用紙やカールしている用紙で両面プリントすると、紙づまりが頻繁に起こりますか？

- <特殊印字モードⅠ>の設定を< ON >にしてください。

▶特殊処理(P. 328)

トラブルが解決しないときは

14EH-068

トラブルが解決しないときは、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。



自力で分解修理しない

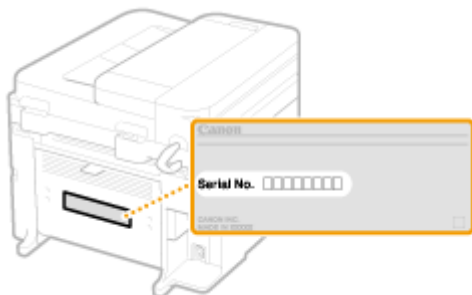
ご自分で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

■お問い合わせの際は

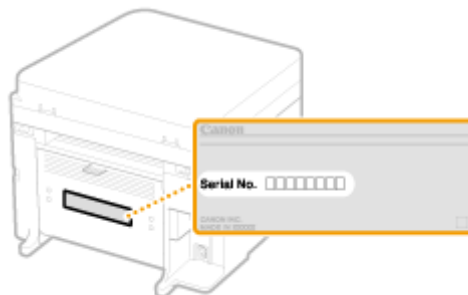
あらかじめ次の情報をお手元にご用意ください。

- 製品名（MF244dw / MF242dw / MF232w）
- 購入先の販売店
- トラブルの内容（具体的な操作内容とその結果など）
- シリアルナンバー（本体背面のラベルに記載されている、8 文字の英数字）

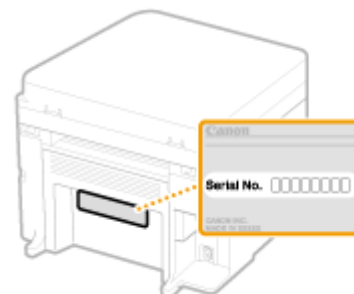
MF244dw



MF242dw



MF232w



メンテナンス

メンテナンス	381
日常のお手入れ	382
本体外部	383
原稿台ガラス	384
フィーダー（MF244dw）	387
定着器	388
本体内部	389
トナーカートリッジの交換	391
トナーカートリッジを交換する前に	393
トナーカートリッジを交換する	396
本機を移動する	399
印刷ページ数を確認する	401
設定を初期化する	402
メニューを初期化する	403
ECO レポートカウンターを初期化する	405
全データ／設定を初期化する	406
保守サービスや無償保証について	407
キヤノンサービスパック（CSP）	408
キヤノン・ケア・ギャランティ（CCG）	410
無償保証について	411

メンテナンス

14EH-069

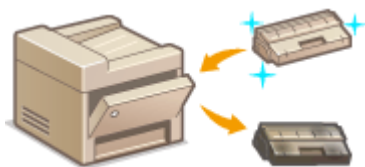
本体のお手入れや各種設定の初期化など、本機の保守・管理について説明しています。また、キヤノンの保守サービス、無償保証についてもご紹介しています。

■ 基本のお手入れ ▶ 日常のお手入れ(P. 382)



- 本体が汚れた ▶ **本体外部(P. 383)**
- 原稿や用紙が汚れた ▶ **原稿台ガラス(P. 384)** ▶ **フィーダー (MF244dw) (P. 387)**
- 印刷された用紙に黒いすじが現れた ▶ **定着器(P. 388)**
- 本体内部が汚れた ▶ **本体内部(P. 389)**

■ トナーカートリッジを交換する



- トナーカートリッジの残量を確認したい ▶ **トナーカートリッジの交換(P. 391)**
- 交換のしかた ▶ **トナーカートリッジを交換する(P. 396)**

■ 本機を移動する



- お手入れや事務所の移設などで本機を移動する ▶ **本機を移動する(P. 399)**

■ 印刷の総ページ数を確認する

これまでに行った印刷の総ページ数を確認したい ▶ **印刷ページ数を確認する(P. 401)**

■ 設定を初期化する

設定メニューなどを、お買い上げ時の設定に戻したい ▶ **設定を初期化する(P. 402)**

■ サービスと無償保証 ▶ 保守サービスや無償保証について(P. 407)

本機をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

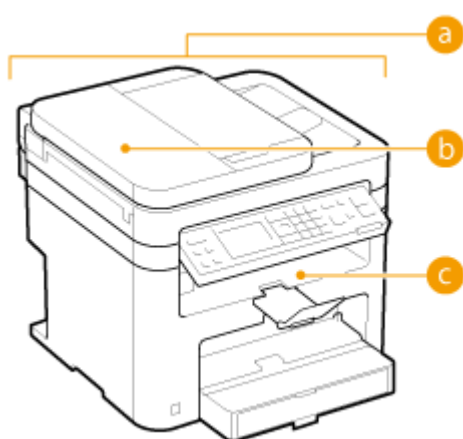
- ▶ **キヤノンサービスパック (CSP) (P. 408)**
- ▶ **キヤノン・ケア・ギャランティ (CCG) (P. 410)**
- ▶ **無償保証について(P. 411)**

日常のお手入れ

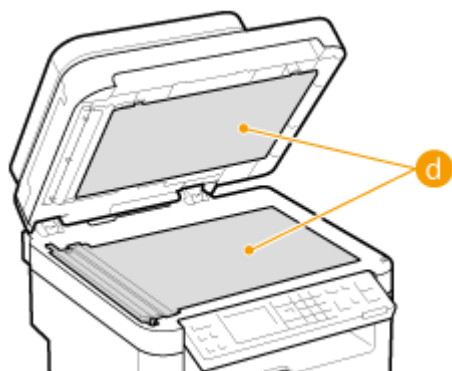
14EH-06A

印刷品質の低下を防ぎ、快適で安全にお使いいただくために、本機を定期的に清掃してください。なお、お手入れの前に、安全に関する注意事項を確認してください。▶**保守／点検について(P. 9)**

お手入れする場所



- a** 本体外部と通気口
▶**本体外部(P. 383)**
- b** フィーダー内のローラー (MF244dw)
▶**フィーダー (MF244dw) (P. 387)**
- c** 本体内部と定着器
▶**定着器(P. 388)**
▶**本体内部(P. 389)**



- d** 原稿台ガラスとフィーダーまたは原稿台ガラスカバーの裏面
▶**原稿台ガラス(P. 384)**

本体外部

14EH-06C

本体の表面を定期的に拭いて、きれいな状態を保ってください。また、通気口のホコリはこまめに拭き取ってください。



- 通気口は MF244dw / MF242dw のみにあります。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 電源を切ると、待機中の印刷データは消去されます。

2 本体表面と通気口を拭く

- 水または薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞って拭きます。
- 通気口の場所は  **本体前面(P. 17)** を参照してください。



3 水分が完全に乾くまで待つ

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

原稿台ガラス

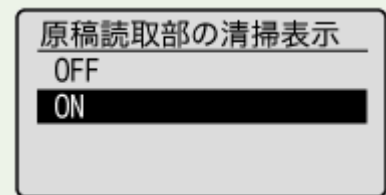
14EH-06E

原稿台ガラスやフィーダーの裏面にゴミや汚れがあると、原稿や印刷された用紙に汚れが付くことがあります。定期的に清掃してください。



フィーダー読み取りエリアの清掃表示 (MF244dw)

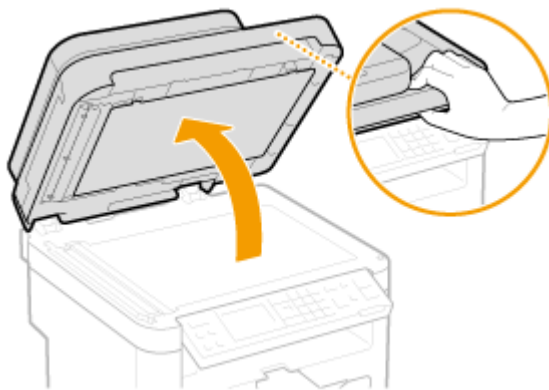
フィーダー読み取りエリアの汚れを検出したときにメッセージを表示させるには、＜原稿読取部の清掃表示＞を＜ON＞にする必要があります。



1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

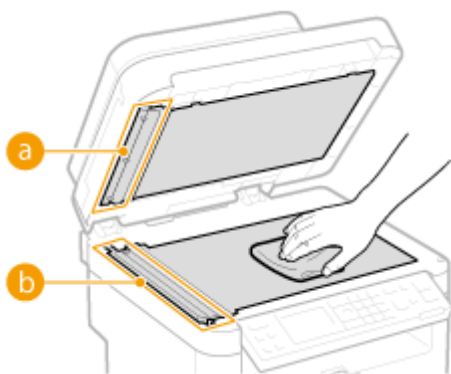
- 電源を切ると、待機中の印刷データは消去されます。

2 フィーダーまたは原稿台ガラスカバーを開ける



3 原稿台ガラスとフィーダーまたは原稿台ガラスカバーの裏面を拭く

- 水を含ませてかたく絞った布で拭き、そのあと乾いた柔らかい布で拭きます。
- MF244dw では、原稿台ガラスとフィーダーに加えて、白く細長い部分 (a) と透明のプラスチック部品の表面 (b) も拭いてください。

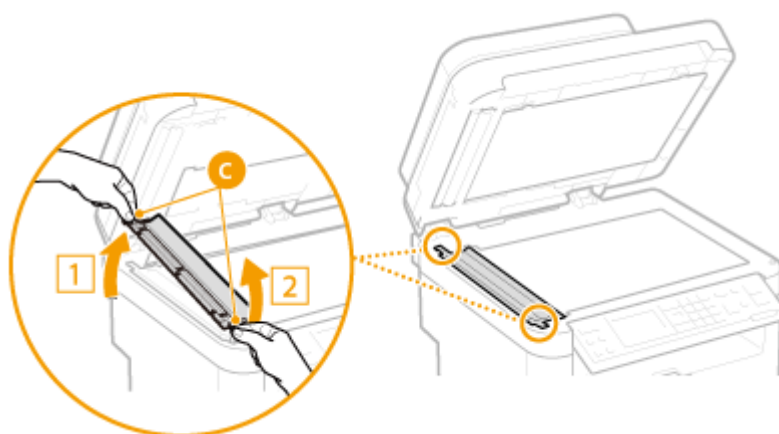


- 透明のプラスチック部品（**b**）を拭くときは、プラスチックを折り曲げないように注意してください。

■症状が改善されないときは（MF244dw）

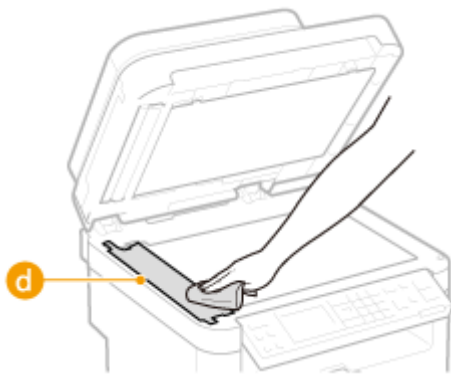
透明のプラスチック部品（**b**）を取り外して拭きます。

- 1 つまみ（**c**）を持って、奥側からゆっくり取り外す

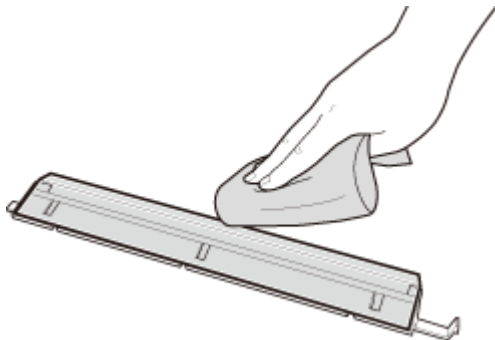


- 壊れやすいため、取り外す際にプラスチック部品（**b**）を折り曲げたりしないように注意してください。

- 2 フィーダー読み取りエリア（**d**）を拭く



- 3** 透明のプラスチック部品の裏側を拭く



- 4** 水分が完全に乾くまで待つ

- 5** 透明のプラスチック部品を取り付ける

- 向きを確認し、つまみを持って手前側からゆっくり取り付けます。

- 4** 水分が完全に乾くまで待つ

- 5** フィーダーまたは原稿台ガラスカバーをゆっくり閉じる

- 6** 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

フィーダー MF244dw

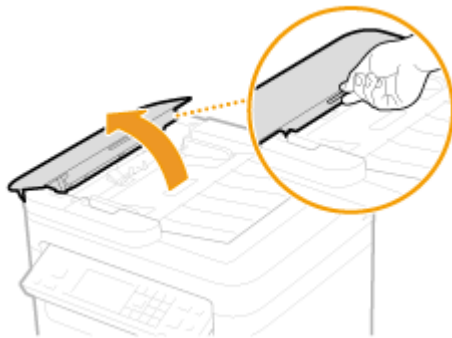
14EH-06F

フィーダー内部のローラーに鉛筆の粉やホコリなどが付いていると、原稿や印刷された用紙に汚れが付くことがあります。このような場合、以下の手順でフィーダーを清掃してください。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

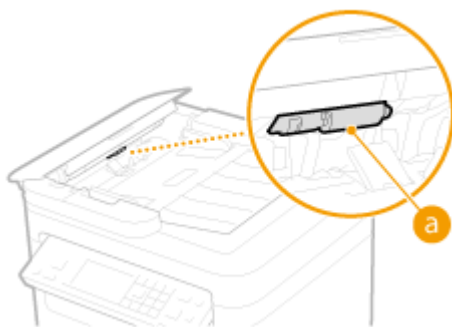
- 電源を切ると、待機中の印刷データは消去されます。

2 フィーダーカバーを開ける



3 フィーダー内部のローラー（a）を拭く

- 水を含ませてかたく絞った布で拭き、そのあと乾いた柔らかい布で拭きます。



4 フィーダーカバーを閉じる

5 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

定着器

14EH-06H

定着器が汚れていると、印刷された用紙に黒いすじが現れることがあります。このような場合、以下の手順で定着器をクリーニングしてください。待機中の印刷データがある場合、クリーニングはできませんのでご注意ください。なお、クリーニングには、A4 またはレターサイズ以上の普通紙が必要です。あらかじめ手差し給紙口にセットしておいてください。



- クリーニングはトナーカートリッジを消耗します。あらかじめ、残量があることを確認してください。
- 定着器のクリーニングには、約 90 秒かかります。

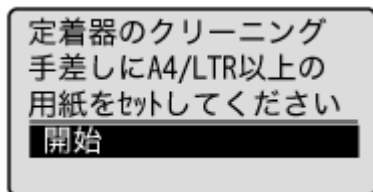
- ▶ トナーカートリッジ残量を確認する(P. 392)
- ▶ 手差し給紙口にセットする(P. 51)

1  を押す

2 ▲ / ▼ で<調整/メンテナンス>を選び、 を押す

3 <定着器のクリーニング>を選び、 を押す

4 手差し給紙口に用紙（A4／LTR 以上）をセットし、 を押す



- クリーニングが終了し、<終了しました。>のメッセージが表示されたら、 を押します。

本体内部

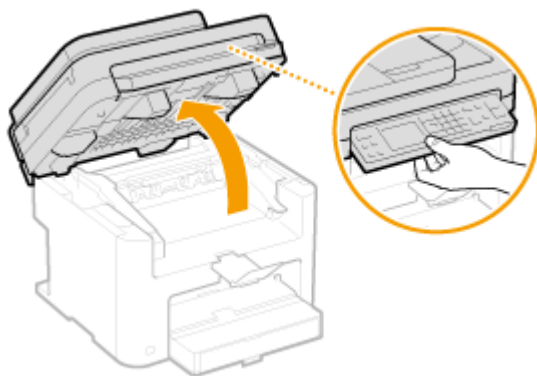
14EH-06J

本体内部を定期的に清掃し、トナーの粉や紙ぼこりがたまらないようにしてください。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 電源を切ると、待機中の印刷データは消去されます。

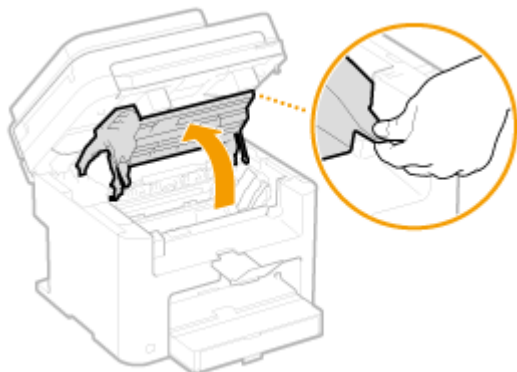
2 操作パネル部を持ち上げる



操作パネル部が持ち上げられないとき

フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まっているか確認してください。また、原稿台ガラスに本などの厚手の原稿がセットされている場合は、原稿を取り出してください。無理に持ち上げると、故障の原因となることがあります。

3 トナーカバーの右手前にあるつまみを持ち、トナーカバーを開ける



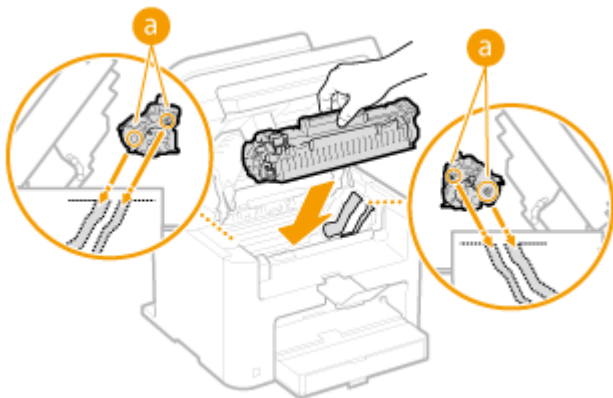
4 トナーカートリッジを取り出す



5 清潔で柔らかい糸くずの出ない乾いた布で、内部からトナーの粉や紙ぼこりを拭き取る

6 トナーカートリッジを取り付ける

- 左右の（a）をトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。



7 トナーカバーを閉め、操作パネル部をおろす



トナーカバーが閉まらないとき

トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。無理に閉めると、故障の原因となることがあります。

8 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

トナーカートリッジの交換

14EH-06K

トナーカートリッジの残量が残り少なくなるとディスプレイにメッセージが表示されます。そのままご使用になりますと印刷品質が低下することがありますのでご注意ください。なお、トナーカートリッジの残量をディスプレイで確認することもできます。

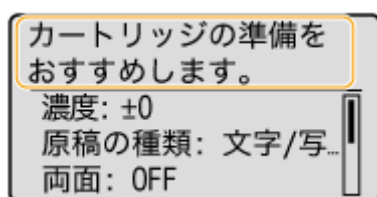
- メッセージが表示されたときは(P. 391)
- 印刷結果に以下のような症状が現れるときは(P. 391)
- トナーカートリッジ残量を確認する(P. 392)

■メッセージが表示されたときは

メッセージに従って、新しいトナーカートリッジの用意や交換準備を行ってください。●トナーカートリッジを交換する前に(P. 393) ●トナーカートリッジを交換する(P. 396) ●消耗品(P. 436)

<カートリッジの準備をおすすめします。>

トナーカートリッジの交換時期が近づいています。トナーカートリッジを振って、内部のトナーを均一にします。大量に印刷するときは、交換することをおすすめします。

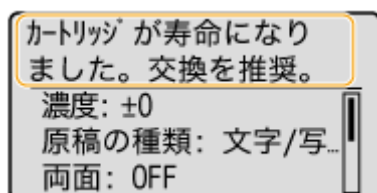


このメッセージが表示されるタイミングを設定する

- トナーカートリッジが残り何%になったらこのメッセージを表示させるかを任意に設定することもできます。●カートリッジ 準備お知らせの表示タイミング (P. 327)

<カートリッジ が寿命になりました。交換を推奨。>

トナーカートリッジが寿命に達しました。基本的には交換することをおすすめしますが、そのまま印刷を継続することも可能です。ただし、この場合、印刷品質は保証しかねます。



■印刷結果に以下のような症状が現れるときは

トナーカートリッジが寿命に近づいています。メッセージは表示されていなくても、トナーカートリッジを交換する目安としてください。

- トナーカートリッジを交換する前に(P. 393)
- トナーカートリッジを交換する(P. 396)

白いすじ（線）が入る



かすれる



ムラが出る

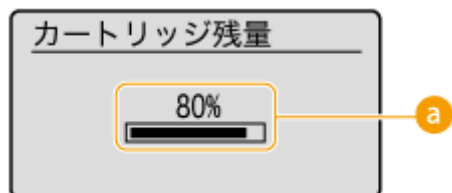
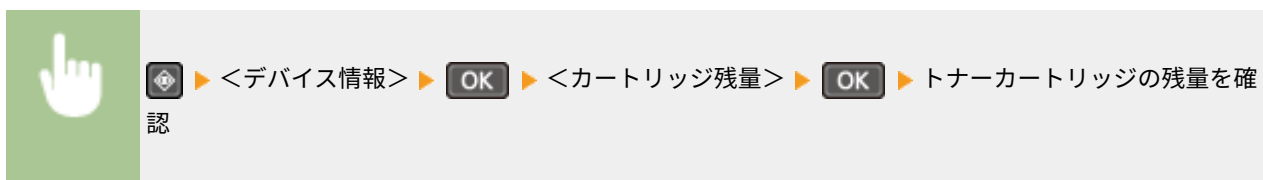


トナーが飛び散っている 原稿の白い部分までうっすら暗くなる



■ トナーカートリッジ残量を確認する

トナーカートリッジ残量は以下の手順で確認できます。特に、大量に印刷する前には、新しいトナーカートリッジを用意しておく必要がないか確認してください。



a カートリッジ残量

トナーカートリッジの残量を表示します。トナーがなくなる前に他の内部の部品が寿命に達する場合があります。



- 表示されるトナーカートリッジの残量の数値は目安であり、実際と異なる場合があります。



関連項目

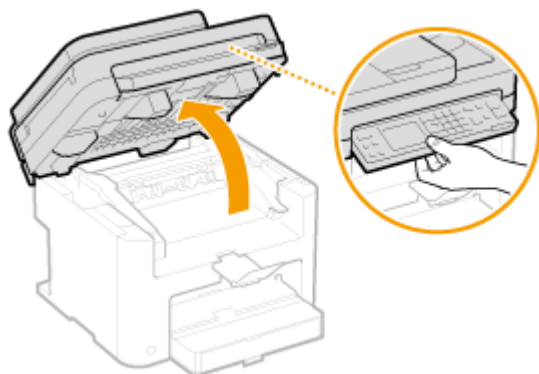
● 消耗品(P. 436)

トナーカートリッジを交換する前に

14EH-06L

交換する前に次の操作をしてください。メッセージが消えたり、印刷品質の低下が改善されることがあります。操作を始める前に、トナーカートリッジの取り扱いに関する注意事項をご確認ください。 ●保守／点検について(P. 9) ●消耗品について(P. 10)

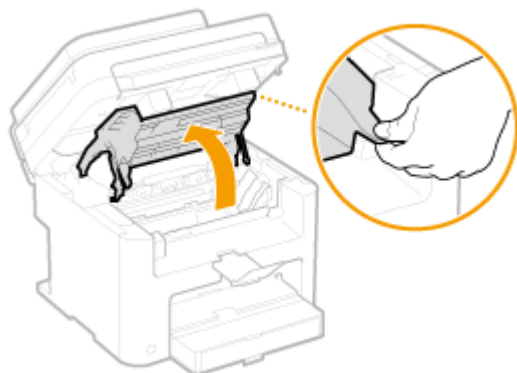
1 操作パネル部を持ち上げる



操作パネル部が持ち上げられないとき

フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まっているか確認してください。また、原稿台ガラスに本などの厚手の原稿がセットされている場合は、原稿を取り出してください。無理に持ち上げると、故障の原因となることがあります。

2 トナーカバーの右手前にあるつまみを持ち、トナーカバーを開ける



3 トナーカートリッジを取り出す

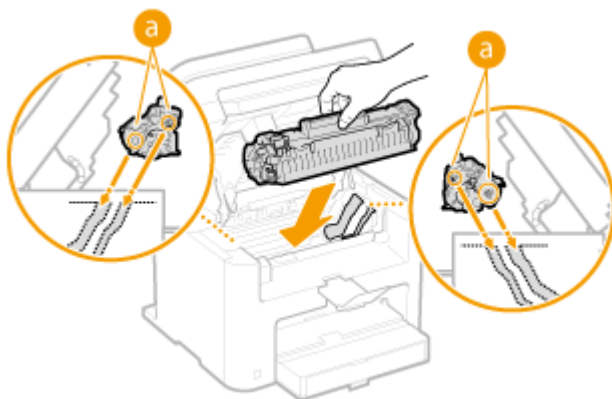


4 トナーカートリッジを 5～6 回振って内部のトナーを均一にならす



5 トナーカートリッジを取り付ける

- 左右の (a) をトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。



6 トナーカバーを閉め、操作パネル部をおろす



トナーカバーが閉まらないとき

トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。無理に閉めると、故障の原因になることがあります。



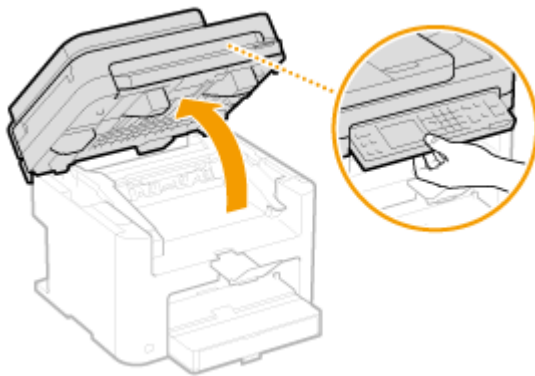
関連項目

▶ トナーカートリッジを交換する(P. 396)

トナーカートリッジを交換する

交換を始める前に、トナーカートリッジの取り扱いに関する注意事項をご確認ください。▶**保守／点検について(P. 9)** ▶**消耗品について(P. 10)**

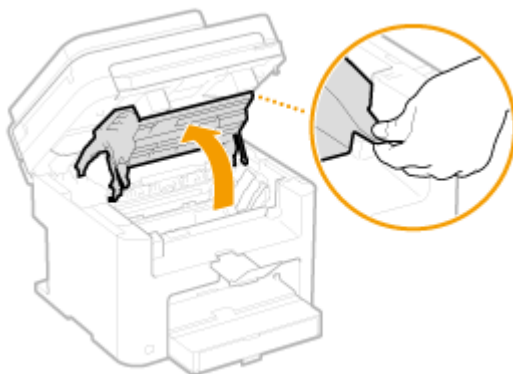
1 操作パネル部を持ち上げる



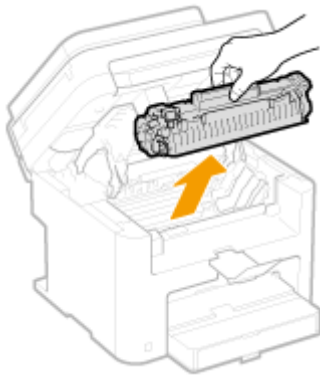
操作パネル部が持ち上げられないとき

フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まっているか確認してください。また、原稿台ガラスに本などの厚手の原稿がセットされている場合は、原稿を取り出してください。無理に持ち上げると、故障の原因となることがあります。

2 トナーカバーの右手前にあるつまみを持ち、トナーカバーを開ける



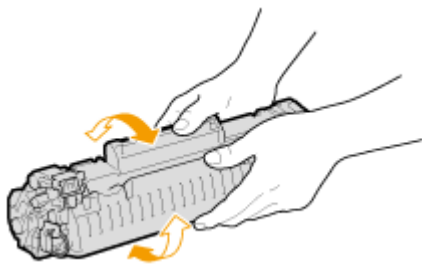
3 トナーカートリッジを取り出す



4 新しいトナーカートリッジを保護袋から取り出す

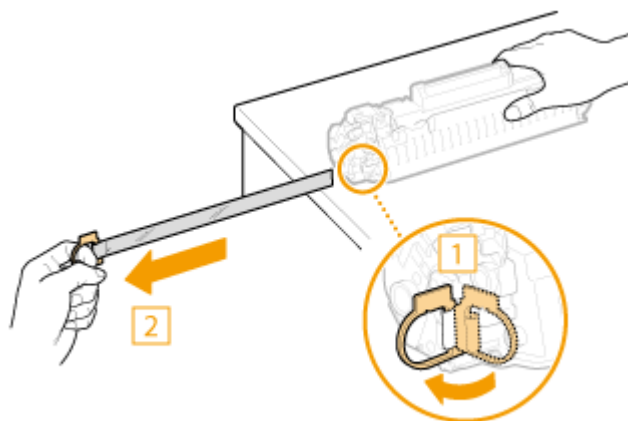


5 トナーカートリッジを 5～6 回振って内部のトナーを均一にならし、平らな場所に置く



6 シーリングテープをまっすぐ引き抜く

- シーリングテープの長さは約 50 cm です。

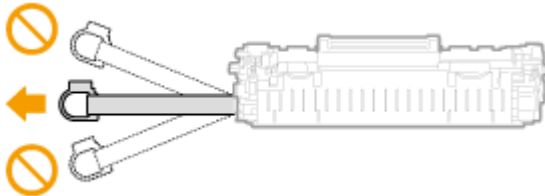




シーリングテープを引き抜くとき

シーリングテープがトナーカートリッジ内に残っていると、印刷不良の原因になります。ご注意ください。

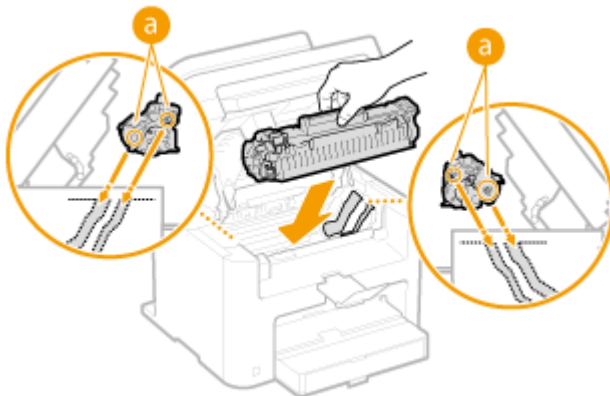
- 曲げて引いたり、横向きに引っ張ったりしないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。



- 途中で引っかかっても、シーリングテープを最後まで完全に引き抜いてください。

7 トナーカートリッジを取り付ける

- 左右の (a) をトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。



8 トナーカバーを閉め、操作パネル部をおろす



トナーカバーが閉まらないとき

トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。無理に閉めると、故障の原因になることがあります。



関連項目

- トナーカートリッジを交換する前に(P. 393)

本機を移動する

14EH-06S

本機は重量物です。けがなどの事故を未然に防ぐためにも、移動するときは必ず次の手順に従ってください。なお、移動する前に、安全に関する注意事項を確認してください。▶安全にお使いいただくために(P. 2)

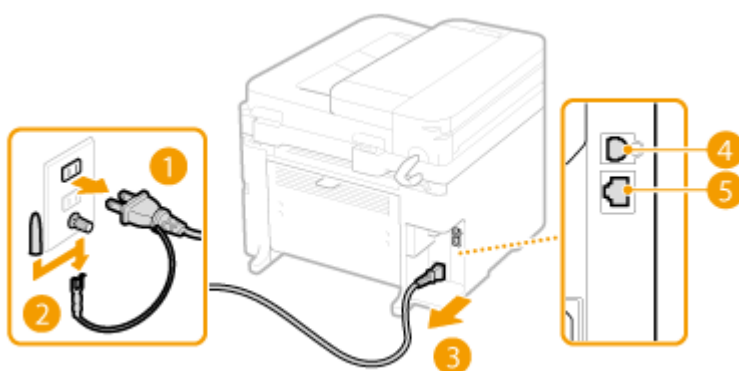
1 本機とパソコンの電源を切る

- 電源を切ると、待機中の印刷データは消去されます。

2 接続されているケーブルやコードをイラストの番号順に抜く

- USB ケーブル (4) と LAN ケーブル (5) の接続の有無は、お使いの環境によって異なります。

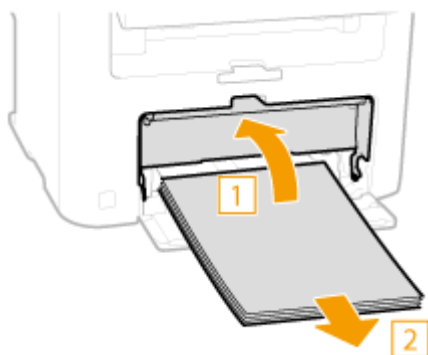
- ① 電源プラグ
- ② アース線
- ③ 電源コード
- ④ USB ケーブル
- ⑤ LAN ケーブル



3 長距離を移動する場合はトナーカートリッジを取り出す ▶トナーカートリッジを交換する (P. 396)

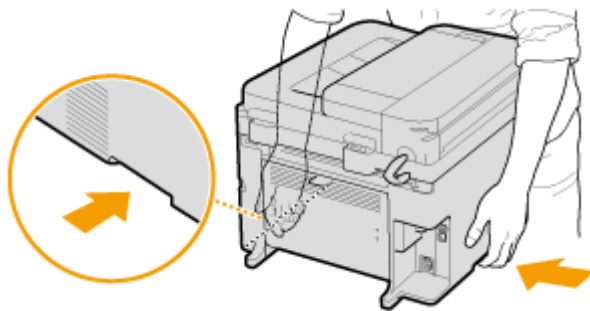
4 用紙カバーを開け、用紙を取り出す

- 用紙ガイドが給紙カセットからはみ出ているときは、給紙カセットに収まる位置まで戻してください。



5 給紙カセットなどをすべて閉じ、移動場所に運ぶ

- 本機の重さを確認してから、無理のないように持ち運んでください。▶本体の仕様(P. 426)
- 本機の前面から運搬用取っ手をつかんで持ち上げます。



6 移動場所にゆっくりおろす

- 移動後の設置手順については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。● 本機に付属するマニュアル(P. 437)

印刷ページ数を確認する

14EH-06U

これまでに行った印刷の総ページ数を確認できます。コピーや印刷だけでなく、レポート、リストについても印刷枚数にカウントされます。



設定を初期化する

14EH-06W

設定内容を初期化して、お買い上げ時の値に戻すことができます。

- ▶メニューを初期化する(P. 403)
- ▶ECO レポートカウンターを初期化する(P. 405)
- ▶全データ／設定を初期化する(P. 406)

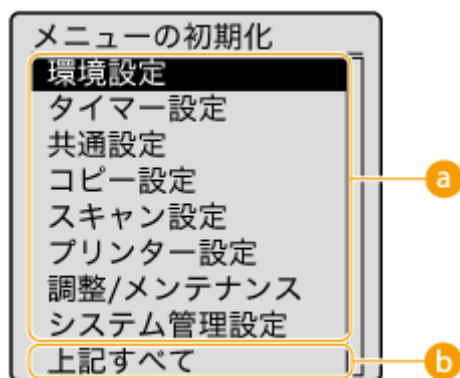
メニューを初期化する

14EH-06X

各種設定項目（**設定メニュー一覧(P. 295)**）の設定値を初期化して、お買い上げ時の値に戻すことができます。設定項目によっては初期化後に本機を再起動する必要があります。



- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して **OK** を押します。 **システム管理暗証番号を設定する(P. 240)**

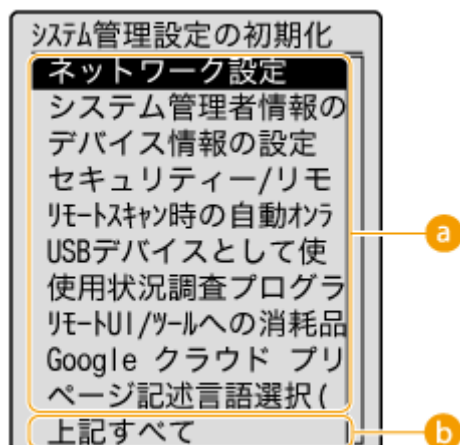


a 初期化の対象項目

初期化する設定項目を選びます。

■ <システム管理設定>を選んだとき

システム管理設定の設定項目のうち初期化する対象を選び、<はい> **OK** を押します。



a 初期化の対象項目

初期化する設定項目を選びます。

b <上記すべて>

システム管理設定のすべての設定項目を初期化します。



ご注意

リモート UI 設定を初期化したとき

- リモート UI アクセス暗証番号も初期化されます。初期化したあとは、リモート UI アクセス暗証番号を設定しなおしてください。▶ **リモート UI の暗証番号を設定する(P. 242)**



MEMO

- <ネットワーク設定>は次の方法でもお買い上げ時の値に戻すことができます。

 ▶ <ネットワーク設定> ▶ **OK** ▶ <ネットワーク設定の初期化> ▶ **OK** ▶ <はい> ▶ **OK** ▶ 本機を再起動

b <上記すべて>

すべての設定項目を初期化します。

ECO レポートカウンターを初期化する

14EH-06Y

ECO レポートに記載される出力枚数を初期化してお買い上げ時の値に戻すことができます。初期化すると出力枚数が 0 枚に戻ります。



- 暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して **OK** を押します。▶ **システム管理暗証番号を設定する(P. 240)**



▶ **＜システム管理設定＞** ▶ **OK** ▶ **＜ ECO レポートカウンターの初期化＞** ▶ **OK** ▶ **＜はい＞**
▶ **OK** ▶



関連項目

- ▶ **ECO レポート(P. 309)**

全データ／設定を初期化する

14EH-070

本機の使用場所を移動するなど、登録データや設定値を一括して変更する場合に、登録したデータの削除と各種設定値（**設定メニュー一覧(P. 295)**）の初期化を一括して行えます。全データ／設定項目の初期化をしたときは、本機を再起動する必要があります。



暗証番号の入力画面が表示されたら、テンキーで暗証番号を入力して **OK** を押します。**システム管理暗証番号を設定する(P. 240)**



OK ▶ <システム管理設定> ▶ **OK** ▶ <全データ/設定の初期化> ▶ **OK** ▶ <はい>
▶ **OK** ▶ <はい> ▶ **OK** ▶ 本機を再起動

保守サービスや無償保証について

14EH-090

ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

ご愛用いただくレーザー複合機向けに、保守サービスをパッケージ化した「キヤノンサービスパック（CSP）」と契約型の保守サービス制度「キヤノン・ケア・ギャランティ（CCG）」を用意しています。「キヤノンサービスパック（CSP）」や「キヤノン・ケア・ギャランティ（CCG）」は、電話による障害の解決支援や設置先での修理対応、安定した運用稼動のための定期点検（CCGのみ）を実施します。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願いいたします。

- キヤノンサービスパック（CSP）(P. 408)
- キヤノン・ケア・ギャランティ（CCG）(P. 410)
- 無償保証について(P. 411)

キヤノンサービスパック（CSP）

14EH-091

キヤノンサービスパック（以下 CSP）は、万一故障した場合の訪問料、作業料、部品代がパッケージ化された保守サービス商品です。無償保証期間を含めた複数年パック（3 年、4 年、5 年）、または保証期間後の 1 年パックから選択することができます。

CSP のメリット

安心 1：予期せぬ出費を防ぐ

修理復旧作業にかかる費用は CSP の料金に含まれているため、部品代やその交換にかかる費用は発生しません。あらかじめ保守料金を予算化でき、予期せぬ出費を防ぐことができます。

安心 2：安心の技術力

キヤノン認定のカスタマーエンジニアがお客様先へ訪問し、機器の診断から修理作業まできめ細やかなサービスを提供します。お客様に部品の交換作業をお願いすることはありません。

安心 3：コールセンターの的確な対応

CSP は保守専用のコールセンターで障害の内容を承ります。障害の内容に応じて復旧方法のアドバイスやサービス実施店への修理手配などの的確な対応を行います。

修理受付時間：月～金曜日 9:00～17:30

- ご連絡先の電話番号はお客様 ID シールに記載しております。
- 祝祭日、年末年始等のキヤノンマーケティングジャパンが指定する休日を除きます。

安心 4：簡単購入、簡単登録

CSP はパッケージ化された商品のため簡単に購入することができます。
また、契約書による契約手続きは不要で、CSP 購入後の保守登録は WEB、FAX、郵送で申請できます。

安心 5：時間外サービス

土日や夜間など、サービス実施時間を延長することができます。

- 別途追加契約が必要になります。
- 条件によっては契約をお受けできない場合があります。

購入時の注意

購入タイミング

CSP スタンダードは対象製品の販売と同時にご購入ください。
CSP 保証延長は、無償保証期間経過後に CSP 保証延長を付ける場合、無償保証期間が終了する 3 ヶ月前から終了日までにご購入ください。CSP スタンダード 3 年、4 年パックの保守期間経過後に CSP を付ける場合は、保守期間が終了する 3 ヶ月前から保守終了日までにご購入ください。

サービス提供可能期間

CSP のサービス提供可能期間は延長期間を含め、対象製品お買い上げより 5 年間です。

CSP の登録期間

CSP のご購入後お早めにご登録ください。

購入後の注意

1. 下記の事由による対象製品の故障または損傷については、CSP の対象外とさせていただきます。

- 対象製品取り扱い上の不注意または誤用
- 火災、天災地変等の不可抗力、その他キヤノン MJ またはサービス実施店の責によらざる事由
- キヤノン MJ 指定以外の製品、部品、付属品、消耗品（キヤノン MJ の定める規格に適合しない用紙や再生品のカートリッジ等）の使用
- キヤノン MJ またはサービス実施店以外の者が実施した改造、修理、分解、加工、設置、輸送、移動
- 電氣的ノイズ、公衆回線障害、その他外的要因
- 対象製品のフレーム・外装部の変形
- 対象製品に接続された PC 等に起因する事由、及び PC 等を接続するソフトウェアに起因する事由

2. 前項の他、下記の作業についても本サービスの対象外とさせていただきます。

- 対象製品の移動及び撤去作業
- 対象製品のオーバーホール及び改造作業
- あらゆる情報・データ等に対するバックアップ、データ退避等の防護処置

キヤノン・ケア・ギャランティ（CCG）

14EH-092

キヤノン・ケア・ギャランティ（以下 CCG）は、無償保証期間後にいつでも締結可能（*1）な年間契約型の保守サービス制度で、万一故障した場合の訪問料、作業料、部品代が含まれています。

*1 ご契約を申し込まれる機器が正常に稼働していない場合は、ご契約できません。

キヤノン保守契約制度のメリット

安心 1：予期せぬ出費を防ぐ

修理復旧作業にかかる費用は CCG の料金に含まれているため、部品代やその交換にかかる費用は発生しません。あらかじめ保守料金を予算化でき、予期せぬ出費を防ぐことができます。

安心 2：安心の技術力

キヤノン認定のカスタマーエンジニアがお客様先へ訪問し、機器の診断から修理作業まできめ細やかなサービスを提供します。お客様に部品の交換作業をお願いすることはありません。

安心 3：保守内容のカスタマイズ

保守料金の支払い方法（一括払い／月払い）や契約の自動更新、点検作業の追加など、お客様のご要望に合わせて契約内容をカスタマイズすることが可能です。（*2）

安心 4：時間外サービス

土日や夜間など、サービス実施時間を延長することができます。（*2）

- 別途追加契約が必要になります。

*2 条件によっては契約をお受けできない場合があります。

購入後の注意

1. 下記の事由による対象製品の故障または損傷については、CCG の対象外とさせていただきます。

- 対象製品取り扱い上の不注意または誤用
- 火災、天災地変等の不可抗力、その他キヤノン MJ またはサービス実施店の責によらざる事由
- キヤノン MJ 指定以外の製品、部品、付属品、消耗品（キヤノン MJ の定める規格に適合しない用紙や再生品のカートリッジ等）の使用
- キヤノン MJ またはサービス実施店以外の者が実施した改造、修理、分解、加工、設置、輸送・移動
- 電氣的ノイズ、公衆回線障害、その他外的要因

2. 前項の他、下記の作業についても本サービスの対象外とさせていただきます。

- 対象製品の移動及び撤去作業
- 対象製品のオーバーホール及び改造作業

無償保証について

14EH-093

弊社の機器登録用ウェブサイトにお客様が機器情報をご登録いただくことで、お買い上げ日から1年間無償保証サービスを提供いたします。

下記ホームページからご登録をお願いいたします。

canon.jp/biz-regists

ご登録後に保証書を電子発行（ウェブサイトでの閲覧および印刷）いたしますので、印刷の上、大切に保管願います。

無償保証の保守サービスをお受けになるためには、ご登録後に電子発行される保証書、お買い上げ日が確認できる書面（納品書、領収書など）をあわせて、お買い上げ販売店またはサービス実施店にご提示ください。

付録

付録	413
第三者のソフトウェアについて	414
節約してエコロジー	415
効率アップの使いこなし術	418
紙の文書をスッキリ電子化	420
まだあるこんな使い方	422
おもな仕様	425
本体の仕様	426
無線 LAN の仕様	428
原稿について	429
読み取り範囲	430
用紙について	431
コピーについて	433
スキャンについて	434
プリントについて	435
消耗品	436
本機に付属するマニュアル	437
ユーザズガイドの使いかた	438
ユーザズガイドの画面構成	439
ユーザズガイドの読みかた	443
その他	444
Windows の基本操作	445
メニュールートマップ	453
おことわり	454

付録

14EH-075

本機の仕様、ユーザズガイドの使いかた、免責事項や著作権など、お客様に知っておいていただきたい情報を記載しています。必要に応じてお読みください。

第三者のソフトウェアについて

14EH-094

第三者のソフトウェアに関する情報を知りたいときは、次のアイコンをクリックしてください。



節約してエコロジー

14EH-076



GREEN NAVI

エコなオフィスを実現するキヤノン製品の活用方法や、新旧製品のエコ効果が比較できます。

01



両面印刷で用紙枚数を半分に (MF244dw / MF242dw)

01



コピーだけでなく、パソコンからの印刷にも両面機能が使えます。大量印刷はもちろん、数ページの少量印刷でも両面機能で積極的に用紙を節約してください。[用紙節約コピー] キーを使えば、複数の原稿を 1 ページに並べて印刷する「集約コピー」と組み合わせることも可能。最大 8 ページ分の原稿が 1 枚にまとめられ大変エコロジーです。



- 用紙の両面にコピーするには ▶ **両面にコピーする** (MF244dw / MF242dw) (P. 81)
- 用紙を節約してコピーするには ▶ **【用紙節約コピー】** キーを使う (MF244dw / MF242dw) (P. 85)
- パソコンから両面印刷するには ▶ **両面に印刷する** (MF244dw / MF242dw) (P. 106)

02



複数原稿を用紙 1 枚にまとめて印刷

02



オフィスに積み重ねられたファイルの山。探すのにも一苦労です。そんなときにはこの機能を使ってスッキリさせましょう。1 枚の用紙に複数の原稿をまとめて縮小印刷でき、資料のスリム化にはうってつけです。両面印刷とあわせて使えばさらに効果的！「整理整頓」と「用紙節約」を同時に実現できます。



- 複数枚の原稿を用紙 1 枚にコピーするには **🔴 複数の原稿を 1 枚の用紙にコピーする (集約コピー) (P. 83)**
- 用紙を節約してコピーするには **🔴 [用紙節約コピー] キーを使う (MF244dw / MF242dw) (P. 85)**
- パソコンから複数ページを用紙 1 枚に印刷するには **🔴 複数ページを 1 枚の用紙に印刷する (P. 110)**

03



節電モードでエコロジー

03



操作時以外は徹底して消費電力を抑える「スリープモード」。一定時間使わないでいると、電源を切ることなく最低限の電力消費に抑えこめます。必要なときはスピーディに立ち上がり、ストレスを感じさせません。また、操作パネルのボタンを使えばお好みのタイミングでこまめな節電も可能。見えないところでコストダウン＆省エネのお手伝いをします。



詳細については **🔴 スリープモードにする (P. 66)**

04



トナーを節約して印刷

04



下書きや試し印刷なら「トナー節約モード」を使って消費量を抑えましょう。「社内文書は品質にはこだわらないから節約モード」、「写真はきれいに印刷したいから通常印刷」といった目的別の使いかたができます。



詳細については  トナー消費量を節約する(P. 123)

効率アップの使いこなし術

14EH-077

01



複数の操作をワンタッチで

01



ショートカットキーを上手に使って毎日の作業をスピードアップさせましょう。たとえば、[用紙節約コピー] キーひとつで「両面コピー」と「集約コピー」を同時に行えます。また、スキャンするときに [スキャン→PC] キーを使えば、読み込み形式やデータの保存先をそのつど設定する必要はありません。原稿をセットしてボタンを押す。それだけで OK です。



- 用紙を節約してコピーするには ▶ [用紙節約コピー] キーを使う (MF244dw / MF242dw) (P. 85)
- かんたん操作のスキャンをするには ▶ [スキャン→PC] キーを使ってスキャンする (P. 141)

02

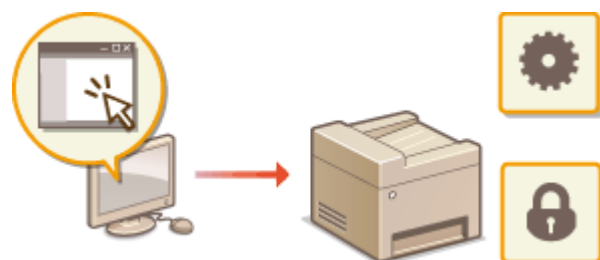


デスクにしながら本機を設定

02



デスクのパソコンから本機を遠隔管理できます。用紙やトナーの残量を確認できるだけでなく、セキュリティなど各種設定もキーボードを使ってラクラクこなせます。手間を省いて、時間を節約しましょう。



詳細については [▶リモート UI を使う\(P. 282\)](#)

03

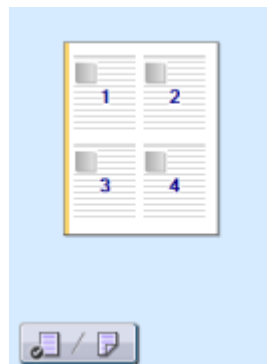


直感的な操作ですばやく印刷設定

03



プリンタードライバーのプレビューイメージ上の直感的な操作で、ページレイアウト、とじ方向や片面・両面の切り替えなどが容易に設定できます。かんたんなクリック操作でイメージをつかみながら設定できるので便利です。



詳細については [▶印刷する\(P. 94\)](#)

紙の文書をスッキリ電子化

14EH-078

01



気になる部分をスキャン

01



新聞や雑誌で気になる部分を、ハサミで切り取る感覚でそこだけスキャン。切り取り範囲はプレビュー画面で指定でき、出力サイズや画像調整も自由自在！編集ソフトを使わずにスピーディに電子化できます。



● ご注意

- 新聞や雑誌など、他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。



詳細については  **ScanGear MF** でスキャン設定する(P. 148)

02



サーチャブル PDF でラクラク検索

02



文字検索可能な PDF、それが「サーチャブル PDF^{*}」です。文字と画像が混在した原稿をスキャンすると、文字部分が OCR によってテキストデータに。文字情報の検索はもちろん、必要な部分をコピーして Microsoft Office の Excel や Word にペーストすることができます。顧客データや住所録などを一からタイピングする必要もなくなります。

^{*} Mac OS 環境では、サーチャブル PDF ファイルを作成することはできません。



パソコンからの操作でスキャンする時の詳細については [▶パソコンからスキャンする\(P. 145\)](#)

03



作成中の文書に直接画像を追加

03



パソコンで作成中の文書に、スキャン画像を直接取り込むことができます。スキャンのために別のアプリケーションを起動する必要はありません。使用しているアプリケーションでさっとスキャンしてパッと取り込み。画像を取り込んだら、そのまま元の作業に戻れます。



詳細については [▶アプリケーションでスキャンする\(P. 146\)](#)

まだあるこんな使い方

14EH-079

01



スマートフォン／タブレットを活用

01



タブレットを使って出張の移動時間に仕上げた企画書をすぐに印刷したい！スマートフォンに会議で配布された資料を取り込みたい！そんなときは、Canon PRINT Business や Canon Print Service を使うと便利です。また、無線 LAN ルーターのない環境でもモバイル機器から無線で直接本機に接続することもできます。

PC レス、迅速、簡単！スピード時代に相応しい機能が仕事や趣味をいっそう充実させます。



詳細については [モバイル機器と便利に連携\(P. 150\)](#)

02



Google Cloud Print でどこでも手元から印刷

02



出張中、タブレットを使って車中で仕上げた企画書。取材の合間にスマートフォンで撮影した写真。Google Cloud Print を使えば、離れた場所からでもオフィスや自宅にある本機で印刷できます。



詳細については [Google Cloud Print を使う \(P. 167\)](#)

03



無線 LAN でケーブルレス接続

03



ケーブルを使わず無線でパソコンと接続できるので、オフィスはスッキリ。狭いスペースはもちろんのこと、洗練された見映えの店舗でも設置場所に困りません。むずかしそうな接続設定もボタン操作でかんたんに完了。初めての方でも心配ありません。



詳細については [無線 LAN に接続する \(P. 178\)](#)

04



ポスターをつくろう

04



作成したデザインを何枚かの用紙にまたがって拡大印刷し、それをパズルのように貼り合わせると大きなポスターに。開店ポスターや学園祭の横断幕など、人目を惹く宣伝ツールの制作に最適です。



詳細については [ポスターを印刷する \(P. 112\)](#)

05



お客さまへの資料を冊子仕立てに (MF244dw / MF242dw)

05



商談用の資料やカタログは見映えが大切。見開きで見やすい冊子形式で印刷してみましょう。ページの割り付けや、右開き/左開きなども自由自在。簡単な操作でインパクトあるセールスツールを作ることができます。



詳細については [▶小冊子を作る（製本印刷）](#)（MF244dw / MF242dw）(P. 114)

おもな仕様

14EH-07A

本機は予告なく改良、変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

本機の情報は、キヤノン Satera ホームページ (canon.jp/satera-mfp) でもご確認いただけます。

- ▶ 本体の仕様(P. 426)
- ▶ 無線 LAN の仕様(P. 428)
- ▶ 原稿について(P. 429)
- ▶ 読み取り範囲(P. 430)
- ▶ 用紙について(P. 431)
- ▶ コピーについて(P. 433)
- ▶ スキャンについて(P. 434)
- ▶ プリントについて(P. 435)

本体の仕様

14EH-07C

形式	パーソナルデスクトップ
電源 ^{*1}	100 V 50/60 Hz
消費電力	最大 - MF244dw / MF242dw 840 W 以下 - MF232w 800 W 以下 待機時 約 3.8 W スリープモード時 - MF244dw / MF242dw 約 1.4 W (USB) 約 1.7 W (有線) 約 2.2 W (無線) - MF232w 約 1.4 W (USB) 約 1.4 W (有線) 約 1.7 W (無線) 電源スイッチ切断時 0.5 W 以下
エネルギー消費効率 ^{*2}	- MF244dw / MF242dw 44 kWh/年 (区分名：複合機 C) - MF232w 37 kWh/年 (区分名：複合機 C)
ウォームアップタイム ^{*3} (電源オンから本機がスタンバイになるまでの時間)	13.5 秒以下
質量 ^{*4}	- MF244dw 約 12.7 kg - MF242dw 約 11.4 kg - MF232w 約 10.8 kg
大きさ (幅×奥行×高さ)	- MF244dw 390 mm x 371 mm x 360 mm - MF242dw / MF232w 390 mm x 371 mm x 312 mm
使用環境	温度：10℃～30℃ 湿度：20～80% (相対湿度・結露しないこと)

^{*1} 定格銘版ラベルに表示されている電流値は、平均消費電流です。

^{*2} 省エネ法 (平成 25 年 3 月 1 日付) で定められた測定方法による数値

^{*3} 本機の使用状況や環境によって異なることがあります。

^{*4} トナーカートリッジを含む本体の質量です。

^{*5} 各バイスタンダ位置の放射音圧レベルが、ISO7779 の暗騒音に関する絶対規準以下であることを意味します。

ホストインターフェイス	100BASE-TX 10BASE-T Hi-Speed USB IEEE 802.11 b/g/n（インフラストラクチャーモード）
稼働音 (ISO7779 に基づき測定、ISO9296 に基づく表示騒音放射値)	LwAd（表示 A 特性音響パワーレベル（1 B = 10 dB）） - MF244dw スタンバイ時：無騒音 ^{*5} プリント時：6.6 B 以下（片面） プリント時：6.6 B 以下（両面） - MF242dw スタンバイ時：無騒音 ^{*5} プリント時：6.6 B 以下（片面） プリント時：6.7 B 以下（両面） - MF232w スタンバイ時：無騒音 ^{*5} プリント時：6.6 B 以下（片面） LpAm（表示 A 特性放射音圧レベル（バイスタンダ位置）） - MF244dw / MF242dw スタンバイ時：無騒音 ^{*5} プリント時：約 51 dB（片面） プリント時：約 52 dB（両面） - MF232w スタンバイ時：無騒音 ^{*5} プリント時：約 51 dB（片面）
使用可能な原稿	🔴使用可能な原稿について(P. 429)
使用可能な用紙	🔴用紙について(P. 431)
印刷範囲	🔴印刷範囲(P. 432)
読み取り範囲	🔴読み取り範囲(P. 430)

^{*1} 定格銘版ラベルに表示されている電流値は、平均消費電流です。

^{*2} 省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値

^{*3} 本機の使用状況や環境によって異なることがあります。

^{*4} トナーカートリッジを含む本体の質量です。

^{*5} 各バイスタンダ位置の放射音圧レベルが、ISO7779 の暗騒音に関する絶対規準以下であることを意味します。

無線 LAN の仕様

14EH-07E

規格	IEEE 802.11g、IEEE 802.11b、IEEE 802.11n
周波数範囲	2,412～2,472 MHz
通信モード	インフラストラクチャーモード／アクセスポイントモード
セキュリティ	インフラストラクチャーモード時 WEP、WPA-PSK (TKIP/AES-CCMP)、WPA2-PSK (TKIP/AES-CCMP) アクセスポイントモード時 WPA2-PSK (AES-CCMP)
設定方法	らくらく無線スタート、AOSS、WPS (Wi-Fi Protected Setup)、手動設定

原稿について

14EH-07F

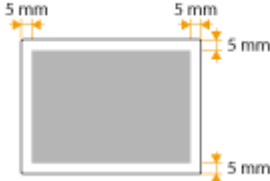
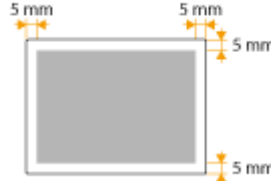
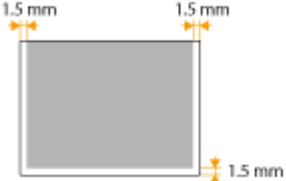
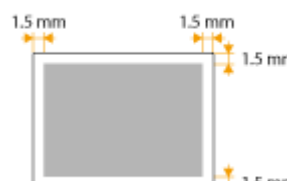
■使用可能な原稿について

	原稿台ガラス	フィーダー (MF244dw)
サイズ (幅×長さ)	最大 216 × 297 mm	最大 216 mm × 356 mm 最小 148 mm × 105 mm
質量／坪量	—	50～105 g/m ²
積載枚数	1 枚	最大 35 枚 (A4、80 g/m ²)

読み取り範囲

14EH-07H

下表のグレーで示した部分が原稿の読み取り範囲です。グレー部分に原稿内の文字や画像が収まっていることを確認してください。なお、原稿の読み取り範囲はお使いになる機能や、原稿をどこにセットしたのか（フィーダー／原稿台ガラス）によって異なります。

	原稿台ガラス	フィーダー（MF244dw）
コピー	  MEMO 読み込まれる範囲と、実際にコピーされる範囲が異なることがあります。▶印刷範囲(P. 432)	  MEMO 読み込まれる範囲と、実際にコピーされる範囲が異なることがあります。▶印刷範囲(P. 432)
スキャン		

用紙について

14EH-07J

■使用可能な用紙サイズ

給紙カセット、手差し給紙口で使用できる用紙サイズは以下のとおりです。

A4 (210 × 297 mm) *¹
 B5 (182 × 257 mm)
 A5 (148 × 210 mm)
 リーガル (216 × 356 mm) *¹
 レター (216 × 279 mm) *¹
 ステートメント (140 × 216 mm)
 エグゼクティブ (184 × 267 mm)
 Oficio (216 × 318 mm) *¹
 Oficio (Brazil) (216 × 355 mm) *¹
 Oficio (Mexico) (216 × 341 mm) *¹
 Letter (Government) (203 × 267 mm)
 Legal (Government) (203 × 330 mm)
 Legal (India) (215 × 345 mm) *¹
 Foolscap (216 × 330 mm) *¹
 Foolscap (Australia) (206 × 338 mm)
 F4A (216 × 343 mm) *¹
 はがき (100 × 148 mm)
 往復はがき (148 × 200 mm)
 4 面はがき (200 × 296 mm)
 封筒 長形 3 号 (120 × 235 mm)
 封筒 洋形長 3 号 (235 × 120 mm)
 ユーザー設定サイズ*²

*¹ MF244dw / MF242dw のみ、自動両面印刷が可能です（用紙をセットしなおすことなく、自動で両面に印刷されます）。

*² 給紙カセットには幅 76.2～216.0 mm 長さ 148.0～356.0 mm、手差し給紙口には幅 76.2～216.0 mm 長さ 127.0～356.0 mm のユーザー設定用紙をセットすることができます。



お買い上げ時、本機用の紙サイズは A4 に設定されています。別のサイズの用紙を使用するときは、用紙サイズの設定を変更してください。

🔴 **用紙サイズと種類を設定する (P. 60)**

■用紙の種類と積載可能枚数

本機は、非塩素用紙を使用できます。

用紙の種類		積載枚数 (給紙カセット)	積載枚数 (手差し給紙口)
普通紙 ^{*1}	60 ～ 80 g/m ²	250 枚	1 枚
	81 ～ 89 g/m ²	170 枚	1 枚
厚紙 ^{*2}	90 ～ 105 g/m ²	170 枚	1 枚
	106 ～ 163 g/m ²	100 枚	1 枚
再生紙 ^{*1}	60 ～ 80 g/m ²	250 枚	1 枚
	81 ～ 89 g/m ²	170 枚	1 枚
色紙 ^{*1}	60 ～ 80 g/m ²	250 枚	1 枚
	81 ～ 89 g/m ²	170 枚	1 枚
ボンド紙 ^{*3}	60 ～ 163 g/m ²	100 枚	1 枚
ラベル紙		100 枚	1 枚
はがき ^{*4} 、往復はがき ^{*4} 、4 面はがき ^{*4}		20 枚	1 枚
封筒		20 枚	1 枚

^{*1} MF244dw / MF242dw のみ、自動両面印刷が可能です（用紙をセットしなおすことなく、自動で両面に印刷されます）。

^{*2} MF244dw / MF242dw のみ、厚紙 1（90～120g/m²）は自動両面印刷が可能です。

^{*3} MF244dw / MF242dw のみ、ボンド紙 1（60～90g/m²）、ボンド紙 2（90～120g/m²）は自動両面印刷が可能です。

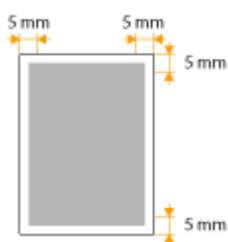
^{*4} インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがき、4 面はがきを使用することはできません。

■用紙の種類と用紙設定

●用紙をセットする(P. 44)

■印刷範囲

グレーで示した部分が印刷範囲です。封筒の場合は余白が上下左右とも 10mm です。



コピーについて

14EH-07K

読み取り解像度	文字/写真（高速コピー） 300 × 600 dpi 文字/写真、写真、文字 600 × 600 dpi
出力解像度	600 × 600 dpi
コピー倍率	等倍：1:1±1.0% 拡大：400%（最大）、200%、141%（A5→A4）、122%（A5→B5）、115%（B5→A4） 縮小：86%（A4→B5）、81%（B5→A5）、70%（A4→A5）、50%、25%（最小） ズーム：25～400%（1%刻み）
コピー速度 ^{*1} （A4 普通紙等倍）	- MF244dw / MF242dw 27 枚／分 - MF232w 23 枚／分
連続コピー枚数	最大 999 部
ファーストコピータイム（A4）	原稿台ガラス 9 秒以下 フィーダー^{*2} 14 秒以下

^{*1} A4、普通紙、片面に、同一データを連続コピーした場合の速度です。出力解像度・はがきや小さいサイズ用の紙など、用紙の種類・サイズ・送り方向の設定により、コピー速度が低下します。また連続コピー時に、本体の温度調整や画質調整のため動作が休止または遅くなる場合があります。

^{*2} MF244dw のみ。

スキャンについて

14EH-07L

形式	カラーキャナー
最大読み取り原稿サイズ	原稿台ガラス：216 × 297 mm フィーダー ^{*1} ：216 × 356 mm
読み取り解像度	光学解像度 原稿台ガラス：600 × 600 dpi フィーダー ^{*1} ：300 × 300 dpi ソフトウェア補間解像度 9,600 × 9,600 dpi
原稿読み取り速度 ^{*2} (A4、300 × 300 dpi)	カラー：約 4 秒／枚 白黒：約 3 秒／枚
ドライバー	TWAIN WIA 2.0 ICA

^{*1} MF244dw のみ。

^{*2} 原稿台ガラスから読み取った場合の速度です。通信時間は含みません。

プリントについて

14EH-07R

排紙トレイ積載枚数 ^{*1} (A4、開封直後の用紙)	約 100 枚 (68 g/m ²)
プリント速度 ^{*2} (A4 普通紙等倍)	- MF244dw / MF242dw 27 枚／分 - MF232w 23 枚／分
ファーストプリントタイム ^{*3} (A4)	6 秒以下
プリント解像度	600 × 600 dpi (1200 dpi 相当 × 1200 dpi 相当)
階調	256 階調
トナーカートリッジ	 消耗品(P. 436)

^{*1} 設置環境や使用する用紙の種類によって異なることがあります。

^{*2} A4、普通紙、片面に、同一データを連続プリントした場合の速度です。出力解像度・はがきや小さいサイズの内紙など、用紙の種類・サイズ・送り方向の設定により、プリント速度が低下します。また連続プリント時に、本体の温度調整や画質調整のため動作が休止または遅くなる場合があります。

^{*3} 出力環境によって異なる場合があります。

消耗品

14EH-07S

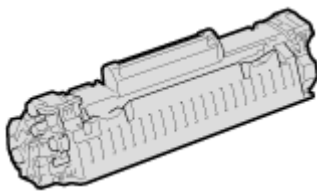
本機の消耗品やその交換目安について説明します。消耗品は、本機をお買い上げの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。消耗品のお取り扱いおよび保管に際しては、注意事項をお守りください（[▶消耗品について\(P. 10\)](#)）。

最適な印刷品位のため、交換用トナー、カートリッジ及びパーツは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします。



- 本機の設置環境や印刷する用紙サイズ、原稿の種類によって、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。
- 交換用トナーカートリッジは付属のスタートートナーカートリッジとは別のもので、印刷可能枚数も異なります。

■ トナーカートリッジ



付属のスタートートナーカートリッジ

付属のトナーカートリッジの平均印字可能枚数*は、1,700 枚です。

* 国際標準化機構（International Organization for Standardization）により発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準（ISO/IEC 19752）に準拠し、A4 サイズの普通紙を使用、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合の枚数です。

交換用のトナーカートリッジ

最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。

キヤノン純正トナーカートリッジ	平均印字可能枚数*
Canon Cartridge 337 (キヤノン トナーカートリッジ 337)	2,400 枚



トナーカートリッジを交換するとき [▶トナーカートリッジを交換する\(P. 396\)](#)



関連項目

[▶トナーカートリッジの交換\(P. 391\)](#)

本機に付属するマニュアル

14EH-07U

本機には、次のマニュアルが付属されています。目的と用途に合わせてお使いください。

かんたん設置ガイド		はじめにこのマニュアルをお読みください。箱を開けて梱包材を取り外す作業から、本機を使用できる状態にするまでの設定を説明しています。
かんたん操作ガイド		基本的な操作について、わかりやすく説明しています。
ユーザーズガイド（本マニュアル）		ウェブブラウザを使って閲覧するマニュアルで、本機のすべての機能を説明しています。使用目的から調べたり、キーワードを入力して目的のページを検索したりできます。▶ ユーザーズガイドの使いかた(P. 438)

ユーザーズガイドの使いかた

14EH-095

ユーザーズガイドはパソコンやスマートフォンなどで見る取扱説明書です。

探したい内容を見つける

次の 2 つの方法で目的のページを探することができます。

もくじから探す

画面左に配置されている「もくじ」から項目を選ぶことで目的のページを探します。

▶ トップページ(P. 439)

▶ 本文ページ(P. 441)

検索して探す

「コピー」、「無線 LAN」のようなキーワードを入力して検索すると、それを含むページが候補として表示されますので、その中から目的のページを探します。「ネットワークに接続」のような文章をキーワードとすることもできます。また、複数のキーワードをスペース（空白）で区切る AND 検索にも対応しています。

▶ 検索(P. 442)



システム要件

- PDF 形式のマニュアルを見るとき、Adobe Reader が使用できない場合は、Vivid Document Imaging Technologies 社製の PDF Preview などをお使いください。

ユーザーズガイドの画面構成

14EH-096

ユーザーズガイドはいくつかの画面に分かれていて、それぞれ内容が異なります。

トップページ

ユーザーズガイドを起動すると最初に表示されるページです。



a もくじ

章のタイトルが表示されています。

b + / -

+ をクリックすると、項目の下にある項目も含めて全項目が表示されます。 - をクリックすると元の表示に戻ります。

c ≡ / 🔍

もくじと検索表示を切り替えることができます。



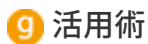
文字サイズやレイアウトなど、ユーザーズガイドの表示方法を設定できます。



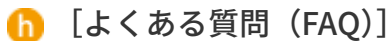
ユーザーズガイドの見かたや検索のしかたなどが記載されています。



クリックすると、前後のページを表示します。



本機を使った便利な活用例が記載されています。 **1** / **2** / **3** / **4** をクリックすると、活用例の表示が切り替わり、表示エリアをクリックすると活用例の詳細が表示されます。表示エリアにポインタを移動すると、スライド表示はいったん停止します。 **▶活用例(P. 440)**



トラブルの解決方法が記載されています。



本機の使用にあたり、注意していただきたいことが記載されています。

活用例

本機を使ったさまざまな活用例が掲載されているページです。





🔍 をクリックするとウィンドウが広がり、内容が表示されます。✖ をクリックするとウィンドウが閉じます。



クリックすると、本文ページが表示されます。

本文ページ

機能の使いかたや設定方法が説明されています。



a ナビゲーション

どの章のどの項目を見ているのかを確認することができます。



🔍 をクリックすると隠れていた詳細説明が表示されます。✖ をクリックすると表示が閉じます。



クリックすると、該当するページにジャンプします。元に戻るときは Web ブラウザーの「戻る」ボタンをクリックします。



現在表示しているページの先頭に戻ります。

検索

 をクリックすると検索画面が表示されます。キーワード検索を利用して目的のページを探すときに使います。



a [キーワードを入力]

キーワードを入力して  をクリックすると、検索結果が表示されます。複数のキーワードをスペース（空白）で区切ると、すべてのキーワードを含むページが検索できます。また、キーワードをダブルクォーテーションで囲むと完全に一致するページのみを検索できます。

b 検索結果

指定したキーワードを含むすべてのページが表示されますので、この中から目的のページを探し、項目名をクリックします。



- 指定したキーワードは、検索結果に太字で表示されます。

ユーザーズガイドの読みかた

14EH-097

マークについて

安全上のご注意、取り扱い上の制限／注意、知っておくと便利なこと、などにはマークがついています。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



ご注意

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。



MEMO

操作の参考となることや補足説明が書かれています。



便利な機能

知っておくと便利な機能や、使いかたのヒントなどを記載しています。

キーについて

操作パネル上のキーやパソコン画面上のボタンなどを次のように表記しています。

種類	ユーザーズガイドでの表記例
操作パネル上のキー	 
操作パネル上のディスプレイ	<タイマー設定> <宛先を指定してください>
パソコン画面上のボタンなど	[詳細設定]

画面について

ユーザーズガイドで使われている画面は特に断りがない限り MF244dw のものを掲載しています。お使いの OS によっては、掲載している画面内容と一部異なる場合があります。また、ドライバーやソフトウェアはバージョンアップによって画面内容が変更されている場合があります。

イラストについて

ユーザーズガイドで使われているイラストは特に断りがない限り MF244dw のものを掲載しています。ただし、機種によって違いがある場合は複数掲載し、「MFXXXX / MFXXXX」のように機種名も表示しています。

その他

14EH-083

Windows の基本操作、免責事項や著作権などについて記載しています。また、設定メニューを一覧形式でまとめたメニュールートマップ（PDF ファイル）もここから表示できます。

Windows の基本操作

14EH-098

- ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 445)
- ▶ [ネットワーク探索] を有効にする(P. 445)
- ▶ プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法(P. 446)
- ▶ [ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面の表示方法(P. 447)
- ▶ Windows のテストページの印刷方法(P. 447)
- ▶ プロセッサバージョンの確認方法(P. 448)
- ▶ コンピューター名の確認方法(P. 449)
- ▶ プリンターポートの確認方法(P. 450)
- ▶ 双方向通信の確認方法(P. 451)
- ▶ パソコンが接続している SSID を確認する(P. 452)

■ プリンターフォルダーの表示方法

Windows Vista

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [プリンタ] をクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2

[スタート] ▶ [デバイスとプリンター] を選びます。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [デバイスとプリンターの表示] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [デバイスとプリンターの表示] を選びます。

Windows 10

[

Windows Server 2003

[スタート] ▶ [プリンタと FAX] を選びます。

Windows Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [プリンタ] をダブルクリックします。

■ [ネットワーク探索] を有効にする

Windows Vista/7/8/10/Server 2008/Server 2012 をお使いの場合に、ネットワーク上のパソコンを確認するときは、[ネットワーク探索] を有効に設定してください。

Windows Vista

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 7/Server 2008 R2

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 10

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] を選ぶ ▶ [ネットワークと共有センター] をダブルクリック ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

■ プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法

1 エクスプローラーを表示する

Windows Vista/7/Server 2003/Server 2008

[スタート] ▶ [すべてのプログラム] または [プログラム] ▶ [アクセサリ] ▶ [エクスプローラー] を選びます。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [エクスプローラー] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

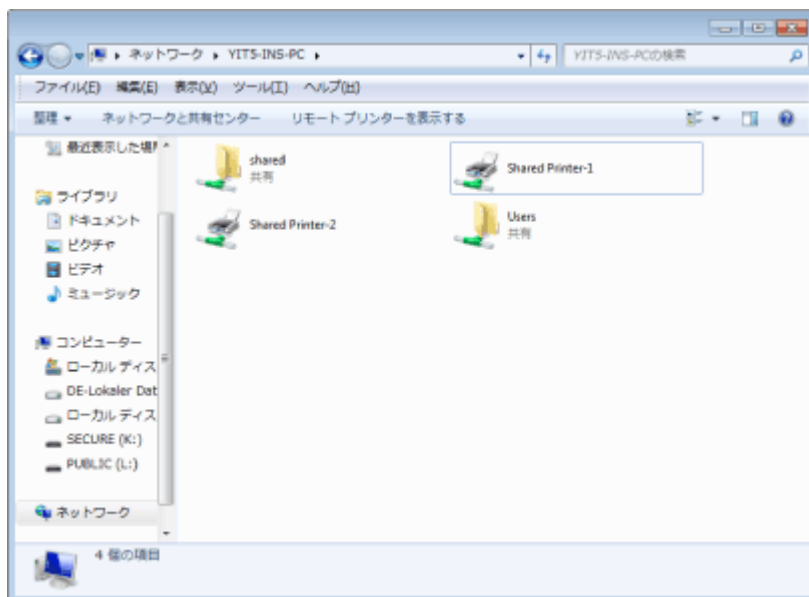
[スタート] を右クリック ▶ [エクスプローラー] を選びます。

Windows 10

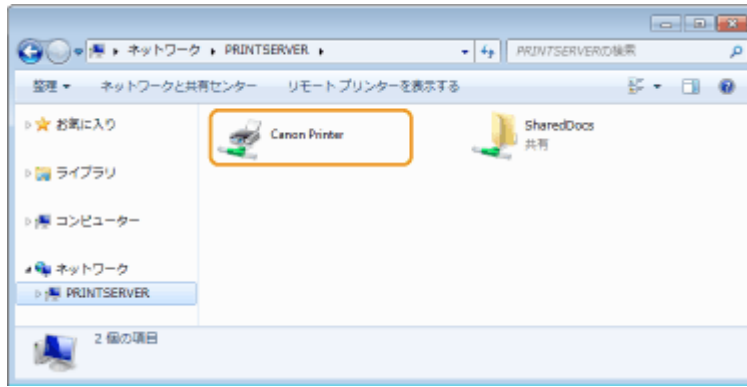
[スタート] ▶ [エクスプローラー] を選びます。

2 [ネットワーク] または [マイネットワーク] からプリントサーバーを選ぶ

- ネットワーク上のパソコンを確認するには、ネットワーク探索を有効にしたり、ネットワーク上でパソコンを検索したりする必要がある場合があります。



⇒ 共有プリンターが表示されます。



■ [ソフトウェア/マニュアルセットアップ] 画面の表示方法

DVD-ROM をセットしても、[ソフトウェア/マニュアルセットアップ] 画面が表示されないときは、次の操作を行ってください。ここでは DVD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。DVD-ROM ドライブ名は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [プログラムとファイルの検索] または [検索の開始] に「D:\MInst.exe」と入力 ▶ キーボードの [ENTER] キーを押します。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [ファイル名を指定して実行] ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ [OK] をクリックします。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [ファイル名を指定して実行] ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ [OK] をクリックします。

Windows 10

[Web と Windows を検索] ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ 検索結果に表示された [D:\MInst.exe] をクリックします。

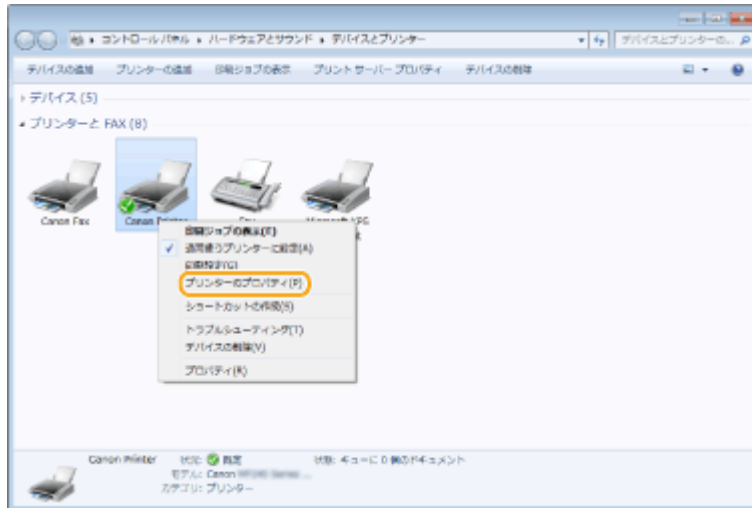
Windows Server 2003

[スタート] ▶ [ファイル名を指定して実行] ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ [OK] をクリックします。

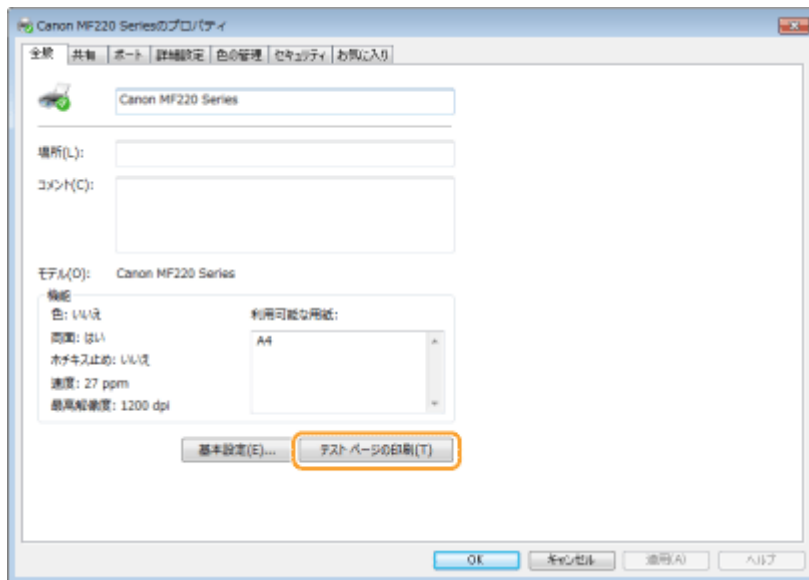
■ Windows のテストページの印刷方法

Windows のテストページを印刷して、プリンタードライバの動作を確認することができます。

- 1** 手差しトレイに、A4 サイズの用紙をセットする ▶ 手差し給紙口にセットする(P. 51)
- 2** プリンターフォルダーを表示する ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 445)
- 3** 本機のプリンタードライバのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



4 [全般] タブで [テストページの印刷] をクリックする



⇒ テストページが印刷されます。

■ プロセッサバージョンの確認方法

お使いの Windows が、32 ビット版か 64 ビット版かわからない場合は、次の手順で確認することができます。

1 [コントロールパネル] を表示する

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 10

手順 2 へ進んでください。

2 [システム] を表示する

Windows Vista/7/8/Server 2008 R2/Server 2012

[システムとメンテナンス] または [システムとセキュリティ] ▶ [システム] をクリックします。

Windows 10

[設定] ▶ [システム] ▶ [バージョン情報] を選びます。

Windows Server 2008

[システム] をダブルクリックします。

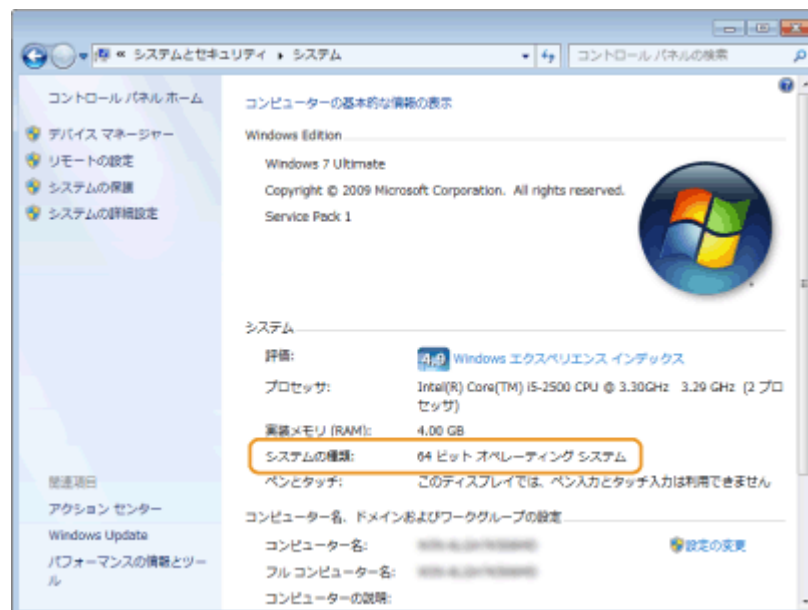
3 プロセッサバージョンを確認する

32 ビット版のとき

[32 ビットオペレーティングシステム] と表示されます。

64 ビット版のとき

[64 ビットオペレーティングシステム] と表示されます。



■ コンピューター名の確認方法

Windows Vista/7/8/10/Server 2008/Server 2012

1 [コントロールパネル] を表示する

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 10

手順 2 へ進んでください。

2 [システム] を表示する

Windows Vista/7/8/Server 2008 R2/Server 2012

[システムとメンテナンス] または [システムとセキュリティ] ▶ [システム] をクリックします。

Windows 10

[] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [バージョン情報] をクリックします。

Windows Server 2008

[システム] をダブルクリックします。

3 コンピューター名を確認する



Windows Server 2003

1 [スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [システム] を選ぶ

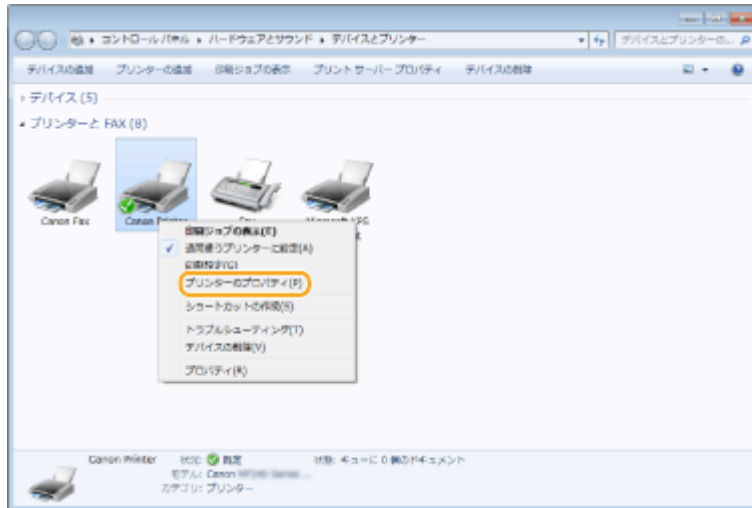
2 [コンピュータ名] タブで [変更] をクリックする

3 コンピューター名を確認する

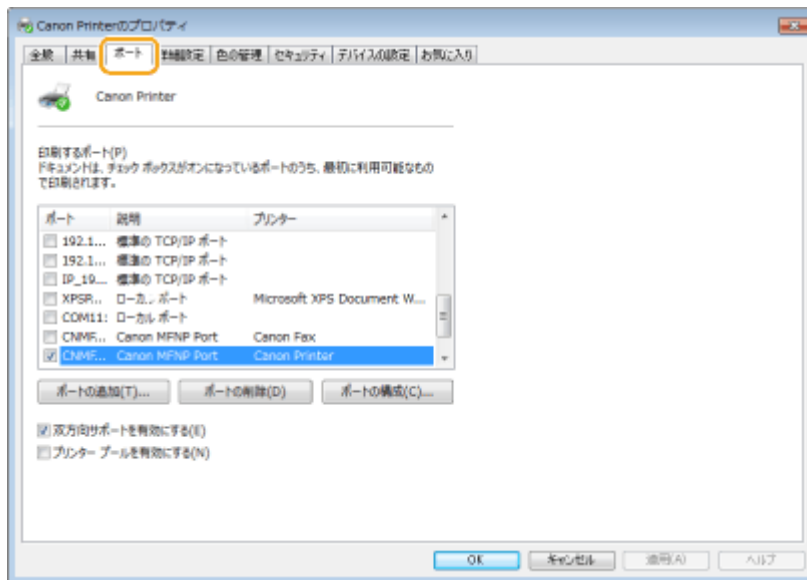
■ プリンターポートの確認方法

1 プリンターフォルダーを開く ◯ プリンターフォルダーの表示方法(P. 445)

2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



3 [ポート] タブでポートが正しく選択されていることを確認する



MEMO

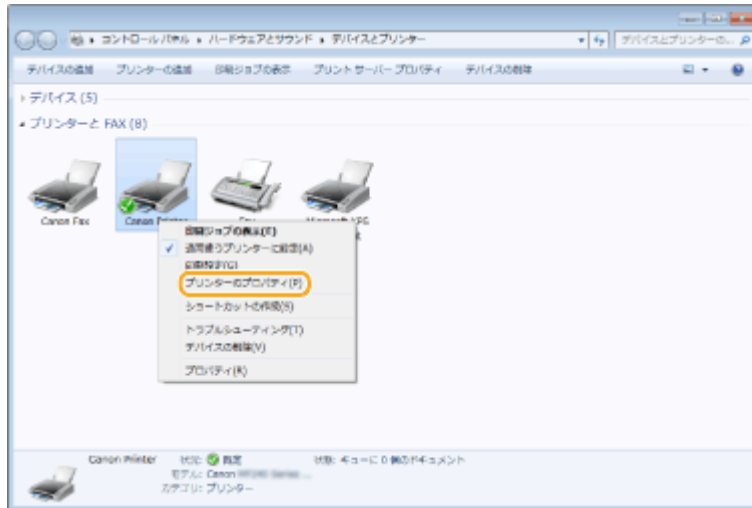
ネットワーク接続の場合に本機の IP アドレスを変更したとき

- 選択されているポートの「説明」が「Canon MFNP Port」の場合は、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続は維持されますので、新しいポートを追加する必要はありません。「Standard TCP/IP Port」の場合は、新しいポートを追加する必要があります。●印刷ポートの設定をする(P. 211)

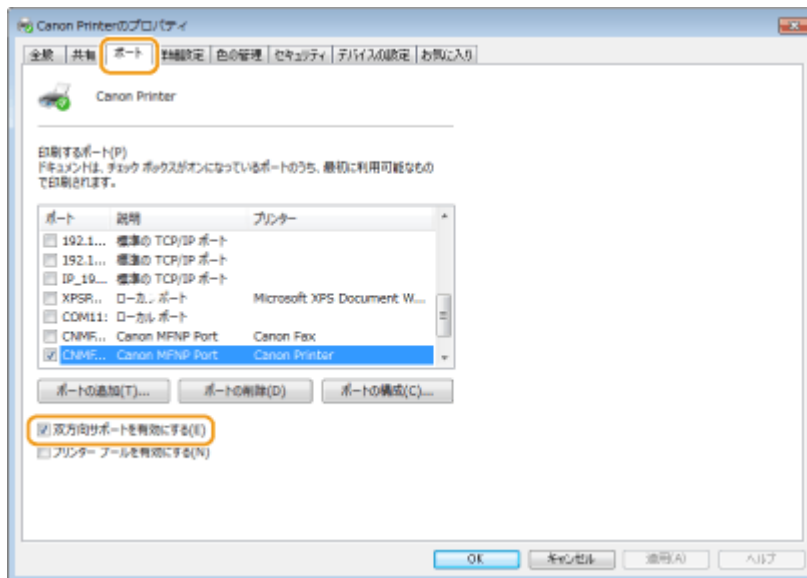
■双方向通信の確認方法

1 プリンターフォルダーを表示する ●プリンターフォルダーの表示方法(P. 445)

2 本機のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



3 [ポート] タブで [双方向サポートを有効にする] にチェックマークが付いていることを確認する



■ パソコンが接続している SSID を確認する

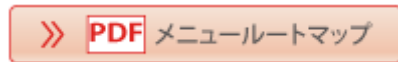
パソコンが無線 LAN でネットワークに接続されている場合、タスクトレイに表示されている 、、または  をクリックすると、接続している無線 LAN ルーターの SSID が表示されます。



メニュールートマップ

14EH-085

本機の画面に表示される設定項目については、「メニュールートマップ」(PDF マニュアル) を参照してください。



おことわり

14EH-086

■IPv6 Ready Logo について



本製品は、IPv6 Forum が定める IPv6 Ready Logo Phase-1 を取得した IPv6 Protocol Stack を利用しています。

■物質エミッションの拡散に関する認定基準について

本製品は、エコマーク No.155 「複写機・プリンタなどの画像機器」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品推奨トナーを使用し、印刷を行った場合について、試験方法 RAL-UZ171 の付録 S-M に基づき試験を実施しました。）

■免責事項

- 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

■商標について

Adobe、Acrobat、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

Apple、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch、Safari、Mac、Mac OS および OS X は、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer、Word および Excel は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

iOS は、米国および他の国々で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。

Google Cloud Print、Google Chrome、Android は、Google Inc.の登録商標または商標です。

「AOSS™」は株式会社バッファローの商標です。

らくらく無線スタートは NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。

本製品には、Monotype Imaging, Inc.の認可のもと、Universal Font Scaling Technology または UFST®が含まれています。

UFST®は Monotype Imaging, Inc.の商標であり、米国特許商標庁の管轄で登録されているものです。

UFST: Copyright © 1989 - 1996, 1997, 2003, 2004, 2008, all rights reserved, by Monotype Imaging Inc.



Adobe、PostScript および PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ 社）の米国ならびに他の国における商標または商標登録です。

Copyright © 2007 -08 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Protected by U.S. Patents 5,737,599; 5,781,785; 5,819,301; 5,929,866; 5,943,063; 6,073,148; 6,515,763; 6,639,593; 6,754,382; 7,046,403; 7,213,269; 7,242,415; Patents pending in the U.S. and other countries.

All instances of the name PostScript in the text are references to the PostScript language as defined by Adobe Systems Incorporated unless otherwise stated. The name PostScript also is used as a product trademark for Adobe Systems' implementation of the PostScript language interpreter.

Except as otherwise stated, any reference to a "PostScript printing device," "PostScript display device," or similar item refers to a printing device, display device or item (respectively) that contains PostScript technology created or licensed by Adobe Systems Incorporated and not to devices or items that purport to be merely compatible with the PostScript language.

Adobe, the Adobe logo, PostScript, the PostScript logo, and PostScript 3 are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

Linux is a registered trademark of Linus Torvalds. Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

All other trademarks are the property of their respective owners.



Adobe PDF ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ 社）の米国ならびに他の国における商標または商標登録です。

Copyright © 2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Protected by U.S. Patents 6,185,684; 6,205,549; 7,213,269; 7,272,628; 7,278,168; Patents pending in the U.S. and other countries.

All instances of the name PostScript in the text are references to the PostScript language as defined by Adobe Systems Incorporated unless otherwise stated. The name PostScript also is used as a product trademark for Adobe Systems' implementation of the PostScript language interpreter.

Except as otherwise stated, any reference to a "PostScript printing device," "PostScript display device," or similar item refers to a printing device, display device or item (respectively) that contains PostScript technology created or licensed by Adobe Systems Incorporated and not to devices or items that purport to be merely compatible with the PostScript language.

Adobe, the Adobe logo, Adobe LiveCycle® Policy Server, PostScript, the PostScript Logo, and PostScript 3 are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

All other trademarks are the property of their respective owners.

Portions of this software are copyright © 2007 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 著作権

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at: <http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.
- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.
- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.
- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

別途固有のライセンス条件が用意されている第三者のソフトウェアについて

第三者ソフトウェアおよびライセンス条件につきましては、下記「ソフトウェア一覧表」および対応するライセンス全文をご参照ください。

「ソフトウェア一覧表」

ソフトウェア	ライセンス全文 (許諾条件) 参照先: ページ
Adobe PDF Scan Library	2
bldimake	5
FreeType	6
snmp	11
Incl	14
JPEG	15
math	16
mDNSResponder	17
mDNSResponder (mDNSShared 部分)	21
OpenSSL	22
xpm	27

Portions use software under the following terms:

This product contains either BSAFE and/or TIPEM software by RSA Security Inc.

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).
Copyright (c) 1998-2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)."

Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.

4. The names "Xerces" and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
5. Products derived from this software may not be called "Apache", nor may "Apache" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation and was originally based on software copyright (c) 1999, International Business Machines, Inc., <http://www.ibm.com>. For more information on the Apache Software Foundation, please see <http://www.apache.org/>.

March 27, 2003

Portions of this product are based on Modifications created from the Original Code known as the "Sablotron XSLT Processor". The Sablotron XSLT Processor is subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"). You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/MPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is the Sablotron XSLT Processor.

The Initial Developer of the Original Code is Ginger Alliance Ltd. Portions created by Ginger Alliance are Copyright (C) 2000 Ginger Alliance Ltd. All Rights Reserved.

Pursuant to sections 3.2 and 3.6 of the License, the Modifications created by Adobe Systems Incorporated are available as Source Code. The Modifications may be downloaded via the Internet from:

<http://partners.adobe.com/asn/tech/xml/sablotron/index.jsp>

The Original Code may be downloaded via the Internet from:

<https://sourceforge.net/projects/sablotron/>

Portions Copyright (c) 1997-1999 Silicon Graphics Computer Systems, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. Silicon Graphics makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

The Loki Library

Portions Copyright (c) 2001 by Andrei Alexandrescu . This code accompanies the book: Alexandrescu, Andrei. "Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied".

Portions Copyright (c) 2001. Addison-Wesley. Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. The author or Addison-Wesley Longman make no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Updated Information/Additional Third Party Code Information available at <http://www.adobe.com/go/thirdparty> .

bldimake

Copyright (c) 1985, 1986, 1987, 1988 The Open Group

All right Reserved.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE OPEN GROUP BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of The Open Group shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from The Open Group.

FreeType

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by
David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

=====

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- o We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. ('as is' distribution)
- o You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. ('royalty-free' usage)
- o You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge

somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. ('credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

""""

Portions of this software are copyright © <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

""""

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

=====

0. Definitions

Throughout this license, the terms 'package', 'FreeType Project', and 'FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the 'FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

'You' refers to the licensee, or person using the project, where 'using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a 'program' or 'executable'. This program is referred to as 'a program using the FreeType

engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- o Redistribution of source code must retain this license file ('FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered,

original files must be preserved in all copies of source files.

- o Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: 'FreeType Project', 'FreeType Engine', 'FreeType library', or 'FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

o freetype@nongnu.org

Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution.

If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

o freetype-devel@nongnu.org

Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

<http://www.freetype.org>

--- end of FTL.TXT ---

snmp

Copyright 1988, 1989 by Carnegie Mellon University

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

CMU DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL CMU BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

* All rights reserved.

*

* This package is an SSL implementation written

* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

*

* This library is free for commercial and non-commercial use as long as

* the following conditions are adhered to. The following conditions

* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,

* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation

* included with this distribution is covered by the same copyright terms

* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*

* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in

- * the code are not to be removed.
- * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
- * as the author of the parts of the library used.
- * This can be in the form of a textual message at program startup or
- * in documentation (online or textual) provided with the package.
- *
- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
- * modification, are permitted provided that the following conditions
- * are met:
- * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
- * documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
- * must display the following acknowledgement:
- * "This product includes cryptographic software written by
- * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
- * The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
- * being used are not cryptographic related :-).
- * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
- * the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
- * "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
- *
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND
- * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
- * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
- * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
- * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
- * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
- * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
- * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
- * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
- * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
- * SUCH DAMAGE.
- *
- * The licence and distribution terms for any publically available version or
- * derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be

* copied and put under another distribution licence

* [including the GNU Public Licence.]

*/

Copyright 1988, 1989 by Carnegie Mellon University

Copyright 1989 TGV, Incorporated

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and TGV not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

CMU AND TGV DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL CMU OR TGV BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Incl

Copyright (c) 1994-96 SunSoft, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SUNSOFT INC. OR ITS PARENT COMPANY BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of SunSoft, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from SunSoft, Inc.

JPEG

"this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group."

math

Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

copysignf.c:*	Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
math_private.h:*	Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
powf.c:*	Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
scalbnf.c:*	Copyright (c) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

- a. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
- b. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
- c. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

- d. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner] Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0> Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

mDNSResponder (mDNSShared 部分)

* Copyright (c) 2003-2004, Apple Computer, Inc. All rights reserved.

*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without

* modification, are permitted provided that the following conditions are met:

*

* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice,

* this list of conditions and the following disclaimer.

* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice,

* this list of conditions and the following disclaimer in the documentation

* and/or other materials provided with the distribution.

* 3. Neither the name of Apple Computer, Inc. ("Apple") nor the names of its

* contributors may be used to endorse or promote products derived from this

* software without specific prior written permission.

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY

* EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED

* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE

* DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY

* DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES

* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND

* ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT

* (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS

* SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

*/

OpenSSL

OpenSSL License

/* =====

* Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without

* modification, are permitted provided that the following conditions

* are met:

*

* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright

* notice, this list of conditions and the following disclaimer.

*

* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright

* notice, this list of conditions and the following disclaimer in

* the documentation and/or other materials provided with the

* distribution.

*

* 3. All advertising materials mentioning features or use of this

* software must display the following acknowledgment:

* "This product includes software developed by the OpenSSL Project

* for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"

*

* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to

* endorse or promote products derived from this software without

* prior written permission. For written permission, please contact

* openssl-core@openssl.org.

*

* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"

* nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written

* permission of the OpenSSL Project.

*

* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following

* acknowledgment:

* "This product includes software developed by the OpenSSL Project

* for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

*
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY
 * EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
 * PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
 * ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
 * SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
 * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
 * LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
 * STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
 * ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
 * OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

* =====

*
 * This product includes cryptographic software written by Eric Young
 * (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
 * Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*
 */

Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
 * All rights reserved.
 *
 * This package is an SSL implementation written
 * by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
 * The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
 *
 * This library is free for commercial and non-commercial use as long as
 * the following conditions are aheared to. The following conditions
 * apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
 * lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
 * included with this distribution is covered by the same copyright terms
 * except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *

- * Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
- * the code are not to be removed.
- * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
- * as the author of the parts of the library used.
- * This can be in the form of a textual message at program startup or
- * in documentation (online or textual) provided with the package.
- *
- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
- * modification, are permitted provided that the following conditions
- * are met:
- * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
- * documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
- * must display the following acknowledgement:
- * "This product includes cryptographic software written by
- * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
- * The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
- * being used are not cryptographic related :-).
- * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
- * the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
- * "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
- *
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND
- * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
- * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
- * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
- * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
- * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
- * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
- * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
- * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
- * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
- * SUCH DAMAGE.
- *
- * The licence and distribution terms for any publically available version or

- * derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
- * copied and put under another distribution licence
- * [including the GNU Public Licence.]
- */

xpm

Copyright (c) 1989-95 GROUPE BULL

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL GROUPE BULL BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of GROUPE BULL shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from GROUPE BULL.